

Hondaナビゲーションシステム取扱説明書

Gathers

Honda Multi Car-AV System

デュアルサイズHDDナビコンポ

VXH-098CV

オーディオ編



Honda Access

この説明書はオーディオの操作について説明しています。
ご使用前に本書を十分お読みいただき、安全・快適なカーライフにお役立てください。

- 本機の使用に関する全般的な説明およびナビゲーションの操作につきましては、別冊の取扱説明書 ナビゲーション編をお読みください。
- 本説明書の画像やイラストは操作を円滑にするためのイメージであり、撮影・印刷条件等により実物(実機)と印象が相違する場合があります。
- 本書は仕様変更により、予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

機能

CD/DVD

Music Rack

SD

USB

iPod

VTR

Digital TV

AM

FM

DSP/SRS CS Auto・イコライザ・MP3/WMA

- ※上記表の■はAVソース画面に表示される各モードボタンを表します。
- ※iPodを接続するには別売のiPod接続コードが必要になります。
- ※USBメモリデバイスを接続するには別売のUSB接続コードが必要になります。
- ※VTR機器を接続するには別売のVTRコードが必要になります。

ACCESS™

NetFront®

- 本製品は、データ放送BMLブラウザとして株式会社ACCESSのNetFrontを搭載しています。
- ACCESS社ロゴおよびNetFrontロゴ
- ACCESS、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本およびその他の国における登録商標または商標です。

このシステムでできること

はじめに／共通……………P11～45

- 本機を正しく使うための説明
- 映像やオーディオの調整
- カスタマイズソースの設定

など

MP3/WMA ……………P129～143

- MP3/WMAを聞く
- フォルダや好きなトラックを選んだり、早戻し／早送りをする
- リPEAT再生

など

録音設定／データ管理……………P47～75

- 録音方法(手動／自動)の選択
- 録音のしかた
- HDDの情報
- 画像の変更や追加
- ローカル／カスタムアップデート
- データの初期化

など

ラジオ……………P145～156

- ラジオを聞く
- バンド(AMまたはFM)を選ぶ
- 手動／自動／エリア／プリセット選局
- 道路交通情報を聞く

など

CD ……………P77～87

- CDを聞く
- 好きなトラックを選んだり、早戻し／早送りをする
- リPEAT／ランダム／スキャン再生

など

映像 DVD／テレビ／VTR ……P157～249

- DVDを再生させる
- 地上デジタルテレビ放送を見る(12セグ／ワンセグ)
- VTR機能を使う

など

Music Rack……………P89～127

- Music Rackを聞く
- 好きなトラックを選んだり、早戻し／早送りをする
- リPEAT／ランダム／スキャン再生
- 選曲メニュー(アルバム名／アーティスト名／ジャンルなど)から曲を選択する
- お気に入り登録
- タイトル情報の上書きやタイトル名の編集(変更)

など

SD/USB/iPod ……………P251～312

SDカード／USBメモリデバイス／iPodに収録されているトラックを聞くことができる

その他……………P313～347

- カスタマイズ機能
- システム設定
- リア席モニターについて(別売)
- 故障かな?と思ったときの対処方法や用語説明

など

※詳しくはそれぞれのページを参照してください。

はじめに／
共通

録音設定／
データ管理

CD

Music
Rack

MP3/WMA

ラジオ

映像
DVD/テレビ

iPod/SD/USB

その他

目次(1)

はじめに／共通

P11~

本機で再生できるディスク	12、13
データベースについて	14、15
SDカード／USBメモリデバイスについて	16、17
オーディオ／テレビ／ラジオの設定について	18
DVDビデオについて	19
はじめに	20、21
AUDIOソース画面のモードボタンについて	22
AUDIOメニュー画面について	23
音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する	24
音声はそのまま、画面を消す	25
音量を調整する	26
映像の調整のしかた	27~29
画質調整を初期値に戻すには	29
メニューの配色を変える	30、31
オーディオの調整をする	32~43
音場(臨場感)を変えるには	32~34
パラメトリックイコライザ(音質)を変えるには	35~37
スピーカーを設定する	38、39
フェード・バランスの調整をするには	40、41
車速連動音量を設定する	42、43
カスタマイズソース(Quick)を設定するには	44、45

録音設定／データ管理

P47~

録音方法の手動／自動を選択する	48
録音する	49~53
本機のMusic Rack(HDD)機能について	49
Music Rack(HDD)への録音について	50~53
録音速度を選択し、録音方法／録音音質を選択する	51~53
データ管理	54~75
Gracenoteデータベースタイトル情報追加の流れについて	54、55
Gracenoteデータベースの更新をするには	56~61
Gracenoteデータベースのデータを初期化するには	62、63
音楽データの修復をするには	64
音楽データの初期化をするには	65
HDDの情報を知る	66
画像を変える	67~69
画像を追加する	70~72
画像をコピーする	73~75

CD

P77~

CDプレーヤーを使う	78~87
各部の名称とはたらき	78
表示部(再生画面)について	79
CDを聞く	80、81
CDモードを終了する	82
CDを取り出す	82
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する(トラックを戻す／進める)	83
早戻し／早送りをする	83
再生モードを選択する(リピート／ランダム／スキャン再生)	84、85
トラックリストより好きなトラックを選び再生させる	86、87

Music Rackを使う ……90~127
各部の名称とはたらき ……90
表示部(再生画面)について ……91
Music Rackを聞く ……92、93
Music Rackモードを終了する ……93
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ 選曲する(トラックを戻す/進める) ……94
早戻し/早送りをする ……94
トラックリストより好きなトラックを 選び再生させる ……95
選曲メニューより選択し 再生させる ……96~103
再生モードを選択する(リピート/ ランダム/スキャン再生) ……104~107
再生中の曲を お気に入り登録する ……108、109
再生中の曲のジャンルとミュージック エスコートを設定する ……110、111
好きなアルバムを選ぶ ……112
アルバムリストの編集 (曲管理) ……113~119
トラックリストの編集 (曲管理) ……120~125
お気に入り进行管理する ……126、127

ラジオを使う ……146~156
各部の名称とはたらき ……146、147
表示部について ……148
ラジオを聞く ……149
ラジオモードを終了する ……150
プリセット1/プリセット2を選ぶ ……150
選局する ……151~153
プリセット(メモリー)する ……154、155
交通情報を受信する ……156

MP3/WMAについて ……130~135
MP3/WMAを使う ……136~143
各部の名称とはたらき ……136
表示部(再生画面)について ……137
MP3/WMAを聞く ……138、139
MP3/WMAモードを終了する ……139
MP3/WMAディスクを取り出す ……139
1ファイルずつ選曲する (トラックを戻す/進める) ……140
早戻し/早送りをする ……140
好きなフォルダを選ぶ ……141
再生モードを選択する (リピート再生) ……142、143

目次(2)

D V D

P157~

DVDプレーヤーについて	158、159
DVDプレーヤーを使う	160~181
各部の名称とはたらき	160~162
再生を始める	163~165
DVDモードを終了する	165
DVDディスクを取り出す	165
再生を停止する	166
再生を一時停止(静止)する	167
再生中にチャプターを戻す/進める	168
早戻し/早送りをする	168
コマ戻し/コマ送りをする	169
スロー戻し/スロー送りをする	169
DVDメニューを使う	170、171
タイトルメニューを使う	172、173
好きな所から再生する (サーチ選択)	174、175
音声言語/字幕言語を切り替える	176
時間の表示を替える	177
リピート(繰り返し)再生する	178
アングル(角度)を切り替える	179
VRモードディスク内の映像をリストより 選択し再生させる	180、181
DVDの初期設定について	182~189
各部の名称とはたらき	182
初期設定を変更する	183~189

テ レ ビ

P191~

(デ ジ タ ル T V)

テレビについて	192、193
地上デジタルテレビ放送について	192
地上デジタルテレビ放送の 番組受信について	193
B-CASカードについて	194、195
B-CASカードについて	194
B-CASカードを入れる/取り出す	195
B-CASカードに関する お問い合わせ先について	195
Digital TVを使う	196~245
各部の名称とはたらき	196~200
パネル部について	196
パナー表示について	196、197
タッチパネル部のボタンに ついて	198、199
デジタルメニューについて	200
Digital TVモードにする	201、202
Digital TVモードを終了する	202
視聴エリアの変更 (地方/県域の設定をする)	203、204
MFNサーチを実行する	205
エリアスキャンをする	206
チャンネルスキャンについて	207
選局する	208~211
プリセットをメモリーする	212、213
番組表を見る	214、215
映像を切り替える	216
音声を切り替える	217
字幕表示を切り替える	218
チャンネル表示の設定	219
郵便番号設定	220
チャンネル表示設定	221、222
文字スーパーを切り替える	223
現在地確認設定	224、225
自動切替(ワンセグ・12セグ・ 切替なし)の設定をする	226、227
アンテナ電源の設定をする	228、229
受信可能なチャンネルと受信レベルを 確認し、受信する	230、231

テレビ (デジタルTV)

B-CASカード(ICカード)の
テストをする232、233
放送局からの情報を見る ...234~236
設定を初期化する.....237
選局操作の設定をする238、239
データ放送を利用する240~242
リレーサービスの番組を見る243
臨時サービスの番組を見る243
緊急放送を見る.....244
エラーコードについて.....245

VTR

VTR機能を使う.....248、249

P247~

目次(3)

SD P251~ (SDカード)	SDカードの音楽再生について …252~254
	SDカードを使う ……255~267
	各部の名称とはたらき ……255
	表示部(再生画面)について ……256
	SDカードを聞く ……257、258
	SDモードを終了する ……258
	SDカードを取り出す ……258
	好きなフォルダを選ぶ ……259
	操作パネル上のボタンにて 1曲ずつ選曲する (トラックを戻す/進める) ……260
	早戻し/早送りをする ……260
	トラックリストより好きなトラックを 選び再生させる ……261
	選曲メニューより選択し 再生させる ……262、263
	再生モードを選択する(リピート/ ランダム/スキャン再生) …264~267

USB P269~ (USBメモリデバイス)	USBメモリデバイスの音楽再生に ついて ……270~272
	USBメモリデバイスを使う …273~292
	各部の名称とはたらき ……273
	表示部(再生画面)について …274、275
	USBメモリデバイスを本機に 接続するには ……276
	USBメモリデバイスを聞く …276、277
	USBモードを終了する ……277
	USBメモリデバイスの接続を やめるには ……277
	操作パネル上のボタンにて 1曲ずつ選曲する (トラックを戻す/進める) ……278
	早戻し/早送りをする ……278
	トラックリストより好きなトラックを 選び再生させる ……279
	選曲メニューより選択し 再生させる ……280~283
	USBフラッシュメモリの再生モードを 選択する(リピート/ランダム/ スキャン再生) ……284~287
	ウォークマンの再生モードを選択する (リピート/ランダム/ スキャン再生) ……288~291
	好きなフォルダを選ぶ (USBフラッシュメモリの場合) …292
好きなアルバムを選ぶ (ウォークマンの場合) ……292	

i
P
o
d

P293~

iPodについて	294、295
iPodとは	294
対応可能なiPod	294
使用上のご注意	295
iPodを本機に接続するには	295
iPodを本機に接続すると	295
iPodを使う	296~312
各部の名称とはたらき	296
表示部(再生画面)について	297
iPodを聞く	298
iPodモードを終了する	299
再生を止める(一時停止)	299
操作パネル上のボタンにて 1曲ずつ選曲する (トラックを戻す/進める)	299
早戻し/早送りをする	300
トラックリストより好きなトラックを 選び再生させる	301
選局メニューより選択し 再生させる	302~307
再生モードを選択する(リピート/ シャッフル再生)	308、309
iPodビデオモードで映像データを 再生させる	310~312

そ
の
他

P313~



カスタマイズ(Quick)機能について	314
壁紙を表示する	315
システムの設定について	316、317
リア席モニターについて(別売)	318
初期設定一覧	319
メッセージ表示について	320、321
故障かな?と思ったら	322~335
エリア番号と放送局一覧	336、337
用語説明	338~343
個人情報の取り扱い(初期化)について	344
索引	345~347




はじめに／共通

本機で再生できるディスク	12、13
データベースについて	14、15
SDカード／USBメモリデバイスについて	16、17
オーディオ／テレビ／ラジオの設定について	18
DVDビデオについて	19
はじめに	20、21
AUDIOソース画面のモードボタンについて	22
AUDIOメニュー画面について	23
音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する	24
音声はそのまま、画面を消す	25
音量を調整する	26
映像の調整のしかた	27～29
画質調整を初期値に戻すには	29
メニューの配色を変える	30、31
オーディオの調整をする	32～43
音場(臨場感)を変えるには	32～34
パラメトリックイコライザ(音質)を変えるには	35～37
スピーカーを設定する	38、39
フェード・バランスの調整をするには	40、41
車速連動音量を設定する	42、43
カスタマイズソース(Quick)を設定するには	44、45

本機で再生できるディスク

	DVD+R DVD-R	DVD+RW DVD-RW	DVD+R DL DVD-R DL		
		MP3	WMA	CD-R	CD-RW

※ただし、ディスクの傷や汚れ指紋等または車内や本機に長時間放置、データ書き込み状態が不安定、データ書き込みに失敗し再度録音した場合などは、再生できない場合があります。

※はDVDフォーマット ロゴ ライセンシング株式会社の登録商標(米国・日本他)です。

■下記のディスクは再生できないか、再生できても正常に再生されないことがあります。

- CDG
- フォトCD
- CD-ROM
- Blu-ray
- CD-EXTRA
- VIDEO CD
- SA-CD
- HDD-DVD
- DVD-ROM
- DVD-RAM
- DVDオーディオ
- SVCD

■DVDビデオでも、次のようなディスクは再生できないことがあります。

- リージョン番号「2」が含まれていないディスク
- 無許諾のディスク(海賊版のディスク)
- NTSC以外のカラーテレビ方式(PAL、SECAM)で収録されたディスク

■CD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RW/DVD+R DL/DVD-R DLでも、次のような場合は再生できないことがあります。

- データが記録されていないディスク
- ディスクの記録状態/ディスク自体の状態
- ディスクと本機の相性
- 記録に使用したレコーダによって
- CD-R/CD-RWの場合、「CDDA」または「オーディオCD」フォーマット以外のディスクは再生できません。(ただしMP3/WMAは再生できます。)
- ファイナライズされていないディスクは再生できません。

※これらの書き込み対応のディスクを使用される場合には、書き込みを行なう機器の取扱説明書や注意事項をよくお読みください。

※MP3/WMAにつきましては  「MP3/WMAについて」130～135ページをご覧ください。

Videoモードのファイナライズについて

DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RW/DVD+R DL/DVD-R DLディスクをご使用になる場合、録画された機器で「ファイナライズ処理」を行なっていただく必要があります。ファイナライズ処理を行なわないと、録画された機器以外の他のプレーヤー(本機など)で再生できない場合があります。

※ファイナライズ処理については、書き込みを行なう機器の取扱説明書や注意事項をよくお読みください。

！ 本機の故障、誤動作または不具合によりハードディスクに記録できなかったデータ（録音内容など）、消失したデータ、ハードディスク内の保存データについては補償できません。

はじめに
／

再生できるディスク

■DVDレコーダで作成したディスクについて

- DVD-R/RW、DVD-R DLにビデオレコーディングモード（VRモード）で記録されたディスクを再生できます。▶159、180、181ページ
- BSデジタル、地上デジタルテレビ放送、一部のスカイパーフェクTVなどの「一回だけ録画可能（コピーワンス）」番組を記録したディスクの再生は、CPRM対応のDVD-R/RWにビデオレコーディングモードで記録されたものに限り可能です。

：再生可能なディスクの一覧は159ページを参照ください。

※ファイナライズ処理が必要な場合があります。未ファイナライズ処理のDVD-R/DVD-R DLのVRモードには対応していません。

※タイトル（映像）の一部を編集したり消去されたディスクの場合、正常に再生できない場合があります。

※録画方式など詳しくはDVDレコーダの取扱説明書をよくお読みください。

■8cmディスクについて

本機では、8cmディスクは再生できません。

※アダプターを使用しても再生できません。

■dts-CD（dts 5.1chサラウンドトラックが収録されているCD）について

CDモードでは再生できます。Music Rackモードでは正常に録音／再生できません。

■コピー防止機能付CD（コピーコントロールCD）について

ディスクレーベル面（印刷面）に[CDDOGO]  マークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。

パソコン等で複製防止を目的としたコピー防止機能付CD（コピーコントロールCD）を再生させると、正常に再生できないことがあります。これはコピー防止機能付CD（コピーコントロールCD）がCD規格に合致していないための現象であり、本機の異常ではありません。コピー防止機能付CD（コピーコントロールCD）の再生で問題がある場合は、コピー防止機能付CD（コピーコントロールCD）の発売元にお問い合わせください。

■特殊形状のディスクについて

ハート型や八角形など、特殊形状のディスクやCDリングプロテクターを装着したディスクは使用しないでください。本機が故障する原因となります。

■Dual Discについて

Dual Discとは、DVD規格に準拠した面（DVD面）と音楽専用面（CD面）とを組み合わせたディスクです。本機ではDual Discは使用しないでください。ディスクに傷がついたり、ディスクが取り出せないなどの不具合が発生する場合があります。

データベースについて

本機は、内蔵のCDプレーヤーからCDアルバムをMusic Rackに録音した場合、ハードディスクに収録されているGracenoteデータベースの中から、アルバム名やアーティスト名、タイトル名を検索し、各名称がデータベースに収録されていると、録音したデータに自動で付与します。本機に収録されているデータベース情報は、Gracenoteデータベース情報を使用しています。

■Gracenoteデータベースについて

音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信での業界標準です。

詳細は、Gracenote®社のホームページwww.gracenote.comをご覧ください。

GracenoteからのCDおよび音楽関連データ：Copyright©2000-2008 Gracenote.
Gracenote Software：Copyright©2000-2008 Gracenote.この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の1つまたは複数を実践している可能性があります：#5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許(#6,304,523)用にOpen Globe, Inc.から提供されました。

GracenoteおよびCDDBIはGracenoteの登録商標です。Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴはGracenoteの商標です。

Gracenoteサービスの使用については、次のWebページをご覧ください

:www.gracenote.com/corporate



オーディオ

「Gracenote音楽認識サービス」によって提供されたデータについては内容を100%保証するものではありません。

■Gracenoteデータベースのご利用について

■この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

この製品は米国カリフォルニア州、エメリービル市のGracenote（“Gracenote”）からの技術とデータが含まれています。この製品はGracenoteの技術（“Gracenote Embedded Software”）により、ディスク認識を可能とし、また名前、アーティスト、トラック、タイトルなどを含む音楽に関する情報（“Gracenote Data”）を得ることも可能です。この技術はGracenote Database（“Gracenote Database”）に実装されています。

- Gracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Softwareを商用ではなく、個人の使用のみに使うことに同意すること。
- 標準エンドユーザー機能及びこの製品の機能によってのみ、Gracenote Dataにアクセスすることに同意すること。
- 第三者に、Gracenote Embedded SoftwareまたはGracenote Dataの譲渡、コピー、転送をしないことに同意すること。
- この文章中で明白に許可されること以外でのGracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Softwareの使用あるいは応用をしないことに同意すること。
- これらの制約に違反した場合、あなたのGracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Softwareを使用する非独占的ライセンスの契約を解除します。解除された場合、Gracenote Data、Gracenote Databaseの全ての使用をやめることに同意する。
- GracenoteはGracenote Data、Gracenote DatabaseやGracenote Embedded Softwareの所有権を含むすべての権利を保有しています。
- Gracenoteはこの同意のもとで、Gracenoteの名において、直接あなたに対する権利を執行することができます。


Gracenote Embedded SoftwareやGracenote Dataの各項目はあなたに現状のままで使用許可を与えます。**Gracenoteは、すべてのGracenote Dataの正確さに関する、明示或いは黙示、真実の表明或いは保証は、一切致しません。**GracenoteはGracenoteが明らかに問題であると判断した際、または更新が必要な際には、データカテゴリーを変更したり、データを消去することができます。Gracenote Embedded Softwareが、エラーフリーであるとか、Gracenote Embedded Softwareの機能が断絶しないものであるという保証は致しません。

Gracenoteは新しく拡張された或いは追加されるいかなるデータタイプも提供する義務はありません。或いはまた、将来Gracenoteが提供するかもしれないカテゴリーについても、あなたに提供する義務はありません。

Gracenoteは、商品性に関する黙示の保証、特定目的への適合性及び権利侵害の不存在を含む全ての明示または黙示の保証をしません。Gracenoteは、Gracenote ComponentまたはいかなるGracenote Serverの利用により生じた結果について保証しません。Gracenoteはいかなる場合でも結果的もしくは付随的損害または逸失利益もしくは逸失収入に対して責任を負いません。

SDカード／USBメモリデバイスについて

■SDロゴは商標です。 


■SDHCロゴは商標です。 

■お客様が録音・録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっている画像やデータの記録された“SDカード”は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意ください。

■本機にはSDカード、USBメモリデバイスは付属しておりません。

※それぞれの規格に準じた市販品をお買い求めください。

■16GBまでの容量の“SDカード”に対応しています。

■本機に接続できるUSBメモリデバイスはUSBフラッシュメモリとATRAC AD対応のウォークマンです。USBフラッシュメモリとATRAC AD対応のウォークマン以外のものは接続しないでください。動作保証できません。  270ページ参照

■フォーマット(初期化)について

- SDカードのフォーマットは本機で行なってください。

 「システムの設定について」316、317ページ

※初期化により消失したデータは元に戻せません。十分に確認したうえで行なってください。本機以外の機器で初期化した場合、本機で使用できない場合があります。本機で初期化を行なったから使用してください。

- USBメモリデバイスのフォーマットは本機で行なえません。お手持ちのパソコンなどで行なってください。

■“miniSDカード”／“microSDカード”を使用する場合は、必ずminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターを使用し、正しい挿入方向をご確認ください。アダプターが装着されていない状態で本機に挿入すると、機器に不具合が生じることがあります。また、“miniSDカード”／“microSDカード”が取り出せなくなる可能性があります。必ずアダプターごとと抜き差しし、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。







■microSDカードをminiSDカードアダプターに装着し、更にSDカードアダプターに装着して使用しないでください。

■SDカード挿入口やUSB接続端子に異物を入れないでください。SDカードやUSBメモリデバイスを破損する原因になります。

■SDカード／USBメモリデバイスへのデータ書込中／読み込み中／HDDにデータ転送中は抜かないでください。また、車のエンジンスイッチをO(OFF)にしないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。

■静電気や電氣的ノイズを受けたり暖房器具の熱が直接あたる恐れのある場所に、SDカードやUSBメモリデバイスを放置しないでください。データが破壊される恐れがあります。

■本機内部を保護するため、異常が生じたときは自動的に本機の機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。

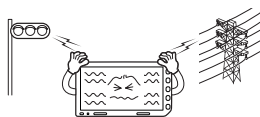
- 本機はSDカードを使用して下記機能を使用することができます。
 - Gracenoteデータベースのアップデート  「データ管理」54～61ページ
 - 画像の追加やコピー  「[画像を追加する](#)」70～72ページ
「[画像をコピーする](#)」73～75ページ
 - 音楽再生  251～267ページ
※対応可能なSDカードと再生につきましては253ページを参照ください。
- 本機はUSBメモリデバイスを使用して下記機能を使用することができます。
 - ローカルアップデート  「[Gracenoteデータベースの更新をするには](#)」56～58ページ
 - 画像の追加やコピー  「[画像を追加する](#)」70～72ページ
「[画像をコピーする](#)」73～75ページ
 - 音楽再生  269～292ページ
- SDカード、USBメモリデバイス内の大切なデータは、バックアップをとっておくことをおすすめします。
- 長時間ご使用になったあと、SDカードやUSBメモリデバイスがあたたかくなっている場合がありますが故障ではありません。
- SDカードには寿命があります。長期間使用すると書き込みや消去ができなくなる場合があります。
- SDカード、USBメモリデバイスが不良の場合、正常に動作しません。
- SDカードの誤消去防止スイッチを「Lock」にすると、記録・消去・初期化ができなくなります。

オーディオ／テレビ／ラジオの設定について

■バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断たれたときは、メモリーしたチャンネルや音場などの設定も全て消去されます。

■ラジオやテレビの受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。

- 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くやラジオ放送、アマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音がはいる場合があります。
- トンネル内にはいたり、放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。受信状態が悪くなったら、受信状態の良いものを選局してください。
- 一部の地域において、ラジオ、テレビ等の送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。
- テレビの受信は、家庭で受信する場合に比べると受信可能なエリアが狭くなります。
- 固定受信や携帯受信（ワンセグ）などの放送方式や放送局により、受信状態やエリアが変化します。
- ワイパー、電動ミラー、エアコンのFANなどを動作させると受信感度が悪化する場合があります。



DVDビデオについて



本機のリージョン番号(地域番号)は「2」です。

〔例〕



■DVDには世界中を6つの地域に区分したリージョン番号という地域番号があり、DVDソフトの番号とDVDプレーヤーの番号が一致しないと再生できない仕組みになっています。本機では、リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」以外のDVDビデオディスクは、再生できません。



アドバイス

- リージョン番号が「ALL」のディスクは、地域制限されておらず、全てのリージョン番号のDVDプレーヤーで再生できます。
- リージョン番号が表示されていないディスクについては、表示はしていないがリージョン番号がついており、同じリージョン番号のDVDプレーヤーのみで再生できる場合と、地域制限されておらず、全てのリージョン番号のDVDプレーヤーで再生できる場合があります。
- リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」でも、NTSC以外のカラーテレビ方式で収録されている場合は、本機では再生できません。

本機は、DVDビデオの再生において、下記の3つの技術を使用しています。

●マクロビジョン

本機は、マクロビジョンコーポレーションならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの許可なしでは、一般家庭または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっていきます。改造または分解は禁止されています。

●ドルビーデジタル

本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

●dts



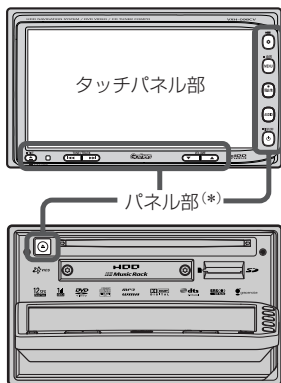
米国特許番号：5,451,942；5,956,674；5,974,380；5,978,762；6,487,535、およびその他の米国や世界中に申請中並びに審理中の特許ライセンスに基づき製造されています。DTSは登録商標です。DTSロゴとシンボルおよび2.0 ChannelはDTS, Inc.の商標です。

©1996-2007 DTS, Inc. All Rights Reserved.

はじめに
共通

オーディオ／テレビ／ラジオの設定について
DVDビデオについて

はじめに



本書では、
タッチパネル部のボタンは画面の“○○ボタンをタッチする”
パネル部のボタンはパネルの“○○ボタンを押す”と記載しています。
(* : 使用するボタンは白色表示しています。)

※本書のマークについて

- ……本機を使ううえで知っておいていただきたいこと、知っておくと本機を上手に使うことができ便利です。
- ……画面上でタッチパネル操作を表します。
- ……操作手順が次のステップで分けられるときの案内をします。
- ……操作を行なった結果を説明します。
- ……パネル部のボタンを表します。
- ……タッチパネル部のボタンを表します。

●パネル部の詳細につきましては別冊の取扱説明書 ナビゲーション編 43ページを参照ください。

- ナビゲーション画面とはナビゲーションモード時を示します。
- オーディオ画面(オーディオモード画面)とはCD/DVD/Music Rack/SD/USB/iPod/VTR/Digital TV/AM/FMモード時を示します。(モード指定がある場合は明記しています)

すでに液晶ディスプレイが表示状態になっている場合は、手順 **2** (21ページ)へ進んでください。

1

車のエンジンスイッチをI (ACC)またはII (ON)に入れる。

：起動初期画面を表示した後、前回電源を切る前に表示していたモードの画面になります。

※ディスプレイの角度を変える場合は別冊の取扱説明書 ナビゲーション編42ページを参照してください。



起動初期画面



モード表示画面(CDモード画面(例))



アイコン表示(CDモード選択中)

- | | | | |
|----------------------------|---------------------|---------------------------|---------------------|
| CD ……CD/MP3/WMAモード | DVD ……DVDモード | MR ……Music Rackモード | |
| SD ……SDモード | USB ……USBモード | iPod ……iPodモード | VTR ……VTRモード |
| DTV ……Digital TVモード | AM ……AMモード | FM ……FMモード | |

⚠ 注意

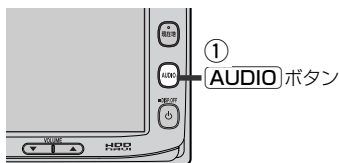
I (ACC) (エンジンを停止したまま)で長時間使用しないでください。
車のバッテリーがあがる恐れがあります。

2 それぞれ、下記の場合に仕がって操作してください。

■ ナビゲーションモード画面または他のモードが表示された場合

① パネルの **AUDIO** ボタンを押す。

：AUDIOソース画面またはラストモード*画面が表示されます。



□ AUDIOソース画面のときは…

②に進んでください。

□ ラストモード*画面のときは…

もう一度 **AUDIO** ボタンを押す。

：AUDIOソース画面が表示されます。

*：前回最後に選択していたモード画面（OFF含む）



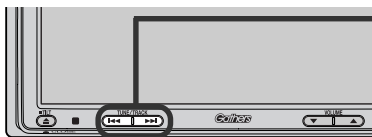
② 操作したいモード (**CD** / **DVD** / **Music Rack** / **SD** / **USB** / **iPod** / **VTR** / **Digital TV** / **AM** / **FM**) ボタンをタッチする。

■ 操作したいモード画面が表示された場合

78～312ページに仕がって、ご希望の操作をしてください。



アドバイス



●各モードに合わせて呼び名を変えています。

トラック ボタン…CD / MP3 / WMA / Music Rack / SD / USB

選局 ボタン…Digital TV / AM / FM

スキップ ボタン…DVD

設定の保持について

- **決定** ボタンのある画面では、**決定** ボタンをタッチすると設定が保持されます。
- **決定** ボタンをタッチしないで **戻る** ボタンをタッチまたは **メニュー** / **現在地** ボタンを押すと設定は保持されません。
- **決定** ボタンのない画面では各設定のボタンを選択した時点で設定確定（設定保持）となります。
(例：映像 / オーディオ調整など)

AUDIOソース画面のモードボタンについて

選択可能モードはアイコンおよびモードが白色表示*1



選択不可能モードはアイコンおよびモードが灰色表示



*1印：SDカード未挿入／USB未接続の場合でもモードボタンは選択できますが、それぞれのモードでメッセージが表示されます。

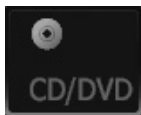
*2印：*3のとき、一度他のモードにすると選択不可となります。

*モードボタンの色はメニュー配色の設定より変更できません。[P.30、31ページ]

●CD/DVD表示について

CD/DVD モードボタンは使用状態によって表示が異なります。

CD/DVD未挿入時*2



CD/DVD選択再生中にディスクを抜いた時*3



CD/MP3/WMAディスクを挿入し再生時



DVDディスクを挿入し再生時



アトバイス

●各モードボタンをタッチすることによって各々のモードへと切り替わります。

CD/DVD = CD/DVD/MP3/WMAモード

Music Rack = Music Rackモード

SD = SDモード

USB = USBモード

iPod = iPodモード

VTR = VTRモード

Digital TV = Digital TVモード(地上デジタルテレビ放送)

AM = AMモード(ラジオモード)

FM = FMモード(ラジオモード)

※ **CD/DVD** ボタンはディスク挿入の有無によって **CD** ボタン / **DVD** ボタンと表示が変わります。

※ **SD** を操作するにはSDカードを本機に挿入しておく必要があります。

※ **USB** を操作するにはUSB接続コード(別売)とUSBメモリデバイスを本機に接続しておく必要があります。

AUDIOメニュー画面について

AUDIOメニュー画面は選択するボタン（**AUDIO設定** / **システム設定**）によってAUDIO設定またはシステム設定に関するそれぞれのボタン表示となります。

AUDIO設定のAUDIOメニュー画面



システム設定のAUDIOメニュー画面（例）



※AUDIOメニューは最終選択時の状態を保持するため、状態によっては**AUDIO設定**または**システム設定**ボタン選択の操作は省略することができます。

※**システム設定**ボタン選択時に表示されるAUDIOメニューの各機能につきましては「**システム設定**」の「システムの設定について」316、317ページを参照ください。

はじめに
共通

「AUDIOソース画面のモードボタンについて」
「AUDIOメニュー画面について」

音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する

今のモードの音声を聞きながら、地図を見たり、ナビゲーションの操作をすることができます。

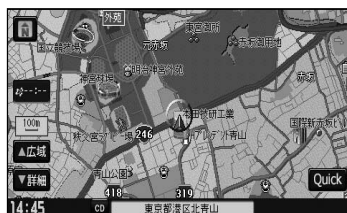
- 1 各モードの画面で、
パネルの **現在地** ボタンを押す。

：音声はそのまま、画面がナビゲーション画面に変わります。

CDモード画面(例)



1 現在地 ボタン



■ 今聞いているモードの画面に戻す場合

- ① パネルの **AUDIO** ボタンを押す。

：選択中モードの画面に戻り、選択中モードのタッチパネルでの操作が可能になります。
再度、ナビゲーション画面を表示する場合は、
パネルの **現在地** ボタンを押してください。

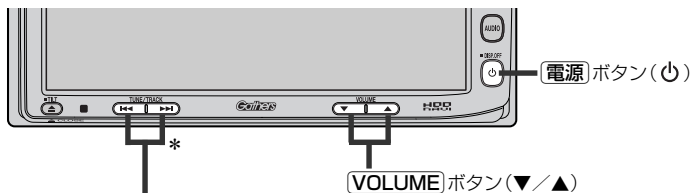


① AUDIO ボタン



アドバイス

音量調整 (**VOLUME** ボタン) や **⏮**/**⏭** を使った操作や AV の OFF/ON (**電源** ボタン) は、ナビゲーション画面のままでもできます。



トラック ボタン / 選局 ボタン / スキップ ボタン (⏮ / ⏭)

*用途によって呼び名が変わります。

☞ 21 ページ アドバイス 参照

音声はそのまま、画面を消す

画面を消して、音声のみ聞くことができます。

1 パネルの **電源** ボタン(⏻)を2秒以上押す。

：画面のバックライトが消えて、黒くなります。

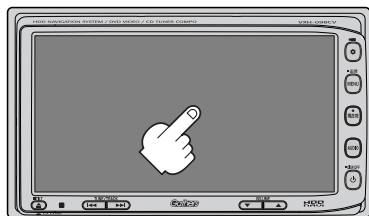


1 **電源** ボタン(⏻)

■ 再度、画面を表示する場合

画面をタッチするか、再度 **電源** ボタン(⏻)を押す。

：画面のバックライトが点灯し、画面が表示されます。



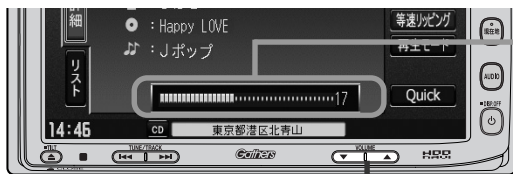
アドバイス

音声はそのまま選択中モードの情報(トラック名や再生時間、時計表示など)を一部残し広範囲を壁紙表示にすることができます。

「壁紙を表示する」315ページ

音量を調整する

CDモード画面(例)



音量を調整すると画面に現在の音の大きさ(0~40)を示すVOLUMEが表示されます。
ボリュウム
VOLUME表示は約2秒間表示されます。

1 VOLUME ボタン(▼/▲)

1

パネルの **VOLUME** ボタン(▼/▲)を押す。

▲側：音量が大きくなります。

▼側：音量が小さくなります。

※押しつつけて調整することもできます。



アドバース

- ナビゲーションの音声案内の音量調整は画面をタッチして調整します。

別冊の取扱説明書 ナビゲーション編「音声案内の音量を調整するには」218、219ページ

- DVD/VTRモードの場合、音量は個別に設定できます。

※CDモードで音の大きさを“13”にした場合、MP3/WMA/Music Rack/SD/USB/iPod/Digital TV/AM/FMモードも音の大きさは“13”となります。DVD/VTRモード時はもとの音量を保持します。

- OPTION** ボタン()にミュート機能を設定している場合は、このボタンを押して音を消すことができます。

別冊の取扱説明書 ナビゲーション編 246、247ページ

映像の調整のしかた(1)

CD/MP3/WMA/Music Rack/SD/USB/iPod/ラジオ(AM・FM)モード画面のとき、明るさ/コントラスト調整ができます。DVD/VTR/Digital TVモード画面のときは、明るさ/コントラスト/色の濃さ/色合い調整/ディスプレイ選択*ができます。(ただし走行中は明るさ/コントラスト調整となります。)

共通
／

〔音質調整〕

／
〔映像調整〕



ヘッドハイス

- *印：ディスプレイ選択はノーマル/フル/ワイド/シネマの中から表示画面を選択できます。ただし、Digital TVモードの場合はフル固定となります。
- VTRモード画面で音声入力が接続していない場合、それぞれのボタンは表示されても調整が反映されるのは、明るさ/コントラスト調整となります。
- 画質は、CD/MP3/WMA/Music Rack/SD/USB/iPod/ラジオの画面、DVDの画面、VTRの画面、Digital TVの画面で別々に調整することができます。

1

パネルの **〔MENU〕** ボタンを2秒以上押す。

：画面右側に画面調整画面が表示されます。



1 **〔MENU〕** ボタン

2

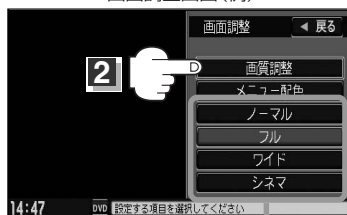
画面の **画質調整** ボタンをタッチする。

：画質調整画面が表示されます。

※ディスプレイ選択をする場合は29ページ

- **ディスプレイ選択の場合** を参照してください。

画面調整画面(例)

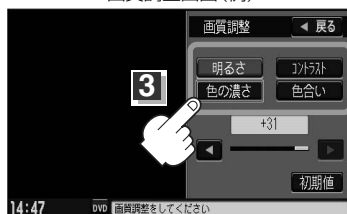


DVD/iPodビデオ/VTRモード画面の場合に表示されます。(ディスプレイ選択*)

3

調整したい項目(**明るさ** / **コントラスト** / **色の濃さ** / **色合い**) ボタンをタッチする。

画質調整画面(例)



映像の調整のしかた(2)

4

画面の◀/▶ボタンをタッチして値を調整する。

画質調整画面(例)



4



アドバイス

- 調整はタッチパネルの◀ボタンまたは▶ボタンをタッチしつづけると素早く調整できます。タッチするのをやめると、その値で止まります。お好みの調整レベルでタッチするのを止めてください。
- 車のライトをつけているとき(ON時)とライトを消しているとき(OFF時)とで、それぞれ(明るさ/コントラスト/色の濃さ/色合い)の調整値をメモリーしています。ライトをつけている/ライトを消しているときで、それぞれ、お好みの値に調整してください。

■ 明るさ(1~31)調整の場合

◀ボタンをタッチすると暗くなり、▶ボタンをタッチすると明るくなる。

■ コントラスト(1~31)調整の場合

◀ボタンをタッチすると黒さが増し、▶ボタンをタッチすると白さが増す。



アドバイス

直射日光の反射などで画面が見えにくい場合は(+側へ)▶ボタンをタッチして白さを増してください。

■ 色の濃さ(1~31)調整の場合

◀ボタンをタッチすると淡くなり、▶ボタンをタッチすると濃くなる。

■ 色合い(1~31)調整の場合

◀ボタンをタッチすると赤が強くなり、▶ボタンをタッチすると緑が強くなる。



アドバイス

人間の肌色が自然な感じになるように調整してください。

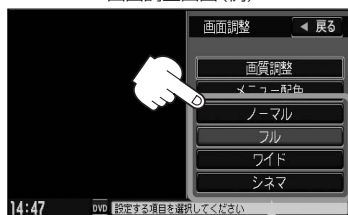
■ ディスプレイ選択の場合 (DVD/iPodビデオ/VTRモード画面の場合)

手順 **1** (27ページ)で画面調整画面を表示する。

ノーマル/フル/ワイド/シネマの4つのタイプの中から、好きな表示画面のボタンをタッチする。

※ディスプレイ選択の場合、ボタンをタッチした時点で確定(決定)となります。

画面調整画面(例)



- ノーマル : 4 : 3の映像の画面
- フル : 4 : 3の映像を左右に引き伸ばし、16 : 9にした画面
- ワイド : "フル" の違和感を少なくした画面
- シネマ : 4 : 3の映像をそのまま拡大した画面



- シネマを選択した場合、映像を拡大して表示するため映像の上下が画面から切れて見えなくなります。
- VTRモードで音声のみ入力している場合、ディスプレイ選択しても設定は反映されません。
- Digital TVモードの場合はフル固定となります。

5

設定を終わるには…

調整画面が消えるまで待つか画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。



- 画面右側の調整画面は約20秒間表示されます。
- 画面の **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。すでに値を変更した場合はその設定で確定(決定)されます。

画質調整を初期値に戻すには

手順 **3**、**4** (27、28ページ)で調整した画質(明るさ/コントラスト/色の濃さ/色合い)を設定する前の値(初期値)に戻すことができます。

画質調整画面で画面の **初期値** ボタンをタッチする。

: 設定した値が工場出荷時の値に戻ります。

画質調整画面(例)

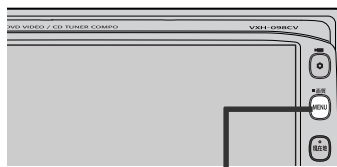


メニューの配色を変える

背景や情報バーなどの色を変えることができます。

1 パネルの **MENU** ボタンを2秒以上押す。

：画面右側に画面調整画面が表示されます。



1 **MENU** ボタン

2 画面の **メニュー配色** ボタンをタッチする。

：配色設定画面が表示されます。

※画面調整画面は、画面に映像を表示するモードの場合、ディスプレイを選択するボタンが追加されます。

▶ 「■ ディスプレイ選択の場合」29ページ

画面調整画面(例)



3 お好みの配色ボタン(1/2/3)をタッチする。

：3種類の配色パターンが選択できます。

配色設定画面



透過率を変更することができます。
▶ 31ページ
※透過率の値によって配色の雰囲気
が相違が出ます。

4 設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。

※すでに配色を変更した場合はその設定で確定(決定)されます。

□ 透過率を変更する場合

透過率を変更することができます。

- ① 30ページ手順 3 のとき、
変更したい透過率の値
(40% / 20% / 0% ボタン)を
タッチする。



※透過率を変更してもDVD/Digital TV/iPodビデオ/VTRモードなど(映像を表示するもの)では透過率は設定できません。



アドバイス

画面右側に表示される調整画面/配色画面は約20秒間表示されます。

オーディオの調整をする(1)

音場(臨場感)を変えるには

※オーディオモード終了(OFF状態)の場合は、音場(臨場感)を変えることはできません。

1 オーディオモード画面で
パネルの **MENU** ボタンを押す。

：AUDIOメニュー画面が表示されます。

※DVDモード時は **MENU** ボタンを
2回押します。

※音場はLIVE/HALL/STADIUM/
CHURCH/SRS CS Autoの5種類です。

オーディオモード画面
(Music Rackモード画面(例))



手順 **3** で選択した
音場が表示されます。 **1** **MENU** ボタン

2 画面の **AUDIO設定** の
音場設定 ボタンをタッチする。

：音場設定画面が表示されます。

AUDIOメニュー画面(例)



2-2



- 交通情報設定画面(**2** 156ページ)の場合、音場(臨場感)は得られません。(**音場設定** ボタンは選択できません。)
- AUDIOメニュー画面につきましては **2** 23ページを参照ください。

3 お好みの音場(DSP/SRS CS Auto)を選択します。

■ DSPを使用する場合

再生する音楽に残響音を加え、いろいろな環境の臨場感を擬似的に再現することができます。

ライブ
LIVE：音場をライブハウス

ホール
HALL：音場をコンサートホール

スタジアム
STADIUM：音場をスタジアム

チャーチ
CHURCH：音場を残響音の多い教会
に設定します。

1 **DSP** ボタンをタッチし、お好みの音場
ボタン(**LIVE** / **HALL** / **STADIUM** /
CHURCH)をタッチする。

：選択した音場効果で再生されます。

音場設定画面(例)



DSP選択時SRS CS Autoは設定できません。
(※SRS CS Autoの同時使用はできません。)

■ SRS CS Autoを使用する場合

センタースピーカーやサブウーファーがなくても4スピーカーのままで迫力の臨場感を再現することができます。

① SRS CS Auto をタッチする。

：SRS (の音場) 効果で再生されます。

● SRS CS Autoを選択したときは…

1. 各項目 (**FOCUS** / **TruBass** / **MixToRear** ボタン) と **-** / **+** ボタンをタッチして音の高さ / 低音の強さ / 音の位置をお好みの値に調整することができます。



フォーカス
SRS FOCUS : 耳の高さから音が聞こえるように調整できます。

トゥルーベース
SRS TruBass : 低音の強さをフロント・リアで個別に調整できます。
(サブウーファーがなくても重低音再生が可能です。)

ミックストリア
SRS MixToRear : フロントの音をリアにふり分けることができます。
(後席でもセリフなどを聞きやすくできます。)

□ FOCUS を選択した場合



フロントまたはリアの音の高さを

- ボタンタッチで低くし、
- +** ボタンタッチで高くします。(0~8)

□ TruBass を選択した場合



フロントまたはリアの低音のレベルを

- ボタンタッチで下げ(弱くし)、
- +** ボタンタッチで上げ(強くし)ます。(0~8)

オーディオの調整をする(2)

□ MixToRear を選択した場合



フロントスピーカーの成分をリアスピーカーへ

- ➖ ボタンタッチでレベルを下げ(出力を弱める)、
- ➕ ボタンタッチでレベルを上げ(出力を強め)ます。(0~8)



アドバイス

- **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。すでに音場を選択している場合はその音場で確定(決定)されます。
- 2スピーカーでは音場効果は得られません。
- **SRS CS Auto** はSRS Labs, Inc.の商標です。
- CS Auto技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。
- FOCUSを選択しても車種によっては耳の高さから聞こえない場合があります。
- 表示されるイラストは音場を表すためのイメージ図です。
- 手順 **3** (32ページ)で音場を選択するとパラメトリックイコライザの設定(🔧 35、36ページ)は自動的に **OFF** 選択となります。
- 音場効果(臨場感)をやめたい場合は音場設定画面(32、33ページ手順 **3**)で **OFF** ボタンをタッチしてください。



パラメトリックイコライザ(音質)を変えるには

再生する音楽の音質を選択したり、イコライザの中心周波数や効果を自在に調整することができるため、微妙な音響調整をすることができます。

※オーディオモード終了(OFF状態)の場合は、イコライザの設定をすることはできません。

1 オーディオモード画面でパネルの **MENU** ボタンを押す。

：AUDIOメニュー画面が表示されます。

※DVDモード時は **MENU** ボタンを2回押します。

オーディオモード画面
(Music Rackモード画面(例))



1 **MENU** ボタン

2 画面の **AUDIO設定** の **イコライザ設定** ボタンをタッチする。

：パラメトリックイコライザ画面が表示されます。

AUDIOメニュー画面



2-1

2-2



AUDIOメニュー画面につきましては [P.23](#) ページを参照ください。

3 お好みの音質の選択または中心周波数(周波数帯域)の設定をします。

■ お好みの音質を選択する場合

① 音質ボタン(**ポップス** / **ロック** / **ジャズ** / **ユーザー1** / **ユーザー2**)をタッチする。

：音質が確定され、選択した音質で再生されます。

※さらにお好きな値に調整することもできます。

[P.24](#) 次ページ

パラメトリックイコライザ画面



1



ポップス/ロック/ジャズは本機に既存の音質となります。ユーザー1/ユーザー2はイコライザの値がOFF状態(±0)となります。

※お好きな値に調整することもできます。 [P.36](#) ページ

オーディオの調整をする(3)

□ お好きな値に調整するには…

1. 値を調整する。

：イコライザ(のバー)をタッチする方法と▲/▼をタッチして調整する方法の2種類があります。

▲：レベルアップ
▼：レベルダウン



2. 登録 ボタンをタッチする。

：調整した値で上書き保存されます。

※イコライザのバーの—の部分が値(レベル)を表します。

■ 中心周波数と効果を設定する場合

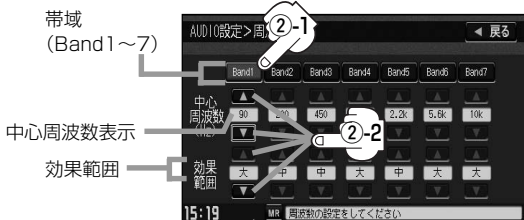
- ① 設定したい音質ボタン(**ポップス** / **ロック** / **ジャズ** / **ユーザー1** / **ユーザー2**)をタッチし、**周波数設定** ボタンをタッチする。



：周波数設定画面が表示されます。

- ② 調整したい帯域(Band1~7)を選択し、中心周波数または効果範囲の▲/▼をタッチする。

(例) Band1を選択した場合

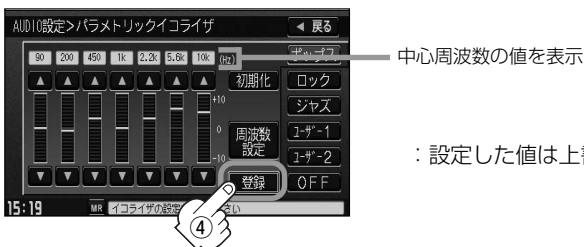


- ▲：中心周波数アップ / ▼：中心周波数ダウン
- ▲/▼で効果範囲の大→中→小の切り替え

③ 戻る ボタンをタッチする。

：調整した値を保持しながらパラメトリックイコライザ画面に戻ります。

④ 登録 ボタンをタッチする。



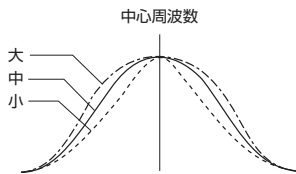
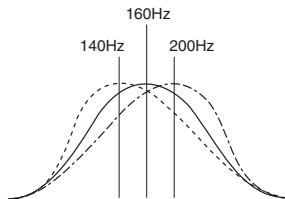
：設定した値は上書き保存されます。



●中心周波数と効果範囲の設定について

・中心周波数を調整することによってレベル補正の中心となる周波数を設定することができます。

・レベルを調整したときのレベルの効果(変わりがた)を設定することができます。
大…中心周波数付近で大きくレベルが上がります。
中…大と小の間となります。
小…ゆるやかにレベルが変わります。

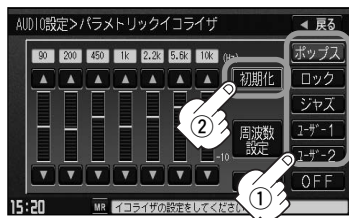


●調整した値を設定する前の値(初期値)に戻ることができます。

①パラメトリックイコライザ画面で初期化したい音質ボタン(**ポップス** / **ロック** / **ジャズ** / **ユーザー1** / **ユーザー2**)をタッチする。

② **初期化** ボタンをタッチする。

：設定した値が工場出荷時の値に戻ります。



4

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。



- パラメトリックイコライザ画面で **OFF** ボタンをタッチすると音質効果なし(±0のフラット状態)となります。
- **登録** ボタンをタッチする前に **戻る** ボタンをタッチした場合、設定した値は保存されずAUDIOメニュー画面に戻ります。
- 手順 **3** (35ページ)で音質を選択(イコライザの設定を)すると音場(**EQ** 32~34ページ)は自動的に **OFF** 選択となります。
- イコライザ設定中はオーディオモード画面のとき **EQ** マークが表示されます。

オーディオモード画面
(Music Rackモード画面(例))



マーク表示

オーディオの調整をする(4)

スピーカーを設定する

車種によってスピーカーの大きさが異なるため、下記の設定をすることによりSRS CS Auto設定時(▶ 32~34ページ)の音のゆがみを抑制することができます。

スピーカーの大きさについて

位置/大きさ	LARGE	SMALL
フロント	17cm以上	16cm以下
リア	17cm以上	16cm以下

※オーディオモード終了(OFF状態)の場合は、スピーカーの設定をすることはできません。

1 オーディオモード画面でパネルの **[MENU]** ボタンを押す。

：AUDIOメニュー画面が表示されます。

※DVDモード時は**[MENU]** ボタンを2回押します。


オーディオモード画面
(Music Rackモード画面(例))



1 **[MENU]** ボタン

2 画面の **AUDIO設定** の **スピーカー設定** ボタンをタッチする。

：スピーカー設定画面が表示されます。

 AUDIOメニュー画面につきましては▶ 23ページを参照ください。

AUDIOメニュー画面



3 上記表を参照して画面の **LARGE** / **SMALL** ボタンをタッチする。

スピーカー設定画面



3



選択した結果が反映される



アドバイス

17cm以上の場合はLARGE、16cm以下の場合はSMALLの設定をおすすめします。

※スピーカーの大きさは目安ですので設定する場合はSRS CS AutoをONにした状態で、低音を確認していただき、低音がよりよく聞こえる方のスピーカー(大きさ)を選択してください。

4

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。



アドバイス

戻る ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。すでに設定を変更した場合はその変更した設定で確定(決定)されます。

オーディオの調整をする(5)

フェード・バランスの調整をするには

前後左右のスピーカーの音量バランスを調整することができます。

バランス
BALANCE：左または右スピーカーの音量調整

フェード
FADE：前または後ろスピーカー音量調整

※オーディオモード終了(AV OFF状態)の場合は、フェード・バランスの調整をすることはできません。

1

オーディオモード画面でパネルの
(MENU) ボタンを押す。

：AUDIOメニュー画面が表示されます。

※DVDモード時は**(MENU)** ボタンを2回押します。

オーディオモード画面
(Music Rackモード画面(例))



1 MENU ボタン

2

画面の **AUDIO設定** の **フェードバランス**
ボタンをタッチする。

：フェード・バランス設定画面が表示されます。



アドバイス

AUDIOメニュー画面につきましてはP23ページを参照
ください。

AUDIOメニュー画面

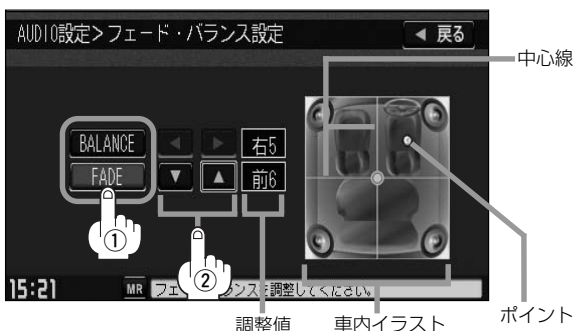


3

値を調整します。

①調整したい項目 (**BALANCE** / **FADE**) ボタンをタッチする。

②◀ / ▶ / ▲ / ▼ ボタンをタッチして値を調整する。



●車内イラストを直接タッチし、ポイント(値)を移動させて調整することもできます。

バランス
BALANCE (左9~右9)

◀ ボタンタッチ

: 右スピーカーの音量が下がります。

▶ ボタンタッチ

: 左スピーカーの音量が下がります。

フェード
FADE (前9~後9)

▼ ボタンタッチ

: 前スピーカーの音量が下がります。

▲ ボタンタッチ

: 後ろスピーカーの音量が下がります。



アドバイス

- 調整時に ◀ / ▶ / ▼ / ▲ ボタンをタッチし続けると、連続的に変化します。
- 車内イラストは音の設定位置を表すイメージ図です。

4

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。



アドバイス

- 戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。すでに値を調整した場合はその値で確定(決定)されず。

オーディオの調整をする(6)

車速連動音量を設定する

車の走行速度によって発生する走行ノイズの大きさに反応し、オーディオの音量を自動で調整します。

※オーディオモード終了(AV OFF状態)の場合は、車速連動音量の設定をすることはできません。

1 オーディオモード画面でパネルの [MENU] ボタンを押す。

：AUDIOメニュー画面が表示されます。

※DVDモード時は[MENU] ボタンを2回押します。



オーディオモード画面
(Music Rackモード画面(例))



1 [MENU] ボタン

2 画面の [AUDIO設定] の [車速連動音量] ボタン をタッチする。

：車速連動音量設定画面が表示されます。

 AUDIOメニュー画面につきましては  ページを参照ください。

アドバイス

2-2



AUDIOメニュー画面



2-1

3 設定したい音量ボタン ([LOW] / [MIDDLE] / [HIGH]) をタッチする。

※車速(走行速度)に応じて音量変化は

- LOW…小さい
- MIDDLE…HIGHとLOWの間
- HIGH…大きい

となります。

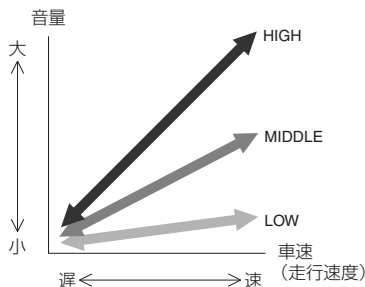
連動音量



3

4 設定を終わるには…

画面の [戻る] ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。



- 車速連動音量を設定することにより、加速に応じて自動的に音量を上げ、減速すると音量を下げ（小さくし）ます。
※高速走行中など速度を上げているときに発生するノイズによって聞こえにくくなるオーディオの音量を、自動で調整することができます。

- 連動音量を設定しない場合は左記手順 **3** のとき **OFF** ボタンを選択します。



- 車内イラストは音の出力を表すイメージ図です。
- **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。
すでに設定を変更した場合はその設定で確定（決定）されます。

カスタマイズソース(Quick)を設定するには

よく使用するモードボタンをQuickメニューに登録することができます。

1 オーディオモード画面でパネルの **[MENU]** ボタンを押す。

: AUDIOメニュー画面が表示されます。

※DVDモード時は **[MENU]** ボタンを2回押します。

オーディオモード画面
(Music Rackモード画面(例))



1 **[MENU]** ボタン

2 画面の **AUDIO設定** の **Quickメニュー** ボタンをタッチする。

: Quickメニュー設定画面が表示されます。



AUDIOメニュー画面につきましては **23** ページを参照ください。

AUDIOメニュー画面



Quickメニュー設定画面(例)

3 ソース候補よりカスタマイズソースに登録したいボタンをタッチする。

: 選択した順にカスタマイズソースに表示されます。



順次、次のボタンが
くり上がって表示さ
れます。

カスタマイズソースに
登録したいボタンが
表示されます。

4 設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。



オーディオ

- 登録したボタンは各再生(TOP)画面で **Quick** ボタンをタッチすることにより選択することができます。
 「カスタマイズ(Quick)機能について」314ページ

※ナビゲーションでもよく使用する機能をQuickメニューに登録することができます。

- 別冊の取扱説明書 ナビゲーション編「Quickメニューの設定を変えるには」205、206ページ
- カスタマイズソースにあるボタンをタッチするとソース候補にボタンを戻すことができます。
- 標準** ボタンをタッチするとカスタマイズソースに表示されるボタンは工場出荷時の状態(初期設定 319ページ)に戻ります。
- 全解除** ボタンをタッチするとカスタマイズソースに設定したボタンをすべて解除(取り消し)にします。
- 戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。すでに設定を変更した場合はその設定で確定(決定)されます。
- 次ページがある場合 / ボタンで1ページずつの戻し/送り表示することができます。



録音設定／データ管理

Gracenoteデータベースの更新でローカルアップデートとカスタムアップデートの操作手順(専用アプリケーションの使用)につきましては弊社ホームページから提供しております。(注)

(注) 操作方法につきましては、

<http://www.honda.co.jp/ACCESS>をご参照ください。

また、ご使用の際はユーザー登録をお願い致します。

※ホームページのアドレスは都合により変更させていただく場合があります。

録音方法の手動／自動を選択する	48
録音する	49～53
本機のMusic Rack (HDD)機能について	49
Music Rack (HDD)への録音について	50～53
録音速度を選択し、録音方法／録音音質を 選択する	51～53
データ管理	54～75
Gracenoteデータベースタイトル情報追加の 流れについて	54、55
Gracenoteデータベースの更新をするには	56～61
Gracenoteデータベースのデータを 初期化するには	62、63
音楽データの修復をするには	64
音楽データの初期化をするには	65
HDDの情報を知る	66
画像を変える	67～69
画像を追加する	70～72
画像をコピーする	73～75

録音方法の手動／自動を選択する

AUDIO設定

音楽CDを本機に挿入したとき、再生される曲をMusic Rack(HDD)へ録音することができます。録音には手動録音と自動録音があります。

1 オーディオモード画面でパネルの

[MENU] ボタンを押す。

：AUDIOメニュー画面が表示されます。

※AUDIOメニュー画面につきましては23ページを参照ください。

※DVDモード時は**[MENU]** ボタンを2回押します。

オーディオモード画面(CDモード画面(例))



1 **[MENU]** ボタン

2 画面の **AUDIO設定** の **録音設定** ボタンをタッチする。

：録音設定画面が表示されます。

AUDIOメニュー画面(例)



録音設定画面



音質の選択や録音可能時間の確認もできます。**[F5]** 音質選択52ページ

3 録音方法(**手動録音** / **自動録音**)を選択する。

■ **手動録音** ボタンをタッチした場合

：CDモード画面で録音速度(マハリッピング／等速リッピング)／録音方法(全曲録音／選択曲録音)／録音音質(高音質モード／標準モード)を選択して**録音開始** ボタンをタッチすると録音を開始します。

[F5] 「録音速度を選択し、録音方法／録音音質を選択する」

51～53ページ

■ **自動録音** ボタンをタッチした場合

：音楽CDを本機に挿入すると曲の再生と同時に本機(Music Rack)に録音(等速録音)を開始します。

[F5] 51、80ページ参照

※本機の録音方法(初期設定)は“自動録音”に設定されています。



アドバイス

- すでに本機(Music Rack)に録音済または1曲でも録音済のディスクを挿入した場合、自動録音は開始されません。(曲は再生されます。)未録音の曲を録音したい場合は、**マハリッピング** または **等速リッピング** を選択して録音を開始させてください。**[F5]** 51～53ページ
- 録音を開始する前に**[F5]** 「録音する」49、50ページを必ずお読みください。

4 設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチまたはパネルの **AUDIO** ボタンを押す。

：設定は確定(決定)され、**戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に、**AUDIO** ボタンを押すと選択中モード画面に戻ります。

録音する(1)

本機のMusic Rack(HDD)機能について

本機には主に下記に示すようなMusic Rack(HDD)機能があります。

- 録音時にタイトル情報を自動付加(Gracenoteデータベース収録済)
- アルバム／アーティスト／ジャンル／ミュージックエスコートなどを選曲メニューの各ボタンに自動で振り分け
※収録された音楽CDがGracenoteデータベースおよびMCDB検索でタイトル情報が取得されている場合に限りです。
- 録音済みの音楽をお好みの曲だけ集めた“お気に入りリスト”作成可能
- Gracenote音楽認識サービスからタイトル情報取得可能
- マッハリッピング(高速録音)機能により録音時間の短縮化を実現
- 設定により手動録音／自動録音の選択が可能



アドバイス

- 選曲メニューの各ボタンへの振り分けは収録しているデータベースに合致した場合には行なわれ、自動振り分けがされない場合もあります。
- 録音可能曲数と容量は以下のとおりとなります。

録音可能曲数☆	約3500曲
最大容量	14GB

※☆印：録音音質は高音質モードで1曲を4分で換算した場合
(録音音質を標準モードで1曲4分で換算した場合は約4000曲となります。)

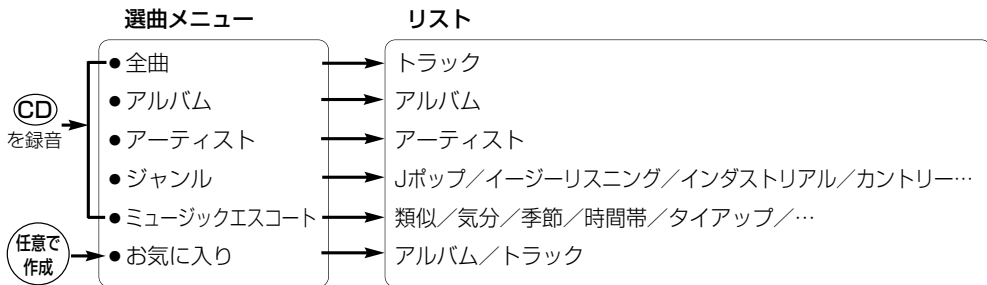
※最大曲数または最大容量に達すると録音はできなくなります。

- Music Rack(HDD)には4つのアルバムと4つのトラックのお気に入りフォルダを作成することができ、1つのアルバムフォルダに200アルバム、1つのトラックフォルダに200曲の登録が可能です。
- マッハリッピング機能により通常の最大14倍速録音が可能となるため、時間がないときなどに便利です。(マッハリッピング(高速録音)中はMusic Rack/CD/SD/USBモードでは無音となります。)
- Gracenoteデータベースについては14、15、54～63ページをご覧ください。

■ Music Rackの構成について

本機に録音された音楽CDは自動で4種類(アルバム／アーティスト／ジャンル／ミュージックエスコート)の選曲メニューの各ボタンに振り分けられます。さらにお気に入りボタンにはお好みの音楽だけを集めたアルバムリストやトラックリストを作成することができます。各選曲メニューの再生リストから絞り込んで検索することができるため便利です。



※収録された音楽CDがGracenoteデータベースおよびMCDB検索でタイトル情報が取得されている場合に限りです。



録音する(2)

Music Rack(HDD)への録音について

- 本機の故障、誤動作または不具合によりハードディスクに記録できなかったデータ（録音内容など）、消失したデータ、ハードディスク内の保存データについては補償できません。
- 録音中に車のエンジンスイッチを0(OFF)にしたり、本機に振動や衝撃を加えると録音したデータの消失・故障の原因となる恐れがあります。

- 本機で録音したCDは、重複して録音することはできません。
- 自動録音に設定した場合、すでにMusic Rack(HDD)に録音済または1曲でも録音済のディスクを挿入した場合は自動録音は開始されません。(曲は再生されます。)未録音の曲を録音したい場合は手動で録音速度、録音方法を選択して録音を開始させてください。
- 自動録音中に録音を中止して他のモードにし、CDモードに戻すと1曲も録音されていない場合は再度自動録音が始まります。
- エンジンスイッチ0(OFF)やオーディオをOFF状態にしても前回設定した録音方法／録音音質（ 48ページ）は保持されます。
- 本機への録音は音楽CDのみです。MP3／WMAファイル、DVD、SDカード、USBメモリデバイス、iPod、テレビ、ラジオなどから録音することはできません。
- 録音したものは、個人として楽しむなどのほか、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 車のエンジンスイッチをI(ACC)の状態では録音しているときに、II(ON)にしてエンジンをスタート(始動)すると、録音したデータが消失する恐れがあります。また、その他のデータがこわれる場合もあります。
- ノンストップCD(曲と曲の間の無音部分が無いCD)を録音すると、曲間に無音部分が録音され、不自然な音切れが発生することがあります。録音するCDに依存しますのでご了承ください。
- 録音の開始時や、終了時には、約2秒間音楽や音声が停止することがあります。
 - マッハリッピング時(音楽CDを録音中)にラジオなどに切り替えた場合、録音が終了すると終了を知らせるメッセージが約3秒間表示されます。
- 録音中、モードを切り替えても、録音は継続されます。(ただしMusic Rack／SD／USBモードは曲の再生はできません。)また、オーディオをOFF状態にしても録音は継続されます。
- 録音途中で録音を停止する場合は次曲を3秒ほど再生してください。
 - ※音楽の終了と同時に録音を終了した場合は、正常に録音できていない場合があります。
- Music Rack(HDD)の録音可能時間がCDの演奏時間より短い場合は録音されません。
- Music Rack(HDD)の使用状況を確認するには「 HDDの情報を知る」66ページ(“音楽データ”部分)を参照してください。
- 音楽CDの記録面の傷、汚れなどの状況や録音(記録)内容によっては、録音に時間がかかったり、再生音が飛んだりすることがあります。また、コピーコントロールCDにつきましては正常に録音、再生できない場合があります。

■本機は初期設定が自動録音に設定されているため未録音のCDを挿入すると、同時に等速リッピング(録音)を開始します。

CDモード画面(自動録音設定時)
未録音の場合



録音を止めたい、等速リッピングをやめてマッタリッピングをしたい、選択曲録音をしたい場合は「録音中止」ボタンをタッチしてください。(下記画面が表示されます。)

※録音を中止してもすでに本機(Music Rack)に録音したトラックは本機(Music Rack)に保存されます。

録音中

表示される

※自動録音と手動録音の設定のしかたは「録音方法の手動/自動を選択する」48ページを参照してください。手動録音の場合、録音速度の選択や録音したい曲をお好みに選択することができます。
[P51(下記)~53ページ]

録音速度を選択し、録音方法/録音音質を選択する

録音の速度には、音楽を再生させながら録音する等速リッピングと通常の14倍速で録音するマッタリッピングがあります。

※マッタリッピング中、音楽CDは再生できません。(無音となります。)

1 CDモード時、画面の録音速度 (マッタリッピング / 等速リッピング)を 選択する。

: 録音方法選択画面が表示されます。

CDモード画面(手動録音設定時)



■ マッタリッピング ボタンを選択した場合

: 最大14倍の速さでディスクが回転して、録音します。
(マッタリッピング中Music Rack/CD/SD/
USBモードでは音楽は再生できません。)

■ 等速リッピング ボタンを選択した場合

: 通常の速さで再生録音します。
(等速リッピング中Music Rack/SD/USBモードでは音楽再生できません。
CDモードでは録音中の音楽が再生されます。)

録音する(3)

2 録音方法、録音音質を選択します。

■ “録音方法” (全曲録音 / 選択曲録音) を選択する場合

全曲録音するか、お好みの曲のみ録音するかを設定することができます。

□ **全曲録音** ボタンをタッチすると…

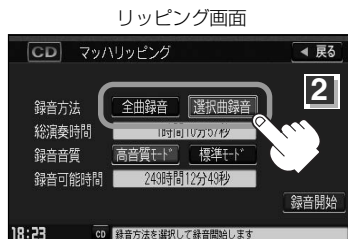
: CD内にある全ての曲の録音となります。
ただしHDD (Music Rack)の容量が足りない場合

全曲録音 ボタンは選択できません。

※録音順はアルバムに収録されている通りとなります。

□ **選択曲録音** ボタンをタッチすると…

: 録音曲選択画面が表示されます。



1. 録音したいトラックをタッチする。



トラックをタッチするたびに✓表示の有無が切り替わります。

☑: このトラックを録音します。

☐: このトラックは録音しません。

※すでに録音済のトラックは選択できません。(✓表示有 / トラックは灰色表示)

2. **決定** ボタンをタッチする。



: 録音したいトラックが確定(決定)され、リッピング画面に戻ります。

※ **戻る** ボタンをタッチした場合は選択は解除(無効)となりリッピング画面に戻ります。



アドハイス

- Music Rackに録音される順番はアルバム(CD)に収録されている通りとなります。
- タイトル情報が収録されていない場合、リスト表示は“Trackxx”と表示されます。
※xxにはトラック番号の数字が入ります。
- 次ページがある場合、▲ / ▼ ボタンタッチでページ戻し / 送り表示をします。

■ “録音音質” (高音質モード / 標準モード) を選択する場合

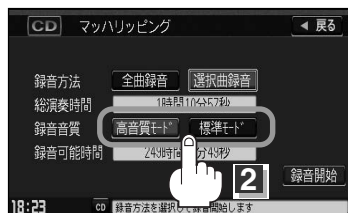
音の質(容量)を選択することができます。

□ **高音質モード** ボタンをタッチすると…

: 音の質は良くなりますがデータ容量が大きくなります。
※標準モードに比べて録音できる曲数が少なくなります。

□ **標準モード** ボタンをタッチすると…

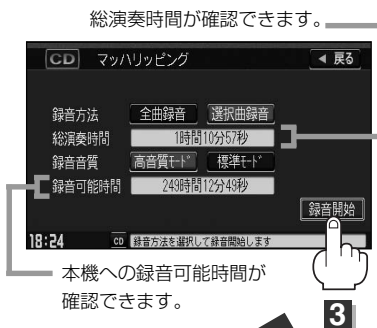
: 音の質は下がりますがデータ容量が小さくなります。
※“高音質モード”に比べて録音できる曲数が多くなります。



3

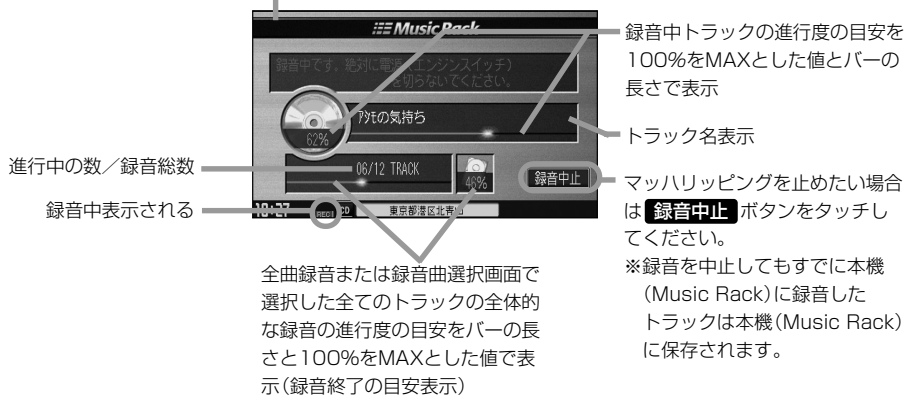
画面の **録音開始** ボタンをタッチする。

- 手順 **1** (51ページ)でマッハリッピングを選択している場合はメッセージとリッピング状態を示す情報を表示し、全曲または録音曲選択画面(52ページ)で選択した曲の録音を無音にて開始します。
- 手順 **1** (51ページ)で等速リッピングを選択している場合はCDモード画面に戻り、全曲または録音曲選択画面(52ページ)で選択した曲を再生録音します。



マッハリッピング中の情報を確認することができます。

マッハリッピングの場合(例)



全曲録音または録音曲選択画面で選択した全てのトラックの全体的な録音の進行度の目安をバーの長さとして100%をMAXとした値で表示(録音終了の目安表示)



アドハイス

- 録音(REC)をしながら他のモードにすることができます。

現在地 ボタンを押す。：ナビゲーション画面を表示します。

※ただし、マッハリッピング中ナビゲーションのメニュー等の操作は限定されます。

さらに、録音時間は通常より長くなります。

AUDIO ボタンを押す。： **VTR** / **Digital TV** / **AM** / **FM** / **iPod** ボタンをタッチしてそれぞれのモードにすることができます。

※マッハリッピング時に他のモードを表示させている場合、録音(REC)が終了すると画面に終了を知らせるメッセージが約3秒間表示されます。

- マッハリッピング中に他のモードにしたとき、再度マッハリッピング画面に戻すには…
AUDIO ボタンを押す→ **CD** ボタンをタッチ→ **録音中止** ボタンをタッチします。
- Music Rack(HDD)への録音可能時間の情報を知ることができます。

「**HDDの情報を知る**」 66ページ

データ管理(1)

■本機にはあらかじめ商用CDタイトルの約95%のアルバム情報を取得成功できるデータベースなどが収録されており、CDを再生するだけで自動で画面にアーティスト名・タイトル名などが表示されるため、入力の手間をばくくすることができます。(もちろん編集も可能です。)

本機に収録されていない情報の場合でもSDカードを使用して情報を書き出し、パソコンでGracenote音楽認識サービスからタイトル情報を取得し、本機にアップデートすることで最新の情報に更新することができます。

※全てのタイトル名の取得および正確性を保証するものではありません。

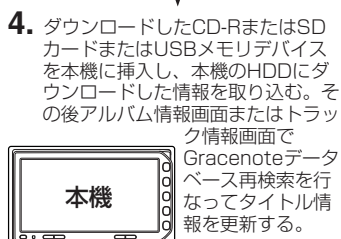
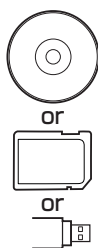
また、MCDBデータベースを利用することにより属性DB(曲調にあわせた再生リストへの振り分け)が可能となりました。

Gracenoteデータベースタイトル情報追加の流れについて

※番号にしたがって参照してください。

■ ローカルアップデートの場合

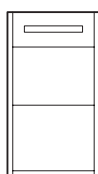
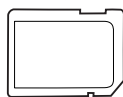
1. CD-RまたはSDカードまたはUSBメモリデバイスまたはUSBメモリデバイスをパソコンに挿入する。
2. 下記の弊社ホームページにアクセスし、ユーザー登録する。
<http://www.honda.co.jp/ACCESS>
3. CD-RまたはSDカードまたはUSBメモリデバイスにダウンロードする。



4. ダウンロードしたCD-RまたはSDカードまたはUSBメモリデバイスを本機に挿入し、本機のHDDにダウンロードした情報を取り込む。その後アルバム情報画面またはトラック情報画面でGracenoteデータベース再検索を行なってタイトル情報を更新する。

■ カスタムアップデートの場合

1. SDカードを本機に挿入し、タイトル情報のなかったアルバム情報を書き出す。
[P.59、60ページ]
2. タイトル情報が書き込まれたSDカードをパソコンに挿入。
3. タイトル情報を追加するアプリケーションをインターネット(弊社ホームページ)からパソコンにダウンロード。
4. Gracenote音楽認識サービスからタイトル情報を取得。
5. タイトル情報をSDカードに取り込む。
6. SDカードより本機のHDDに取得した情報を取り込む。
7. アルバム情報画面またはトラック情報画面でGracenoteデータベース再検索を行なってタイトル情報を更新する。



※Gracenoteデータベースよりタイトル情報を入手するにはSDカード8MB以上、パソコン100MB以上の空容量、インターネット接続環境(64kbps以上推奨)、カードリーダーライターなど動作環境をととのえていただく必要があります。また、上記手順の操作方法につきましては弊社ホームページ <http://www.honda.co.jp/ACCESS> をご参照ください。

※USBメモリデバイスを使用するには別売のUSB接続コードが必要です。

□ MCDBについて

MCDBは株式会社メディアクリックの登録商標です。

MCDBデータベースはメディアクリックのノウハウにより構成されているデータベースです。

MCDBは、メディアクリックが独自に楽曲を選別したもので、楽曲の作曲家・作詞者等により作成・保証されたデータベースではありません。

- MCDBサービスは、ユーザーの趣味・趣向を100%保証するものではありません。
- MCDBサービスは、個人の使用のみに使うことを許可します。
- MCDBサービスを、商用として利用することは、いかなる場合でも禁止します。
- 本製品に格納されたMCDBデータベースは、第三者に譲渡・コピー・転送することを禁止します。
- お客様が、上記同意事項に違反した場合には、弊社は、MCDBサービスの利用を終了させていただくことができます。
- MCDBの著作権は、株式会社メディアクリックが有しており、著作権法、関連諸法規、関連国際条約などで保護されています。



アドハイス

● ローカルアップデート／カスタムアップデートについて

ローカルアップデートとは…

- ・定期的に提供される更新ファイルをダウンロードする方法です。

カスタムアップデートとは…

- ・HDD内にあるデータベースに、一致するタイトル情報が入っていない場合に対象のアルバム情報を本機からSDカードに書き出しを行ない、パソコンを使用してGracenote音楽認識サービスよりタイトル情報を取得する方法です。
- ・ローカルアップデートのデータ更新よりさらに最新のデータベースが取得できます。
- ・間違ったタイトル情報が表示されたときに正しいタイトル情報を取得する際にも使用できます。
- CD-Riに書き込む際のフォーマット形式はJolietにしてください。ディスクはファイナライズ処理をしてください。(Romeo/ISO9660/パケットライト方式などは不可)

データ管理(2)

Gracenoteデータベース検索(オンライン検索)を利用して本機に収録されていない(アーティスト名・タイトル名などの)情報をアップデートすることができます。

Gracenoteデータベースの更新をするには

※Music Rack/SD/USB再生中の場合は、再生を停止する必要があります。

1 オーディオモード画面でパネルの **MENU** ボタンを押す。

: AUDIOメニュー画面が表示されます。

※DVDモード時は **MENU** ボタンを2回押します。

オーディオモード画面(CDモード画面(例))



1 **MENU** ボタン

2 画面の **AUDIO設定** の **データ情報・管理** ボタンをタッチする。

: データ情報・管理画面が表示されます。

※録音中にこれ以降の操作はできません。

AUDIOメニュー画面



2-1



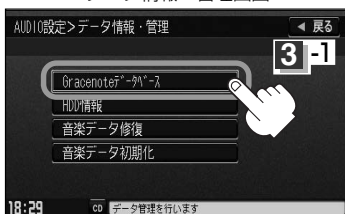
アドバイス

AUDIOメニュー画面につきましては
P.23ページを参照ください。

3 画面の **Gracenoteデータベース** ボタンをタッチする。

: Gracenoteデータベース画面が表示されます。

データ情報・管理画面

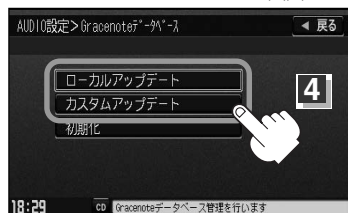


3-1

4

アップデートの方法(**ローカルアップデート** / **カスタムアップデート**)を選択する。

Gracenoteデータベース画面

録音設定
データ管理

Gracenoteデータベースの更新(ローカルアップデート)



アドバイス

- ローカルアップデートとはHONDAのホームページに定期的にアップデートされるGracenoteデータベース更新データを本機でアップデートする方法です。

☞ 下記～58ページへ進む

- カスタムアップデートとはGracenoteデータベース検索で本機に収録されていないCDのタイトル情報を個別にアップデートする方法です。異なったタイトル情報が検索された場合もこの方法によって個別に再取得が可能です。

☞ 59～61ページへ進む

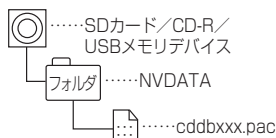
ローカルアップデート ボタンをタッチした場合



アドバイス

ローカルアップデートボタンをタッチする前に…

1. ローカルアップデート専用アプリケーションをパソコンにダウンロード
2. データベースファイルをパソコンにダウンロード
3. SDカードの場合、ローカルアップデート専用アプリケーションを使用して¥NVDATAフォルダを作成 / CD-RまたはUSBメモリデバイスの場合、手動でメディアに¥NVDATAフォルダを作成
4. パソコンにダウンロードしたデータベースファイルをフォルダの中に移動
5. CD-RまたはSDカードまたはUSBメモリデバイスを本機に挿入または接続



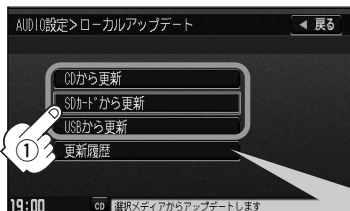
※SDカードは使用前に本機で初期化してください。☞ 316、317ページ

データ管理(3)

①追加する方法(**CDから更新** / **SDカードから更新** / **USBから更新**)のボタンをタッチする。

※USBメモリデバイスの接続につきましては276ページを参考にしてください。

：更新してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチすると、選択した方法で本機に情報を取り込みます。



注意

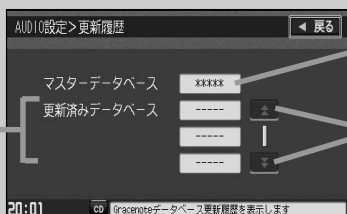
更新中は他の操作(モード切替/車のエンジンスイッチO(OFF)/電源を切る/CD・SDカード・USBメモリデバイスを抜くなど)をしないでください。他の操作をすると故障の原因となります。

更新履歴 ボタンをタッチすると、CD-RまたはSDカードまたはUSBメモリデバイスからアップデートしたGracenote データベースのバージョンを確認することができます。

お客様が変更されたデータベースのバージョンを表示

Gracenoteデータベース検索でここに表示されていないバージョンをアップデートしてください。確認画面に表示できるデータベースのバージョン情報は200個です。それ以上はバージョン情報の古い順に上書き表示されます。

バージョン更新履歴確認画面



工場出荷時のバージョンを表示

次ページがある場合、**↑** / **↓** ボタンタッチでページ戻し / 送り表示

②本機に取り込んだ情報を反映するには、アルバム編集画面またはトラック編集画面で **データベース再検索** ボタンをタッチしてタイトル情報を更新してください。

※アルバム、トラックどちらの編集画面でもタイトル情報を更新できます。

☞ 113ページ手順 **1** ~ **3** で **アルバム編集** ボタンまたは、120ページ手順 **1**、**2** で **トラック編集** ボタンをタッチし「☐データベースから再検索するときは…」117、123ページ参照



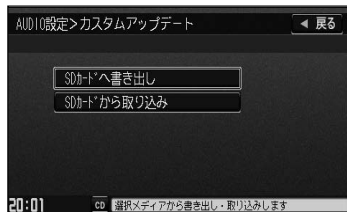
- ローカルアップデートは情報の取り込みのみを行いません。
- CD-Rに書き込み際のフォーマット形式はJolietにしてください。ディスクはファイナライズ処理をしてください。(Romeo/ISO9660/パケットライト方式などは不可)

■ **カスタムアップデート** ボタンをタッチした場合

※SDカードを本機に挿入(準備)しておく必要があります。

☞別冊の取扱説明書 ナビゲーション編「SDカードを入れる／取り出すには」41ページ

カスタムアップデート画面

録音設定
データ管理● **データの書き出しをする。**

アドバイス

新規アルバム表示または、まちがったタイトル表示のときにデータの書き出しを行ないます。

□ **新規アルバム(No title表示)の場合**

1. 60ページ手順①へ進んでください。

□ **まちがったタイトルを表示(ミスヒット)している場合**● **データベースに複数のタイトル情報があるときは…**

1. Music Rackモードでデータベース再検索をする。

☞113ページ手順 **1** ~ **3** で **アルバム編集**

ボタンまたは、120ページ手順 **1**、**2** で

トラック編集 ボタンをタッチし、

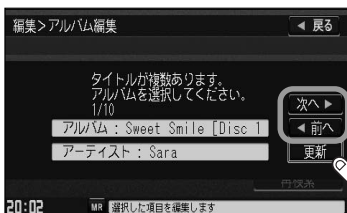
「☐ **データベースから再検索するときは…**」117、

123ページ参照し **データベース再検索** ボタンをタッチする。

アルバム編集画面の場合



2. 表示させたいアルバム名を **次へ** / **前へ** ボタンをタッチして検索し、希望のアルバム名が見つかった場合は **更新** ボタンをタッチする。



: タイトル情報が更新されます。

3. 61ページ手順 **5** へ進んでください。

※手順2のとき希望のアルバム名がなかった場合は60ページ
(・データベースにタイトル情報がないときは…)
に進んでください。

〔Gracnote〕データベースの更新(ローカルアップデート・カスタムアップデート)

データ管理(4)

● データベースにタイトル情報がないときは…

1. Music Rackを再生させて **編集** ボタンをタッチし、 **曲管理** ボタンをタッチする。



: 曲管理画面が表示されます。

2. まちがった情報のアルバムをタッチし、**アルバム編集** ボタンをタッチする。

: アルバム編集画面が表示されます。

3. **アルバム情報保存** をタッチする。

: まちがったアルバム情報を一旦本機(HDD)に保存します。

4. 56ページ手順 **1** ~ **3** にしたがって操作し、57ページ手順 **4** のとき **カスタムアップデート** ボタンをタッチする。

5. 下記手順①へ進んでください。

曲管理画面



アルバム編集画面



① **SDカードへ書き出し** ボタンをタッチする。

: 書き出しをしてもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチするとSDカードにタイトル情報のなかったアルバム情報を書き出します。

② 本機よりSDカードを取り出しパソコンに挿入する。

③ パソコンからGracenote音楽認識サービスに接続し、タイトル情報を取得する。

④ 取得した情報をSDカードに取り込む。

⑤ SDカードをパソコンより外し、本機に挿入する。

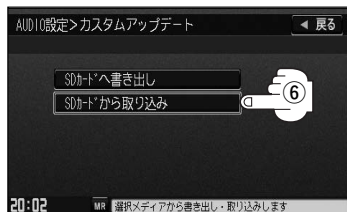


●データの取り込みをする。

※カスタムアップデート画面を表示している場合は下記手順⑥へ進んでください。表示していない場合は56ページ手順 **1** ~ **3** にしたがって操作し、57ページ手順 **4** のとき **カスタムアップデート** ボタンをタッチする。

⑥ SDカードから取り込み ボタンをタッチする。

：取り込んでもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチするとSDカードより取得した情報を本機に取り込みます。



⑦本機に取り込んだ情報を反映するには、

アルバム編集画面またはトラック編集画面で **データベース再検索** ボタンをタッチして **タイトル情報を更新** してください。

※アルバム、トラックどちらの編集画面でもタイトル情報を更新できます。

☞ 113ページ手順 **1** ~ **3** で **アルバム編集** ボタンまたは、
120ページ手順 **1**、**2** で **トラック編集** ボタンをタッチし、
☐ **データベースから再検索するときは…**」117、123ページ参照

アルバム編集画面の場合



アドバイス

- **Gracenoteデータベースタイトル情報追加の流れについて** 54ページもご参照ください。
- **▲** / **▼** ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。

5

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチまたはパネルの **AUDIO** ボタンを押す。

： **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、 **AUDIO** ボタンを押すと現在選択中のモードの再生画面に戻ります。

データ管理(5)

Gracenoteデータベースのデータを初期化するには

Gracenoteデータベースのデータを初期化することができます。

1 オーディオモード画面でパネルの
[MENU] ボタンを押す。

：AUDIOメニュー画面が表示されます。

※DVDモード時は**[MENU]** ボタンを2回押します。

オーディオモード画面(CDモード画面(例))




1 **[MENU]** ボタン

2 画面の **AUDIO設定** の **データ情報・管理** ボタン
をタッチする。

：データ情報・管理画面が表示されます。

※録音中にこれ以降の操作はできません。

 AUDIOメニュー画面につきましては
P.23ページを参照ください。

AUDIOメニュー画面

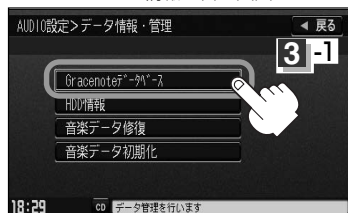


2-2

3 画面の **Gracenoteデータベース** ボタンを
タッチする。

：Gracenoteデータベース画面が表示されます。

データ情報・管理画面



3-1

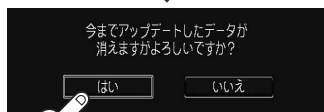
4 画面の **初期化** ボタンをタッチする。

※Music Rack/SD/USB再生中の場合は、
再生を停止する必要があります。

：今までアップデートしたデータを消してもいいか
どうかのメッセージが表示されるので **[はい]** ボタン
を画面にしたがって選択するとデータを消去し、
Gracenoteデータベース画面に戻ります。

※本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合は
必ずデータの初期化を行なってください。

Gracenoteデータベース画面



3-2

5

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチまたはパネルの **AUDIO** ボタンを押す。

： **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、 **AUDIO** ボタンを押すと現在選択中のモードの再生画面に戻ります。

注意

- 初期化中は他の操作(モードを切り替えたり車のエンジンスイッチをO(OFF)にしたりI(ACC)の状態からII(ON)にしてエンジンを始動したり電源を切ったり)をしないでください。他の操作をすると故障の原因となります。
- 初期化で“はい”を選択すると、お客様の今までアップデートしたデータ(ローカルアップデート/カスタムアップデート)は消去され、二度と復帰しません。

データ管理(6)

音楽データの修復をするには

Music Rack (HDD)に録音(REC)した音楽データが見当たらない、録音(REC)中にエンジンスイッチを操作してしまいHDDがこわれたときなどに操作するとデータを修復できる場合があります。

※Music Rack/SD/USB再生中の場合は、再生を停止する必要があります。

オーディオモード画面(CDモード画面(例))



1 MENU ボタン

1 オーディオモード画面でパネルの

MENU ボタンを押す。

：AUDIOメニュー画面が表示されます。

※DVDモード時は**MENU** ボタンを2回押します。

2 画面の **AUDIO設定** の **データ情報・管理**

ボタンをタッチする。

：データ情報・管理画面が表示されます。

※走行中、これ以降の操作はできません。



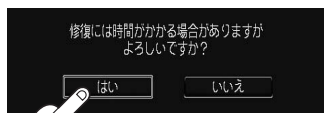
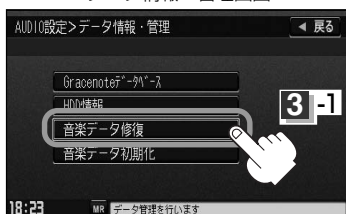
AUDIOメニュー画面につきましては **23** ページを参照ください。

AUDIOメニュー画面



2-2

データ情報・管理画面



3-2

3 画面の **音楽データ修復** ボタンをタッチし、

はい ボタンをタッチする。

：修復作業が開始されます。

※修復作業は曲数が増加するにしたがって長くなります。修復できない場合もありますのでご注意ください。

4 修復が終わったら…

画面の **戻る** ボタンをタッチまたはパネルの **AUDIO** ボタンを押す。

： **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、 **AUDIO** ボタンを押すと現在選択中のモードの再生画面に戻ります。

音楽データの初期化するには

Music Rack(HDD)に録音(REC)した音楽データを初期化することができます。

※Music Rack/SD/USB再生中の場合は、再生を停止する必要があります。

オーディオモード画面(CDモード画面(例))



1 MENUボタン

1 オーディオモード画面でパネルの **MENU** ボタンを押す。

：AUDIOメニュー画面が表示されます。

※DVDモード時は **MENU** ボタンを2回押します。

2 画面の **AUDIO設定** の **データ情報・管理** ボタンをタッチする。

：データ情報・管理画面が表示されます。

AUDIOメニュー画面



2-1

2-1



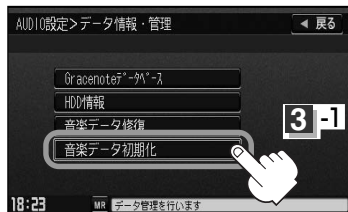
AUDIOメニュー画面につきましては **23** ページを参照ください。

3 画面の **音楽データ初期化** ボタンをタッチする。

：今まで録音した音楽データが消えてもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンを画面にしたがって選択します。

※本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合は必ず音楽データの初期化を行なってください。

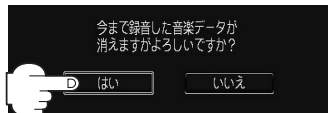
データ情報・管理画面



3-1



3-2



4 初期化が終わったら…

画面の **戻る** ボタンをタッチまたはパネルの **AUDIO** ボタンを押す。

： **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、 **AUDIO** ボタンを押すと現在選択中のモードの再生画面に戻ります。



- 初期化中(修復中)は他の操作(モードを切り替えたり車のエンジンスイッチをO(OFF)にしたりI(ACC)の状態からII(ON)にしてエンジンを始動したり電源を切ったり)をしないでください。他の操作をすると故障の原因となります。
- 初期化で“はい”を選択すると、お客様の音楽データは消去され、二度と復帰しません。

データ管理(7)

HDDの情報を知る

HDD(本機)の使用状況を確認することができます。

1

オーディオモード画面でパネルの
(MENU) ボタンを押す。

：AUDIOメニュー画面が表示されます。

※DVDモード時は**(MENU)** ボタンを2回押します。

オーディオモード画面(CDモード画面(例))



1 **(MENU)** ボタン

2

画面の **AUDIO設定** の **データ情報・管理**
ボタンをタッチする。

：データ情報・管理画面が表示されます。



AUDIOメニュー画面につきましては **23** ページを参照
ください。

AUDIOメニュー画面



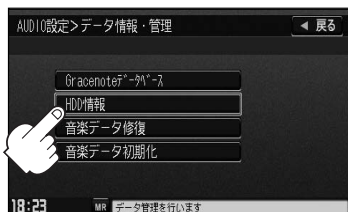
データ情報・管理画面

3

画面の **HDD情報** ボタンをタッチする。

：HDD情報画面が表示されます。

3



4

HDD(本機)の使用状況を確認したら…
画面の **戻る** ボタンをタッチまたは
パネルの **(AUDIO)** ボタンを押す。

： **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の
画面に戻り、 **(AUDIO)** ボタンを押すと
現在選択中のモードの再生画面に戻ります。

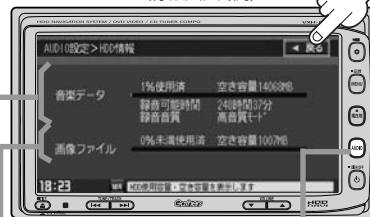
※工場出荷時や音楽データ初期化時
は“0%使用”と表示され、使用
量が1%以下の場合や1度でも曲を
録音した場合は“1%未満使用済”
と表示されます。

音楽データ
(Music Rack)
の使用情報

画像データファイルの使用情報

4

HDD情報画面(例)



4 **(AUDIO)** ボタン

画像を変える

オーディオ画面(DVD/VTR/iPodビデオ/Digital TVモード以外)の背景をお好きな画像にすることができます。

※CDをMusic Rack(HDD)に録音中は設定できません。

1 オーディオモード画面でパネルの

MENU ボタンを押す。

：AUDIOメニュー画面が表示されます。

※DVDモード時は**MENU** ボタンを2回押します。

オーディオモード画面(CDモード画面(例))



1 MENUボタン

2 画面の **システム設定** の **壁紙** ボタンをタッチする。

：壁紙設定画面が表示されます。

※走行中/録音中、これ以降の操作は選択できません。

AUDIOメニュー画面



2-2

2-1



アドバイス

- AUDIOメニュー画面につきましては「**図P 23**」ページを参照ください。
- その他のシステム設定につきましては316、317ページを参照ください。

3 画像の変更や削除、スライド表示などを行うことができます。

① **画像リスト** ボタンをタッチする。

壁紙設定画面



② **プリインストール** ボタンまたは **フォルダ1** ~ **フォルダ4** ボタンをタッチする。



全画像削除 ボタンをタッチするとプリインストールをのぞくフォルダ1~4内の全ての画像データを一括で削除することができます。ただし、このとき、フォルダ名を変更されている場合は、フォルダ名が工場出荷時の状態に戻ります。
※本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合は、追加した画像データは削除してください。



アドバイス

- プリインストールには既存の画像(壁紙)がありますが、フォルダ名の編集(変更)や画像の削除をすることはできません。
- フォルダに画像がない場合は **戻る** ボタンをタッチしてフォルダを選択しなおしてください。

録音設定
データ管理

(HDD情報)

(画像(壁紙)変更)

データ管理(8)

③表示したいファイル(壁紙)を選択しタッチする。

フォルダ1を選択した場合(例)



フォルダ名編集 ボタンをタッチするとお好きなフォルダ名にすることができます。編集のしかたは115ページを参考に入力してください。

全画像削除 ボタンをタッチすると選択中のフォルダ内の画像データを一括で削除することができます。

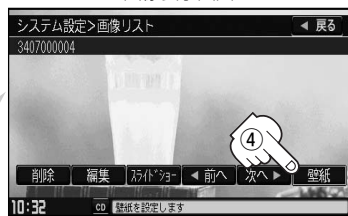
※画面にしたがって **はい** ボタンを選択してください。

次ページがある場合 **▲** / **▼** ボタンで1ページずつの戻し/送り表示

④壁紙 ボタンをタッチする。

：壁紙にしてもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチすると、壁紙(背景)に設定され画像表示画面に戻ります。

画像表示画面



■画像表示画面のその他のボタンについて

●削除 ボタンをタッチする。

：表示中のファイル画像を削除します。

※削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので

はい または **いいえ** のどちらかをタッチしてください。

●スライドショー ボタンをタッチする。

：一定の間隔で選択したフォルダ内の画像を順次表示します。

※スライドショーを終わるには画面をタッチすると画像表示に戻ります。

●前へ ボタンをタッチする。：1つ前のファイル画像を表示します。

●次へ ボタンをタッチする。：次のファイル画像を表示します。

●編集 ボタンをタッチする。：画像の表示位置の調整や縮小/拡大をすることができます。



縮小 ボタンをタッチすると画像を縮小できます。



拡大 ボタンをタッチすると画像を拡大できます。

* 1 : **戻る** ボタンをタッチすると結果を反映して画像表示画面に戻ります。

画像が画面に収まりきらない場合に画像を動かすことができます。(縮小画面も同等)

▲ ボタンをタッチする。：上に動きます。

▼ ボタンをタッチする。：下に動きます。

◀ ボタンをタッチする。：左に動きます。

▶ ボタンをタッチする。：右に動きます。

※選択できないボタンは暗くなります。

4

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチまたはパネルの **AUDIO** ボタンを押す。

： **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、 **AUDIO** ボタンを押すと現在選択中のモードの再生画面に戻ります。



アドバイス

- 480×234ドットの画像がちょうど本機の画面の大きさです。あらかじめこの大きさで画像を作成しておくと、本機に表示したときに画像が切れたり、小さく表示されたりすることなく、きれいに表示されます。
- JPEG画像を表示する場合、画面(480×234ドット)より大きい画像も、そのまま表示されます。
縮小 ボタンをタッチして小さくするか、 **↑ ↓ ← →** ボタンをタッチして表示位置の調整をしてください。
- 表示できるのは、拡張子がJPGのみですが、拡張子がJPGでも表示できない場合もあります。
※本機は、ファイル名は拡張子を含め半角64文字までのファイルを認識できます。
(ファイル名は半角英数字・_(アンダースコア)・全角の漢字・ひらがな・カタカナ・英数字を表示できます。)
- 画像表示画面で、本機に画像を追加していない場合や **プリインストール** ボタンを選択した場合、 **削除** と **編集** ボタンは選択できません。

データ管理(9)

画像を追加する

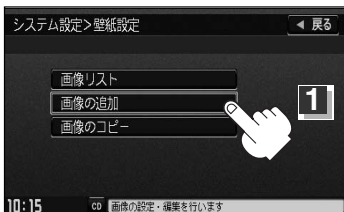
CD-RまたはSDカードまたはUSBメモリデバイスを使用して本機にお好きな画像を追加することができます。

※壁紙設定画面を表示する前に、本機にCD-RまたはSDカードを挿入、USBメモリデバイスを接続しておく必要があります。

☞ CD-R/SDカード挿入は別冊のナビゲーション編37、42ページ、USBの接続は276ページを参考にしてください。

※Music Rack/SD/USBモードで再生中はコピーできません。また、CDを本機(Music Rack)に録音中はコピーも設定できません。

壁紙設定画面



追加方法選択画面



1

67ページの手順 **1**、**2** にしたがって操作し、壁紙設定画面を表示させ、手順 **3** のとき画面の **画像の追加** ボタンをタッチする。

2

追加する方法 (**CDから追加** / **SDカードから追加** / **USBから追加**) のボタンを選択しタッチする。

：画像選択画面が表示されます。

※画像選択画面を表示するまでにしばらく時間がかかる場合があります。

3

追加したい画像ファイルを選択する。

画像ファイルはリストから直接選択する方法と、画像を表示させながら選択する方法があります。

■ リストから選択する場合

① 追加したいファイルをタッチする。：チェックマーク(✓)が付きます。

画像選択画面(CDから追加する場合)(例)



ファイルをタッチするたびに✓表示の有無が切り替わります。

☑：このファイルを追加します。

☐：このファイルは追加しません。

プレビュー (🔍) ボタンをタッチすると画像を表示させながら追加するファイルを選択することができます。

ファイルを一括で選択することができます。(全てのファイルにチェックマーク(✓)が付きます。)

選択したファイルを一括でやめる(取消)することができます。(全てのファイルのチェックマーク(✓)を消します。)

※1つずつ選択、解除する場合はファイルを1つずつタッチしてください。タッチするたびにチェックマーク(✓)の表示(選択)、非表示(解除)が切り替わります。

※⬆️/⬆️ ボタンタッチで1ページずつの戻し/送り表示することができます。

■ 画像を表示させながら選択する場合

画像選択画面(例)

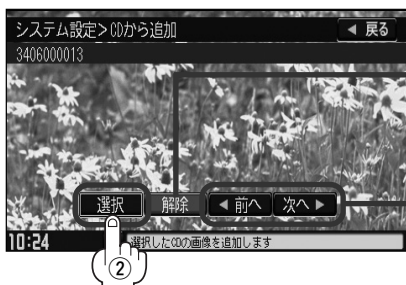
① **プレビュー** ボタン(🔍)をタッチする。

: 画像が表示されます。

※画像を表示するまでにしばらく時間がかかる場合があります。

録音設定
データ管理

〔画像(壁紙)追加〕

② **選択** ボタンをタッチする。

解除 ボタンをタッチすると選択した画像を止める(取消)することができます。

※このとき画像選択画面では選択したファイルのチェックマーク(✓)が消えます。

追加できる画像が他にある場合 **前へ** / **次へ** ボタンをタッチして1つ前の画像 / 次の画像と表示させることができます。

: 画面に表示されている画像が追加候補として選択されます。

※このとき画像選択画面では選択したファイルにチェックマーク(✓)が付きます。

③ 選択が終わったら **戻る** ボタンをタッチする。

: 画像選択画面に戻ります。

4 画面の **追加** ボタンをタッチする。

データ管理(10)

5

追加したいHDD(本機)の **フォルダ1** ~

フォルダ4 ボタンをタッチする。

※ **プリインストール** ボタンに画像は追加できません。

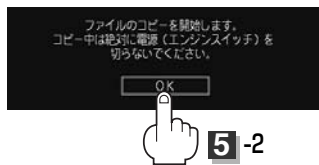
: 画面に表示されるメッセージを確認し、**OK** ボタンをタッチすると、チェックマークの付いたファイルをHDD(本機)にコピーします。

注意 コピー中は電源を切らないでください。故障の原因となります。

※ コピーできるファイルの数がオーバーする場合メッセージが表示されるので、他のフォルダを選択するか、コピーしたいファイルを選択しなおしてください。

※ コピーを中止する場合は、コピー中の画面のとき **中止** ボタンをタッチしてください。

: コピーが終了すると画像設定画面に戻ります。



アドハイス

- CD-R/SDカード/USBメモリデバイスから追加した画像に変えるには、**戻る** 「**画像を変える**」67~69ページを参照してください。
- コピーできるファイルは、拡張子がJPGのみですが、拡張子がJPGでも表示できない場合もあります。
- 1Mバイト以上のサイズのファイルはコピーできません。(リストに表示されません。)
- フォルダ名/ファイル名は全角32(半角64)文字までのファイルを認識できます。(フォルダ名/ファイル名は半角の英数字・ (アンダースコア)・全角の漢字・ひらがな・カタカナ・英数字を表示できます。)
- CD-Rに画像を収録するときは、フォルダの階層は8階層まで
例 ￥○○○¥△△△¥×××.JPG
半角128文字(全角64文字)となるように作成してください。
- 1つのフォルダ内でリストに表示されるファイル数は200以内です。(既存の画像含む。)
- 本機(HDD)にコピーできるファイル数は最大800です。
- コピー時、同じ名前のファイルがある場合、同じ名前が表示されます。
- Music Rackに音楽を録音している場合は、録音を止めてからデータの追加をしてください。
- 画像選択画面に表示される画像数は最大200です。201以上画像がある場合はCD-Rに収録されている順に200表示されます。
- CD-Rに書き込む際のフォーマット形式はJolietにしてください。ディスクはファイナライズ処理をしてください。(Romeo/ISO9660/パケットライト方式などは不可)

6

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチまたはパネルの **AUDIO** ボタンを押す。

: **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、**AUDIO** ボタンを押すと現在選択中のモードの再生画面に戻ります。

画像をコピーする

本機(HDD)に増えてしまった画像データをSDカードやUSBメモリデバイスへ保存することができます。

※本機にSDカードを挿入、USBメモリデバイスを接続しておく必要があります。

※Music Rack/SD/USBモードで再生中はコピーできません。また、CDを本機(HDD)に録音中はコピーも設定できません。

- 1** 67ページの手順 **1**、**2** にしたがって操作し、壁紙設定画面を表示させ、手順 **3** のとき画面の **画像のコピー** ボタンをタッチする。

：メディア選択画面が表示されます。

1



- 2** コピーしたいメディア (**SDカードへコピー** / **USBへコピー**) のボタンを選択しタッチする。

：フォルダ選択画面が表示されます。

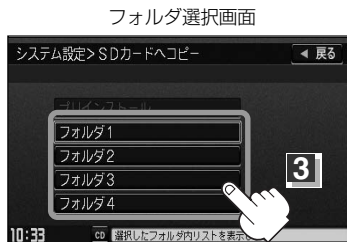
2



- 3** コピーしたい **フォルダ1** ~ **フォルダ4** ボタンをタッチする。

※ **プリインストール** ボタンの画像はコピーできません。

3



データ管理(11)

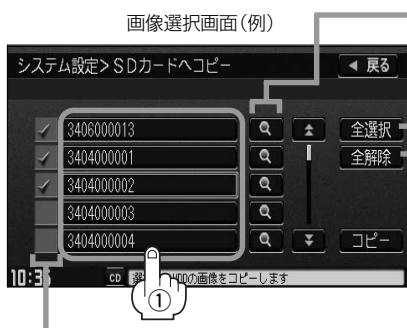
4 コピーしたい画像ファイルを選択する。

画像ファイルはリストから直接選択する方法と、画像を表示させながら選択する方法があります。

■ リストから選択する場合

① コピーしたいファイルをタッチする。

：チェックマーク(✓)が付きます。



プレビュー (🔍) ボタンをタッチすると画像を表示させながらコピーするファイルを選択することができます。

ファイルを一括で選択することができます。
(全てのファイルにチェックマーク(✓)が付きます。)

選択したファイルを一括でやめる(取消)ことができます。
(全てのファイルのチェックマーク(✓)を消します。)

※1つずつ選択、解除する場合はファイルを1つずつタッチしてください。タッチするたびにチェックマーク(✓)の表示(選択)、非表示(解除)が切り替わります。

※⬆️/⬆️ ボタンタッチで1ページずつの戻し/送り表示することができます。

ファイルをタッチするたびに✓表示の有無が切り替わります。

☑️：このファイルをコピーします。/☐：このファイルはコピーしません。

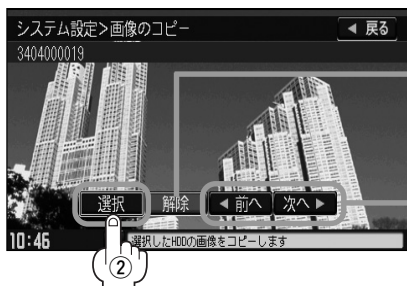
■ 画像を表示させながら選択する場合

① **プレビュー** ボタン(🔍)をタッチする。

：画像が表示されます。

※画像を表示するまでにしばらく時間がかかる場合があります。

② **選択** ボタンをタッチする。



画像選択画面(例)



解除 ボタンをタッチすると選択した画像を止める(取消)ことができます。

※このとき画像選択画面では選択したファイルのチェックマーク(✓)が消えます。

追加できる画像が他にある場合 **前へ** / **次へ** ボタンをタッチして1つ前の画像/次の画像と表示させることができます。

：画像に表示されている画像がコピー候補として選択されます。

※このとき画像選択画面では選択したファイルにチェックマーク(✓)が付きます。

③ 選択が終わったら **戻る** ボタンをタッチする。

：画像選択画面に戻ります。

5

画面の **コピー** ボタンをタッチする。

: 画面に表示されるメッセージを確認し、**OK** ボタンをタッチすると、チェックマークの付いたファイルをSDカードにコピーします。

注意

- コピー中は電源を切らないでください。
- コピー中にSDカード/USBメモリデバイスを抜かないでください。故障の原因となります。

※コピーできるファイルがSDカードの容量をオーバーする場合メッセージが表示されるので、コピーしたいファイルを選択しなおしてください。

※コピーを中止する場合は、コピー中の画面のとき **中止** ボタンをタッチしてください。

: コピーが終了すると画像設定画面に戻ります。



6

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチまたはパネルの **AUDIO** ボタンを押す。

: **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、**AUDIO** ボタンを押すと現在選択中のモードの再生画面に戻ります。



CDプレーヤーを使う	78~87
各部の名称とはたらき	78
表示部(再生画面)について	79
CDを聞く	80、81
CDモードを終了する	82
CDを取り出す	82
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する (トラックを戻す/進める)	83
早戻し/早送りをする	83
再生モードを選択する (リピート/ランダム/スキャン再生)	84、85
トラックリストより好きなトラックを選び再生させる	86、87

CDプレーヤーを使う(1)

各部の名称とはたらき

リスト ボタン

トラックリストを表示し、トラックの選択が可能です。(86、87ページ)

CDモード TOP画面
(詳細表示時(例))



壁紙切替 ボタン (🖼️)

壁紙を表示させて音楽を聞くことができます。(315ページ)

マハリッピング ボタン *2

最大14倍の速さでディスクが回転しての録音となります。
※マハリッピング中、Music Rack/CD/SD/USBモードは音楽は再生できません。

等速リッピング ボタン *2

通常の速さでの再生録音となります。

再生モード ボタン

リピート/ランダム/スキャン再生の選択をすることができます。(84、85ページ)

AUDIO ボタン

AUDIOソース画面を表示します。
※ナビゲーション/Music Rack/SD/USB/iPod/VTR/Digital TV/AM/FMモードからCDモードに切り替えるときに使用します。(81ページ)

電源 ボタン(🔌)

オーディオモードを開始/終了(OFF状態に)します。
また、2秒以上長押しで画面を消します。

Quick ボタン

カスタマイズ機能を使用することができます。(314ページ)

VOLUME ボタン

音量の増減を調整します。
▼: 音量減 ▲: 音量増

トラック ボタン(⏮️/⏭️) *1

好きな曲を選びます。また、このボタンを押し続けると早戻し(⏮️)/早送り(⏭️)します。(83ページ)

TILT ボタン(📏)

パネルをオープンさせて、ディスクを入れる/取り出すときに使用します。(80、82ページ)



アドバース

- *1印: 録音(REC)中は操作できません。
- *2印: 録音方法を自動録音に設定している場合に、未録音CDを挿入した場合は表示されません。
- リッピング(録音)中はCD再生画面に **録音中止** ボタンが表示されます。タッチすると録音(REC)を中止します。
- 1枚のディスクに音楽データとMP3/WMAデータが混在する場合はMP3/WMAデータは再生しません。

表示部(再生画面)について

トラック番号：トラック名表示
(詳細表示時(例))

再生状態表示
▶ : 通常再生
▶▶ : 早送り
◀◀ : 早戻し

音場(臨場感)表示
選択中の音場を表示します。
☑ 32~34ページ
※音場を選択していない場合(OFF選択時)は何も表示されません。
※イコライザ設定中は EQ マークが表示されます。
☑ 35~37ページ

アーティスト名表示
再生時間表示
アルバム名表示
ジャンル名表示

リピート/ランダム/スキャン選択時に表示
表示内容につきましては84, 85ページを参照ください。

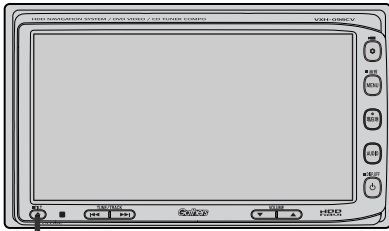


アドバイス

- 詳細表示のとき、トラック名/アーティスト名/アルバム名の最大表示文字数は全角32(半角64)文字です。(本機は漢字・ひらがな対応しています。)
- 詳細表示のとき、タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名(トラック名/アーティスト名/アルバム名)をタッチしてスクロールさせ、つづきを確認することができます。
※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
- DISC内のCD-TEXT情報と、Gracenoteデータベースの検索結果によって再生時の表示は以下のようになります。
 - ・ DISCにCD-TEXT情報があれば、トラック名/アーティスト名/アルバム名はCD-TEXTが優先して表示されます。ジャンルは空欄となります。
 - ・ CD-TEXTが無い場合でGracenoteデータベースにヒットしている場合は、Gracenoteデータベースのトラック名/アーティスト名が表示されます。
 - ・ DISCにCD-TEXTも無くGracenoteデータベースにもヒットしなければ、トラック名/アーティスト名/アルバム名は全て“No Title”と表示されます。
 - ・ CD再生中のリスト表示はGracenoteデータベースにヒットしている場合のみトラック名がリスト表示されます。ヒットしていない場合はトラック名は全て“Track 001…”と表示されます。また、HDDへ録音(REC)されるタイトル情報はGracenoteデータベースにヒットしている場合のみであり、CD-TEXT情報は反映されません。
- ※市販されている音楽CDの大多数にはCD-TEXT情報は入っていません。
- トラック名/アーティスト名/アルバム名の表示が実在と異なって表示される場合があります。

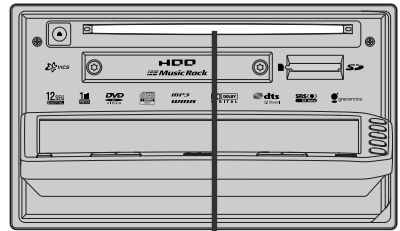
CDプレーヤーを使う(2)

[ディスプレイが閉じた状態]



1 TILTボタン(▲)

[ディスプレイが開いた状態]



2 DVD/CD挿入口

CDを聞く

■ ディスク未挿入の場合

1 パネルのTILTボタン(▲)を押す。

: ディスプレイが開きます。



CDディスクの印刷面を下にして入れるとディスクを認識しません。必ず印刷面を上にして挿入してください。

2 DVD/CD挿入口にCDを挿入する。

: 自動でディスプレイが閉じ、CDの再生を始めます。

※本機の録音方法(初期)は**自動録音**に設定されているため、未録音のCDを挿入した場合は再生と同時にMusic Rack(HDD)へ自動で等速リッピング(等速録音)を開始します。

☞ 「**Music Rack(HDD)への録音について**」

50、51ページ

録音を停止させるにはCDモード画面で**録音中止**ボタンをタッチしてください。

※録音時の自動/手動は設定により変更できます。

☞ 「**録音方法の手動/自動を選択する**」 48ページ

※マッハリッピング(高速録音)をする場合も**録音中止**ボタンをタッチしていったん等速リッピングを止めてから各操作を行なってください。

☞ 「**録音速度を選択し、録音方法/録音音質を選択する**」 51~53ページ

CDモード画面(自動録音設定時)
未録音の場合



Music Rackに録音すれば車内がCDであふれることもなく、ディスクの交換の手間も省け便利です。Music Rackへ録音した曲は、再生選択や削除などの編集も可能です。さらに等速リッピング(等速録音)とマッハリッピング(高速録音)があります。

☞ 「**本機のMusic Rack(HDD)機能について**」 49ページ

☞ 「**Music Rackを使う**」 90~127ページ

※音楽CD以外(MP3/WMAなど)は録音できません。

■ 他のモード画面を表示している場合

- 前回CDモード画面でOFF (オーディオモードを終了)していた場合

① パネルの **電源** ボタン (⏻) を押す。
 : 前回のつづきからCDの再生を始めます。



① 電源 ボタン (⏻)

- ナビゲーションまたは前回CDモード以外のオーディオモード画面の場合

① パネルの **AUDIO** ボタンを押す。
 : AUDIOソース画面またはラストモード*画面が表示されます。

- AUDIOソース画面のときは…

②に進んでください。

- ラストモード*画面のときは…
 もう一度 **AUDIO** ボタンを押す。

: AUDIOソース画面が表示されます。

* : 前回最後に選択していたモード画面 (OFF含む)

- ②画面の **CD** ボタンをタッチする。

: CDの再生を始めます。



① **AUDIO** ボタン

AUDIOソース画面(例)



■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

- 🔊 「音量を調整する」 26ページ
- 📺 「映像の調整のしかた」 27~29ページ
- 🔊 「オーディオの調整をする」 32~43ページ



アドバイス

CDの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

🔊 「音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する」 24ページ

CDプレーヤーを使う(3)

CDモードを終了する

1

- パネルの **電源** ボタン(⏻)を押す。
: 画面に“OFF”と表示されCDの再生を止めます。(オーディオモード終了)
※CDの再生を止めても録音中の場合、録音は継続されます。

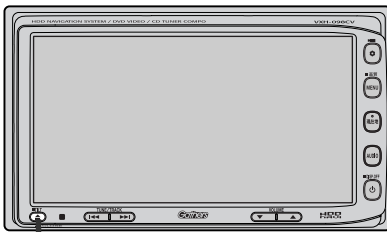


↓ 1 **電源** ボタン(⏻)



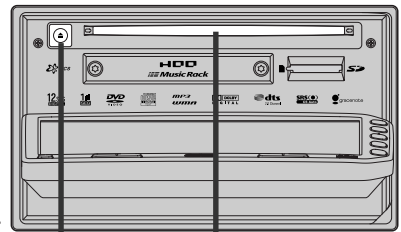
CDを取り出す

[ディスプレイが閉じた状態]



1 **TILT** ボタン(▲)

[ディスプレイが開いた状態]



2 **DVD/CDイジェクト** ボタン(▲)

DVD/CD挿入口

1

- パネルの **TILT** ボタン(▲)を押す。
: ディスプレイが自動で開きます。

2

- パネルの **DVD/CDイジェクト** ボタン(▲)を押す。
: CDがDVD/CD挿入口より出てきます。



- CDを取り出して再度再生を始めると、ディスクの最初の曲の頭から再生が始まります。
※再生中に車のエンジンスイッチを0(OFF)にした場合は、次に車のエンジンスイッチをI(ACC)またはII(ON)にすると、前に再生していたつづきから再生を始めます。
※**DVD/CDイジェクト** ボタン(▲)を押した後、ディスクをそのままにしておくと、ディスク保護のため約10秒後に自動的にディスクが入り本機にセットされ、再生が開始されます。

操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する(トラックを戻す/進める)

1 パネルの「トラック」ボタン(◀◀/▶▶)を押す。

：前のトラックに戻る、または次のトラックに進みます。

※聞きたい曲のトラック番号を表示させます。



1 「トラック」ボタン

■ 前のトラックに戻る場合

◀◀側を2回押す。

※1回押した場合は再生中の曲(トラック)の頭に戻ります。

■ 次のトラックに進む場合

▶▶側を押す。



アドバース

●画面をタッチしてトラックリストより選択することもできます。

☞「**トラックリストより好きなトラックを選び再生させる**」86、87ページ

●録音(REC)中トラックを戻す/進めることは操作できません。

早戻し/早送りをする

1 パネルの「トラック」ボタン(◀◀/▶▶)を押し続ける。

：再生中の曲の早戻し/早送りをします。

再生状態表示

▶▶：通常再生

▶▶▶▶：早送り

◀◀◀◀：早戻し



1 「トラック」ボタン

■ 早戻しで戻る場合

◀◀側を押し続ける。

■ 早送りで進む場合

▶▶側を押し続ける。



アドバース

●それぞれのボタンから手を離れたところで再生を始めます。

☞「**トラック**」ボタン(◀◀/▶▶)を押し続け、曲の始めまたは終わりにくると通常再生になります。

●録音(REC)中早戻し/早送りはできません。

CDプレーヤーを使う(4)

再生モードを選択する(リピート/ランダム/スキャン再生)

再生モード(リピート/ランダム/スキャン)を選択することができます。

1 画面の **再生モード** ボタンをタッチする。

: 画面右側に再生モード選択画面が表示されます。

手順 **2** で選択した再生モードがマーク表示されます。



2 再生したいモード (**リピート** / **ランダム** / **スキャン**) を選択します。

■ リピート(繰り返し)再生する場合

① **リピート** ボタンをタッチする。

再生モード選択画面



選択中の再生モードの状態を表示

: 再生中の曲を繰り返し再生します。

- **リピート** ボタンをタッチすると下記のように用途が変わります。

今聞いているトラックのリピート再生

(TOP画面で **REPEAT** マーク表示有)

通常再生(リピート解除)

(マーク表示無)

■ ランダム(順序不同)再生する場合

① **ランダム** ボタンをタッチする。

再生モード選択画面



選択中の再生モードの状態を表示

: 表示灯点灯し、ディスク内の曲を順序不同再生します。

- **ランダム** ボタンをタッチすると下記のように用途が変わります。

ディスク内の曲をランダム再生

(表示灯点灯/TOP画面で **RANDOM** マーク表示有)

通常再生(ランダム解除)

(表示灯消灯/マーク表示無)



ランダム再生は、次に再生する曲を任意に決めるので、同じ曲が連続で再生されることがあります。

■ スキャン(イントロ)再生する場合

① **スキャン** ボタンをタッチする。

再生モード選択画面



選択時点灯

選択中の再生モードの状態を表示

: 表示灯点灯し、曲の頭(イントロ)を約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。

- **スキャン** ボタンをタッチすることにより下記のように用途が変わります。

ディスク内の曲をスキャン再生

(表示灯点灯/ TOP画面で **SCAN** マーク表示有)



通常再生(スキャン解除)

(表示灯消灯/ マーク表示無)

3 設定を終わるには…

画面の **閉じる** ボタンをタッチする。

: TOP画面に戻ります。



アドバイス

- 録音(REC)中は操作できません。
- マーク表示を消すまでそれぞれのモード再生を繰り返します。

CDプレーヤーを使う(5)

トラックリストより好きなトラックを選び再生させる

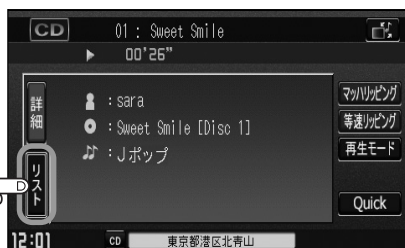
トラックを一覧表示させ、再生させることができます。

1

画面の **リスト** ボタンをタッチする。

：トラックリストが表示されます。

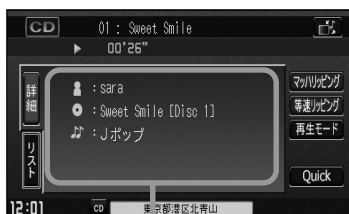
CDモード TOP画面(詳細表示(例))



アドバイス

CDモードのTOP画面は選択するボタン(**詳細** / **リスト**)によって詳細表示/トラックリスト表示となります。

CDモード TOP画面(例)



詳細表示

リスト ボタンタッチ →

CDモード TOP画面(例)



トラックリスト表示

← **詳細** ボタンタッチ

※すでにトラックリスト表示になっている場合は上記手順 **1** を省略することができます。

2

再生したいトラックをタッチする。

：選択したトラックが再生されます。

CDモード TOP画面(トラックリスト表示時(例))



/ ボタンタッチでページ戻し/送り表示



アドバイス

トラックリストについて

- Gracenoteデータベースタイトル情報が表示されます。
- タイトル情報がない場合は、Track1、Track2、Track3……と表示されます。
- TOP画面を詳細表示に戻したい場合は **詳細** ボタンをタッチしてください。(上記アドバイス参照)



アドバイス

録音 (REC) 中は操作できません。

※録音 (REC) 中はトラックリストを表示させてもトラックの選択はできません。トラックリストの確認のみとなります。



Music Rack

Music Rackを使う	90~127
各部の名称とはたらき	90
表示部(再生画面)について	91
Music Rackを聞く	92、93
Music Rackモードを終了する	93
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する (トラックを戻す/進める)	94
早戻し/早送りをする	94
トラックリストより好きなトラックを選び再生させる	95
選曲メニューより選択し再生させる	96~103
再生モードを選択する (リピート/ランダム/スキャン再生)	104~107
再生中の曲をお気に入り登録する	108、109
再生中の曲のジャンルとミュージックエスコートを 設定する	110、111
好きなアルバムを選ぶ	112
アルバムリストの編集(曲管理)	113~119
トラックリストの編集(曲管理)	120~125
お気に入りを管理する	126、127

Music Rackを使う(1)

各部の名称とはたらき

登録 ボタン

再生中のアルバムまたはトラックをお気に入りへ登録したり、再生中トラックをお好きなジャンル/ミュージックエスコートに変更することができます。(108~111ページ)

リスト ボタン

トラックリストを表示し、トラックの選択が可能です。(95ページ)

編集 ボタン

アルバムやトラックの編集(表示名やよみがなを変えたり)、ジャンルの変更、再生選択やお気に入り管理などをすることができます。(113~127ページ)

壁紙切替 ボタン (🖼️)

壁紙を表示させて音楽を聞くことができます。(315ページ)

選曲 ボタン

6種類の選曲メニュー(全曲/アルバム/アーティスト/ジャンル/ミュージックエスコート/お気に入り)から再生したい曲を絞り込んで検索することができます。(96~103ページ)

再生モード ボタン

リピート/ランダム/スキャン再生の選択をすることができます。(104~107ページ)

AUDIO ボタン

AUDIOソース画面を表示します。
※ナビゲーション/CD/DVD/MP3/WMA/SD/USB/iPod/VTR/Digital TV/AM/FMモードからMusic Rackモード切り替えるときに使用します。(93ページ)

電源 ボタン (🔌)

オーディオモードを開始/終了(OFF状態)にします。また、2秒以上長押しで画面を消します。

VOLUME ボタン

音量の増減を調整します。
▼: 音量減 ▲: 音量増

Quick ボタン

カスタマイズ機能を使用することができます。(314ページ)

Music Rackモード
TOP画面
(詳細表示時(例))



トラック ボタン (⏮️/⏭️)

好きな曲を選びます。
また、このボタンを押し続けると
早戻し(⏮️)/早送り(⏭️)します。
(94ページ)

アルバム- ボタン

前のアルバムに戻ります。

アルバム+ ボタン

次のアルバムに進みます。

表示部(再生画面)について

トラック番号：トラック名表示

再生状態表示
▶ :通常再生
▶▶ :早送り
◀◀ :早戻し
(詳細表示時(例))

音場(臨場感)表示
選択中の音場を表示します。[P 32~34ページ]
※音場を選択していない場合(OFF選択時)は何も表示されません。
※イコライザ設定中は **EQ** マークが表示されます。
[P 35~37ページ]

再生時間表示

リピート/ランダム/スキャン選択時に表示
表示内容につきましては104~107ページを参照ください。

アーティスト名表示
アルバム名表示
ジャンル名表示

選択中の選曲メニューの内容を表示します。
※選曲メニューで **全曲** / **アルバム** / **アーティスト** 選択時は全曲表示となります。
また、**ジャンル** / **ミュージックエスコート** / **お気に入り** 選択時にアルバムや曲の削除、再生選択を行なった場合も“全曲”表示となります。
選曲メニュー [P 96ページ]

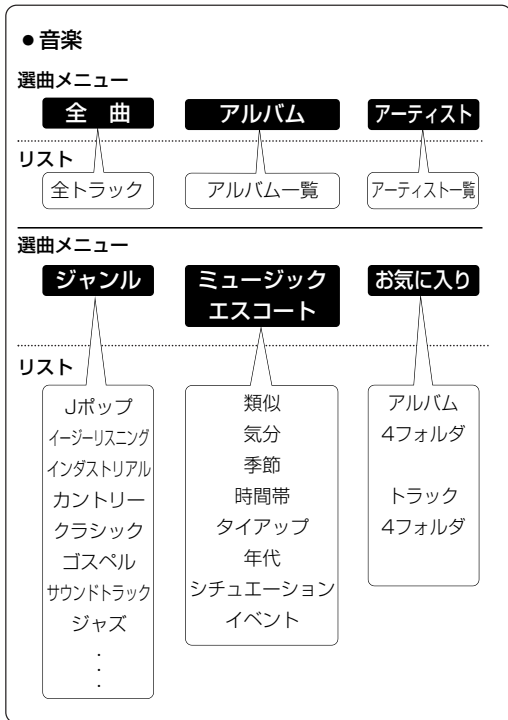


アドバイス

- 詳細表示のとき、トラック名/アーティスト名/アルバム名の最大表示文字数は全角32(半角64)文字です。(本機は漢字・ひらがな対応しています。)
- 詳細表示のとき、タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名(トラック名/アーティスト名/アルバム名)をタッチしてスクロールさせ、つづきを確認することができます。
※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
- トラック名/アーティスト名/アルバム名が記録されていないディスクを録音した場合は、それぞれの表示は“トラック××”/“新規アーティスト”/“新規アルバム△△△△ △△△”と表示されます。
※××にはトラック番号、△にはリッピングした西暦・月・日の数字が入ります。
- 実在と異なるトラック名/アルバム名表示のままリッピングした場合は、異なった情報のまま本機にリッピングされます。
- ジャンル名表示で該当するジャンルがない場合は“その他”と表示されます。

Music Rackを使う(2)

Music Rackイメージ図




★Music Rackに録音*された曲は自動で4種類(アルバム/アーティスト/ジャンル/ミュージックエスコート)の選曲メニューに分類され、さらに細かく分かれて管理されます。

選曲メニューの各ボタンの中から絞り込んで検索することができるので便利です。

※全曲は全てのトラックを表示します。お気に入りはお好みの曲だけを集めたオリジナルリストを表示します。

※ミュージックエスコートはMCDB(メディアクリックDB)の楽曲属性DBを利用して曲調によって分別されます。

※*印: 録音につきましては「 録音する」49～53ページを必ずお読みください。

※選曲メニューでジャンル/ミュージックエスコート/お気に入りを選択し、再生させているときにアルバムや曲の削除/再生選択を行なうと、詳細画面にしたとき選曲メニューは自動的に「全曲」となります。(編集前の選曲メニューの再生リストを継続しません。)

※録音された音楽CDがGracenoteデータベースおよびMCDB検索でタイトル情報が取得されている場合に限りです。

Music Rackを聞く

※CDから1曲も本機に録音していない場合、Music Rackを聞くことはできません。

■ 他のモード画面を表示している場合

- 前回Music Rackモード画面でOFF(オーディオモードを終了)していた場合

①パネルの電源ボタン(⏻)を押す。

: 前回最後に聞いていたトラックのつづきから再生を始めます。



① 電源ボタン(⏻)

□ ナビゲーションモードまたは前回Music Rackモード以外のオーディオモード画面の場合

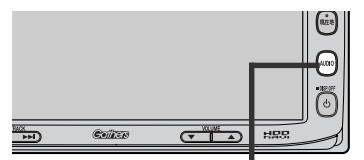
① パネルの **AUDIO** ボタンを押す。
 : AUDIOソース画面またはラストモード*画面が表示されます。

□ AUDIOソース画面のときは…
 ②に進んでください。

□ ラストモード*画面のときは…
 もう一度 **AUDIO** ボタンを押す。
 : AUDIOソース画面が表示されます。

* : 前回最後に選択していたモード画面 (OFF含む)

② 画面の **Music Rack** ボタンをタッチする。
 : 前回最後に聞いていたトラックのつづきから再生を始めます。



① AUDIO ボタン



■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

- 🔊 「音量を調整する」 26ページ
- 📺 「映像の調整のしかた」 27～29ページ
- 🔊 「オーディオの調整をする」 32～43ページ

🚗 Music Rackの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。
 🚗 「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」 24ページ

Music Rackモードを終了する

1 パネルの **電源** ボタン(🔌)を押す。
 : 画面に“OFF”と表示されMusic Rackの再生を止めます。(オーディオモード終了)



1 電源 ボタン(🔌)



Music Rackを使う(3)

操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する(トラックを戻す/進める)

1 パネルの **トラック** ボタン(◀◀/▶▶)を
押す。

：前のトラックに戻る、または次のトラックに進みます。

※聞きたい曲のトラック番号を表示させます。

トラック番号



1 **トラック** ボタン

■ 前のトラックに戻る場合

◀◀側を2回押す。

※1回押した場合は再生中の曲(トラック)の頭に戻ります。

■ 次のトラックに進む場合

▶▶側を押す。



アドバイス

画面をタッチしてトラックリストより選択することもできます。

「**トラックリストより好きなトラックを選び再生させる**」右記

早戻し/早送りをする

1 パネルの **トラック** ボタン(◀◀/▶▶)を
押し続ける。

：再生中の曲の早戻し/早送りをします。

再生状態表示

▶▶：通常再生

▶▶▶▶：早送り

◀◀◀◀：早戻し



1 **トラック** ボタン



アドバイス

それぞれのボタンから手を離したところで再生を始めます。**トラック** ボタン(◀◀/▶▶)を押し続け、リストの始めまたは終わりにくると通常再生になります。

トラックリストより好きなトラックを選び再生させる

選曲メニュー(☞96ページ)で選択したボタン(全曲/アルバム/アーティスト/ジャンル/ミュージックエスコート/お気に入り)のトラックをリストより選択再生させることができます。

1 画面の **リスト** ボタンをタッチする。

：トラックリストが表示されます。

詳細表示時(例)



Music RackのTOP画面は選択するボタン(**詳細** / **リスト**)によって詳細表示/トラックリスト表示となります。

Music Rackモード TOP画面(例)



詳細表示

リスト ボタンタッチ →

Music Rackモード TOP画面(例)



トラックリスト表示

← **詳細** ボタンタッチ

※すでにトラックリスト表示になっている場合は上記手順 **1** を省略することができます。

2 再生したいトラックをタッチする。

：選択したトラックが再生されます。

トラックリスト表示時(例)



↑ / ↓ ボタンタッチでページ戻し/送り表示

TOP画面を詳細表示に戻したい場合は **詳細** ボタンをタッチしてください。(上記アドバイス参照)

Music Rackを使う(4)


選曲メニューより選択し再生させる

本機はCDの録音と同時にGracenote音楽認識サービスとMCDB(メディアクリックDB)により、該当する選曲メニューの各ボタン(全曲/アルバム/アーティスト/ジャンル/ミュージックエスコート)に自動で振り分けます。選曲メニュー内はさらに細かく分かれ管理されます。聞きたい曲を選曲メニューから絞り込んで検索できるので便利です。

※録音された音楽CDがGracenoteデータベースおよびMCDB検索でタイトル情報が取得されている場合に限りです。

また、選曲メニューにはお好みの曲だけを集めることのできる“お気に入り”ボタンもあります。

※“お気に入り”ボタンを使用するにはあらかじめお気に入り登録をしておく必要があります。

 「再生中の曲をお気に入り登録する」 108、109ページ

1

画面の**選曲** ボタンをタッチする。

：画面右側に選曲メニュー画面が表示されます。

Music Rackモード TOP画面(詳細表示時(例))



2

選曲メニューより選曲する方法(**全曲** / **アルバム** / **アーティスト** / **ジャンル** / **ミュージックエスコート** / **お気に入り**) を選択します。



選曲メニュー



アドバイス

- リッピングした曲数が増えるほど各リストを表示させるまでに時間がかかります。
- 選曲メニューを選択する前に **閉じる** ボタンをタッチするとTOPモード画面に戻ります。

■ 全曲 ボタンをタッチした場合

：トラックリストの表示とともに、曲が再生されます。

①再生させたいトラックをタッチする。

トラックリスト



：選択した曲を再生します。



次ページがある場合 / ボタンで1ページずつの戻し/送り表示をします。

■ アルバム ボタンをタッチした場合

：アルバムリストが表示されます。

①再生させたいアルバムをタッチする。

②再生させたいトラックをタッチする。

アルバムリスト
名前順表示の場合(例)



：選択したアルバムに収録されているトラックリストの表示とともに曲が再生されます。

トラックリスト



：選択した曲を再生します。



アドバイス

●アルバムリスト表示(手順①)のとき、表示されるリストの並び順を変えることができます。

登録順表示の場合(例)



1. 画面の **登録順** ボタンをタッチする。

：本機に登録(録音)した順にリスト一番上より新しいものが表示されます。

※名前順表示に戻りたい場合は **名前順** ボタンをタッチしてください。(アルバムの編集は 114、115ページ参照)
※初期状態は名前順表示となっています。(登録順表示にしても他の画面にするとリストは名前順表示に戻ります。)

●次ページがある場合 / ボタンで1ページずつの戻し/送り表示をします。

Music Rackを使う(5)

■ **アーティスト** ボタンをタッチした場合

: アーティストリストが表示されます。

①再生させたいアーティストを
タッチする。



: 選択したアーティストのアルバムが
表示されます。

②再生させたいアルバムをタッチする。



: 選択したアルバムに収録されているトラ
ックリストの表示とともに曲が再生され
ます。

③再生させたいトラックをタッチする。



: 選択した曲を再生します。



●次ページがある場合 / ボタンで1ページずつの戻し/送り表示をします。

●アーティストリスト/アルバムリストには、タイトル名がある (Gracenoteデータベースにヒットした) 場合にリストに表示されます。

●アーティストリスト (手順①) / アルバムリスト (手順②) 表示のとき、表示されるリストの並び順を変えることができます。

1. 画面の **登録順** ボタンをタッチする。

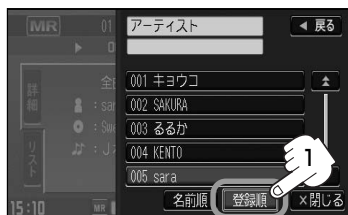
: 本機に登録 (録音) した順にリスト一番上より新しいものが表示されます。

※名前順表示に戻したい場合は **名前順** ボタンをタッチしてください。 (アーティスト名のよみが入っているものをリスト上より名前順に並び替え、さらにその下によみが入っていないものをSHIFT-JIS順に並べ替えて表示します。

Gracenoteデータベースにヒットし再生画面で正しく表示されている場合でもアーティスト名のよみ ("アーティストよみ" の項目を選択し編集画面にしたとき) に何も入っていないとSHIFT-JIS順表示となります。 (アルバム / アーティストの編集は114、115ページ参照)

※初期状態は名前順表示となっています。 (登録順表示にしても他の画面にするとリストは名前順表示に戻ります。)

(登録順表示の場合 (例))



■ **ジャンル** ボタンをタッチした場合

：ジャンルリストがポップアップ表示されます。

①再生させたいジャンルをタッチする。

②再生させたいトラックをタッチする。



：選択したジャンルのトラックリスト表示とともに曲が再生されます。



：選択した曲を再生します。



アドバイス

*ジャンル一覧

- | | | | | |
|-------------|------------|----------|--------------|---------|
| ・ Jポップ | ・ ゴスペル | ・ パンク | ・ ポップス | ・ 演歌 |
| ・ イージーリスニング | ・ サウンドトラック | ・ ヒップホップ | ・ メタル | ・ 世界の音楽 |
| ・ インダストリアル | ・ ジャズ | ・ フォーク | ・ ラテン | ・ その他 |
| ・ カントリー | ・ チャイルド | ・ ブックス | ・ リズムアンドブルース | |
| ・ クラシック | ・ データ | ・ ブルース | ・ レゲエ | |
| ・ クラブダンス | ・ ニューエイジ | ・ ホリデー | ・ ロック | |

- ボタンで1ページずつの戻し/送り表示をします。
- トラックリストはGracenoteデータベースにヒットした(タイトル情報がある)場合にトラックを表示します。
- トラックのジャンル情報はお客様の主観にあわせて設定しなおすことができます。

「再生中の曲のジャンルとミュージックエスコートを設定する」110、111ページ

Music Rackを使う(6)

■ **ミュージックエスコート** ボタンをタッチした場合

：ミュージックエスコートリストが表示されます。

①再生させたいミュージックエスコートの大分類、小分類を選択していく。

※大分類／小分類につきましては右記表(アドバイス内)を参照ください。



：選択した小分類のトラックリストの表示とともに曲が再生されます。

②再生させたいトラックをタッチする。



：選択した曲を再生します。

※トラックは10曲まで表示されます。
他の10曲を表示したい場合は再選曲をしてください。
(下記)

□ **再選曲** をする場合

再生モード選択画面のとき、再生させる曲を選択しなおすことができます。

※再生モード選択画面はMusic Rack TOPモード画面のとき **再生モード** ボタンをタッチして表示させます。
(104ページ)



1. **再選曲** ボタンをタッチする。

：選択中の小分類の中から本機が自動で再選曲し、曲を再生します。

初期状態は“自動選曲”に設定されています。
自動選曲が選択されていると、選択した小分類のトラックリストを再生し終わると、自動で小分類の中から再選曲を行ないます。



- ミュージックエスコートの各分類は以下のとおりとなります。

大分類	小分類
類似	類似曲／世代／グループ／地域
気分	ノリノリ／リラックス／レジャー／ロマンティック／クール
季節	春／夏／秋／冬
時間帯	早朝／朝／昼／夜／深夜
タイアップ	CMソング／ドラマ主題歌／ゲームソング／映画主題歌／テレビ主題歌
シチュエーション	海沿い／都市／ハイウェイ／雨／晴れ／雪
イベント	クリスマス／バレンタイン／卒業／誕生日／入学／結婚
年代	60年代／70年代／80年代／90年代／00年代

- ミュージックエスコートにはMCDB (CD収録属性) を利用した主観的楽曲 (テンポ・シチュエーション・季節・男性／女性など) が自動で振り分けられます。多角的な管理の実現により気分に合わせて選曲が可能です。
- 次ページがある場合 / ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。
- 再生させたいミュージックエスコートを選択した場合ランダム／スキャン再生はできません。
 104～107ページ
- トラックリストはGracenoteデータベース／MCDBデータベースにヒットした (タイトル情報がある) 場合にトラックを表示します。
- トラックリストに表示されるトラックはミュージックエスコートを選択するごとに再編成され任意に決めるため、同じ並びでリスト表示されとは限りません。
- 楽曲によってはユーザーの主観とは違う分類に振り分けられることがあります。
- 類似曲を検索してもユーザーの主観とは異なる楽曲が選択されることがあります。
- ミュージックエスコートリストの
 - ・類似曲とは現在の再生曲に類似した曲
 - ・世代とは再生曲のアーティストが活動した年代の曲
 - ・グループとは再生曲のアーティストタイプ (ソロ／デュエット／グループ) の曲
 - ・地域とは再生曲のアーティストが活動した地域の曲
 - ・年代とは再生中のアルバムが発表された年代の曲
 を基準としてトラックリストを作成します。
- トラックのミュージックエスコート属性はお客様の主観にあわせて設定しなおすことができます。
 「再生中の曲のジャンルとミュージックエスコートを設定する」 110、111ページ

Music Rackを使う(7)

■ お気に入り ボタンをタッチした場合

: お気に入りリストが表示されます。

- ①再生させたいお気に入りアルバム1~4またはお気に入りトラック1~4をタッチする。



- Music RackモードのTOP画面で **登録** ボタンをタッチしてお気に入り登録をしていないと、下記手順1.以降の操作はできません。
- 1つのお気に入りアルバムに200アルバム、1つのお気に入りトラックに200曲の登録が可能です。

🔍 「再生中の曲をお気に入り登録する」
108、109ページ

□ お気に入りアルバム1をタッチした場合

: お気に入りアルバム1に収録されているアルバムリストを表示します。

1. 再生したいアルバムをタッチする。

お気に入りアルバム1の
アルバムリスト



: 選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

□ お気に入りトラック1をタッチした場合

: お気に入りトラック1に収録されているトラックリスト表示とともにリストの1番上の曲が再生されます。

1. 再生させたいトラックをタッチする。

お気に入りトラック1の
トラックリスト画面



: 選択した曲を再生します。

2. 再生させたいトラックをタッチする。

お気に入りアルバム1の
トラックリスト画面



: 選択した曲を再生します。



次ページがある場合 / ボタンで1ページずつの戻し/送り表示をします。

3

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンまたは **閉じる** ボタンをタッチする。

： **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、**閉じる** ボタンをタッチするとTOP画面に戻ります。



アドバイス

ジャンルリスト (P.99ページ)、ミュージックエスコートリスト (P.100ページ)、お気に入りリスト (P.102ページ)で再生させたいジャンル、ミュージックエスコート、お気に入り登録曲を選択したとき該当するトラックがない(Gracenoteデータベース/MCDBデータベースにヒットしない、またはお気に入り登録していない)場合、リストには何も表示されません。さらに表示部は“——”となります。

Music Rackを使う(8)

再生モードを選択する(リピート/ランダム/スキャン再生)

再生モード(リピート/ランダム/スキャン)を選択することができます。

1 画面の **再生モード** ボタンをタッチする。

: 画面右側に再生モード選択画面が表示されます。

手順 **2** で選択した再生モードがマーク表示されます。



2 再生したいモード (**リピート** / **ランダム** / **スキャン**) を選択します。

■ リピート(繰り返し)再生する場合

① **リピート** ボタンをタッチする。

: リピート再生されます。

● **リピート** ボタンをタッチすることにより下記のように用途が変わります。



選択中の再生モードの状態を表示



アドハイス

選曲メニュー(96ページ)の中で **ジャンル** / **ミュージックエスコート*** を選択し、再生させている場合は今聞いているトラックのリピート再生のみとなります。

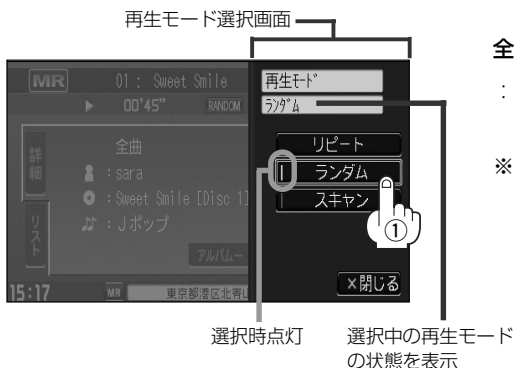
※ **お気に入り** を選択し、再生させている場合はアーティストのリピート再生はできません。

※ *印: 再選曲することができます。

100ページ参照

■ ランダム(順序不同)再生する場合

① **ランダム** ボタンをタッチする。



全曲のランダム再生となります。

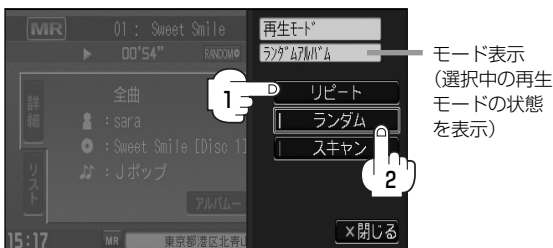
：全ての録音曲の中から順序不同で再生します。(TOP画面で**RANDOM**マーク表示有)

※もう一度**ランダム** ボタンをタッチすると通常再生に戻ります。(マーク表示無)
全曲のランダム再生以外にもアルバム／アーティストのランダム再生をすることができます。(下記)

□ アルバムまたはアーティストのランダム再生をするときは…

1. **リピート** ボタンをタッチしていき、再生モードをリピートアルバムまたはリピートアーティストにする。

※すでにリピートアルバム／リピートアーティスト再生をしている場合は手順1を省略することができます。



2. **ランダム** ボタンをタッチする。

：リピートの再生モードによって下記のように用途が変わります。

●再生モードが“リピートアルバム”のとき

今聞いているアルバムの中からランダム再生

(TOP画面でマーク表示は**RANDOM**となり)

※通常再生に戻る場合は**リピート** ボタンをタッチしていき、モード表示をなし(空白)にしてください。(TOP画面でマーク表示無)

●再生モードが“リピートアーティスト”のとき

今聞いているアーティストの中からランダム再生

(TOP画面でマーク表示は**RANDOM**となり)



アドバイス

- ランダム再生は、次に再生する曲を任意に決めるため同じ曲が連続で再生されることがあります。
- 選曲メニュー(「**96**ページ)の中で**ミュージックエスコート**を選択しているときランダム再生はできません。また、**ジャンル**を選択しているときはアルバムまたはアーティストのランダム再生ができません。
- ※**お気に入り**を選択し、再生させている場合はアーティストのランダム再生はできません。

Music Rackを使う(9)

■ スキャン(イントロ)再生する場合

- ① **スキャン** ボタンをタッチする。



全曲のスキャン再生となります。

：曲の頭(イントロ)を約10秒間再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。(TOP画面で **SCAN** マーク表示有)

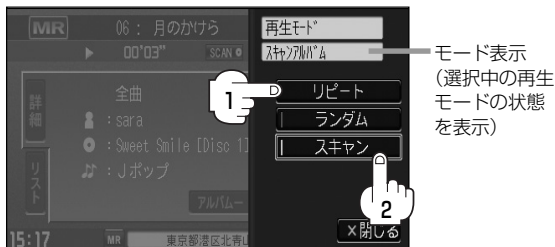
※もう一度 **スキャン** ボタンをタッチすると通常再生に戻ります。

全曲のスキャン再生以外にもアルバム／アーティストのスキャン再生をすることができます。(下記)

□ アルバムまたはアーティストのスキャン再生をするときは…

1. **リピート** ボタンをタッチしていき、再生モードをリピートアルバムまたはリピートアーティストにする。

※すでにリピートアルバム／リピートアーティスト再生をしている場合は手順1を省略することができます。



2. **スキャン** ボタンをタッチする。

：リピートの再生モードによって下記のように用途が変わります。

- 再生モードが“リピートアルバム”のとき

今聞いているアルバムの中からスキャン再生

(TOP画面でマーク表示は **SCAN** となり)

※通常再生に戻る場合は **リピート** ボタンをタッチしていき、モード表示をなし(空白)にしてください。(TOP画面でマーク表示無)

- 再生モードが“リピートアーティスト”のとき

今聞いているアーティストの中からスキャン再生

(TOP画面でマーク表示は **SCAN** となり)



アドハイス

- スキャン解除すると再生中の曲で通常再生を続けます。
- 選曲メニュー(「**アドハイス**」96ページ)の中で **ミュージックエスコート** を選択しているときスキャン再生はできません。また、**ジャンル** を選択しているときはアルバムまたはアーティストのスキャン再生ができません。
- ※ **お気に入り** を選択し、再生させている場合はアーティストのスキャン再生はできません。

3

設定を終わるには…
画面の **閉じる** ボタンをタッチする。

：TOP画面に戻ります。



アドバイス

マーク表示を消すまでそれぞれのモード再生を繰り返します。

MUSIC
RACK

〔再生モード選択（スキャン）〕

Music Rackを使う(10)

再生中の曲をお気に入り登録する

再生中の曲をお気に入り登録してオリジナルリスト(お気に入りのアルバムだけを集めた“お気に入りアルバム”／お気に入りの曲だけを集めた“お気に入りトラック”)を作成することができます。

1

画面の**登録** ボタンをタッチする。

: 画面右側に登録メニュー画面が表示されます。



2

画面の**お気に入り** ボタンをタッチする。

※Music Rack再生中はお気に入り登録できません。

はい ボタンをタッチして再生を停止してください。



: お気に入り登録画面が表示されます。

ジャンル ボタン

1曲またはアルバムのジャンルを変えたいときに使用します。

☞ 110ページ参照

ミュージックエスコート ボタン

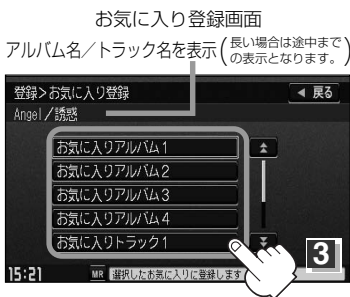
再生中トラックのミュージックエスコートの小分類を変えたいときに使用します。

☞ 111ページ参照

3

再生中トラックのアルバムを登録したい場合はお気に入りアルバム1~4の中から、再生中トラックを登録したい場合はお気に入りトラック1~4の中から登録したい場所をタッチする。

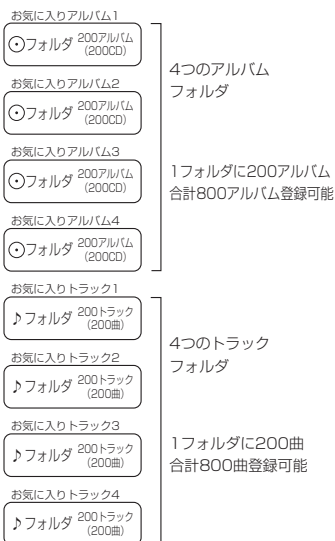
: 選択したお気に入りに登録され、手順**1**の画面に戻ります。





- 1つのお気に入りフォルダに登録できる数は200アルバムおよび200トラックです。合計800アルバムおよび800曲の登録が可能です。
- お気に入りフォルダの名前を変更したり登録したアルバムやトラックを削除することができます。
 [🔍] 「**お気に入りを管理する**」 126、127ページ、
- 再生していない曲をリストより選択してお気に入り登録することもできます。
- ・ アルバムを登録するときは
 [🔍] 「**アルバムリストの編集(曲管理)**」 113ページ
 手順 **1** ~ **3** と119ページ
 ■ **お気に入り登録 ボタンをタッチした場合** にしたがって操作する。
- ・ トラックを登録するときは
 [🔍] 「**トラックリストの編集(曲管理)**」 120ページ
 手順 **1**、**2** と125ページ
 ■ **お気に入り登録 ボタンをタッチした場合** にしたがって操作する。

お気に入りフォルダ(お気に入りリスト)の構成



Music Rackを使う(11)

再生中の曲のジャンルとミュージックエスコートを設定する

本機によって振り分けられたミュージックエスコートの分類やジャンルをお好みにあわせて設定しなおす(カスタマイズする)ことができます。

1 画面の**登録** ボタンをタッチする。

: 画面右側に登録メニュー画面が表示されます。



2 設定(カスタマイズ)しなおしたい(**ジャンル** / **ミュージックエスコート**) ボタンをタッチする。

※Music Rack再生中は設定できません。

はい ボタンをタッチして再生を停止してください。

■ ジャンルを変更したい場合

① **ジャンル** ボタンをタッチする。

: ジャンルカスタマイズ画面が表示されます。

登録メニュー



② **トラック単位** または **アルバム単位** ボタンをタッチする。



選択中トラックのジャンル変更となります。

選択中アルバムのジャンル変更となります。

選択中のトラック名またはアルバム名を表示

③ お好きなジャンルをタッチする。



: ジャンルは変更(登録)されTOP画面に戻ります。

※ジャンルの種類につきましては99ページアドバイス内「*ジャンル一覧」を参照ください。

■ ミュージックエスコートの分類を変更したい場合

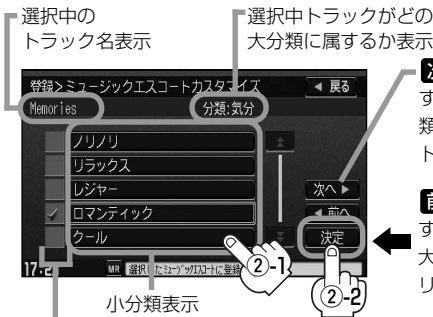
① ミュージックエスコート ボタンをタッチする。

：ミュージックエスコートカスタマイズ画面が表示されます。



② リストより小分類を選択し、**決定** ボタンをタッチする。

ミュージックエスコートカスタマイズ画面

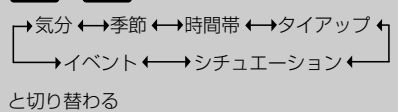


リストをタッチするたびに✓表示の有無が切り替わります。

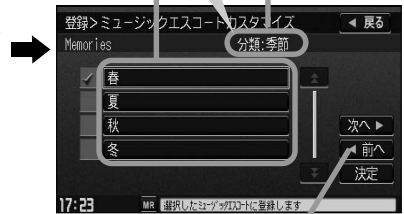
□表示：設定されていません。

✓表示：設定されています。

次へ／前へ ボタンタッチで大分類が



小分類表示 次の大分類を表示



：ミュージックエスコート(分類)は変更(登録)され、TOP画面に戻ります。

ミュージックエスコートの分類をお客様が変更する場合、各分類につき1つずつしか属性を設定できません。

MUSIC Basic

ジャンル変更／ミュージックエスコート分類変更

分類						
大分類	気分	季節	時間帯	タイアップ	シチュエーション	イベント
小分類	ノリノリ／ リラックス／ レジャー／ ロマンティック／ クール	春／夏／秋／冬	早朝／朝／昼／ 夜／深夜	CMソング／ ドラマ主題歌／ ゲームソング／ 映画主題歌／ テレビ主題歌	海沿い／都市／ ハイウェイ／ 雨／晴れ／雪	クリスマス／ バレンタイン／ 卒業／誕生日／ 入学／結婚



● **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。



● **↑** / **▼** ボタンタッチでページ戻し／送り表示することができます。

Music Rackを使う(12)

好きなアルバムを選ぶ

アルバムごとを選択することができます。

1

Music RackモードのTOP画面が詳細表示のとき、画面の **アルバム-** / **アルバム+** ボタンをタッチする。

■ 前のアルバムに戻る場合

アルバム- ボタンをタッチする。

■ 次のアルバムに進む場合

アルバム+ ボタンをタッチする。

Music Rackモード TOP画面(詳細表示(例))



アドバイス

- ジャンル/ミュージックエスコート/お気に入りトラック*再生中は **アルバム-** / **アルバム+** ボタンは選択できません。
(* : お気に入りアルバムの場合は選択できます。)
- Music RackモードのTOP画面は選択するボタンによって詳細表示/トラックリスト表示と表示が異なります。
トラックリスト表示の場合は画面の **詳細** ボタンをタッチして詳細表示にして上記手順 **1** の操作を行なってください。

トラックリスト表示時(例)



アルバムリストの編集(曲管理)

アルバム名の変更や再生選択、お気に入り登録、アルバムの削除などを行うことができます。また、ジャンルの変更やデータベースの再検索なども行うことができます。

1 画面の **編集** ボタンをタッチする。

：画面右側に編集メニューが表示されます。



2 編集メニューより **曲管理** ボタンをタッチする。

：曲管理画面が表示されます。

※Music Rack再生中は編集メニューのボタンを選択できません。はいボタンをタッチして再生を停止してください。



お気に入り管理 ボタン
お気に入りフォルダ名の変更や削除などを行うことができます。
▶ 126、127ページ

現在のアルバム ボタン
アルバム編集画面を表示します。
▶ 114ページ

現在の曲 ボタン
トラック編集画面を表示します。
▶ 121ページ

3 編集したいアルバムを選択し、

操作したいボタン(**アルバム編集** / **再生選択** / **お気に入り登録** / **削除**)
をタッチします。



※トラックの編集(**トラック表示** ボタンにつきまして)は
▶ 「**トラックリストの編集(曲管理)**」120～125ページを参照してください。

Music Rackを使う(13)

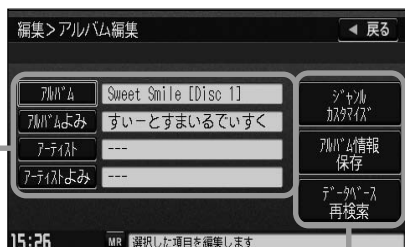
■ アルバム編集 ボタンをタッチした場合

: アルバム編集画面が表示されます。

アルバム編集画面ではタイトル名の編集のほか、ジャンルの変更やアルバム情報の保存、データベースの再検索をすることができます。

タイトル名の編集をする場合は
☞ 下記および115ページ参照

アルバム編集画面



お好きなジャンルに変更したりアルバム情報の保存やデータベースの再検索をする場合は
☞ 116、117ページ参照

□ タイトルの編集をするときは…

① 編集したい項目をタッチする。

: タイトル編集画面が表示されます。

※アルバム名/アーティスト名や、アルバム名/アーティスト名の読みがな(読みかた)を編集することができます。

アルバム編集画面



アルバム名

アルバム名の読みがな
(読みかた)

アーティスト名

アーティスト名の読みがな
(読みかた)



アドバイス

- **アルバムよみ** の項目をタッチすると再生画面にて表示されているアルバム名をかな読み表示します。
- アーティスト名 (**アーティスト**) は、誤った名前を表示したりヒットしなかった場合に編集(入力)します。再生画面に正しく表示されていても編集画面にすると情報なし(未表示)場合があります。その場合は名前順検索時に正しく検索できませんのでアーティスト名を編集画面にて入力してください。
※選択しているアルバムのアーティスト名が一括で変更となります。
- アルバム編集画面の情報はアルバムリスト画面(☞ 97ページ) / アーティストリスト画面(☞ 98ページ)の名前順検索の情報となります。アーティスト名のよみが入っているものをリスト上より名前順に並び替え、さらにその下によみが入っていないものをSHIFT-JIS順に並び替えて表示します。
- アーティスト名 / アーティスト名の読みがなを入力しても編集画面には表示されません。変更状態はトラック編集画面(☞ 121ページ)から確認することができます。
※再生画面(Music Rackモード TOP画面の詳細表示)からアーティスト名の確認ができます。
- 編集によって変えてしまったタイトルを元に戻す(入力前の情報に戻したい)場合は **データベース再検索** をタッチしてください。

②入力する。

※入力できる文字数は全角32(半角64)文字です。

番号順に操作してください。

ひらがなとカタカナを入力する場合

例「わわ」と入力する場合

← → ボタンをタッチしてカーソルの位置を変えることができます。

1 **わ** ボタンをタッチする。
:画面上部に、「わ」があらわれます。

3 **ワ** ボタンを選び、タッチする。
(画面上部に、「ワ」があらわれる。)

1文字分のスペースを空けます。

2 **カナ** ボタンをタッチする。
:50音パレットがカタカナになります。
※タッチするたびに
カナ → 英数 と切り替わります。
用途に合わせて切り替えてください。

小文字に変換したい場合
小文字 ボタンをタッチする。
:50音パレットが選択可能な文字のみ小文字になります。
※タッチするたびに **小文字** ↔ **大文字** と切り替わります。
用途にあわせて切り替えてください。

漢字を入力する場合

例「桜」を入力する場合

漢字に変換するひらがなの範囲を変えたい場合に ← → ボタンを選択します。



1 **さく** **ら** ボタンをタッチする。
:画面上部に「さくら」と表示されます。

2 **変換** ボタンをタッチする。
:さくらに該当するリストが表示されます。

3 **桜** ボタンをタッチする。
:画面上部に「桜」と表示されます。
※リストをタッチする前に **閉じる** ボタンをタッチすると何も選択しないままリストを閉じます。

• 次ページがある場合 ▲ / ▼ ボタンで1ページずつの戻し/送り表示をします。

※ **無変換** ボタンをタッチすると入力したひらがなを漢字に変換せず、確定します。

※ **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。

③入力が終わったら…

画面の **決定** ボタンをタッチする。

: 変更が保存され、アルバム編集画面に戻ります。



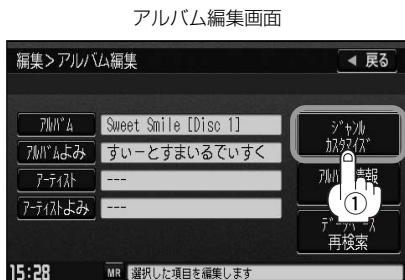
入力した文字を訂正する場合

① **訂正** ボタンをタッチする。
: 1文字消去します。
※全ての文字を訂正する場合は、**訂正** ボタンを1.5秒以上タッチします。
②正しい文字を入力する。

Music Rackを使う(14)

- **ジャンルを変更するときは...** ※本機によってふり分けられたジャンルを変えたい場合に使用します。

① **ジャンルカスタマイズ** ボタンをタッチする。



：ジャンルカスタマイズ画面が表示されます。

② **好きなジャンルボタン**をタッチする。



：選択中アルバムのジャンルは変更され、アルバム編集画面に戻ります。

- **アルバム情報を保存するときは...** ※本機(HDD)に収録されていないタイトル情報を本機のGracenoteデータベースフォルダに保存します。

① **アルバム情報保存** ボタンをタッチする。



：アルバム情報を保存し、アルバム編集画面に戻ります。



アドハイス

保存した情報はカスタムアップデートをすることによって未収録だったタイトルを付加(取得)することができます。

カスタムアップデート

1. Gracenote音楽認識サービスよりタイトル情報を取得する。(☞P60ページ①～⑤)
2. データベース再検索を行なって取り込んだタイトル情報を本機で反映する。(☞P61ページ⑥、⑦)

□ データベースから再検索するときは…

- ① **データベース再検索** ボタンを
タッチする。

アルバム編集画面



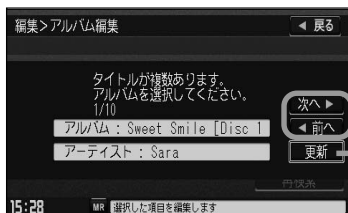
※誤ったタイトル(アルバム名/アーティスト名)が表示されている場合に再検索によって正しいタイトル情報を上書きすることができます。(上書きできない場合もあります。)編集によって変えてしまったタイトル名を元に戻したり、新たに取込んだ情報の書きかえなどをする場合に使用します。

: タイトル情報を更新し、アルバム編集画面に戻ります。



アドバイス

データベース再検索をしたときタイトル情報が複数ある場合は好きなアルバム名を選択することができます。
※データベースにヒットしなかった場合は正しいタイトルが入手できない場合があります。



- 1 **次へ** / **前へ** ボタンをタッチして次のアルバム名を表示させることができます。
- 2 上書きするアルバム名が決まったら **更新** ボタンをタッチします。

Music Rackを使う(15)

- **再生選択** ボタンをタッチした場合 ※✓マークのアルバムのみ再生させることができます。

: 再生選択画面が表示されます。

①再生させたくないアルバムをタッチする。

再生選択画面(例)



全選択 アルバムを一括で選択することができます。
(すべてのアルバムにチェックマーク(✓)が付きます。)

全解除 選択したアルバムを止める(取り消す)ことができます。
(すべてのアルバムのチェックマーク(✓)を消します。)


アルバムをタッチするたびに✓表示の有無が切り替わります。

□表示: このアルバムは再生されません。

✓表示: このアルバムは再生されます。

②画面の**決定** ボタンをタッチする。



: 曲管理画面( 113ページ)に
戻ります。



- ✓マークを外して再生しない設定にしても、本機(Music Rack)内の音楽(アルバム)は存在したままとなります。また、ジャンル/ミュージックエスコート/お気に入りのリストには反映されません。
 - 本機の登録アルバム数が100以上の場合、再生選択画面に **前へ** / **次へ** ボタンが表示されます。
- ※ **前へ** / **次へ** ボタンをタッチして100アルバムごとの再生選択をしてください。

- **お気に入り登録** ボタンをタッチした場合 ※アルバムリスト(☞P113ページ)より好きなアルバムを選び、お気に入り登録することができます。
: お気に入り登録画面が表示されます。

①登録したい場所(お気に入りアルバム1~4)をタッチする。

お気に入り登録画面



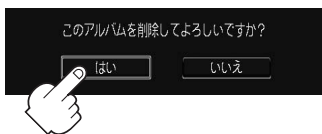
: 選択したお気に入りにアルバムが登録され、曲管理画面(☞P113ページ)に戻ります。



- 1つの“お気に入りアルバム”に登録できるアルバム数は200です。合計800アルバムの登録が可能です。
- トラックリストより好きなトラックを選び、お気に入り登録するには120ページ手順 **1**、**2** と125ページを参照してください。
- 再生中の曲(アルバム)をお気に入り登録することもできます。
☞「再生中の曲をお気に入り登録する」108、109ページ

- **削除** ボタンをタッチした場合 ※アルバムを削除することができます。

: 選択したアルバムを削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチしてください。



※削除しない場合は **いいえ** ボタンをタッチしてください。



削除中は他の操作(モードを切り替えたり車のエンジンスイッチをO(OFF)にしたりI(ACC)の状態からII(ON)にしてエンジンを始動したり電源をOFF状態にしたり)をしないでください。
他の操作をすると故障の原因となります。
※アルバムを削除すると、お気に入り登録したアルバムやトラックも削除されます。



- 次ページがある場合 ▲ / ▼ ボタンで1ページずつの戻し/送り表示をします。
- **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。

Music Rackを使う(16)

トラックリストの編集(曲管理)

アーティスト名/トラック名の変更や、再生選択、お気に入り登録、トラックの削除をすることができます。

- 1** 113ページ手順**1**、**2**にしたがって操作し、手順**3**のとき編集したいアルバムを選択し、**トラック表示** ボタンをタッチする。

: 曲管理のトラック表示画面が表示されます。



- 2** 編集したいトラックを選択し、操作したいボタン(**トラック編集** / **再生選択** / **お気に入り登録** / **削除**)をタッチする。



アドバイス

編集したいトラックを選択しなくしても **再生選択** ボタンはタッチ(操作)することができます。

■ **トラック編集** ボタンをタッチした場合

：トラック編集画面が表示されます。

トラック編集画面ではタイトル名の編集のほか、ジャンルやミュージックエスコートの変更、データベースの再検索(タイトル情報の上書き)をすることができます。

タイトル名の編集をする場合は下記参照

トラック編集画面



お好きなジャンルやミュージックエスコートに変更したりデータベースの再検索をする場合は
P122、123ページ参照

□ **タイトルの編集をするときは…**

※アーティスト名/トラック名や、アーティスト名/トラック名の読みがな(読みかた)を編集することができます。

① 編集したい項目をタッチする。

：タイトル編集画面が表示されます。

トラック編集画面



アーティスト名

アーティスト名の読みがな
(読みかた)

トラック名

トラック名の読みがな
(読みかた)



アドバンス

- **アーティストよみ** / **トラックよみ** の項目をタッチすると再生画面にて表示されているアーティスト名/トラック名をかな読みにて表示します。
- アーティスト名(**アーティスト**)は、誤った名前を表示したりヒットしなかった場合に編集(入力)します。(再生画面に正しく表示されていても編集画面にすると情報なし(未表示)場合があります。その場合は名前前順検索時に正しく検索できませんのでアーティスト名を編集画面にて入力してください。)
- トラック編集画面の情報はアーティストリスト画面(P98ページ)の名前順検索の情報となります。アーティスト名のよみが入っているものをリスト上より名前順に並び替え、さらにその下によみが入っていないものをSHIFT-JIS順に並び替えて表示します。
- 編集によって変えてしまったタイトルを元に戻す(入力前の情報に戻したい)場合は **データベース再検索** ボタンをタッチしてください。

② 入力する。

※入力のしかたは115ページを参考にしてください。

Music Rackを使う(17)

□ **ジャンルを変更するときは…** ※本機によってふり分けられたジャンルを変えたい場合に使用します。

① **ジャンルカスタマイズ** ボタンをタッチする。

② **お好きなジャンルボタンをタッチする。**

※ジャンルの種類につきましてはP99ページアドバイスを参照してください。

トラック編集画面



: ジャンルカスタマイズ画面が表示されます。

ジャンルカスタマイズ画面



: 選択中トラックのジャンルは変更され、トラック編集画面に戻ります。

□ **ミュージックエスコート(分類)を変更するときは…** ※本機によってふり分けられたミュージックエスコートの分類を変えたい場合に使用します。

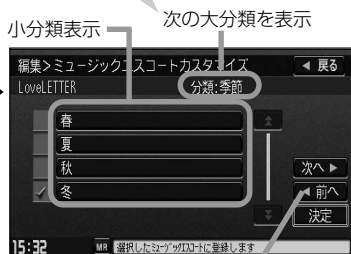
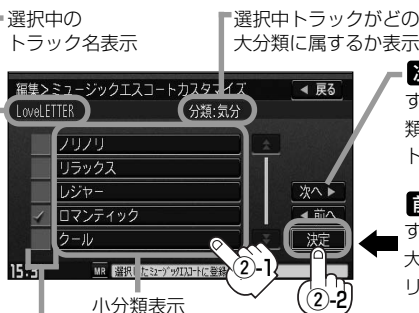
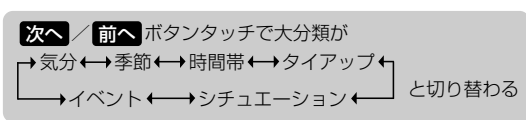
① **ミュージックエスコートカスタマイズ** ボタンをタッチする。

: ミュージックエスコートカスタマイズ画面が表示されます。



② **リストより小分類を選択し、決定** ボタンをタッチする。

ミュージックエスコートカスタマイズ画面



リストをタッチするたびに✓表示の有無が切り替わります。
□表示: 設定されていません。/✓表示: 設定されています。

: ミュージックエスコート(分類)は変更(登録)され、TOP画面に戻ります。

※ミュージックエスコートの大分類/小分類(一覧)につきましてはP111ページ手順②の表を参照してください。
※ミュージックエスコートの分類をお客様が変更する場合、各分類につき1つずつしか属性を設定できません。

□ データベースから再検索するときは…

① データベース再検索 ボタンをタッチする。

トラック編集画面



※誤ったタイトル(アーティスト名/トラック名)が表示されている場合に再検索によって正しいタイトル情報を上書きすることができます。(上書きできない場合もあります。)

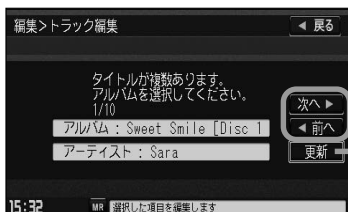
編集によって変えてしまったタイトル名を元に戻したり、新たに取り込んだ情報の書きかえなどをする場合に使用します。

：タイトル情報を更新し、トラック編集画面に戻ります。



タイトル情報が複数ある場合は好きなアルバム名を選択することができます。

※データベースにヒットしなかった場合は正しいタイトルが入手できない場合があります。



1 次へ / 前へ ボタンをタッチして次のアルバム名を表示させることができます。

2 上書きするアルバム名が決まったら 更新 ボタンをタッチします。

Music Rackを使う(18)

- **再生選択** ボタンをタッチした場合 ※✓マークのトラックのみ再生させることができます。
: 再生選択画面が表示されます。

①再生させたくないトラックをタッチする。

再生選択画面(例)



- トラックを一括で選択することができます。(すべてのトラックにチェックマーク(✓)が付きます。)
- 選択したトラックを止める(取り消す)ことができます。(すべてのトラックのチェックマーク(✓)を消します。)

トラックをタッチするたびに✓表示の有無が切り替わります。

□表示: このトラックは再生されません。

✓表示: このトラックは再生されます。

②画面の**決定** ボタンをタッチする。



: 曲管理のトラック表示画面に戻ります。



アドバンス

- ✓マークを外して再生しない設定にしても、本機(Music Rack)内の音楽(トラック)は存在したままとなります。また、ジャンル/ミュージックエスコート/お気に入りのリストには反映されません。
- 本機を選択アルバム内のトラック数が100以上の場合、再生選択画面に **前へ** / **次へ** ボタンが表示されます。
- ※ **前へ** / **次へ** ボタンをタッチして100トラックごとの再生選択をしてください。

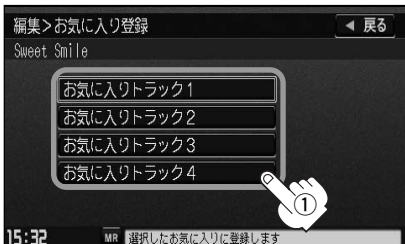
■ **お気に入り登録** ボタンをタッチした場合

※トラック表示画面（ 120ページ）より好きなトラックを選び、お気に入り登録することができます。

：お気に入り登録画面が表示されます。

①登録したい場所（お気に入りトラック1～4）をタッチする。

お気に入り登録画面



：選択したお気に入りにトラックが登録され、曲管理のトラック表示画面に戻ります。

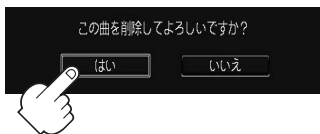


- 1つの“お気に入りトラック”に登録できるトラック数は200です。合計800曲の登録が可能です。
- アルバムリストより好きなアルバムを選び、お気に入り登録するには113ページ手順 **1** ~ **3** と119ページを参照してください。
- 再生中の曲（アルバム）をお気に入り登録することもできます。
 108、109ページ

■ **削除** ボタンをタッチした場合

※トラックを削除することができます。

：選択したトラック（曲）を削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチしてください。



※削除しない場合は **いいえ** ボタンをタッチしてください。



削除中は他の操作（モードを切り替えたり車のエンジンスイッチをO(OFF)にしたりI(ACC)の状態からII(ON)にしてエンジンを始動したり電源をOFF状態にしたり）をしないでください。

他の操作をすると故障の原因となります。

※トラックを削除すると、お気に入り登録したトラックも削除されます。



- 次ページがある場合 / ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。
- 画面の **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。

Music Rackを使う(19)

お気に入り管理する

お気に入りフォルダ(お気に入りアルバム1~4/お気に入りトラック1~4)の名前の変更やお気に入りフォルダ内の(アルバム/トラックの)削除をすることができます。

1

画面の **編集** ボタンをタッチする。

: 画面右側に編集メニューが表示されます。



2

編集メニューの **お気に入り管理** ボタンをタッチする。

※Music Rack再生中は編集メニューのボタンを選択できません。**はい** ボタンをタッチして再生を停止してください。



編集メニュー画面

曲管理 ボタン

アルバムの再生選択や編集や削除、お気に入り登録などをすることができます。

☞ 113~125ページ

現在のアルバム ボタン

アルバム編集画面を表示します。

☞ 114ページ

現在の曲 ボタン

トラック編集画面を表示します。

☞ 121ページ

: お気に入り管理画面が表示されます。

3

編集したいお気に入りフォルダ(お気に入りアルバム1~4またはお気に入りトラック1~4)を選択し、操作したいボタン(**フォルダ内表示** / **フォルダ名編集** / **削除**)をタッチします。

3-1



ボタンタッチで
1ページずつの戻り送り表示

3-2



アドバイス

お気に入りリストは4つのお気に入りアルバムフォルダと4つのお気に入りトラックフォルダがあり、1フォルダに最大200アルバムおよび200曲の登録が可能です。

☞ 109、119、125ページを参照してください。

■ **フォルダ内表示** ボタンをタッチした場合

(選択したアルバムまたはトラックの削除)

: フォルダ内表示画面が表示されます。

- ①削除するには削除したいアルバムまたはトラックを選択し、**削除** ボタンをタッチする。

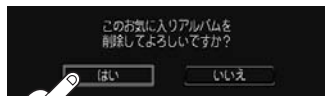
フォルダ内表示画面



手順 **3** で選択したフォルダ内の情報(内容)を表示

※選択したお気に入りフォルダ内の確認とアルバムまたはトラックの削除をすることができます。

- ②削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチする。



: 選択したアルバムまたはトラックを削除し、フォルダ内表示画面に戻ります。

■ **フォルダ名編集** ボタンをタッチした場合

: タイトル編集画面が表示されます。

- ①画面の50音パレットを使って入力し、**決定** ボタンをタッチする。

※入力のしかたは115ページを参考にしてください。

※タイトル(お気に入りアルバム1~4/お気に入りトラック1~4の名前)を変更することができます。



■ **削除** ボタンをタッチした場合

※選択したお気に入りフォルダ(アルバム1~4/トラック1~4)内の曲を一括で削除することができます。

(1フォルダ(最大200アルバム)ごとの削除)

- ①削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチする。

: 選択したお気に入りフォルダ内の曲を全て削除し、お気に入り管理画面に戻ります。



●次ページがある場合 **▲** / **▼** ボタンで1ページずつの戻し/送り表示をします。

●**戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。

●削除中は他の操作(モードを切り替えたり車のエンジンスイッチを0(OFF)にしたり電源を切ったりなど)をしないでください。故障の原因となります。



MP3/WMA

MP3/WMAについて	130~135
MP3/WMAを使う	136~143
各部の名称とはたらき	136
表示部(再生画面)について	137
MP3/WMAを聞く	138、139
MP3/WMAモードを終了する	139
MP3/WMAディスクを取り出す	139
1ファイルずつ選曲する(トラックを戻す/進める)	140
早戻し/早送りをする	140
好きなフォルダを選ぶ	141
再生モードを選択する(リピート再生)	142、143

MP3/WMAについて(1)

■MP3とは？

MP3 (MPEG Audio Layer 3) は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、元のファイルを最大約1/10のサイズに圧縮することができます。

■WMAとは？

WMA (Windows Media™ Audio) は米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Playerを使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。WMAは音声データをMP3よりも高い圧縮率(約2倍)で音楽ファイルを作成・保存することができます。さらにデジタルならではの高音質を得ることができます。

■再生可能なMP3/WMAファイルの規格について

	MP3	WMA
対応規格	MPEG Audio Layer 3	Windows Media Audio*1
対応サンプリング周波数	☞ 134ページ参照	☞ 135ページ参照
対応ビットレート*2		

*1印：●DRM(デジタル著作権管理)システムのWMAファイルやプロテクト録音(ライセンス管理)されたWMAファイルは再生できません。

●Windows Media Audio Standardフォーマット以外のフォーマットには対応しておりません。

*2印：●一般的にビットレートが高くなるほど音質はよくなります。一定の音質で音楽を楽しんでいただくためにはMP3では128 kbps、WMAではできるだけ高いビットレートで記録されたディスクの使用をおすすめします。

●VBRに対応しています。

●フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。

※極端にサイズの大きいファイル、極端にサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。

■使用できるメディアについて

●MP3/WMAの再生に使用できるメディアはCD-RおよびCD-RWです。

※CD-R、CD-RWは通常の音楽CDに使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RWは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズがつくと再生できない場合や音飛びする場合があります。

●一部のCD-R、CD-RWは長時間の車内環境において劣化するものがあります。

※CD-R、CD-RWは紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

■ファイル名について

●MP3/WMAと認識し再生するファイルはMP3の拡張子“MP3”(*1)/WMAの拡張子“WMA”(*1)が付いたものだけです。

●MP3ファイルには“MP3”、WMAのファイルには“WMA”の拡張子を付けて保存してください。

*1)：拡張子名“MP3”/WMAは大文字でも小文字でもかまいません。



アドバイス

MP3以外のファイルに“MP3”の拡張子またはWMA以外のファイルに“WMA”の拡張子を付けると、MP3ファイル/WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3/WMAファイル以外に、“MP3”/“WMA”の拡張子を付けしないでください。MP3/WMA以外の形式のファイルは動作を保証しておりません。

■ID3タグについて

MP3ファイルにはIDタグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

- ID3タグバージョン1.xの表示可能文字数は半角30文字、2.xは半角64文字です。
- ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。
- 本機は日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けすることがあります。

※本機が対応しているID3タグはトラック名／アーティスト名／アルバム名です。

※WMAタグの表示可能文字数は半角32文字です。

※対応バージョンはVer 1.0／1.1／2.2／2.3となります。

■マルチセッションについて

マルチセッションに対応しており、MP3／WMAファイルを追記したCD-R、CD-RWの再生が可能です。ただし、“Track at once”で書き込んだ場合、セッションクローズや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。

■MP3／WMAの再生について

MP3／WMAファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。CD-RWはディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rより時間がかかります。



アドバイス

- ディスク内のファイルをチェックしている間、音はできません。
- ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3／WMAファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
- 再生不可能なファイルがある場合、そのファイルはスキップします。(再生しません。)

■MP3／WMAの演奏時間表示について

MP3／WMAファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

■使用できるディスクのフォーマットについて

使用できるメディアのフォーマットは拡張フォーマットを除いたISO9660レベル1(*)およびレベル2(*)です。

※UDF形式のディスクでの動作保証はしていません。

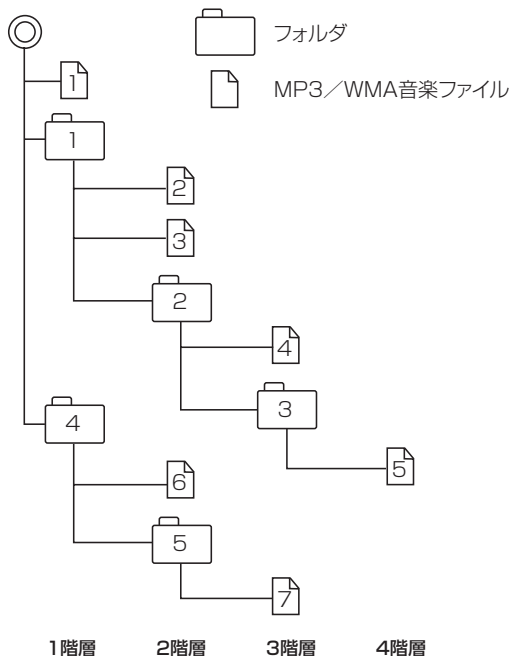
上記フォーマット(*)以外で書き込まれたMP3ファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

規格ならびに制限事項は次のとおりです。

- 最大フォルダ階層 : 8階層
- 最大フォルダ名／ファイル名文字数 : 全角32、半角64文字
- フォルダ名／ファイル名使用可能文字 : A～Z、0～9、_(アンダースコア)、JIS第一水準
- 1フォルダ中の最大ファイル数 : 255(ファイル数+フォルダ数)
- 最大フォルダ数 : 100
- マルチセッション方式で記録したディスクの再生に対応しています。
- パケットライト／m3u／MP3iフォーマット／MP3 PROフォーマット／ディエンファシスには対応していません。

MP3/WMAについて(2)

階層と再生順序のイメージ



- ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- 本機では、フォルダの中にMP3およびWMAファイルがなくても、一つのフォルダとして数えます。選択した場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。
- ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並べ替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
- 再生の順序は、同一のディスクでも、使用する機器(プレーヤー)によって異なる場合があります。
- 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- 通常は、**1** → **2** → **3** → **4** → **5** → **6** → **7** の順に再生します。
- 同じ階層に複数のMP3/WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、ファイル名、フォルダ名の昇順に再生します。
- 8階層までのMP3および、WMAファイルの再生に対応していますが、多くの階層またはファイルを多く持つディスクは再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には階層を2つ以下にすることをおすすめします。

■MP3/WMAファイルの作り方について

MP3/WMAファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

□インターネットの配信サイトより入手する場合

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々なMP3音楽配信サイトがあります。そのサイトごとのルールを守り(料金支払いなど)、そこから指示通りにダウンロードを行いません。

□音楽CDをMP3またはWMAファイルに変換する

パソコンと市販のMP3/WMAエンコーダ(変換)ソフトを用意します(インターネット上で無料配信されているエンコーダソフトもあります)。パソコンのCD-ROMドライブに音楽CDを入れ、MP3/WMAエンコーダソフトの手順にしたがって音楽CDの曲を圧縮変換すると、MP3/WMA形式の音楽データファイルができます。12cmの音楽CD1枚(最大74分収録/データ容量650MB)が約65MBのデータ量(約10分の1)になります。

□CD-R/CD-RWに書き込む場合

MP3/WMAファイルをパソコンに接続されているCD-R/RWドライブを介してCD-R/RWに書き込みます。この時、ライティングソフトで本機が対応している記録フォーマットに設定して書き込みます。



アドバース

- CD-R、CD-RWはディスクの特性により読み取れない場合があります。
- MP3は市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- ディスクにMP3/WMA以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- MP3/WMAファイルの作成の詳細はエンコーダソフトや使用するオーディオ機器の説明書を参照してください。
- MP3/WMAファイルの作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるファイル、ディスクが作成される場合があり、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。セッションクローズ、ファイナライズ処理を行っていないディスクは再生できません。

MP3/WMAについて(3)

■再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

MP3

	MPEG1	MPEG2
サンプリング周波数 (kHz)		
16.000	—	○
22.050	—	○
24.000	—	○
32.000	○	—
44.100	○	—
48.000	○	—
ビットレート (kbps)		
8	—	○
16	—	○
24	—	○
32	○	○
40	○	○
48	○	○
56	○	○
64	○	○
80	○	○
96	○	○
112	○	○
128	○	○
144	—	○
160	○	○
192	○	—
224	○	—
256	○	—
320	○	—
VBR	○	○

※VBR：可変ビットレート

WMA

	WMA7	WMA9 standard
サンプリング周波数 (kHz)		
32.000	○	○
44.100	○	○
48.000	—	○
ビットレート (kbps)		
48	○	○
64	○	○
80	○	○
96	○	○
128	○	○
160	○	○
192	○	○
256	—	○
320	—	○
VBR	—	○

※VBR：可変ビットレート

●表示可能なID3/WMAタグ

Song Title、Artist Name、Album Title

※MP3のID3タグはVer1.0、Ver1.1、Ver2.2、Ver2.3に対応しています。

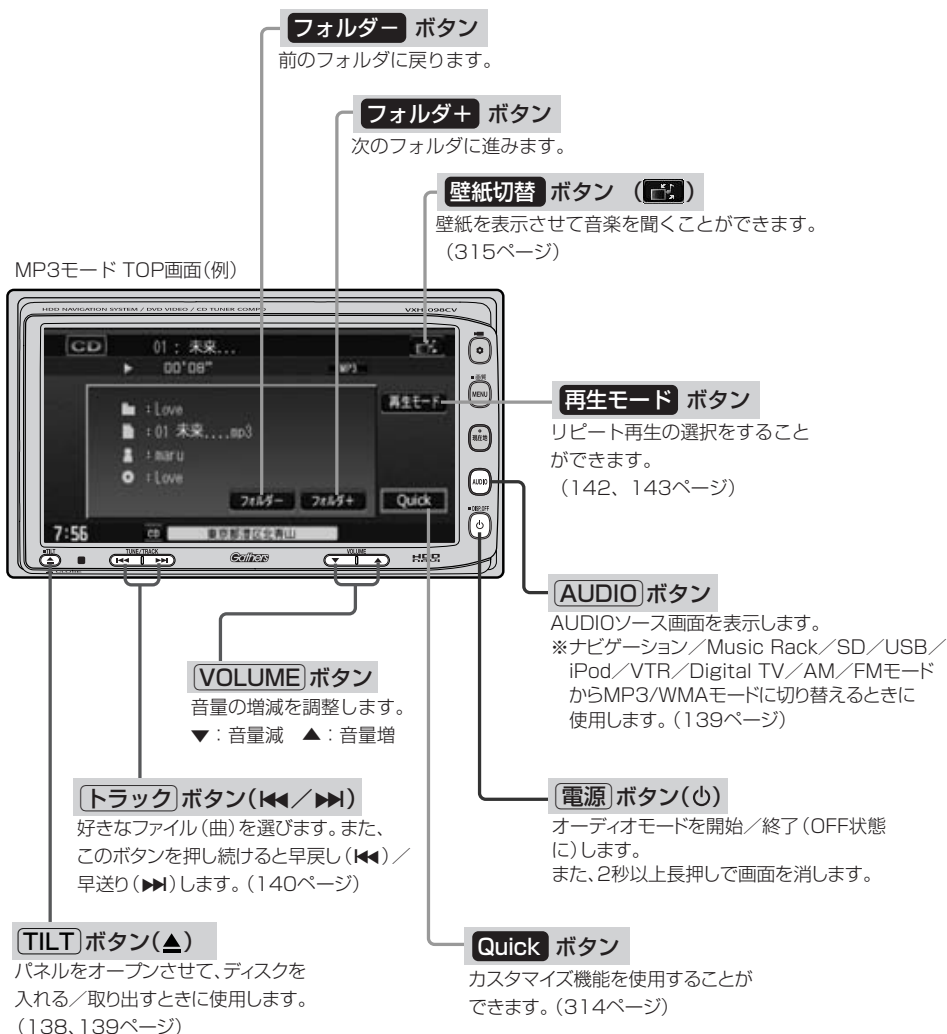
●フォルダ番号、トラック番号について

演奏される順番はライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため記録しようとした順番と再生される順番が一致しないことがあります。

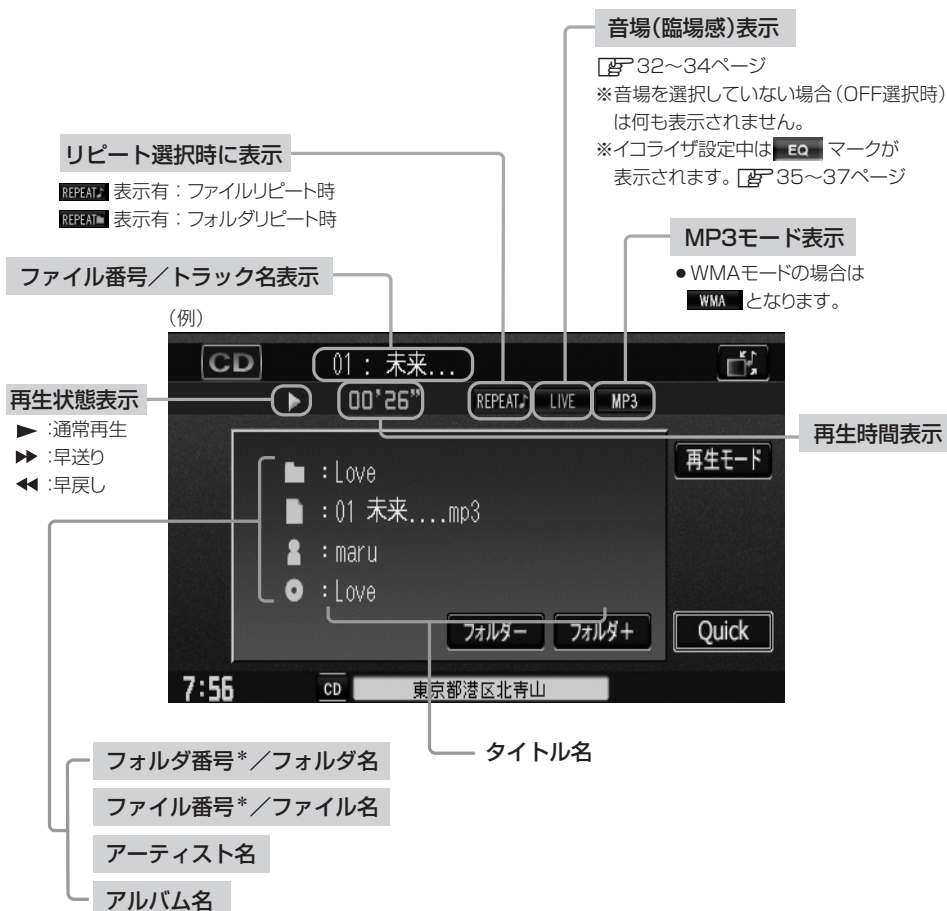
- 32kHz以下のサンプリング周波数のMP3/WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 64kbps以下のビットレートで再生されたMP3/WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- WMA9 Professional/WMA9 Losslessには対応していません。

MP3/WMAを使う(1)

各部の名称とはたらき



表示部(再生画面)について

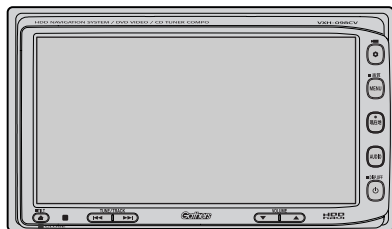


アドハイス

- トラック名/ファイル名/アーティスト名/アルバム名の最大表示文字数は全角32(半角64)文字です。(本機は漢字・ひらがな対応しています)
 ※*印 : フォルダ番号/ファイル番号は作成したディスク(MP3/WMAファイル)によっては表示されません。
- タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名(トラック名/フォルダ番号・フォルダ名/ファイル番号・ファイル名/アーティスト名/アルバム名)をタッチしてスクロールさせ、つづきを確認することができます。
 ※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
- トラック名/アーティスト名/アルバム名が記録されていないディスクの場合は、“No Title”と表示されます。

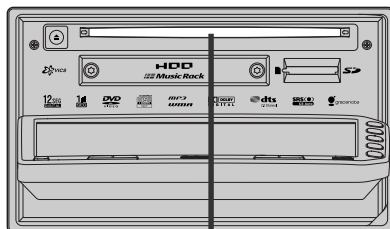
MP3/WMAを使う(2)

[ディスプレイが閉じた状態]



1 TILTボタン(▲)

[ディスプレイが開いた状態]



2 DVD/CD挿入口

MP3/WMAを聞く

■ ディスク未挿入の場合

1 パネルの TILT ボタン(▲)を押す。

: ディスプレイが開きます。



ディスクの印刷面を下にして入れるとディスクを認識しません。必ず印刷面を上にして挿入してください。

2 DVD/CD挿入口にMP3またはWMAのデータが入ったCDを挿入する。

: 自動でディスプレイが閉じ、MP3またはWMAの再生を始めます。

■ 他のモード画面を表示している場合

□ 前回MP3/WMAモード画面でOFF (オーディオモードを終了)していた場合

① パネルの 電源 ボタン(⏻)を押す。

: 前回のつづきからMP3/WMAの再生を始めます。



① 電源 ボタン(⏻)

□ ナビゲーションまたは前回MP3/WMAモード以外のオーディオモード画面の場合

① パネルの **AUDIO** ボタンを押す。

：AUDIOソース画面またはラストモード*画面が表示されます。

□ AUDIOソース画面のときは…

②に進んでください。

□ ラストモード*画面のときは…

もう一度 **AUDIO** ボタンを押す。

：AUDIOソース画面が表示されます。

*：前回最後に選択していたモード画面 (OFF含む)

②画面の **CD** ボタンをタッチする。

：MP3またはWMAの再生を始めます。



① **AUDIO** ボタン

AUDIOソース画面(例)



■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

🔊 「音量を調整する」 26ページ

📺 「映像の調整のしかた」 27～29ページ

🔊 「オーディオの調整をする」 32～43ページ



MP3/WMAの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

🔊 「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」 24ページ

MP3/WMAモードを終了する

1

パネルの **電源** ボタン(🔌)を押す。

：画面に“OFF”と表示されMP3/WMAの再生を止めます。(オーディオモード終了)



1 **電源** ボタン(🔌)

MP3/WMAディスクを取り出す

1

82ページ **CDを取り出す** の手順 1、2 にしたがって操作してください。

MP3/WMA

聞く

MP3/WMAモードを終了する

取り出す

MP3/WMAを使う(3)

1ファイルずつ選曲する(トラックを戻す/進める)

1 パネルの **トラック** ボタン(◀◀/▶▶)を押す。

：前のファイルに戻る、または次のファイルに進みます。

※聞きたい曲のファイル番号を表示させます。



1 **トラック** ボタン

■ 前のトラックに戻る場合

◀◀側を2回押す。

※1回押した場合は再生中のファイル(曲)の頭に戻ります。

■ 次のトラックに進む場合

▶▶側を押す。

早戻し/早送りをする

1 パネルの **トラック** ボタン(◀◀/▶▶)を押し続ける。

：再生中のファイル(曲)の早戻し/早送りをします。

再生状態表示
▶▶ : 通常再生
▶▶ : 早送り
◀◀ : 早戻し



1 **トラック** ボタン

■ 早戻しで戻る場合

◀◀側を押し続ける。

■ 早送りで進む場合

▶▶側を押し続ける。



アドバイス

それぞれのボタンから手を離れたところで再生を始めます。**トラック** ボタン(◀◀/▶▶)を押し続け、曲の始めまたは終わりにくると通常再生になります。

好きなフォルダを選ぶ

ディスクの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

1 画面の **フォルダー** / **フォルダ+** ボタンをタッチする。

■ 前のフォルダに戻る場合

フォルダー ボタンをタッチする。

■ 次のフォルダに進む場合

フォルダ+ ボタンをタッチする。



MP3/WMAを使う(4)

再生モードを選択する(リピート再生)

再生モード(リピート)を選択することができます。

1 画面の **再生モード** ボタンをタッチする。

: 画面右側に再生モード選択画面が表示されます。

手順 **2** で選択した再生モードが表示されます。



2 画面の **リピート** ボタンをタッチする。

: リピート再生(繰り返し再生)されます。

- **リピート** ボタンをタッチするごとに下記のように用途が変わります。

今聞いているファイルのリピート再生

(TOP画面で **REPEAT** マーク表示有)



今聞いているフォルダのリピート再生

(TOP画面で **REPEAT** マーク表示有)



通常再生(リピート解除)

(マーク表示無)



再生モードの状態を表示



アドハイス

TOP画面にマーク表示がある限りリピート再生を繰り返します。

3

設定を終わるには…
画面の **閉じる** ボタンをタッチする。
：TOP画面に戻ります。





ラジオ

ラジオを使う	146~156
各部の名称とはたらき	146、147
表示部について	148
ラジオを聞く	149
ラジオモードを終了する	150
プリセット1／プリセット2を選ぶ	150
選局する	151~153
プリセット(メモリー)する	154、155
交通情報を受信する	156

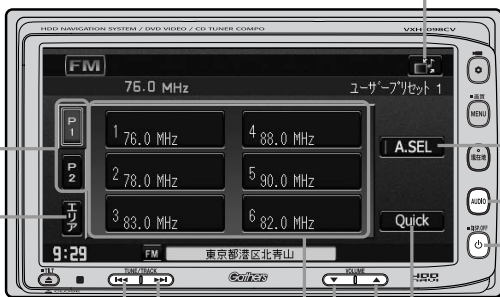
ラジオを使う(1)

各部の名称とはたらき

P1 / P2 ボタン *

ユーザープリセット1(P1)/ユーザープリセット2(P2)を表示します。(150ページ)

ラジオ(FM)モード TOP画面(例)
(P1/P2ボタン選択時)



選局 ボタン(◀▶)

手動/自動選局に使用します。
(151ページ)

エリア ボタン *

現在の車の位置周辺で放送されている放送局を **エリア表示** ボタン(1~6)に表示します。
(152ページ)

壁紙切替 ボタン (🖼️)

壁紙を表示させて音楽を聞くことができます。
(315ページ)

A.SEL ボタン

1秒以上タッチでオートセレクトを開始します。
(表示灯点灯) (155ページ)

※セレクトされた放送局は **プリセット** ボタン(1~6)に表示されます。

短タッチでオートセレクト画面とユーザープリセット画面の切り替えとなります。
(153ページ)

AUDIO ボタン

AUDIOソース画面を表示します。
※ナビゲーション/CD/DVD/MP3/WMA/Music Rack/SD/USB/iPod/VTR/Digital TV/AM(FM)モードからFM(AM)モードに切り替えるときに使用します。(149ページ)

電源 ボタン(🔌)

オーディオモードを開始/終了(OFF状態)にします。
また、2秒以上長押しで画面を消します。

Quick ボタン

カスタマイズ機能を使用することができます。(314ページ)

VOLUME ボタン

音量の増減を調整します。
▼: 音量減 ▲: 音量増

プリセット ボタン(1~6)

- ユーザープリセット画面 (**P1**/**P2** 選択時)のとき、1秒以上タッチで好きな放送局をメモリーします。(154ページ)
(エリアボタン選択時は除く)
※呼び出しは、メモリーしたボタンをタッチします。
- オートセレクト画面 (**A.SEL** ボタンの表示灯点灯)のとき、オートセレクトした放送局を表示します。(155ページ)
※呼び出しはセレクトしたボタンをタッチします。



*印: オートセレクト画面 (**A.SEL** ボタンの表示灯点灯)のとき、**P1**/**P2**/**エリア** ボタンは表示されません。

更新 ボタン

エリア ボタンタッチで表示させた放送局を最新の情報(放送局)で表示しなおします。(152ページ)

次へ ボタン(前へ ボタン)

エリアボタン選択時(表示灯黄色点灯時)に、エリアが7局以上ある場合 **次へ** ボタンが表示されます。
タッチするたびに次ページ↔前ページと切り替わります。
(152ページ)

ラジオ(FM)モード TOP画面(例)(エリアボタン選択時)



エリア ボタン

現在の車の位置周辺で放送されている放送局を **エリア表示** ボタン(1~6)に表示します。
(152ページ)

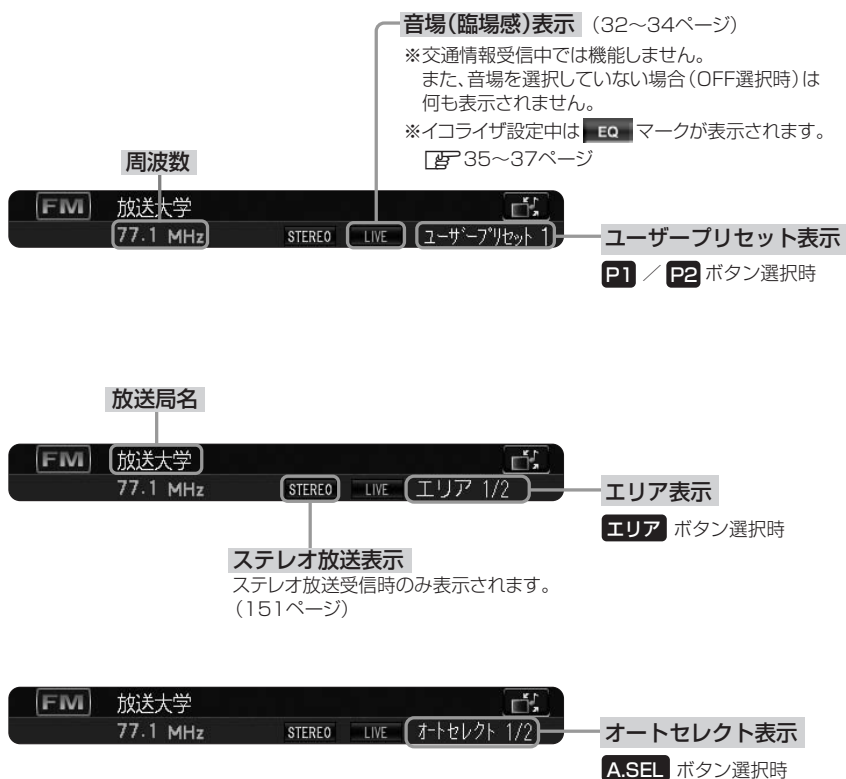
エリア表示 ボタン(1~6)

エリア選局画面でエリアが **エリア表示** ボタン(1~6)に表示されます。(152ページ)

※呼び出しは、メモリーしたボタンを軽く(1.5秒未満)タッチします。

ラジオを使う(2)

表示部について



※放送局名は、現在の車の位置周辺の放送局名を表示しますが、全ての放送局の名称が表示されるわけではありません。

ラジオを聞く

■ 他のモード画面を表示している場合

- 前回ラジオ(FM/AM)モード画面でOFF(オーディオモードを終了)していた場合

① パネルの**電源**ボタン(⏻)を押す。

: ラジオ放送を受信します。

- ナビゲーションモードまたは前回ラジオ(FM/AM)モード以外のオーディオモード画面の場合

① パネルの**AUDIO**ボタンを押す。

: AUDIOソース画面またはラストモード*画面が表示されます。

- AUDIOソース画面のときは…

②に進んでください。

- ラストモード*画面のときは…

もう一度**AUDIO**ボタンを押す。

: AUDIOソース画面が表示されます。

*: 前回最後に選択していたモード画面(OFF含む)

②画面の**AM**または**FM**ボタンをタッチする。

: ラジオ放送を受信します。

■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

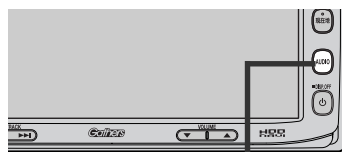
🔊 「音量を調整する」 26ページ

📺 「映像の調整のしかた」 27~29ページ

🔊 「オーディオの調整をする」 32~43ページ



① **電源**ボタン(⏻)



① **AUDIO**ボタン

AUDIOソース画面(例)



ラジオの操作説明はFM画面の場合にて説明していますがAMも同様の操作手順となります。

「表示部について」
ラジオ
「聞く」



ラジオ(AM/FM)の音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

🔊 「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」 24ページ

アドバイス

ラジオを使う(3)

ラジオモードを終了する

1

パネルの **電源** ボタン(⏻)を押す。
: 画面に "OFF" と表示されラジオ放送を終了します。(オーディオモード終了)



1 **電源** ボタン(⏻)

プリセット1/プリセット2を選ぶ

P1/P2の中から聞きたいプリセットを選択することができます。

1

画面の **P1** または **P2** ボタンをタッチする。

: 149ページ手順②で選択したモード(**FM** / **AM**)の **プリセット** ボタン表示となります。

- P1** を選択するとユーザープリセット1、
- P2** を選択するとユーザープリセット2の **プリセット** ボタンを表示します。

※ **プリセット** ボタンを使っての選局は151ページを参照ください。

FMモードの場合

P1: ユーザープリセット1
P2: ユーザープリセット2



プリセット ボタン(1~6)



アドバイス

ラジオモードのTOP画面は選択するボタン(**P1** / **P2**、**A.SEL**、**エリア**)によって異なります。

ラジオモード TOP画面(例)
ユーザープリセット画面(**P1** / **P2** 選択時)



エリア ボタンを
タッチすると

P1 / **P2**
ボタンを
タッチすると

ラジオモード TOP画面(例)
エリア表示画面(**エリア** 選択時)



A.SEL ボタンを
タッチして表示灯を
点灯すると

A.SEL ボタンを
タッチして表示灯を
点灯すると

ラジオモード TOP画面(例)
オートセレクト画面(**A.SEL** 選択時)



A.SEL ボタンを
タッチして表示灯を
消灯すると

A.SEL ボタンを
タッチして表示灯を
消灯すると

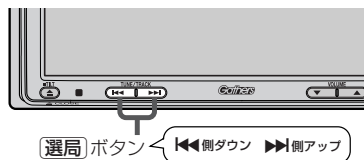
選局する

手動選局／自動選局／ユーザープリセット選局／エリア選局／オートセレクト選局があります。

■ 手動選局で放送局を選ぶ場合

① パネルの **選局** ボタン(◀▶)を押す。

：ボタンを押すたびに、FMは0.1MHz、AMは9kHzずつ変わります。



■ 自動選局で放送局を選ぶ場合

① パネルの **選局** ボタン(◀▶)を1秒以上押す。

：自動選局を始め、放送局を受信すると、自動的に止まります。
希望の放送局が見つかるまで、この操作を繰り返してください。
※自動選局中に **選局** ボタン(◀▶)を押すと、自動選局は止まります。



アドバイス

- 選局中は表示部に“サーチ中…”と表示されます。
- FMステレオ放送を受信すると **STEREO** が表示されます。(AMステレオ放送はありません。)
- 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。

■ ユーザープリセット選局(P1/P2)で放送局を選ぶ場合

プリセット ボタン(1~6)にメモリーした放送局を呼び出すことができます。

※あらかじめ **プリセット** ボタン(1~6)に放送局をメモリーしておく必要があります。

☞ 「 **プリセット(メモリー)する** 」 154ページ

① プリセット(**P1** / **P2**)を選ぶ。

☞ 「 **プリセット1/プリセット2を選ぶ** 」
150ページ

② 呼び出したい **プリセット** ボタン(1~6)をタッチする。

：選択したラジオ放送を受信します。

ラジオ(FM)モード TOP画面(例)
ユーザープリセット画面表示時



プリセット ボタン(1~6)



アドバイス

オートセレクト画面を表示している場合は
A.SEL ボタンをタッチして表示灯を消灯し、
ユーザープリセット画面に切り替えて手順①を
行なってください。

☞ 「 **オートセレクト画面のとき、ユーザープリセット/エリア画面に戻すには…** 」 153ページ

ラジオを使う(4)

■ エリア選局で放送局を選ぶ場合

現在の車の位置周辺で放送されている放送局を呼び出すことができます。

① エリア ボタンをタッチする。

ラジオ (FM) モード TOP画面 (例)



: 現在地周辺のエリアで放送されている放送局が **エリア表示** ボタン (1~6) に表示されます。

② エリア表示 ボタン (1~6) の中

で聞きたい放送局をタッチする。

エリアが7局以上ある場合、次のページを表示する

エリア表示 ボタン (1~6)

* エリアが6局に満たない場合、表示ボタンの数は減ります。



: 選択したラジオ放送を受信します。



アドバイス


- 表示された放送局が必ず受信されるわけではありません。
- 地域によって放送局の数が異なりますので、全ての **エリア表示** ボタンに表示されるとは限りません。
- エリア表示のまま放置 (走行) していた場合に **更新** ボタンをタッチするとエリアが更新され、現在地周辺の最新エリアの放送局が表示されます。
- 放送局名を表示したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域では、重複した放送局が表示されることがあります。
- 放送局が7局以上ない場合 **次へ** ボタンは表示されません。7局以上ある場合は **次へ** ボタンをタッチして、次の放送局を表示させることができます。前ページの放送局表示に戻る場合は **前へ** ボタンをタッチします。
- ラジオモードのTOP画面は選択するボタン (**エリア** または **P1** / **P2**、**A.SEL**) によって異なります。

☞ P150ページアドバース参照

■ オートセレクト選局で放送局を選ぶ場合

オートセレクト(自動で12局までメモリー)した放送局を **プリセット** ボタン(1~6)に表示し、呼び出すことができます。

※あらかじめオートセレクトをしておく必要があります。

 「**■ オートセレクトプリセット(自動メモリー)をする場合**」155ページ

① **A.SEL** ボタンをタッチする。

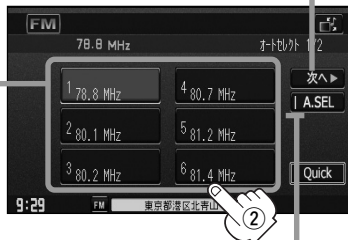
ラジオモード TOP画面(例)
ユーザープリセット画面表示時(※)



：オートセレクトでメモリーした放送局を **プリセット** ボタンに表示します。

② **プリセット** ボタンの中で聞きたい放送局をタッチする。

7局以上ある場合、**次へ** ボタン
タッチで次のページを表示する



：選択したラジオ放送を受信します。

オートセレクト機能が働いているとき表示灯点灯

プリセット ボタン
(1~6)
※セレクトできた局の数によってボタンの数も変わります。

□ オートセレクト画面のときユーザープリセット/エリア画面に戻すには…

① **A.SEL** ボタンをタッチする。

オートセレクト画面





：表示灯が消灯し、ユーザープリセットまたはエリア画面に戻ります。

※ **A.SEL** ボタンをタッチするたびにオートセレクト/エリア画面↔ユーザープリセット/エリア画面と切り替わります。

表示灯



- **A.SEL** ボタンを1秒以上タッチした場合はオートセレクトサーチの開始となります。 155ページ
- 表示された放送局がかならず受信されるわけではありません。
- 放送局名を表示したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域では、重複した放送局が表示されることがあります。
- 放送局が7局以上ない場合 **次へ** ボタンは表示されません。7局以上ある場合は **次へ** ボタンをタッチして、次の放送局を表示させることができます。前ページの放送局表示に戻る場合は **前へ** ボタンをタッチします。
- *印：ラジオモードのTOP画面は選択するボタン(**エリア** または **P1** / **P2**、**A.SEL**)によって異なります。 150ページアドバイス参照

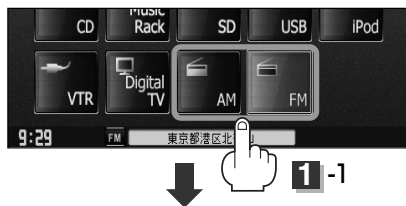
ラジオを使う(5)

プリセット(メモリー)する

プリセットボタンにメモリーする方法としてユーザープリセット(手動メモリー)選局とオートセレクトプリセット(自動メモリー)選局があります。

- 1 モード(AM/FM)を選択し、画面のP1またはP2ボタンをタッチする。

：ユーザープリセット1またはユーザープリセット2画面が表示されます。



- 2 プリセットする方法を選択します。(ユーザープリセット/オートセレクトプリセット)

■ ユーザープリセット(手動メモリー)をする場合

メモリーしたい局を選び、**プリセット**ボタン(1~6)にメモリーします。

※ **プリセット**ボタンには、FM・AMの各モードでP1/P2画面に6局ずつ、計24局メモリーすることができます。

- ① パネルの**選局**ボタン(◀▶)を押して、メモリーしたい局を選ぶ。

- 手動選局で放送局を選ぶ場合 /
- 自動選局で放送局を選ぶ場合

151ページ

ユーザープリセット画面(例)



① **選局**ボタン(◀▶)

- ② **プリセット**ボタン(1~6)のうち、メモリーしたいボタンを1秒以上(プリセットボタンの表示がメモリーしたい局の表示に変わるまで)タッチする。



プリセットボタン(1~6)



- すでにプリセットされているボタンに新たにプリセットすると、それまでの放送局は上書き(消去)されます。
 - メモリーした放送局を呼び出すには、**P1** または **P2** をタッチし、呼び出したい **プリセット** ボタン(1~6)を軽く(1秒未満)タッチします。
- 【🔊】 ■ **ユーザープリセット選局(P1/P2)で放送局を選ぶ場合** 151ページ

■ オートセレクトプリセット(自動メモリー)をする場合

現在の車の位置で受信できる放送局を自動で12局まで **プリセット** ボタンにメモリーします。

- ①画面の **A.SEL** ボタンを1秒以上タッチする。

ユーザープリセット画面(例)



- ： **A.SEL** ボタンの表示灯点灯し、受信した放送局を **プリセット** ボタンにメモリー(表示)します。

オートセレクト画面(例)



プリセット ボタン
(1~6)

オートセレクト機能が働いているとき表示灯点灯



- メモリーした放送局を呼び出すには、呼び出したい **プリセット** ボタン(1~6)を軽く(1秒未満)タッチします。
- 【🔊】 ■ **オートセレクト選局で放送局を選ぶ場合** 153ページ
- 1局も放送局をメモリーできなかった場合、表示部に“受信できません”と表示し、メモリーする前の放送局に戻ります。
 - オートセレクト画面からユーザープリセット画面に戻すには、**A.SEL** ボタンをタッチし、表示灯を消灯させてください。

交通情報を受信する

AMラジオ局の道路交通情報を受信することができます。

- 1 パネルの **AUDIO** ボタンを押してAUDIOソース画面を表示させ、画面の **交通情報** ボタンをタッチする。

：交通情報設定画面が表示され、AMラジオ局の道路交通情報を受信します。

※初期状態は1620kHzに設定されています。

AUDIOソース画面



↓ **1-1** **AUDIO** ボタン

交通情報設定画面(例)



■ 周波数の設定を変える場合

- ① 交通情報設定画面のとき **1629kHz** ボタンをタッチする。



：1629kHzの交通情報を受信します。

※1620kHzに戻したい場合は **1620kHz** ボタンをタッチしてください。

2 交通情報の受信を止めるには…

パネルの **電源** ボタン(⏻)または他のモードを選択する。

： **電源** ボタン(⏻)を押すと画面に“OFF”と表示されオーディオモードを終了します。

AUDIO ボタンを押してAUDIOソース画面にし、モードボタンをタッチすると選択したモードに切り替わります。



次回 **交通情報** ボタンをタッチすると前回選択した周波数の交通情報を受信します。

アドバース

DVD

DVDプレーヤーについて	158、159
DVDプレーヤーを使う	160~181
各部の名称とはたらき	160~162
再生を始める	163~165
DVDモードを終了する	165
DVDディスクを取り出す	165
再生を停止する	166
再生を一時停止(静止)する	167
再生中にチャプターを戻す/進める	168
早戻し/早送りをする	168
コマ戻し/コマ送りをする	169
スロー戻し/スロー送りをする	169
DVDメニューを使う	170、171
タイトルメニューを使う	172、173
好きな所から再生する(サーチ選択)	174、175
音声言語/字幕言語を切り替える	176
時間の表示を替える	177
リピート(繰り返し)再生する	178
アングル(角度)を切り替える	179
VRモードディスク内の映像をリストより選択し 再生させる	180、181
DVDの初期設定について	182~189
各部の名称とはたらき	182
初期設定を変更する	183~189








DVDプレーヤーについて

■本機は、DVDビデオの高画質映像と高音質なデジタルサウンドを再生することができます。また、DVDビデオに記録されている複数の言語（音声や字幕など）を切り替えて表示できるほか、複数のアングルで記録されているものは、好きなアングルに切り替えて再生することができます。

△本機は、マクロビジョンコーポレーションならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの許可なしでは、一般家庭または他のかざられた視聴用だけに使用されるようになっていきます。改造または分解は禁止されています。

■ディスクに表示されているマークについて

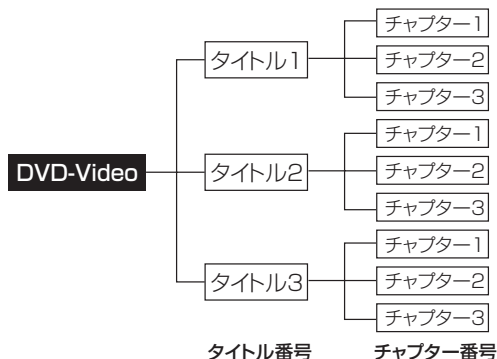
DVDのディスクやパッケージに表示されているマークには下記のものがあります。（例）

マーク(例)	意味
	音声のトラック数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングル数を表します。
 	選択可能な画像アスペクト比(TV画面の横と縦の比率)を表します。 ●「16:9」はワイド画面、「4:3」は標準画面です。
 	再生可能な地域番号を表します。 ●ALLは全世界向け、数字は地域番号です。「2」は日本を示します。

■ディスクの構成について

DVDに収録されている映像や曲は、通常いくつかの区切りに分けられています。

大きく分けた区切りをタイトルと言い、それぞれのタイトルには番号(タイトル番号)が付けられています。また、タイトルは小さな区切りのチャプターで構成されており、それぞれのチャプターにも番号(チャプター番号)が付けられています。



■VRモードで作成したディスクについて

本機ではDVD-R/RW、DVD-R DLにビデオレコーディングモード(VRモード)で記録されたディスクを再生することができます。また、BSデジタル・地上波デジタルテレビ放送・一部のスカイパーフェクTVなどの「一回だけ録画可能(コピーワンス)」番組を記録したディスクの再生は、CPRM対応のDVD-R/RWにDVDビデオレコーディングモードで記録されたものに限り再生が可能です。(下記表参照)

※ファイナライズ処理が必要な場合があります。(書き込みを行なう機器の取扱説明書や注意事項をよくお読みください。)未ファイナライズ処理のDVD-R/DVD-R DLのVRモードには対応していません。

※タイトル(映像)の一部を編集したり消去されたディスクの場合、操作によっては正常に再生できない場合があります。

●DVD再生ディスク対応一覧表

メディアの種類 (記録方式) 録画映像の種類	DVD-RW (VRモード) CPRM対応	DVD-RW (VRモード) CPRM非対応	DVD-R (Videoモード) DVD-RW (Videoモード) DVD+R (Videoモード) DVD+RW (Videoモード) DVD-R DL (Videoモード) DVD+R DL (Videoモード)	DVD-R DVD-R DL (VRモード) CPRM対応	DVD-R DVD-R DL (VRモード) CPRM非対応	DVD-RAM	CD-R CD-RW
録画制限無し	○	○	○	○	○	×	×
一回だけ録画可能	○	—	—	○	—	×	×
録画禁止	×*	×*	×*	×*	×*	×	×

—：記録できないディスク

×：再生できないディスク

*印：ディスクの作成方法によっては再生できることがあります。(映像が乱れるなどの可能性があります。)

*ディスクの書き込み状態によっては再生できない場合があります。

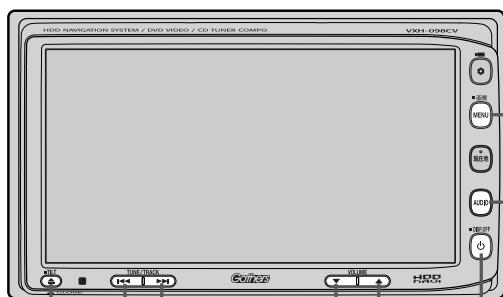
映像

D
V
D

(DVDプレーヤーに接続)

DVDプレーヤーを使う(1)

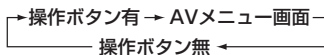
各部の名称とはたらき



MENU ボタン

操作ボタンを表示またはAUDIOメニュー画面を表示します。

※押すたびに



をくり返します。

AUDIO ボタン

AUDIOソース画面を表示します。

※ナビゲーション/Music Rack/SD/USB/iPod/VTR/Digital TV/AM/FMモードからDVDモードに切り替えるときに使用します。(164ページ)

電源 ボタン(⏻)

オーディオモードを開始/終了(OFF状態)にします。
また、2秒以上長押しで画面を消します。

VOLUME ボタン

音量の増減を調整します。

▲：音量増

▼：音量減

スキップ ボタン(⏮/⏭)

- 再生中にチャプター画像を戻す/進めるときに使用します。(168ページ)
- 押し続けて早戻し/早送りします。(168ページ)
- 一時停止中にコマ戻し/送りをします。(169ページ)
- 一時停止中にスロー戻し/送りをします。(169ページ)

TILT ボタン(▲)

パネルをオープンさせて、ディスクを入れる/取り出すときに使用します。
(163、165ページ)



アドバイス

操作ボタン1は画面をタッチするかパネルの[メニュー]ボタンを押すと表示されます。

※DVDメニューやタイトルメニューや画面にボタンが表示されている場合は、画面をタッチしても操作ボタン1は表示されません。

操作ボタン1表示画面



停止 ボタン(■)

再生中にタッチすると、再生をやめ、停止画面を表示します。(166、182ページ)

再生/一時停止 ボタン(▶||)

再生中にタッチすると、映像・音声が一時的に止まります。もう一度タッチすると再び再生が始まります。(166、167ページ)

ボタン消 ボタン

画面に表示される操作ボタンを消します。

Quick ボタン

カスタマイズ機能を使用することができます。(314ページ)

次へ ボタン

次ページの操作ボタンを表示します。(操作ボタン2表示画面)

リジューム ボタン

DVDビデオ再生中に、メニュー画面を表示させた後、このボタンをタッチすると、メニュー画面を表示させる前のところより再生(リジューム再生)を行ないます。(171、173ページ)

アングル ボタン

タッチすることにより、アングルが切り替わります。(179ページ)

字幕 ボタン

(DVDビデオ再生中のみ) タッチすることにより、ディスクに収録されている字幕言語リストの中で、字幕言語が切り替わります。(176ページ)

音声 ボタン

(DVDビデオ再生中のみ) タッチすることにより、ディスクに収録されている音声言語リストの中で、音声言語が切り替わります。(176ページ)

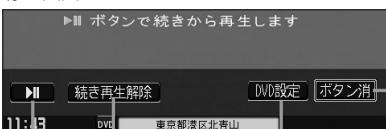
タイトル ボタン

DVDビデオ再生中にタッチすると、タイトルメニュー画面になります。(172ページ)

メニュー ボタン

DVDビデオ再生中にタッチすると、DVDメニュー画面になります。(170ページ)

停止画面



ボタン消 ボタン

画面に表示される操作ボタンを消します。

DVD設定 ボタン

DVD設定画面を表示します。(182、183ページ)

続き再生解除 ボタン

続きメモリー機能を解除します。(166、182ページ)

再生/一時停止 ボタン(▶||)

再生を始めるときに使用します。(166、182ページ)

DVDプレーヤーを使う(2)

リピート ボタン

タッチすることにリピートモードが切り替わります。(178ページ)

操作ボタン2表示画面



カーソル ボタン

カーソルキーを表示させ、画面で項目を選ぶときに使用します。(カーソル表示画面)

10キー ボタン

10キー入力画面を表示させ、数字を入力するときに使用します。

前へ ボタン

操作ボタン1の画面を表示します。

ボタン消 ボタン *1

画面に表示される操作ボタンを消します。

Quick ボタン

カスタマイズ機能を使用することができます。(314ページ)

リターン ボタン

DVDメニュー画面操作時に1つ前の画面に戻ります。
※ディスクによってはこの操作を禁止しているものもあります。

エンター ボタン

画面で選んだ項目を実行します。

サーチ ボタン

タイトル、チャプター、タイムのサーチ選択画面を表示します。(174、175ページ)

タイム ボタン

画面左上に再生の時間を表示します。(177ページ)

カーソル表示画面



戻る ボタン

操作ボタン2表示画面を表示します。

ボタン移動 ボタン

カーソル表示を画面の左側または右側へ移動します。

カーソルキー



ボタン

項目を上下左右選択します。

*1

実行 ボタン *2

画面で選んだ項目を実行(決定)します。

切替 ボタン

サーチモードを切り替えます。

サーチ選択画面



訂正 ボタン *4

10キーボタンで入力した数字を訂正するときに使用します。

10キー ボタン(0~10) *3

数字を入力するときに使用します。

10キー入力画面

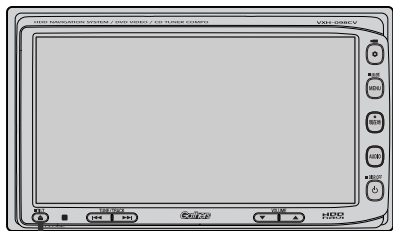


*4

*3

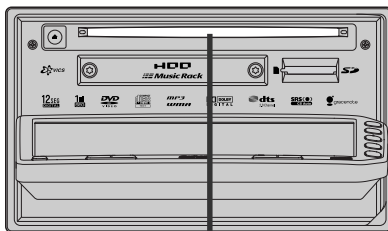
*2

[ディスプレイが閉じた状態]



1 TILT ボタン (▲)

[ディスプレイが開いた状態]



2 DVD/CD挿入口

再生を始める



安全上の配慮から、停車中のみご覧になることができます。(走行中は音声のみになります。)

DVDモード画面(走行中)(例)



タイトル番号
チャプター番号
を表示します。

- ボタン…再生を停止します。
- ボタン…タッチするたびに一時停止/再生を繰り返します。

音場表示 (LIVE) 選択中の音場を表示します。 [P] 32~34ページ
 ※イコライザ設定中は EQ マークが表示されます。
 [P] 35~37ページ

■ ディスク未挿入の場合

- 1 パネルの **TILT** ボタン(▲)を押す。
: ディスプレイが開きます。

2 DVD/CD挿入口にDVDディスク挿入する。

: 自動でディスプレイが閉じ、自動的に再生を始めます。

■ 他のモード画面を表示している場合

- 前回DVDモード画面でOFF(オーディオモードを終了)していた場合

- 1 パネルの **電源** ボタン(⏻)を押す。
: 前回のつづきからDVDの再生を始めます。



1 電源 ボタン(⏻)

〔各部の名称とはたらき(タッチパネル部)〕

映像 DVD

〔再生を始める〕

DVDプレーヤーを使う(3)

- ナビゲーションモードまたは前回DVDモード以外のオーディオモード画面の場合

- ① パネルの **AUDIO** ボタンを押す。

: AUDIOソース画面またはラストモード*画面が表示されます。

- AUDIOソース画面のときは…

- ②に進んでください。

- ラストモード*画面のときは…

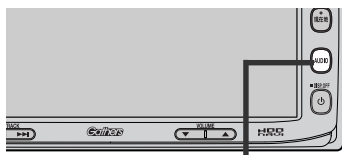
もう一度 **AUDIO** ボタンを押す。

: AUDIOソース画面が表示されます。

*: 前回最後に選択していたモード画面 (OFF含む)

- ②画面の **DVD** ボタンをタッチする。

: DVDの再生を始めます。



① **AUDIO** ボタン

AUDIOソース画面



3

DVDメニューまたはタイトルメニュー画面が表示された場合は…

下記の2つの操作方法があります。

- 画面のメニュー項目を直接タッチする。

- ※ ● ディスクによっては操作できない場合があります。
- 操作ボタンが表示されている場合は項目を選択できません。

ボタン消 ボタンをタッチして操作ボタンを消してください。



- カーソルを表示させ項目を選択する。

- ① パネルの **MENU** ボタンを押す。

: 操作ボタン1表示画面が表示されます。

- ②画面の **次へ** ボタンをタッチし
操作ボタン2表示画面を表示させ、
画面の **カーソル** ボタンをタッチする。

: カーソル表示画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面




① **MENU** ボタン

操作ボタン2表示画面



- ③画面の **↑ ↓ ← →** (上/下/左/右) ボタンをタッチして項目を選択し、**実行** ボタンをタッチする。

 「**DVDメニューを使う**」 170ページ 手順 **4** を参考にしてください。

：選択した項目が再生されます。

※操作ボタンの表示を止めるには **ボタン消** ボタンをタッチしてください。

※ディスクによっては操作できない場合があります。

※その他の操作につきましては各々のページ(166～181ページ)を参照してください。

■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合


 「**音量を調整する**」 26ページ

「**映像の調整のしかた**」 27～29ページ

「**オーディオの調整をする**」 32～43ページ



DVDの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

 「**音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する**」 24ページ

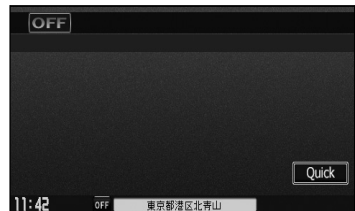
DVDモードを終了する

- 1** パネルの **電源** ボタン(⏻)を押す。

：画面に“OFF”と表示されDVDの再生を止めます。(オーディオモード終了)



1 **電源** ボタン(⏻)



DVDディスクを取り出す

- 1** 82ページ **CDを取り出す** の手順 **1**、**2** を参考に操作してください。

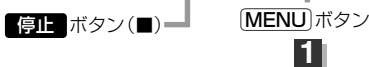
DVDプレーヤーを使う(4)

再生を停止する

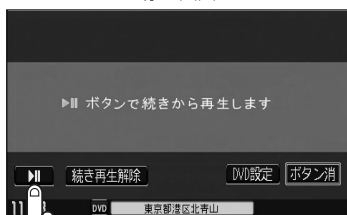
- 1 画面をタッチするか、パネルの **MENU** ボタンを押す。
：操作ボタン1表示画面が表示されます。



- 2 画面の **停止** ボタン(■)をタッチする。
：再生を止め、停止画面が表示されます。
(続きメモリー機能が動きます。)



停止画面



続きメモリー機能

- 再生中に **停止** ボタン(■)をタッチすると、本機は、再生を止めた位置をメモリーします。これを続きメモリー機能と呼びます。この機能が働いている間は、画面に「▶▶ ボタンで続きから再生します」を表示し、映像/音声を止めます。**再生/一時停止** ボタン(▶||)をタッチすると、再生を止めた続きから、再生が始まります。
 - 続きメモリー機能は、**続き再生解除** ボタンをタッチするかディスクイジェクト(取り出す)操作で解除されます。
- ※言語設定/視聴制限の設定を変更した場合も続きメモリーは解除されます。[?] 185、188ページ

- 3 再び再生を始めるには…
画面の **再生/一時停止** ボタン(▶||)をタッチする。

：続きメモリー機能が働いている場合は、再生を止めた続きから再生します。
続きメモリー機能が働いていない場合は、ディスクの最初から再生します。



アドバース

ディスクの最初から再生したい場合は手順 **3** (停止画面)のとき画面の **続き再生解除** ボタンをタッチし、**再生/一時停止** ボタン(▶||)をタッチします。

再生を一時停止(静止)する

- 1 画面をタッチするか、パネルの **MENU** ボタンを押す。
: 操作ボタン1表示画面が表示されます。



1 MENU ボタン

- 2 画面の **再生/一時停止** ボタン(▶||)をタッチする。
: 画面に“|||”を表示し、映像を停止(静止)します。(音声も止まります。)

操作ボタン1表示画面



再生/一時停止 ボタン(▶||)

- 3 再び再生を始めるには…
画面の **再生/一時停止** ボタン(▶||)をタッチする。
: 再生を止めた続きから再生します。

- 4 画面の操作ボタンの表示をやめるには…
画面の **ボタン消** ボタンをタッチする。

DVDプレーヤーを使う(5)

再生中にチャプターを戻す／進める

1 パネルの **スキップ** ボタン(⏮️/⏭️)を押す。



1 **スキップ** ボタン(⏮️/⏭️)

■ 前のチャプターに戻る場合

⏮️側を2回押す。：1つ前のチャプターに戻ります。
※1回押した場合は、再生中のチャプターの頭に戻ります。

■ 次のチャプターに進む場合

⏭️側を押す。：次のチャプターに進みます。



アドバース

- チャプターとは、DVDビデオに収録されている音声や映像の小さな区切りです。
- ディスクによっては、この機能を禁止しているチャプターが収録されているものもあります。

早戻し／早送りをする

1 パネルの **スキップ** ボタン(⏮️/⏭️)を押し続ける。

：通常の6倍の早さで早戻し／早送りをします。



1 **スキップ** ボタン(⏮️/⏭️)

■ 早戻しで戻る場合

⏮️側を押し続ける。
：早戻しで戻ります。

■ 早送りに進む場合

⏭️側を押し続ける。
：早送りで進みます。



アドバース

それぞれ、ボタンから手を離れたところで通常再生を始めます。

コマ戻し／コマ送りをする

1 画面をタッチするか、パネルの **(MENU)** ボタンを押す。
：操作ボタン1表示画面が表示されます。

2 画面の **再生／一時停止** ボタン(▶||)をタッチする。

3 パネルの **(スキップ)** ボタン(◀◀/▶▶)を押す。

■ コマ戻しをする場合

◀◀側を押す。：押すごとに映像を1コマずつ戻します。

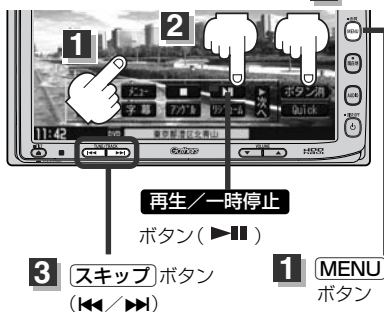
■ コマ送りをする場合

▶▶側を押す。：押すごとに映像を1コマずつ送ります。

※通常再生をするには画面の **再生／一時停止** ボタン(▶||)をタッチします。

4 画面の操作ボタンの表示をやめるには… 画面の **ボタン消** ボタンをタッチする。

操作ボタン1表示画面



アドバンス

- この操作中音声は出ません。また、ディスクによってはこの操作を禁止しているものもあります。
- VRモード(ビデオレコーディングモードディスク)の場合、コマ戻し／コマ送りはできません。

スロー戻し／スロー送りをする

1 上記、**コマ戻し／コマ送りをする** 手順 **1**、**2** にしたがって操作し、手順 **3** のときパネルの **(スキップ)** ボタン(◀◀/▶▶)を押し続ける。

■ **スロー戻しをする場合** ◀◀側を押し続ける。：スロー戻しで戻ります。

■ **スロー送りをする場合** ▶▶側を押し続ける。：スロー送りで進みます。

※それぞれ、ボタンから手を離れたところで通常再生を始めます。



アドバンス

この操作中音声は出ません。また、ディスクによってはこの操作を禁止しているものもあります。

2 画面の操作ボタンの表示をやめるには… 画面の **ボタン消** ボタンをタッチする。

DVDプレーヤーを使う(6)

DVDメニューを使う

DVDビデオによっては、DVDメニューが収録されているものがあります。
この場合は、DVDメニューを使って、好きなシーンを選んで再生することができます。



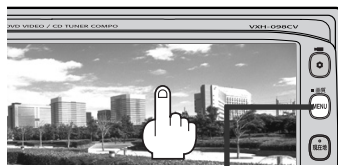
アドハイス

下記手順 **4** のようにカーソルを表示しなくても画面に表示されたメニュー項目をタッチして、ダイレクトに項目を選ぶことができます。(その場合は、**ボタン消** ボタンをタッチして操作ボタンを消してください。)
※ディスクによっては操作できない場合があります。

1

画面をタッチするか、
パネルの **(MENU)** ボタンを押す。

: 操作ボタン1表示画面が表示されます。



1 **(MENU)** ボタン

操作ボタン1表示画面

2

画面の **メニュー** ボタンをタッチする。

: DVDメニュー画面が表示されます。

※VRモード(ビデオレコーディングモードディスク)の場合はプレイリストが表示されます。
(**180**、**181**ページ)



操作ボタン2表示画面

3

画面の **次へ** ボタンをタッチし操作ボタン2
表示画面を表示させ、画面の **カーソル** ボタンをタッチする。

: カーソル表示画面が表示されます。



カーソル表示画面

4

画面の **↑** **↓** **←** **→** (上/下/左/右)
ボタンをタッチして、項目を選び、
実行 ボタンをタッチする。

: 選んだ項目(シーン)の再生が始まります。



カーソル表示

カーソル表示

6

5

さらに選択画面が続く場合は、
手順 **4** をくり返してください。

6

画面の操作ボタンの表示をやめるには…
画面の **ボタン消** ボタンをタッチする。

ボタン移動 ボタンをタッチするたびにカーソル表示が画面の右または左へ移動します。

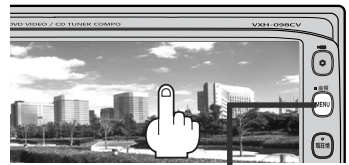


- ディスクによっては、DVDメニューが収録されていないものもあります。
- DVDメニューはディスクに収録されているため、内容はディスクによって異なりますが、例えば、音声言語／字幕言語／チャプターの選択をしたり、映画解説を再生するなどの操作ができます。
※VRモード(ビデオレコーディングモードディスク)の場合プレイリストから字幕や音声を変えることはできません。
- ディスクによっては、「DVDメニュー」のことを「メニュー」等と表示しているものもあります。また、手順 **4** で **実行** ボタンのことを「決定ボタン／選択ボタン」を押すと表示しているものもあります。
- 再生するDVDビデオに付属されている説明書も、あわせてお読みください。

■ DVDメニューの操作を終わる／途中で止める場合(リジューム再生)

□ 操作ボタン(カーソル含む)表示が消えているときは

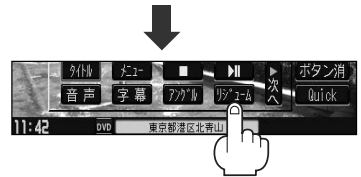
- 画面をタッチするかパネルの **MENU** ボタンを押す → 画面の **リジューム** ボタンをタッチする。



MENU) ボタン

□ 操作ボタンが表示されているときは

- 手順 **2** でDVDメニュー画面(またはプレイリスト)を表示している場合
画面の **リジューム** ボタンをタッチする。
- 手順 **3** でカーソル表示画面を表示している場合
画面の **戻る** ボタンをタッチ →
前へ ボタンをタッチ →
リジューム ボタンをタッチする。



: DVDメニュー(またはプレイリスト)が表示される前の場面の続きから、再生を始めます。


※画面の操作ボタンの表示をやめるには、画面の **ボタン消** ボタンをタッチしてください。

※ディスクによっては、続きから再生できないものもあります。詳しくは、再生するディスクに付属されている説明書をお読みください。

DVDプレーヤーを使う(7)

タイトルメニューを使う

複数のタイトルに分かれているDVDビデオによっては、タイトルメニューが収録されているものがあります。この場合は、タイトルメニューを使って、好きなシーンを選んで再生することができます。※タイトルとは、DVDビデオに収録されている映像や音声の大きな区切りのことです。

 下記手順 **4** のようにカーソルを表示しなくても画面に表示されたメニュー項目をタッチして、ダイレクトに項目を選ぶことができます。(その場合は、**ボタン消** ボタンをタッチして操作ボタンを消してください。) ※ディスクによっては操作できない場合があります。

1 画面をタッチするか、パネルの **MENU** ボタンを押す。


：操作ボタン1表示画面が表示されます。



1 MENUボタン

操作ボタン1表示画面

2 画面の **タイトル** ボタンをタッチする。

：タイトルメニュー画面が表示されます。
※VRモード(ビデオレコーディングモードディスク)の場合はタイトルリストが表示されます。
( 180ページ)



操作ボタン2表示画面

3 画面の **次へ** ボタンをタッチし操作ボタン2表示画面を表示させ、画面の **カーソル** ボタンをタッチする。

：カーソル表示画面が表示されます。



カーソル表示画面

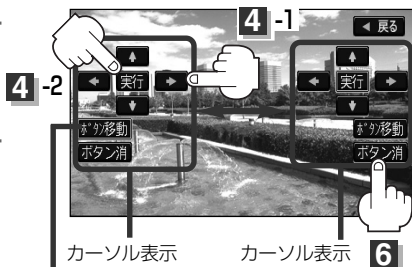
4 画面の **↑** **↓** **←** **→** (上/下/左/右) ボタンをタッチして、項目を選び、**実行** ボタンをタッチする。

：選んだタイトルのメニューに収録されているシーンの再生が始まります。

5 さらに選択画面が続く場合は、手順 **4** をくり返してください。

6 画面の操作ボタンの表示をやめるには…画面の **ボタン消** ボタンをタッチする。

ボタン移動 ボタンをタッチするたびにカーソル表示が画面の右または左へ移動します。



カーソル表示

カーソル表示

6

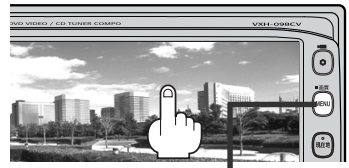


- ディスクによっては、タイトルメニューが収録されていないものもあります。
- タイトルメニューはディスクに収録されているため、内容はディスクによって異なりますが、例えば、音声言語／字幕言語／チャプターの選択をしたり、映画解説を再生するなどの操作ができます。
※VRモード(ビデオレコーディングモードディスク)の場合タイトルリストから字幕や音声を変えることはできません。
- ディスクによっては、「タイトルメニュー」のことを「メニュー」、「タイトル」等と表示しているものもあります。また、手順 **4** で **実行** ボタンのことを「決定ボタン／選択ボタン」を押すと表示しているものもあります。
- タイトルメニューを表示させ（約2分以上）何も操作しないとDVDの再生が始まる場合があります。
- 再生するDVDビデオに付属されている説明書も、あわせてお読みください。

■ タイトルメニューの操作を終わる／途中で止める場合(リジューム再生)

□ 操作ボタン(カーソル含む)表示が消えているときは

- 画面をタッチするかパネルの **MENU** ボタンを押す → 画面の **リジューム** ボタンをタッチする。



MENU ボタン

□ 操作ボタンが表示されているときは

- 手順 **2** でタイトルメニュー画面(またはタイトルリスト)を表示している場合
画面の **リジューム** ボタンをタッチする。
- 手順 **3** でカーソル表示画面を表示している場合
画面の **戻る** ボタンをタッチ →
前へ ボタンをタッチ →
リジューム ボタンをタッチする。



映像
DVD

(タイトルメニューを使う)

: タイトルメニュー(またはタイトルリスト)が表示される前の場面の続きから、再生を始めます。

※画面の操作ボタンの表示をやめるには、画面の **ボタン消** ボタンをタッチしてください。

※ディスクによっては、続きから再生できないものもあります。詳しくは、再生するディスクに付属されている説明書をお読みください。

DVDプレーヤーを使う(8)

好きな所から再生する(サーチ選択)

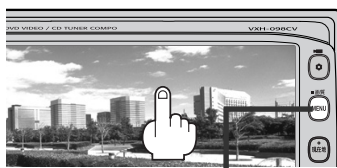
タイトル、チャプターおよび経過時間を入力すると、そこから再生を始めます。

1

画面をタッチするか

パネルの **MENU** ボタンを押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



1 **MENU** ボタン

2

画面の **次へ** ボタンをタッチする。

：操作ボタン2表示画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



操作ボタン2表示画面

3

画面の **サーチ** ボタンをタッチする。

：サーチ選択画面が表示されます。



3

4

サーチ選択画面で画面の **10キー** ボタンをタッチして、再生したいタイトル/チャプター/タイム(経過時間)サーチを入力する。

- タイトルとチャプターとタイム(経過時間)は **切替** ボタンをタッチし切り替えて入力します。

タイトルサーチ → チャプターサーチ

↑ タイムサーチ ←

サーチ選択画面(例)



10キー ボタン

4

モード表示

※VRモード(ビデオレコーディングモードディスク)の場合サーチ選択はタイムサーチ(タイム入力)のみとなります。

(**切替** ボタンをタッチしても切り替わりません。)

例 チャプター番号“25”を入力する場合

(例)

- ①10キーボタンの **+10** ボタンを2回タッチする。

:表示が“020”となります。

- ②10キーボタンの **5** ボタンをタッチする。

:表示が“025”となります。



例 タイム(経過時間)入力で“15分目”を再生する場合

(例)

- ①手順 **4** でサーチ選択画面を表示させたとき画面の **切替** ボタンをタッチする。

:タイム(経過時間)入力画面になります。

- ②10キー入力ボタンで **0**、**0**、**1**、**5**、**0**、**0** とタッチする。

:表示が **Qタイムサーチ --:--:--** → **Qタイムサーチ 00:15:00** となります。



5 画面の **実行** ボタンをタッチする。

:入力したチャプター番号/タイトル番号/タイム(経過時間)から再生を始めます。

チャプター番号25を入力した場合



映像
DVD
〔サーチ選択〕

6 画面の操作ボタンの表示をやめるには… 画面の **ボタン消** ボタンをタッチする。



アドバイス

- 約10秒間、何も操作をしなかった場合、モード表示は消えて、この操作を終了してしまいます。その場合は、画面の **切替** ボタンをタッチし、もう一度手順 **4** (174ページ)からやりなおしてください。
- 数字の入力はモード表示が表示されている時のみ有効です。
- 間違った数字を入力した場合は、サーチモードが解除されますので、画面の **切替** ボタンをタッチし、もう一度手順 **4** (174ページ)からやりなおしてください。
- ディスクに収録されていないタイトル/チャプター/タイム(経過時間)サーチを入力すると、この操作は、解除となります。
- ディスクによっては、この機能を禁止しているものもあります。

DVDプレーヤーを使う(9)

音声言語／字幕言語を切り替える

ディスクによっては複数の音声言語／字幕言語が収録されているものもあります。この場合は下記にしたがって言語を選ぶことができます。

1

画面をタッチするか

パネルの **MENU** ボタンを押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



1 **MENU** ボタン

操作ボタン1表示画面



2

2

画面の **音声** または **字幕** ボタンをタッチする。

：タッチすることにより、ディスクに収録されている音声言語リストまたは字幕言語リストの中で、音声言語／字幕言語が切り替わります。

音声言語リスト(例)



字幕言語リスト(例)



3

画面の操作ボタンの表示をやめるには…

画面の **ボタン消** ボタンをタッチする。



- ディスクによっては、字幕を変更したり消したりすることを禁止しているものもあります。
- 音声言語／字幕言語は、DVDメニュー(☞P 170ページ)や言語設定(☞P 185ページ)でも切り替えられます。
- ディスクによっては、上記(手順 **1**、**2**)の操作では、音声言語／字幕言語の切り替えができないものもあります。
この場合は、DVDメニュー(☞P 170ページ)または言語設定(☞P 185ページ)で切り替えてください。

時間の表示を替える

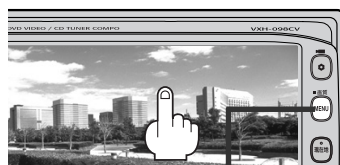
画面に表示する時間の種類を選ぶことができます。

- タイトル時間 ……タイトルの経過時間を表示
- タイトル残り時間 ……タイトルの残時間を表示
- チャプター時間 ……チャプターの経過時間を表示
- 表示なし（何も表示しない）

1 画面をタッチするか

パネルの **MENU** ボタンを押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



1 MENU ボタン

2 画面の **次へ** ボタンをタッチする。

：操作ボタン2表示画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



3 画面の **タイム** ボタンをタッチする。

：タッチすることによって時間表示が切り替わります。

時間表示
(例)

操作ボタン2表示画面



3

4 画面の操作ボタンの表示をやめるには…

画面の **ボタン消** ボタンをタッチする。

■ 時間表示をやめる場合

手順 **1** ~ **3** にしたがって操作し、時間の種類の表示をやめてください。

DVDプレーヤーを使う(10)

リピート(繰り返し)再生する

再生中のチャプター／タイトルを繰り返すことができます。

- チャプターリピート …再生中のチャプターを繰り返す
- タイトルリピート ……再生中のタイトルを繰り返す
- リピートOFF ……………リピート再生しない

※ディスクによっては、リピートの種類を選んでも、リピート再生ができないものもあります。

1

画面をタッチするか

パネルの **(MENU)** ボタンを押す。

: 操作ボタン1表示画面が表示されます。



1 **(MENU)** ボタン

2

画面の **次へ** ボタンをタッチする。

: 操作ボタン2表示画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



3

画面の **リピート** ボタンをタッチする。

: タッチするごとにモードが切り替わります。

リピートモード表示(例)

操作ボタン2表示画面



4

画面の操作ボタンの表示をやめるには…

画面の **ボタン消** ボタンをタッチする。

■ 通常の再生に戻す場合

手順 **1** ~ **3** にしたがって操作し、“リピートOFF” を選ぶ。

アングル(角度)を切り替える

ディスクによっては、複数のアングルで収録されているもの(マルチアングル収録)もあります。この場合は、好きなアングルに切り替えて見ることができます。

1 画面をタッチするか

パネルの **MENU** ボタンを押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



1 MENU ボタン

2 画面の **アングル** ボタンをタッチする。

：タッチすることによりアングルが切り替わります。

操作ボタン1表示画面



3 画面の操作ボタンの表示をやめるには…

画面の **ボタン消** ボタンをタッチする。



アドハイス

- マルチアングル映像が収録されていないディスクでは、「アングル」を選ぶことはできません。
- 収録されている総アングル数は、ディスクによっても、場面によっても異なります。

DVDプレーヤーを使う(11)

VRモードディスク内の映像をリストより選択し再生させる

DVDレコーダーなどでDVDビデオコーディングモードで書き込んだDVD-R/RW、DVD-R DLに登録したタイトル名を各リストより選択し再生させることができます。

1

画面をタッチするか

パネルの **MENU** ボタンを押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



1 **MENU** ボタン

2

タイトルリストまたはプレイリストを表示させます。

■ **タイトルリスト**より選択する場合

① **タイトル** ボタンをタッチする。

：タイトルリストが表示されます。

■ **プレイリスト**より選択する場合

① **メニュー** ボタンをタッチする。

：プレイリストが表示されます。

操作ボタン1表示画面



アドバイス

タイトルリストとは録画されたままの映像(情報)で編集されていないもの、プレイリストとは録画された映像(情報)をお好みの順やタイトル名に編集したものを表します。

※タイトルリスト/プレイリストの詳細はレコーダーの取扱説明書を参照ください。

3

タイトル名を選択し、再生させます。

① リストより再生させたいタイトル名をタッチする。

：選択した項目が選択されます。

手順 **2** で **タイトル** ボタンをタッチした場合
タイトルリスト表示(例)



プレイリスト をタッチするとプレイリストを表示します。

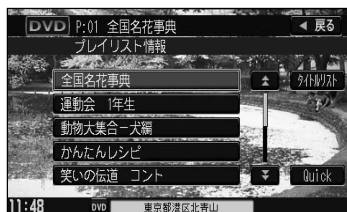
※プレイリスト表示のとき **タイトルリスト** をタッチするとタイトルリストを表示します。



アドバイス

- VRモードディスクにプレイリストがない場合、**(MENU)**ボタンは操作できません。(本機能は使用できません。)
- 次ページがある場合、**▲** / **▼** タッチでスクロールさせることができます。
- タイトルリストまたはプレイリストの操作を途中で終わる場合(リジューム再生する場合は**戻る**ボタンをタッチしてください)。

プレイリスト表示(例)



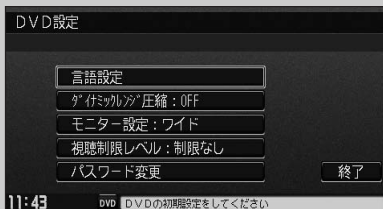
DVDの初期設定について(1)

各部の名称とはたらき

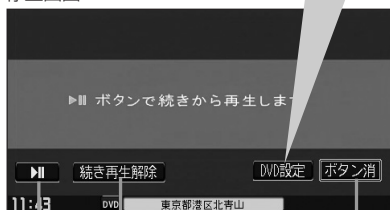
再生停止中にDVDの初期設定を変更することができます。

DVD設定 ボタン

DVD設定画面を表示します。



停止画面



ボタン消 ボタン

画面に表示される操作ボタンを消します。

続き再生解除 ボタン

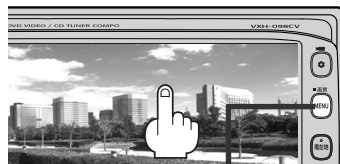
続きメモリー機能を解除します。

再生/一時停止 ボタン(▶▶)

再生を始めるときに使用します。

初期設定を変更する

- 1** 画面をタッチするか
パネルの **(MENU)** ボタンを押す。
：操作ボタン1表示画面が表示されます。



1 (MENU) ボタン

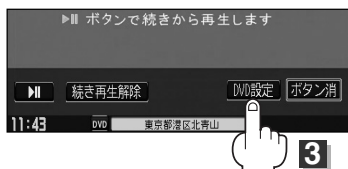
- 2** 画面の **停止 (■)** ボタンをタッチする。
：停止画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



停止画面

- 3** 画面の **DVD設定** ボタンをタッチする。
：DVD設定画面が表示されます。



DVD設定画面

- 4** 画面の設定したい項目 (**言語設定** / **ダイナミックレンジ圧縮** / **モニター設定** / **視聴制限レベル** / **パスワード変更**) ボタンをタッチする。
：選択した項目の設定画面が表示されます。



〔各部の名称とはたらき〕

映像

DVD

〔初期設定〕

選んだ項目	設定できる内容
言語設定	<ul style="list-style-type: none"> ● 音声言語：DVDビデオ再生時の音声言語の切り替え ● 字幕言語：DVDビデオ再生時の字幕言語の切り替え ● メニュー言語：DVDメニューの表示言語の切り替え
ダイナミックレンジ圧縮	<ul style="list-style-type: none"> ● DVDビデオ再生時、小さい音量でも迫力のある音にすることができます。(ドルビーデジタルの音声のみ)
モニター設定	<ul style="list-style-type: none"> ● TVアスペクト：DVDビデオ再生時の画像のアスペクト比の切り替え
視聴制限レベル	<ul style="list-style-type: none"> ● レベル：視聴制限レベルの設定
パスワード変更	<ul style="list-style-type: none"> ● パスワード：視聴制限レベルの設定を他の人が変えられないようにするためのパスワードの変更

DVDの初期設定について(2)

- “言語設定”を選んだ場合 → 185ページへ進む。
- “ダイナミックレンジ圧縮”を選んだ場合 → 187ページへ進む。
- “モニター設定”を選んだ場合 → 187ページへ進む。
- “視聴制限レベル”を選んだ場合 → 188ページへ進む。
- “パスワード変更”を選んだ場合 → 189ページへ進む。



アドバイス

- 設定した内容は変更しない限り保持されます。(電源を切っても保持されます。)
- ディスクによっては再生停止中に初期設定を変更しても切り替えができないものもあります。この場合はDVDメニュー(170、171ページ)で切り替えてください。

- 言語／オーディオ／画面／視聴制限設定時に、1つ前の選択画面に戻る場合

画面の **戻る** ボタンをタッチする。

言語設定画面



- DVD設定画面を終わる／途中で止める場合

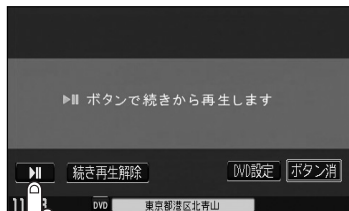
画面の **終了** ボタンをタッチする。

: 停止画面に戻ります。

- 再び再生させるには…

画面の **再生／一時停止** ボタン(▶||)をタッチする。

DVD設定画面



: 再生を止めた所より再生します。

■ 手順 4 (183ページ)で“言語設定”を選んだ場合

5 音声言語／字幕言語／メニュー言語の変更 したい項目をタッチする。

“音声言語” …

DVDビデオ再生時に優先したい音声言語を切り替えることができます。

“字幕言語” …

DVDビデオ再生時に優先したい字幕言語の切り替えができます。

“メニュー言語” …

DVDビデオ再生時に優先したいメニュー言語を切り替えることができます。

■ 言語を変更する場合

：選択した言語の言語コード入力画面が表示されます。

- ①言語コード表(186ページ)を参照し、言語コードの数字を10キーボタンをタッチして入力する。
- ②入力が終わったら **実行** ボタンをタッチする。



設定されている言語を表示
(ここをタッチすると言語コード入力画面(下記)を表示)
ただし、言語が**オリジナル**または
OFF に設定されている場合は
言語を選択 と表示されます。

言語コード入力画面



10キーボタン



アドバイス

- DVDを再生中に言語設定を変更した場合、続きメモリー機能は解除され、ディスクの先頭からの再生となります。
- 間違った言語コードを入力すると“入力された言語コードが間違っています”と表示されます。再度正しいコードを入力しなおしてください。
- 入力した数字を訂正するときは **クリア** ボタンをタッチして数字を再入力してください。
- 工場出荷時の言語は“JA(日本語)”に設定されています。
- **オリジナル** を選んだ場合は、再生するディスクで優先されている言語で再生されます。
- “字幕言語” のとき、優先する字幕言語を **OFF** にした場合は字幕が表示されません。
- 前画面へ戻る場合は、 **戻る** ボタンをタッチしてください。
- ディスクによっては設定された通りに再生しないものもあります。

DVDの初期設定について(3)

言語コード表

コード	言語	コード	言語	コード	言語			
1027	AA	アフアル語	1239	IE	国際語	1482	RN	キルンディ語
1028	AB	アブバシア語	1245	IK	Inupiak語	1483	RO	ルーマニア語
1032	AF	アフリカンス語	1248	IN	インドネシア語	1489	RU	ロシア語
1039	AM	アムハラ語	1253	IS	アイスランド語	1491	RA	キニヤルワンダ語
1044	AR	アラビア語	1254	IT	イタリア語	1495	SA	サンスクリット語
1045	AS	アッサム語	1257	IW	ヘブライ語	1498	SD	シンド語
1051	AY	アイマラ語	1261	JA	日本語	1501	SG	サンゴ語
1052	AZ	アゼルバイジャン語	1269	JI	イディッシュ語	1502	SH	セルビアクロアチア語
1053	BA	バシキール語	1283	JW	ジャワ語	1503	SI	シンハラ語
1057	BE	ベラルーシ語	1287	KA	グルジア語	1505	SK	スロバキア語
1059	BG	ブルガリア語	1297	KK	カザフ語	1506	SL	スロベニア語
1060	BH	ビハーリー語	1298	KL	グリーンランド語	1507	SM	サモア語
1061	BI	ビスラマ語	1299	KM	カンボジア語	1508	SN	ショナ語
1066	BN	ベンガル、バングラ語	1300	KN	カンナダ語	1509	SO	ソマリ語
1067	BO	チベット語	1301	KO	韓国語	1511	SQ	アルバニア語
1070	BR	ブルトン語	1305	KS	カシミール語	1512	SR	セルビア語
1079	CA	カタロニア語	1307	KU	クルド語	1513	SS	シスワティ語
1093	CO	コルシカ語	1311	KY	キルギス語	1514	ST	セストゥ語
1097	CS	チェコ語	1313	LA	ラテン語	1515	SU	スندا語
1103	CY	ウェールズ語	1326	LN	リンガラ語	1516	SV	スウェーデン語
1105	DA	デンマーク語	1327	LO	ラオス語	1517	SW	スワヒリ語
1109	DE	ドイツ語	1332	LT	リトアニア語	1521	TA	タミール語
1130	DZ	ブータン語	1334	LV	ラトビア、レット語	1525	TE	テルグ語
1142	EL	ギリシャ語	1345	MG	マダガスカル語	1527	TG	タジク語
1144	EN	英語	1347	MI	マオリ語	1528	TH	タイ語
1145	EO	エスペラント語	1349	MK	マケドニア語	1529	TI	ティグリニャ語
1149	ES	スペイン語	1350	ML	マラヤーラム語	1531	TK	トゥルクメン語
1150	ET	エストニア語	1352	MN	モンゴル語	1532	TL	タガログ語
1151	EU	バスク語	1353	MO	モルダビア語	1534	TN	セツワナ語
1157	FA	ペルシャ語	1356	MR	マラータ語	1535	TO	トンガ語
1165	FI	フィンランド語	1357	MS	マレー語	1538	TR	トルコ語
1166	FJ	フィジー語	1358	MT	マルタ語	1539	TS	ツォンガ語
1171	FO	フェロー語	1363	MY	ミャンマ語	1540	TT	タタール語
1174	FR	フランス語	1365	NA	ナウル語	1543	TW	トウィ語
1181	FY	フリジア語	1369	NE	ネパール語	1557	UK	ウクライナ語
1183	GA	アイルランド語	1376	NL	オランダ語	1564	UR	ウルドゥー語
1186	GD	スコットランドゲール語	1379	NO	ノルウェー語	1572	UZ	ウズベク語
1194	GL	ガルシア語	1393	OC	プロバンス語	1581	VI	ベトナム語
1196	GN	グアラニ語	1403	OM	(アフアン) オロモ語	1587	VO	ボラビュク語
1203	GU	グジャラート語	1408	OR	オリヤー語	1613	WO	ウォロフ語
1209	HA	ハウサ語	1417	PA	パンジャブ語	1632	XH	コーサ語
1217	HI	ヒンディー語	1428	PL	ポーランド語	1665	YO	ヨルバ語
1226	HR	クロアチア語	1435	PS	バシュトー語	1684	ZH	中国語
1229	HU	ハンガリー語	1436	PT	ポルトガル語	1697	ZU	ズール語
1233	HY	アルメニア語	1463	QU	ケチュア語			
1235	IA	国際語	1481	RM	ラエティ=ロマン語			

■ 手順 4 (183ページ)で“ダイナミックレンジ圧縮”を選んだ場合

ドルビーデジタル方式で記録されたDVDビデオ再生時に出力する音の音域を設定できます。

5 ダイナミックレンジの圧縮をしない／するを選択します。

ON をタッチする。：圧縮します。

OFF をタッチする。：圧縮しません。

“ON”：小さい音量でも迫力のある音で楽しみたいときに選んでください。

“OFF”：標準音域で聞くときに選んでください。

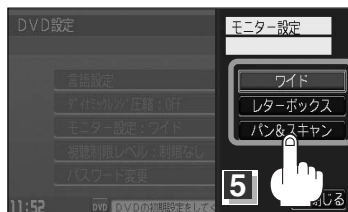


■ 手順 4 (183ページ)で“モニター設定”を選んだ場合

DVDビデオ再生時に優先したい画像アスペクト比を切り替えることができます。

5 設定したいアスペクト比 (**ワイド**／**レターボックス**／**パン&スキャン**) ボタンをタッチする。

※16:9ワイドスクリーン／4:3レターボックス／4:3パン&スキャン



アドバイス

- ディスクに収録されていないアスペクト比を選んだ場合は、ディスクに収録されているアスペクト比のいずれかで再生されます。また、ディスクによっては、1つのアスペクト比しか収録していないものもあります。再生するディスクの説明書をご確認ください。
- 映像出力端子にノーマルモニターを接続してご使用のときに、“ワイド”に設定すると、画像が不自然になることがあります。ノーマルモニターをご使用の場合は、“レターボックス”または“パン&スキャン”に設定してください。(※この場合は、本機のディスプレイ選択を“ノーマル”に設定しないと不自然な画像となります。)
- 映像出力端子にワイドモニターを接続してご使用のときに、“フル”またはこれに相当するモードにして、本機を“レターボックス”または“パン&スキャン”に設定すると、画像が不自然になります。ワイドモニターで、“レターボックス”や“パン&スキャン”の映像を見る場合は、ワイドモニターを、画面の縦横の比率が4:3になるモード(メーカーによって名称が異なりますが、例えば、“Normal mode”等。)に設定してください。

⚠ 注意

お客様が個人的に視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴されることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行なうと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

DVDの初期設定について(4)

■ 手順 4 (183ページ)で“視聴制限レベル”を選んだ場合

視聴制限が収録されているDVDビデオの視聴制限レベルの設定ができます。

5 下記の視聴制限レベルを参照して設定したいレベルをタッチする。

視聴制限レベル	“制限なし”- 視聴制限を無効
	“8”- すべてのDVDビデオの再生可
	“7”
	“6”
	“5” 子供向/一般向のみ再生可
	“4”
	“3”
	“2”
“1”- 子供向のみ再生可(一般向/成人向再生は禁止)	

↓このレベルが適用される



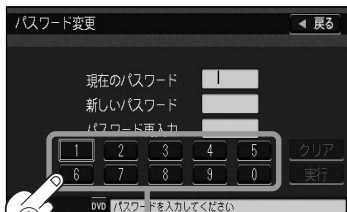
5 ▲/▼ ボタンタッチでページ戻し/送り表示

※視聴制限を解除してディスクを再生する場合は、**制限なし** ボタンをタッチしてください。

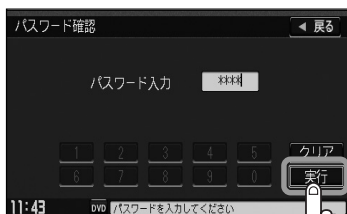
レベルを変更すると…

レベルを変更すると、パスワード確認画面が表示されます。

- ①現在のパスワードを10キーボタンをタッチして入力する。
- ②入力が終わったら**実行** ボタンをタッチする。



10キーボタン



アドバンス

- DVDを再生中に視聴制限の設定を変更した場合、続きメモリー機能は解除され、ディスクの先頭からの再生となります。
- 間違ったパスワードを入力すると“入力されたパスワードが間違っています”と表示されます。再度正しいパスワードを入力し直してください。
- パスワードを入力しないかぎり、レベルを変更することはできません。
- 工場出荷時の(現在の)パスワードは“0000”となっています。(現在のパスワードは変更することができます。(次ページ参照))
- ディスクに視聴制限用のデータが入っていない場合は制限が効きません。

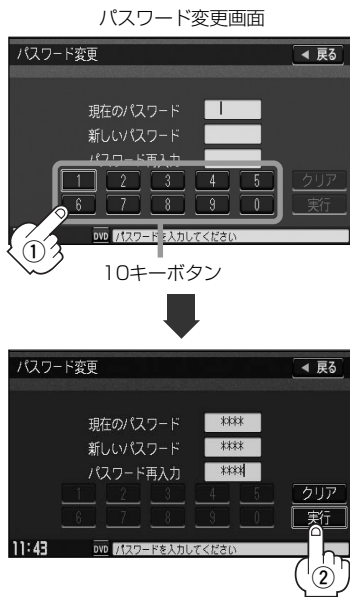
■手順 4 (183ページ)で“パスワード変更”を選んだ場合

5

①現在のパスワード／新しいパスワード／パスワード再入力を画面の10キーボタンをタッチして入力する。

② **実行** ボタンをタッチする。

：DVD設定画面に戻ります。



〔初期設定（視聴制限）〕

映像

DVD

（パスワード変更）



アドバイス

- 入力した数字を訂正するときは **クリア** ボタンをタッチして数字を再入力してください。
- 正しいパスワードを入力しない限り、視聴制限設定ができなくなります。変更したパスワードは、忘れないでください。
- 視聴制限が収録されていないディスクの場合は、本機で再生を制限することはできません。
- 前ページへ戻る場合は、**戻る** ボタンをタッチしてください。
- パスワードを忘れてしまったら…
現在のパスワードに“0000”を入力してください。
- 工場出荷時のパスワードは“0000”に設定されています。



テレビ(デジタルテレビ放送)

テレビについて	192、193
地上デジタルテレビ放送について	192
地上デジタルテレビ放送の番組受信について	193
B-CASカードについて	194、195
B-CASカードについて	194
B-CASカードを入れる／取り出す	195
B-CASカードに関するお問い合わせ先について	195
Digital TVを使う	196～245
各部の名称とはたらき	196～200
パネル部について	196
バナー表示について	196、197
タッチパネル部のボタンについて	198、199
デジタルメニューについて	200
Digital TVモードにする	201、202
Digital TVモードを終了する	202
視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする	203、204
MFNサーチを実行する	205
エリアスキャンをする	206
チャンネルスキャンについて	207
選局する	208～211
プリセットメモリーをする	212、213
番組表を見る	214、215
映像を切り替える	216
音声を切り替える	217
字幕表示を切り替える	218
バナー表示の設定	219
郵便番号設定	220
チャンネル表示設定	221、222
文字スーパーを切り替える	223
現在地確認設定	224、225
自動切替(ワンセグ・12セグ・切替なし) の設定をする	226、227
アンテナ電源の設定をする	228、229
受信可能なチャンネルと受信レベルを確認し、 受信する	230、231
B-CASカード(ICカード)のテストをする	232、233
放送局からの情報を見る	234～236
設定を初期化する	237
選局操作の設定をする	238、239
データ放送を利用する	240～242
リレーサービスの番組を見る	243
臨時サービスの番組を見る	243
緊急放送を見る	244
エラーコードについて	245

地上デジタルテレビ放送について



- 地上デジタルテレビ放送は、現行のアナログ(VHF/UHF)テレビ放送がデジタル化された(UHF帯の電波を使って行なう)放送で、2003年12月から関東・中京・近畿の三大広域圏の一部で開始された放送です。

※アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。

- お車の走行地域(ご利用の地域)で放送が開始されている必要があります。県域(都道府県)を選択して現在地の設定をしてください。

☞ 「**視聴エリアの変更(地方/県域の設定)をする**」 203、204ページ

- 地上デジタルテレビ放送は大きく分けて3種類のサービスがあります。

- ・テレビ放送……従来からのテレビ放送
- ・ラジオ放送……音声を主とした放送
- ・データ放送……現在地周辺の生活情報やクイズ・ニュース・天気予報などの放送

※本機ではテレビ放送とデータ放送のサービスを受けることができます。(ラジオ放送には対応していません。)

- 一般的にデジタルテレビ放送はアナログテレビ放送に比べて数秒程度音声・映像が遅れます。(時報等も同様に遅れます。)

- 受信モードをお車の状況にあわせて切り替えることで受信状態を安定させることができます。

※自動でワンセグ・12セグの切り替えを行なうか、行なわないかは、設定により変更することができます。

☞ 「**自動切替(ワンセグ・12セグ・切替なし)の設定をする**」 227、228ページ

- B-CASカードを挿入しないと地上デジタルテレビ放送は映りません。

☞ 「**B-CASカードについて**」 194ページ

「**B-CASカードを入れる/取り出す**」 195ページ

- 地上デジタルテレビ放送のサービスのひとつとして、「ワンセグ」があります。



●日本の地上デジタルテレビ放送は、約6MHzの帯域を13個のセグメントに分けて放送する仕組みですが、そのうち12セグメントを使って高画質・高音質の放送を行なっています。ワンセグ放送は、残り1セグメントを使って携帯や移動体向けに放送するサービスです。

※地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」は、地上アナログテレビ放送と同様のUHF帯の電波を使用して放送されています。12セグに比べると画質や音質は劣りますが、受信エリアは12セグよりも広く、送信局から離れた場所でも安定して受信できる可能性が高くなります。

●地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」は、2006年4月1日より東名阪およびその他一部地域より順次開始されている放送サービスです。

「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。

社団法人 デジタル放送推進協会 <http://www.dpa.or.jp/>

地上デジタルテレビ放送の番組受信について

- 地上デジタルテレビ放送では受信状態が悪くなると、映像にブロックノイズが出たり、音かとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用デジタルチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、車の周辺の環境などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など(パソコンや携帯電話など)を車内で使用したり、本機や地上デジタルテレビ放送用アンテナやアンテナコードに近づけると、映像にブロックノイズが出たり、音かとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなる場合があります。それらの機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。
- 電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの放電機器の近くで受信すると、映像・音声が乱れたり雑音がある場合があります。
- 地域、天候により電波・受信状況が変わる場合があります。
- 障害物などの影響により放送エリアでも受信できない場合があります。
- 車の走行速度によっては映像・音声が乱れたり、受信できなくなる場合があります。また、停車中でも周囲の車の動き等により受信状態が悪くなり、映像・音声が乱れる場合があります。
- 受信状態が弱い場合、パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコン、ファンなどの車両電装品を作動させると映像にブロックノイズがでたり、音かとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。

以下の点にご注意ください。

- 本機はARIB(電波産業会)規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。
- 本機に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アンセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。
- 本機は、マクロビジョンコーポレーションならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの許可なしでは、一般家庭または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。
- お知らせメールなどの地上デジタルテレビ放送に関する情報は、本機に記憶されます。万一、本機の故障、不具合によって、これらの情報が消失した場合でも補償はできません。

B-CASカードについて

ご使用になる前に

B-CASカードについて

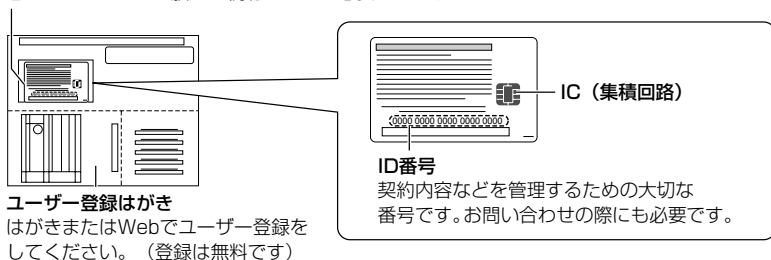
B-CASカードは地上デジタルテレビ放送(12セグ)を受信するうえで必ず必要なカードです。

※本機に付属のB-CASカードには1枚ごとに異なる番号(ID番号)が付与されています。

ID番号は大切な番号です。(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターへの問い合わせの際にも必要となりますので、ご確認のうえ控えてください。

B-CASカード

地上デジタルテレビ放送の視聴のために必要なカードです。

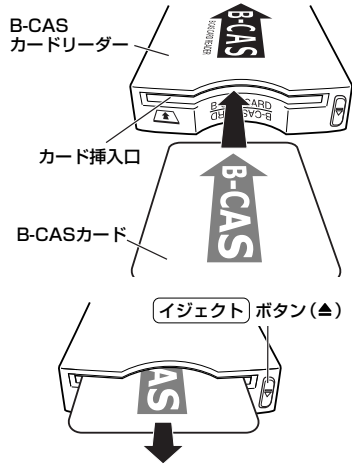


- 地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、2004年4月から電波に原則として「1回だけ録画可能」のコピー制御信号を加えて放送されています。その信号を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。
 - B-CASカード取り扱い上の留意点
 - ・B-CASカードを折り曲げたり、変形させないでください。
 - ・B-CASカードの上に重いものを置いたり踏みつけたりしないでください。
 - ・B-CASカードに水をかけたり、ぬれた手でさわらないでください。
 - ・B-CASカードのIC(集積回路)部には手をふれないでください。
 - ・B-CASカードの分解加工は行なわないでください。
 - ・B-CASカードはカード挿入口に正しく挿入してください。
- ▶ 「**B-CASカードを入れる/取り出す**」195ページ
- ・ご使用中にB-CASカードの抜き差しはしないでください。地上デジタルテレビ放送が視聴できなくなる場合があります。
 - ・付属のB-CASカードの所有権は、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにあります。無断で譲渡できません。
 - ・破損・紛失などB-CASカードの再発行には手数料がかかります。
 - ・B-CASカードのユーザー登録や、受信契約については、B-CASカードの台紙に記載されている事項やB-CASカード使用許諾契約約款などをよくお読みください。
 - ・付属のB-CASカードを使用して、BSデジタル放送や110度CSデジタル放送等の有料放送の視聴契約をすることはできません。
 - ・B-CASカードを破損・紛失などされた場合は、お客様より(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターへお問い合わせください。
 - ・本機の修理を依頼されるときは、本機よりB-CASカードを抜いてお客様が保管してください。

B-CASカードを入れる／取り出す

■ B-CASカードを入れる場合

- ①車のエンジンスイッチを0(OFF)にし電源を切る。
- ②カード挿入口にB-CASカードを差し込む。
※B-CASカードリーダーの↑とB-CASカードの↑が同じ方向にくるようにし、“カチッ”と音がするまで挿入してください。



■ B-CASカードを取り出す場合

- ①車のエンジンスイッチを0(OFF)にし電源を切る。
- ② **イジェクト** ボタン(▲)を押す。
：B-CASカードがカード挿入口より出てきます。
- ③B-CASカードを取り出す。



⚠ 注意

- B-CASカードにはIC(集積回路)が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。
- カード挿入口にB-CASカード以外のものを挿入しないでください。
- 車のエンジンスイッチ I (ACC)または II (ON)の状態でもカードを抜き差ししないでください。
※上記注意事項を守らなかった場合、視聴できなくなったり故障や破損の原因となります。

- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違えるとB-CASカードは機能しません。
- B-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上待ってからB-CASカードテスト(ICカードテスト)を行なってください。[音]「**B-CASカード(ICカード)のテストをする**」232、233ページ

B-CASカードに関するお問い合わせ先について

付属のB-CASカードや、B-CASカードのユーザー登録についてご不明な点は、下記のB-CASカスタマーセンターへお問い合わせください。

(株) ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター
電話番号 0570-000-250 受付時間 10:00~20:00 (年中無休)

- ※電話番号はお間違えないようお願いいたします。
- ※携帯電話、PHSなどの移動体通信機器および各種LCRや交換機の設定によってはかからない場合があります。

- B-CASカードの台紙に記載されている「ビーキャスト(B-CAS)カード使用許諾契約約款」は、よくお読みになった上、「取扱説明書」「取付説明書」「保証書」とともに大切に保管してください。
- 放送局などへのお問い合わせで、B-CASカードのID(識別)番号の告知が必要になる場合があります。お客さまのB-CASカードのID番号は控えておいてください。

Digital TVを使う(1)

各部の名称とはたらき

パネル部について



AUDIO ボタン

AUDIOソース画面を表示します。
※ナビゲーション/CD/DVD/MP3/WMA/
Music Rack/SD/USB/iPod/VTR/
AM/FMモードからDigital TVモードに切り替
えるときに使用します。(201ページ)

電源 ボタン(⏻)

オーディオモードを開始/終了(OFF状態)に
します。また、2秒以上長押しで画面を消し
ます。

VOLUME ボタン

音量の増減を調整します。
▼: 音量減 ▲: 音量増

選局 ボタン(◀▶)

プリセットされている放送局を呼び出します。(手動選局)
また、このボタンを押し続けると受信可能な放送局を探します。
(自動選局)(208ページ)

バナー表示について

地上デジタルテレビ放送を選局したときや受信中に画面をタッチし、**次へ**をタッチして操作ボタン2を表示させ、画面の**表示**ボタンをタッチしたときなどに、画面に下のような表示が現われます。これをバナー表示と呼びます。バナー表示には、番組に関するさまざまな情報が盛り込まれています。



バナー表示
(例)

1 放送の種類

HD / **HV** ハイビジョン放送

SD 標準放送(SDTV)

※本機は **HD** / **HV** を表示(ハイビジョ
ン放送を受信)しても映像は標準画質で映
されます。(**HD** / **HV** / **SD** は放
送の種類を示すもので画質を示すものでは
ありません。)

2 チャンネル名

チャンネルの名称を最大10文字まで表示し
ます。

3 チャンネル番号(チャンネル表示)

設定によりチャンネル表示を変更するこ
とができます。[**表示**] 221、222ページ

4 時刻

現在の時刻を表示します。

5 音声の種類

番組の音声を表示します。

(例) ステレオ マルチCH



※音声(と映像)が複数ある場合選択することが
できます。














[**表示**] 「**音声を切り替える**」 217ページ

*印: 本機は5.1chサラウンドには対応していません。

6 番組名および記号

番組の名称を最大20文字まで表示します。
また、下記記号が番組名の前／後に表示されることがあります。

(例)


-  番組連動データ放送
 -  2カ国語放送
 -  字幕放送
 -  圧縮Bモードステレオ音声
 -  サラウンドステレオ音声
 -  音声多重放送
 -  再放送
 -  ステレオ放送
 -  音声解説
 -  劇映画
 -  吹き替え
 -  ワイド放送
 -  マルチビューテレビ放送 …など
- 記号は放送局側で付けられています。
●上記以外の記号もあります。

7 放送時刻

番組の放送時刻を表示します。

8 プリセット表示





プリセット呼出 ボタンを選択している場合に
表示されます。


 198、212、213ページ

9 エリア番号／プリセット番号


そのチャンネルがエリア登録またはプリセット登録されていることを表し、表示される数字はエリア番号またはプリセット番号を表します。


10 番組の種類など(データ放送は12セグのみ)

テレビ放送	独立型データ放送
	
	← 番組内容と関連しない データ放送あり
	← 番組内容と関連した データ放送あり


 「データ放送を利用する」
240～242ページ


11 字幕

12セグの場合、番組に字幕サービスがあるときに  が明るく表示されます。

 「字幕表示を切り替える」
218ページ

12 信号選択

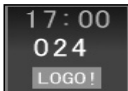
12セグの場合、複数の映像や音声を送られているときに  が明るく表示されます。

 「映像を切り替える」 216ページ
「音声を切り替える」 217ページ

13 チャンネルのロゴマーク


アドハイス


- 表示される時刻は実際とズレが生じる場合があります。正確な時刻は地図画面(ナビ画面)にてご確認ください。
- 表示の内容は放送局や番組によって異なる場合があります。
- これらの表示は番組の内容によってそれぞれが表示されます。一度には表示されません。

小表示( /  / )について

バナー表示のほかに、バナー表示の一部を小表示として表示することもできます。さらに時刻のみ表示させることもできます。

※表示させるかどうかは設定により変更できます。

 199ページ 操作ボタン2の **表示** ボタンタッチ

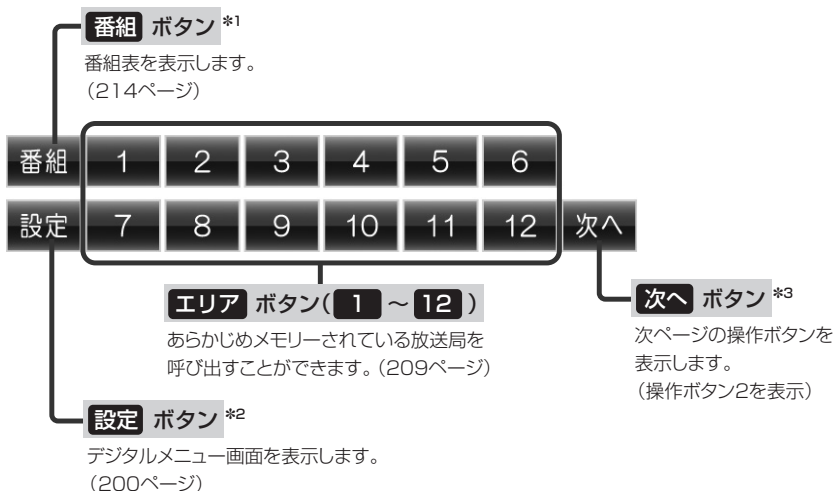
 「バナー表示の設定」 219ページ

Digital TVを使う(2)

タッチパネル部のボタンについて

テレビ放送画面／データ放送画面のとき、画面をタッチすると操作ボタン(タッチパネルボタン)が表示されます。

操作ボタン1



1秒以上タッチで好きな放送局をメモリーします。
(212、213ページ)
メモリーしたボタンはP1～P12の表示から物理チャンネル(13～62ch)表示となります。
※呼び出しは、メモリーしたボタンを軽く(1秒未満)タッチします。(209ページ)

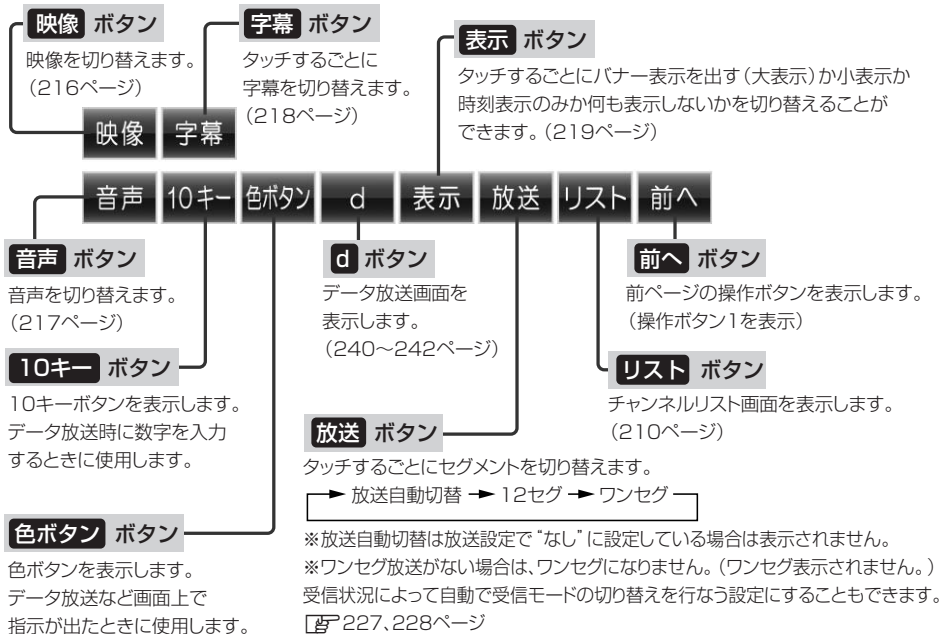


アドバース

操作ボタン1は、デジタルメニュー画面で選択するボタン(**エリア呼出** / **プリセット呼出**)によって表示内容(機能)が異なります。

デジタルメニュー画面 213ページ参照

操作ボタン2



10キーボタン



色ボタン



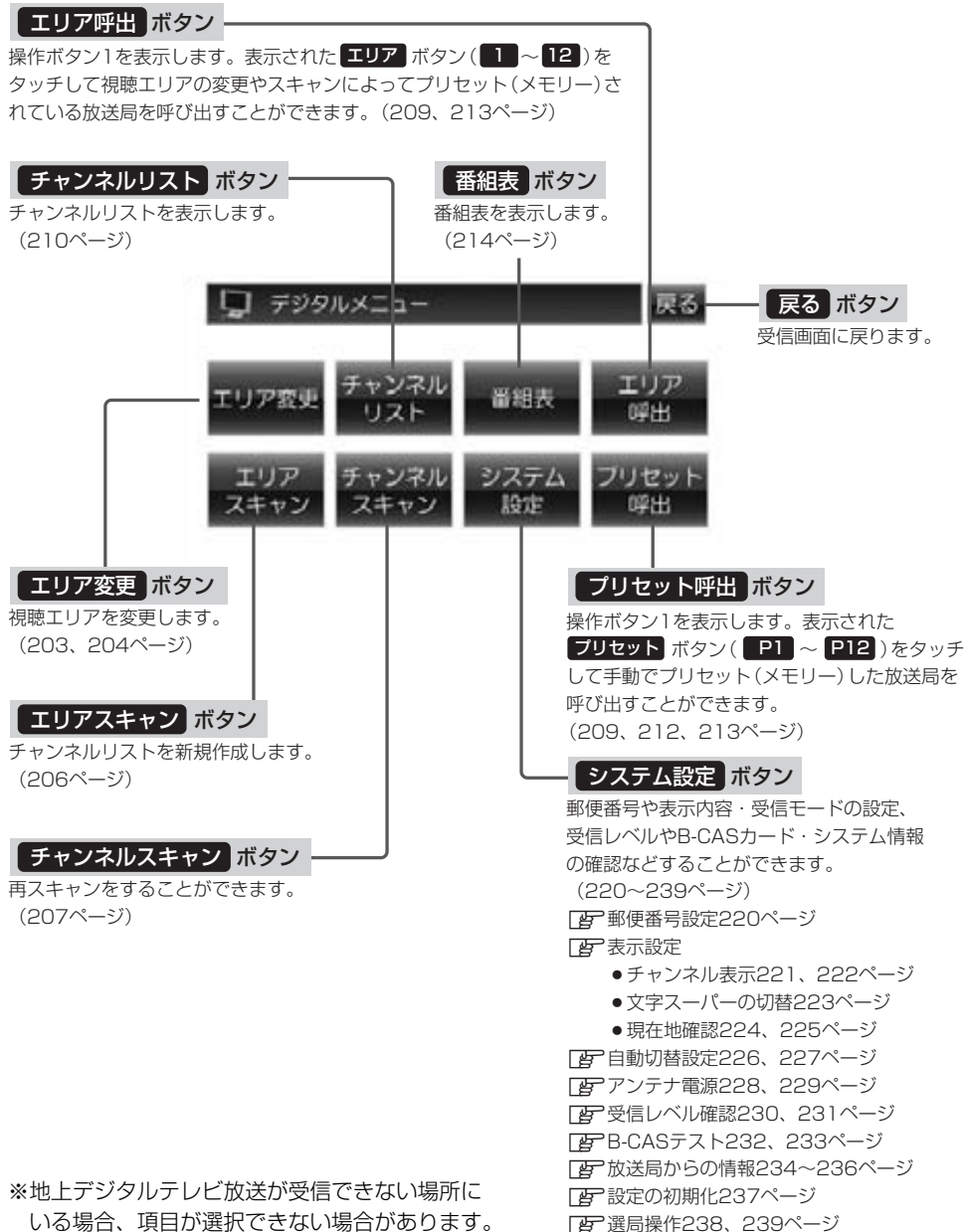
〔各部の名称とはたらき(タッチパネル部のボタンについて)〕

映像
デジタル

Digital TVを使う(3)

デジタルメニューについて

画面をタッチして操作ボタン1を表示させているとき、**設定** ボタンをタッチするとデジタルメニュー画面を表示させることができます。地上デジタルテレビ放送の各機能や設定はこのデジタルメニューを使って行ないます。



※地上デジタルテレビ放送が受信できない場所にいる場合、項目が選択できない場合があります。

Digital TVモードにする



安全上の配慮から、停車中のみご覧になることができます。(走行中は音声のみになります。)

Digital TVモード画面(走行中)(例)



〔各部の名称とはたつき(デジタルメニューにつづく)〕

映像
デジタルTV

〔Digital TVモードにする〕

■ 他のモード画面を表示している場合

- 前回Digital TVモード画面でOFF(オーディオモードを終了)していた場合

① パネルの **電源** ボタン(⏻)を押す。

: Digital TVモード画面を表示します。



① **電源** ボタン(⏻)

- ナビゲーションモードまたは前回Digital TVモード以外のオーディオモード画面の場合(OFF含む)

① パネルの **AUDIO** ボタンを押す。

: AUDIOソース画面またはラストモード*画面が表示されます。

- AUDIOソース画面のときは…

②に進んでください。

- ラストモード*画面のときは…

もう一度 **AUDIO** ボタンを押す。

: AUDIOソース画面が表示されます。

*: 前回最後に選択していたモード画面(OFF含む)

②画面の **Digital TV** ボタンをタッチする。

: Digital TVモード画面を表示します。



① **AUDIO** ボタン



アドバイス

初めてDigital TVを利用する場合は、最初に視聴エリアの設定をして放送局を検索し、チャンネルリストを登録します。次回からはすぐにDigital TVを見ることができます。

▶ 「**視聴エリアの変更(地方/県域の設定)**」 203、204ページ

Digital TVを使う(4)

■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

- 🔊 「音量を調整する」 26ページ
- 🖥️ 「映像の調整のしかた」 27～29ページ
- 🔊 「オーディオの調整をする」 32～43ページ



Digital TVの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

アドバイス

🔊 「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」 24ページ

Digital TVモードを終了する

1

パネルの **電源** ボタン(🔊)を押す。

: 画面に“OFF”と表示されDigital TVモード画面を終了します。(オーディオモード終了)



1 **電源** ボタン(🔊)



視聴エリアの変更(地方/県域の設定)をする

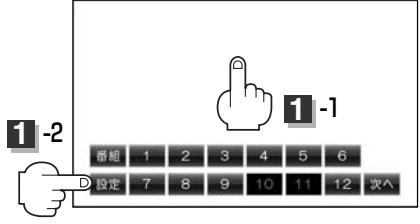


現在地によって受信できる放送局(**エリア** ボタン(**1** ~ **12**))に割り当てられる放送局)が異なるため、現在のお車の走行地域で初めて地上デジタルテレビ放送をご覧になる場合は、現在地の視聴エリアの設定(変更)を行なってください。地上デジタルテレビ放送は、東京・名古屋・大阪を中心とする関東・中京・近畿の3大広域圏やその他の都道府県庁所在地でも放送が開始されており、今後も受信可能エリアは順次拡大されます。視聴エリアの設定(変更)をする前に、お車の走行地域で地上デジタルテレビ放送が開始されているかお確かめください。(地上デジタルテレビの電波が受信できない状態では放送を受信することはできません。)
 ※初期状態(お買い上げ時)は東京都のチャンネルが設定されています。

1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の **設定** ボタンをタッチする。

: デジタルメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)



2 画面の **エリア変更** ボタンをタッチする。

: 視聴エリア変更画面が表示されます。

デジタルメニュー画面



3 現在地の地方と県域をタッチする。

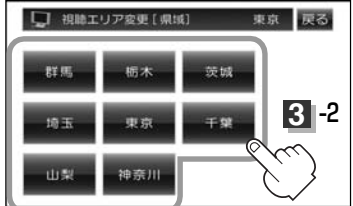
視聴エリア変更画面(地方選択時) → 現在選択している県域が表示されます。

3-1



3-2

視聴エリア変更画面(県域選択時)



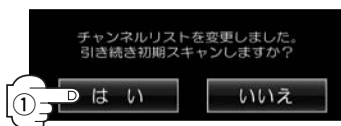
選択した地域(エリア)のチャンネルリストを作成し、地域(県域)で放送されている放送局がすべて **エリア** ボタン(**1** ~ **12**))にプリセット(メモリー)されます。
 ※選択している地域で放送されている放送局をすべてプリセット(メモリー)するため、受信できない放送局が含まれている場合もあります。

: 初期スキャンを行なうかどうかのメッセージが表示されます。

Digital TVを使う(5)

■ 初期スキャンを行なう場合

- ① **はい** ボタンをタッチする。



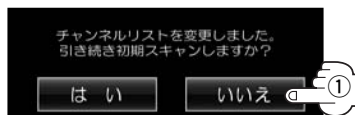
：初期スキャンを開始します。



：スキャンが終了すると受信画面を表示します。

■ 初期スキャンを行わない場合

- ① **いいえ** ボタンをタッチする。



：初期スキャンをしないで受信画面を表示します。



初期スキャンを行なうと視聴エリア(チャンネルリスト、**エリア** ボタンにメモリーされるエリア)が最新の状態となります。スキャンを行なわないとプリセットは前回の状態となります。視聴エリアを変更した場合は**はい** ボタンをタッチし初期スキャンすることをおすすめします。

MFNサーチを実行する

お車の走行地域が変わって放送局が受信できなくなった場合、画面に“信号が受信できません”とメッセージが表示されます。MFN方式の放送局を受信していた場合はサーチしなおすことができます。

1 MFNサーチ実行 ボタンをタッチする。



受信できる放送局が見つからない場合、中継局をサーチ(一巡)すると左記画面に戻ります。



：受信できる放送局を探します。放送局を受信すると自動的に止まります。



アドバイス

- 放送波にはMFN方式とSFN方式があり、MFN方式は複数の中継局を用いて放送を中継することができるため今まで受信していた放送局を受信しなくなった場合でもMFNサーチをしないことで他の放送局を受信しなおすことが可能です。SFN方式は中継局を用いないため電波がとどかないエリアでは受信できません。どちらの方式(MFN/SFN)になるかはエリアによって異なります。
※MFN方式 [P 238] 「用語説明」 342ページ
- MFN選局をする設定 ([P 238, 239ページ]) にしている場合は、上記のように画面にメッセージが表示されなくてもMFNの手動/自動選局をすることができます。 ([P 208ページ])
- サーチ中に [選局] ボタン (◀▶) を押すとサーチは止まります。
- 視聴エリアの変更で選択した県域に受信できる放送局がない場合もメッセージが表示されます。

〔視聴エリアの変更〕

映像
デジタル

〔MFNサーチ実行〕

Digital TVを使う(6)

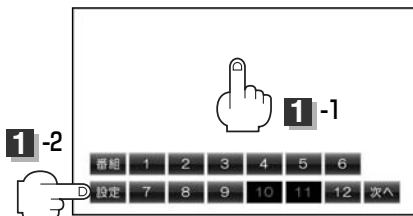
エリアスキャンをする

現在の車の位置で受信可能な(他地域(他県)の)放送局を(すべてプリセット)受信することができます。

1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の**設定**ボタンをタッチする。

: デジタルメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)



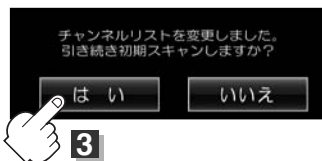
2 画面の**エリアスキャン**ボタンをタッチする。

: チャンネルリスト/**エリア**ボタン(**1**~**12**)にメモリーされているエリアは変更され、スキャンするかどうかのメッセージが表示されます。

デジタルメニュー画面



3 画面の**はい**ボタンをタッチする。



: 県域(都道府県)にかかわらずあらかじめプリセットされているチャンネル(13ch~62ch)をスキャンし、現在、車の位置で受信できる放送局を**エリア**ボタン(**1**~**12**)に追加プリセット(メモリー)します。(「**チャンネルスキャンについて**」207ページ) エリア変更(203、204ページ)にて設定した県域(都道府県)のプリセットチャンネルはそのまま残し、新たに追加されることとなります。スキャンが終了すると、受信画面が表示されます。

※スキャンをしない場合は**いいえ**ボタンを選択してください。



アドバイス

- スキャンが終了するまでには数十秒~数分かかります。
- 走行地域によって複数の地域の放送を受信できるときは、チャンネル番号が重複する場合があります。チャンネル番号が重複して枝番号が追加された場合など**エリア**ボタン(**1**~**12**)にプリセット登録されない番組もあります。
- スキャンをしてチャンネル設定した場合に、再度同じ県域(都道府県)をプリセット(メモリー)しても前回設定されたチャンネルのままとなります。プリセット(メモリー)前の状態に戻すにはメモリー初期化を行ってください。「**設定を初期化する**」237ページ

チャンネルスキャンについて

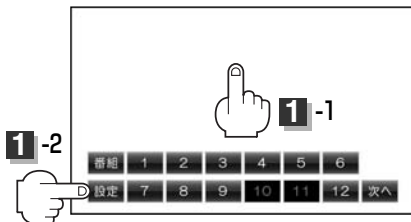
現在地付近に新しく開設された放送局や、現在地に隣接した地域で受信できる放送局を追加したいときなどに行ないます。

※すでに設定されているチャンネルはそのまま残し、新たに追加となります。

- 1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の **設定** ボタンをタッチする。

：デジタルメニュー画面が表示されます。

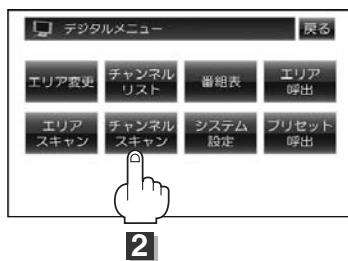
操作ボタン1表示画面(例)



- 2 画面の **チャンネルスキャン** ボタンをタッチする。

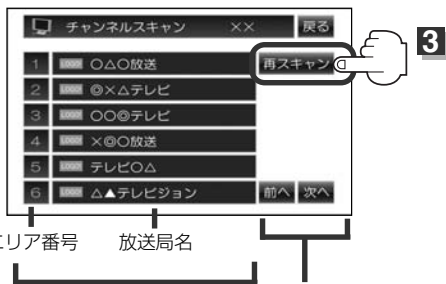
：チャンネルスキャン画面が表示されます。

デジタルメニュー画面



- 3 画面の **再スキャン** ボタンをタッチする。

チャンネルスキャン画面(例)



現在の設定内容を確認できます。
(確認のみで選局はできません。)

前へ / **次へ** ボタンをタッチして
設定内容(リスト)をスクロールさせる
ことができます。



：全チャンネル(13ch~62ch)を
スキャンし、放送局を **エリア**
ボタン(**1** ~ **12**)に追加プリ
セット(メモリー)します。

- 4 設定を終わるには…

戻る ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。

〔エリアスキャン〕

映像
デジタル

〔チャンネルスキャン〕

Digital TVを使う(7)

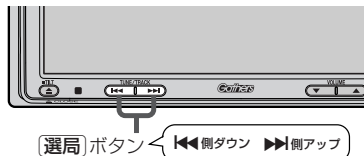
選局する

チャンネルを選びます。(手動選局/自動選局/プリセット選局/リスト選局)

■ 手動選局で放送局を選ぶ場合

① パネルの **選局** ボタン(◀◀/▶▶)を押す。

： ボタンを押すたびに、次のプリセットチャンネルに変わります。



■ 自動選局で放送局を選ぶ場合

① パネルの **選局** ボタン(◀◀/▶▶)を押し続ける。

： 自動選局を始め、放送局を受信すると、自動的に止まります。

希望の放送局が見つかるまで、この操作を繰り返してください。

※自動選局中に **選局** ボタン(◀◀/▶▶)を押すと、自動選局は止まり、自動選局をする前のチャンネルに戻ります。



アドバイス

- 自動選局中は“シーク動作中”と表示されます。
- 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。
- MFN選局をする設定 (P.238、239ページ) にしている場合はMFNの手動/自動選局となります。
※初期状態は“チャンネル選局”に設定されています。

■ プリセット選局で放送局を選ぶ場合

プリセット選局は、視聴エリアの変更やスキャンによって**エリア**ボタン(**1** ~ **12**)にメモリーされた放送局を呼び出す“エリア呼び出し”と、好きな放送局をお客様ご自身が**プリセット**ボタン(**P1** ~ **P12**)にメモリーし呼び出す“プリセット呼び出し”があります。

※あらかじめ**エリア**ボタン(**1** ~ **12**)／**プリセット**ボタン(**P1** ~ **P12**)に放送局をメモリーしておく必要があります。

☞ 「**視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする**」 203、204ページ

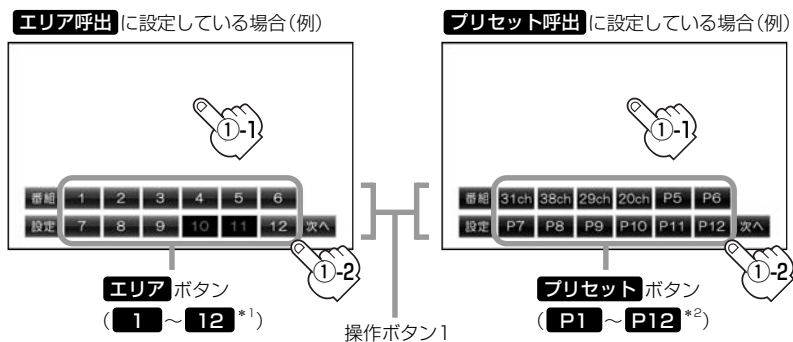
「**エリアスキャンをする**」 206ページ

「**チャンネルスキャンについて**」 207ページ

「**プリセットメモリーをする**」 212、213ページ

①画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、**エリア**ボタン(**1** ~ **12**)または**プリセット**ボタン(**P1** ~ **P12**)の中で呼び出したいボタンをタッチする。

：**エリア**ボタン(**1** ~ **12**)または**プリセット**ボタン(**P1** ~ **P12** *)に放送局が割り当てられていない場合、“このキーには、プリセットの設定がされていません。”と表示されます。



- **エリア**ボタン(**1** ~ **12**)に設定されるチャンネルは、地域によって異なります。複数のチャンネルが設定されている場合、その**エリア**ボタン(**1** ~ **12**)をタッチすることによって設定されたチャンネルを順に選局します。
- **エリア**ボタン(**1** ~ **12**)／**プリセット**ボタン(**P1** ~ **P12**)に、どの放送局がメモリーされているのかチャンネルリスト画面(☞ 210ページ)より確認できます。また、エリア番号と放送局の組み合わせは「エリア番号と放送局一覧」(☞ 336、337ページ)より確認できます。
- * 1印：放送局が割り当てられていないボタンは選択できません。
- * 2印：**P1** ~ **P12** は放送局をメモリーすると、メモリーした放送局の物理チャンネル表示(**13ch** ~ **62ch**)となります。

Digital TVを使う(8)

■ リストにて放送局を選ぶ場合

リスト選局にはチャンネルリスト選局とプリセットリスト選局があります。リストに表示された放送局を呼び出すことができます。

チャンネルリスト…視聴エリアの変更やスキャンによって自動でプリセット(メモリー)された放送局の一覧

プリセットリスト…お客様ご自身がお好きな放送局を手動でプリセット(メモリー)した放送局の一覧

※あらかじめ放送局をメモリーしておく必要があります。

「**視聴エリアの変更(地方/区域の設定)をする**」 203、204ページ

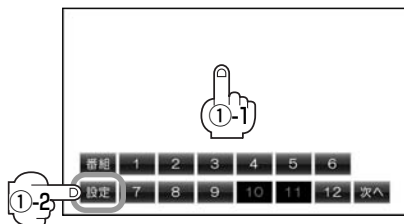
「**エリアスキャンをする**」 206ページ / 「**チャンネルスキャンについて**」 207ページ

「**プリセットメモリーをする**」 212、213ページ

①画面をタッチし**操作ボタン1**を表示させ、
画面の**設定** ボタンをタッチする。

：デジタルメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)



②画面の**チャンネルリスト** ボタンを
タッチする。

：チャンネルリスト画面が表示されます。

デジタルメニュー画面



③チャンネルリストまたはプリセットリストより放送局を呼び出します。

□ **チャンネルリストより放送局を呼び出すには…**

チャンネルリスト画面(例)



エリア番号 放送局名

1. リストより呼び出したい放送局をタッチする。

：選択した放送局を受信します。

□ 次ページがある場合は、**前へ** / **次へ** ボタンをタッチして設定内容(リスト)をスクロールさせることができます。

現在の設定内容(エリア番号と放送局名の組み合わせ)を確認できます。

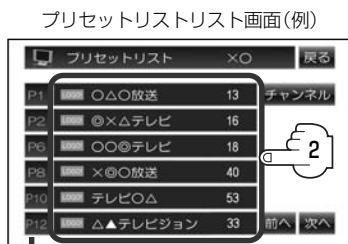
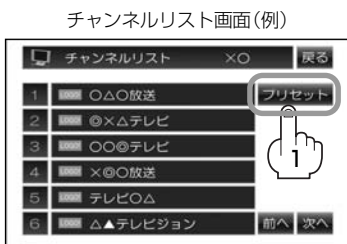


- チャンネルリスト画面は操作ボタン2の**リスト** ボタンからも表示させることができます。199ページ
- チャンネルリストに表示されるエリア番号と放送局の組み合わせは「エリア番号と放送局一覧」(P.336、337ページ)より確認できます。

□ プリセットリストより放送局を呼び出すには…

1. **プリセット** ボタンをタッチする。

2. リストより呼び出したい放送局をタッチする。



：プリセットリスト画面が表示されます。プリセット番号 放送局名と物理チャンネル番号



アドバンス

- 手順2のとき **チャンネル** ボタンをタッチするとチャンネルリスト画面に戻ります。
- 次ページがある場合は、**前へ** / **次へ** ボタンをタッチして設定内容(リスト)をスクロールすることができます。

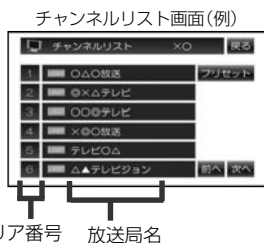
現在の設定内容(プリセット番号と放送局名の組み合わせ)を確認できます。

：選択した放送局を受信します。

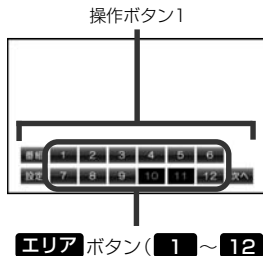


アドバンス

- チャンネルリストは操作ボタン1の **エリア** ボタン(**1** ~ **12**)にメモリーされているエリア番号と放送局名を表示します。



エリア番号 放送局名

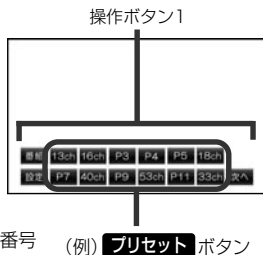


- プリセットリストは操作ボタン1の **プリセット** ボタン(**P1** ~ **P12**)にメモリーされているプリセット番号と放送局名/物理チャンネル*を表示します。

*：物理チャンネル [P222ページ]



プリセット番号 放送局名/チャンネル番号 (例) **プリセット** ボタン



Digital TVを使う(9)

プリセットメモリーをする

プリセット選局(☞ 209ページ)やリスト選局(☞ 210、211ページ)をするために、あらかじめ放送局をメモリーしておく必要があります。

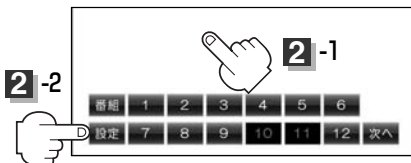
1 パネルの**選局**ボタン(◀◀/▶▶)を押して、メモリーしたい局を選ぶ。

☞ 「 ■ 手動選局で放送局を選ぶ場合 / ■ 自動で放送局を選ぶ場合 」 208ページ

2 画面をタッチし**操作ボタン1**を表示させ、画面の**設定**ボタンをタッチする。

: デジタルメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)



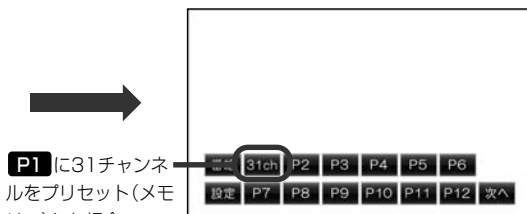
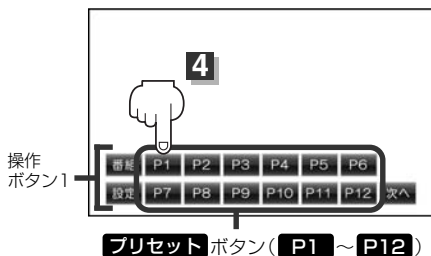
3 画面の**プリセット呼出**ボタンをタッチする。

: 操作ボタン1を表示します。

デジタルメニュー画面



4 メモリーしたい**プリセット**ボタン(**P1** ~ **P12**)を1秒以上タッチする。



P1 に31チャンネルをプリセット(メモリー)した場合、

P1 → **31ch**表示 : 選択したボタンに放送局がメモリーされます。

※表示はP1~P12から物理チャンネル(13ch~62ch)表示へ変わります。



•メモリーした放送局を呼び出すには**プリセット**ボタンを軽く(1秒未満)タッチします。

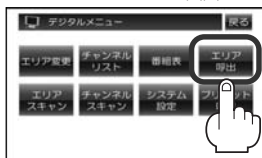
☞ 209ページ

•すでにメモリーされているボタンに新たにプリセットすると、それまでの放送局は上書き(消去)されます。



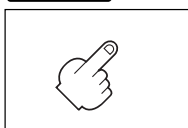
- テレビ放送画面／データ放送画面のとき、画面をタッチしたときに表示される操作ボタンは設定により異なります。

デジタルメニュー画面

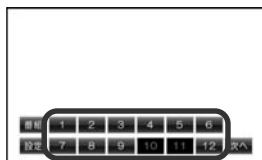


初期状態は**エリア呼出**ボタンが設定されています。

エリア呼出 設定中に



画面をタッチすると

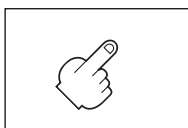


エリア ボタン(**1** ~ **12**)が表示される

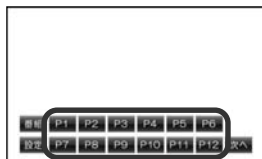
デジタルメニュー画面



手順 **2** で**プリセット呼出**ボタンが選択されている場合



画面をタッチすると



プリセット ボタン(**P1** ~ **P12**)が表示される

※ **エリア** ボタン(**1** ~ **12**)には、視聴エリアの変更やスキャンによって自動でメモリーされた放送局が割り当てられています。

プリセット ボタン(**P1** ~ **P12**)は、お客様ご自身がお好きな放送局をメモリーします。

メモリーしたボタンは物理チャンネル*の表示に変わります。たとえば **P1** に36チャンネルをプリセットすると **P1** は**36ch**表示になります。

*：物理チャンネル [P.222ページ]

※操作ボタン1を**エリア** ボタン(**1** ~ **12**)表示に戻したい場合は、手順 **3** のとき**エリア呼出** ボタンをタッチしてください。

●画面をタッチしたときに**プリセット** ボタン(**P1** ~ **P12**)が表示された場合は、左記手順 **2**、**3** を省略することができます。

Digital TVを使う(10)

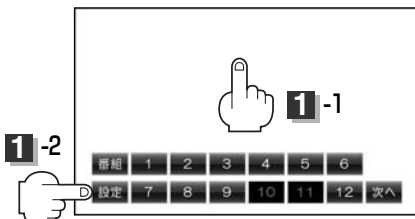
番組表を見る

番組表(電子番組ガイド=EPG)を表示させ、1週間先までの情報を見ることができます。

- 1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の**設定**ボタンをタッチする。

: デジタルメニュー画面が表示されます。

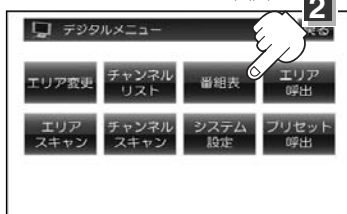
操作ボタン1表示画面(例)



- 2 画面の**番組表**ボタンをタッチする。

: 番組表が表示されます。

デジタルメニュー画面



番組表(例)

日付曜日
チャンネル番号
放送局名表示
時間帯表示

カーソルキー(▲/▼/◀/▶)を使って番組表をスクロールさせることができます。

選択中の番組のチャンネルや放送局名などを表示

番組表表示

当日以降の番組を表示している場合、**前日**ボタンタッチで前日の番組表を表示します。**翌日**ボタンをタッチすると、翌日の番組表を表示します。(7日目まで)

※12セグの場合

さらに番組の詳細情報を見ることができます。

■ 番組の詳細情報を見る場合

- ①カーソルキー(▲/▼/◀/▶)で見たい番組を選択し、**説明**ボタンをタッチする。

: 番組内容画面が表示されます。

番組表(例)



番組内容画面(例)



番組詳細画面の内容

- 番組名……番組のなまえ
- 番組記述……出演者など
- 契約情報……無料/有料などの情報
- コピー情報……番組の録画・録音に関する情報
- ジャンル……番組のジャンル
- 信号……525i、ステレオなどの情報
- その他……中止や延長、シリーズ番組の情報など

つづきがある場合、▲／▼ボタンタッチでスクロールさせることができます。

さらに詳しい情報がある場合は「詳細内容」を選択し、内容を確認することができます。

3

番組表を見たら…

画面の「戻る」ボタンをタッチする。

：受信画面に戻ります。



アドバイス

- 番組表を表示しているときにカーソルキー(▲／▼／◀／▶)を使って見たい番組を選択し、「決定」ボタンをタッチすると選択した受信画面を表示させることができます。
※表示できる番組は現在の時間帯で放送中のものに限り、現在放送していない時間帯の番組を選択決定した場合でも受信される番組は現在の時間帯で放送中のものとなります。
- データ取得のため、番組表の内容を表示するまでに時間がかかる場合があります。またデータ取得中は背景の映像が消える場合があります。
- 放送時間が未定の番組があるチャンネルなどは正しく表示できない場合があります。
- 番組表は操作ボタン1の「番組」ボタンからも表示させることができます。[P.198ページ]
- 1セグの場合、表示できる時間帯が12セグより短くなります。
- 番組の詳細情報が表示されるまでには、多少の時間がかかることがあります。その間、画面には「データ取得中」と表示されます。番組の詳細情報が送られていない場合は「データがありません。」と表示されます。
- 525i(信号)につきましては用語説明[P.343ページ]をご覧ください。

映像
デジタル

「番組表を見る」

Digital TVを使う(11)

映像を切り替える

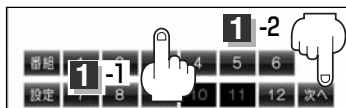
数種類の映像が同時に放送されている番組では、本機で映像を切り替えることができます。

操作ボタン1表示画面(例)

1

画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の「次へ」ボタンをタッチする。

：操作ボタン2が表示されます。



2

映像の切り替えは放送内容によって異なります。

■ 数種類の映像がある場合

① **映像** ボタンをタッチする。

：映像の種類が表示されます。

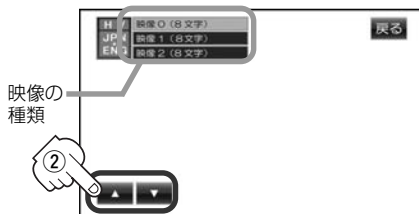
操作ボタン2




②表示が出ている間にカーソルキー

(▲/▼)をタッチして希望の映像を選ぶ。

：映像が切り替わります。



アドハイス

12セグの場合、数種類の映像が放送されているときはバナー表示の  が明るく表示されます。

■ マルチビューテレビ放送の場合

マルチビューテレビ放送は、主番組、副番組の複数映像をひとつの番組内で同時放送するサービスです。

① **映像** ボタンをタッチする。

：映像の種類が表示されます。

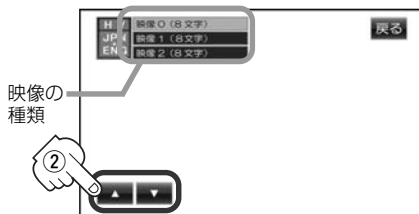
操作ボタン2



②表示が出ている間にカーソルキー

(▲/▼)をタッチして希望の映像を選ぶ。

：映像が切り替わります。



アドハイス

- マルチビューテレビ放送を受信したときは画面に「マルチビューテレビ放送です。「映像切替」キーで選択できます。」とメッセージが表示されます。
- 本機ではマルチビューテレビ放送のそれぞれの画面を同時に表示させることはできません。

音声を切り替える

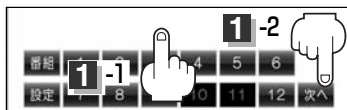
数種類の音声と同時に放送されている番組では、本機で音声を切り替えることができます。

1

画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の「次へ」ボタンをタッチする。

：操作ボタン2が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)



2

音声の切り替えは放送内容によって異なります。

■ 二重音声の場合

①「音声」ボタンをタッチする。

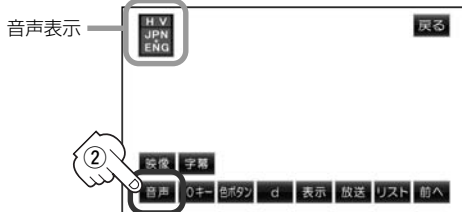
：音声が表示されます。

操作ボタン2



②表示が出ている間に「音声」ボタンをタッチする。

：タッチすることにより「JPN」、「ENG」、「JPN+ENG」など切り替わります。



■ 数種類の音声がある場合

①「音声」ボタンをタッチする。

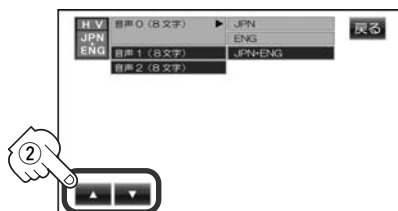
：音声の種類が表示されます。

操作ボタン2



②表示が出ている間にカーソルキー（▲/▼）をタッチして希望の音声を選ぶ。

：音声切り替わります。



● 音声の種類について

ステレオ ……………2チャンネル(左右)のステレオ放送です。

モノラル ……………左右が同じ音の、ステレオではない音です。


デュアルモノラル ……複数のモノラル音声を同時に放送し、選んで受信します。多言語放送などが考えられます。

映像切替

映像マルチ

音声切替



12セグの場合、数種類の音声が発送されているときはパナー表示の  が明るく表示されます。

Digital TVを使う(12)

字幕表示を切り替える

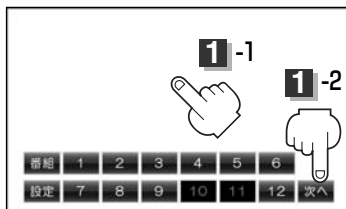
映画やドラマなど字幕のついた番組を受信したときは、字幕を画面に表示するように設定しておくことができます。

1

画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の **次へ** ボタンをタッチする。

：操作ボタン2が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)



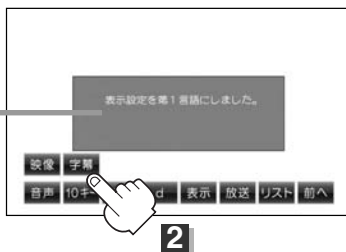
2

画面の **字幕** ボタンをタッチする。

：タッチするごとに

- 表示設定を第1言語にしました。
- ↓
- 表示設定を第2言語にしました。
(第2言語がない場合、第1言語)
- ↓
- 表示設定をオフにしました。

表示(例)



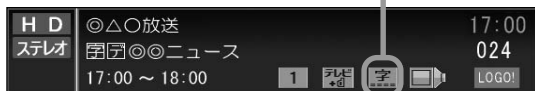
と切り替わります。

※表示が消えた場合はもう一度 **字幕** ボタンをタッチしなおしてください。



アドバイス

- 字幕の内容は番組によって異なります。
- 字幕の大きさや位置は番組によって異なります。本機で変えることはできません。
- バーナー表示を表示させたとき、12セグの場合字幕サービスがあると明るく表示されます。



バナー表示の設定

選局時に表示されるバナー表示の設定をすることができます。

- 1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の **次へ** ボタンをタッチする。

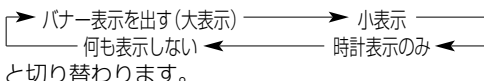
：操作ボタン2が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)

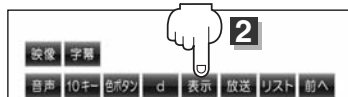


- 2 画面の **表示** ボタンをタッチする。

：タッチすることによって



操作ボタン2表示画面



- バナー表示のときは…

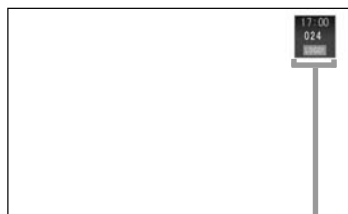
：チャンネル名や番組名など、番組の情報を表示します。

(例)
バナー表示



- 小表示のときは…

：小さい情報の表示となります。(時刻、チャンネル番号、放送局のロゴマークを表示します。)



- 時計表示のときは…

：時刻のみ表示します。



- 何も表示しないときは…

：選局時、バナー表示(大表示)を約7秒間表示します。

- 3 操作ボタンの表示を止めるには…画面をタッチする。



小表示(バナー表示/時計表示)は約7秒間表示されます。

※小表示につきましては「**戸**」(バナー表示について) 196、197ページも参照ください。

Digital TVを使う(13)

郵便番号設定

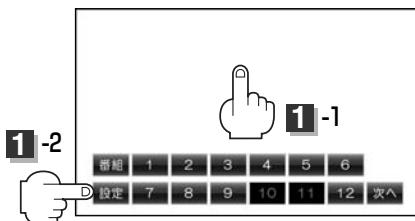
郵便番号を設定することによって、地域特有のサービス情報やドライブ先の情報を知りたいときに便利です。

「**データ放送を利用する**」240～242ページ

1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の**設定** ボタンをタッチする。

：デジタルメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)



2 画面の**システム設定** ボタンをタッチする。

：システム設定画面が表示されます。

デジタルメニュー画面



3 画面の**郵便番号設定** ボタンをタッチする。

：郵便番号設定画面が表示されます。

システム設定画面



4 画面の10キー(0～9)をタッチして郵便番号を入力し、**決定** ボタンを2回タッチする。

：システム設定画面に戻ります。

※天気予報などデータ放送の内容によっては、前3ケタの入力のみで利用できる場合もあります。

郵便番号設定画面(例)



5 画面の**戻る** ボタンをタッチすると受信画面に戻ります。

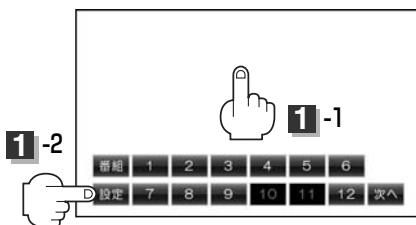
チャンネル表示設定

バナー表示に表示されるチャンネル番号の表示を変えることができます。

- 1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の **設定** ボタンをタッチする。

：デジタルメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)



- 2 画面の **システム設定** ボタンをタッチする。

：システム設定画面が表示されます。

デジタルメニュー画面



- 3 画面の **表示設定** ボタンをタッチする。

：表示設定画面が表示されます。

システム設定画面



〔郵便番号設定〕

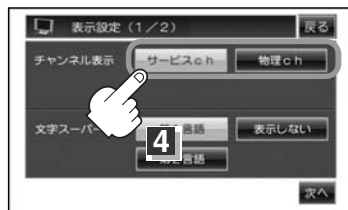
映像デジタル

〔チャンネル表示設定〕

Digital TVを使う(14)

4 チャンネル表示の設定をします。

操作ボタン1表示画面(例)



■ サービスチャンネルを表示させる場合

① サービスch ボタンをタッチする。

バナー表示(例)



: 3ケタの数字でチャンネル番号が表示されます。

※初期状態はサービスチャンネルの表示で設定されています。

■ 物理チャンネルの番号を表示させる場合

① 物理ch ボタンをタッチする。

バナー表示(例)



: 2ケタの数字(13~62ch)でチャンネル番号が表示されます。

5 設定を終わるには…

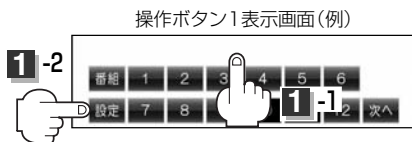
画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。

文字スーパーを切り替える

視聴者にお知らせしたい情報(臨時ニュースなど)を受信したとき、番組放送中の画面に表示するかどうかの設定をすることができます。

1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の **設定** ボタンをタッチする。

：デジタルメニュー画面が表示されます。



操作ボタン1表示画面(例)

2 画面の **システム設定** ボタンをタッチする。

：システム設定画面が表示されます。



デジタルメニュー画面

3 画面の **表示設定** ボタンをタッチする。

：表示設定画面が表示されます。



システム設定画面

4 表示方法(**第1言語**、**第2言語**、**表示しない**)を選択します。



表示設定 (1/2)

■ 文字スーパーを表示させる場合

画面の **第1言語** ボタンまたは **第2言語** ボタンをタッチする。

：選択した言語で文字スーパーが表示されます。

■ 文字スーパーを表示させない場合

画面の **表示しない** ボタンをタッチする。：文字スーパーは表示されません。

5 設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。

〔チャンネル表示設定〕

映像
デジタル

〔文字スーパー切替〕



アドバイス

- 工場出荷時は **第1言語** に設定されています。
- 番組によっては文字スーパー表示設定が動かないものもあります。
- 文字スーパーは12セグのみのサービスです。
- 文字スーパーは字幕サービスとは別のサービスです。[] 「**字幕表示を切り替える**」 218ページ

Digital TVを使う(15)

現在地確認設定

お車の走行地域が変わって(県域をまたいで走行したときなどに)受信できなくなった場合、視聴エリアの変更をうながすメッセージが表示されます。

そのメッセージを表示させるかどうかの設定をすることができます。

※札幌/函館/旭川/帯広/釧路/北見/室蘭は走行地域をまたいでもメッセージは表示されません。
受信できなくなった場合は県域を選択しなおしてください。

☞ 「**視聴エリアの変更(地方/県域の設定)をする**」 203、204ページ

- 1 画面をタッチし**操作ボタン1**を表示させ、画面の**設定** ボタンをタッチする。

：デジタルメニュー画面が表示されます。

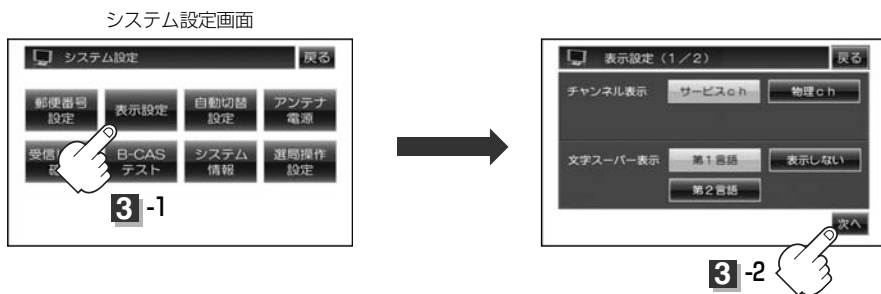


- 2 画面の**システム設定** ボタンをタッチする。

：システム設定画面が表示されます。



- 3 画面の**表示設定** ボタンをタッチし、**次へ** ボタンをタッチする。



：表示設定画面(2/2)が表示されます。

4 メッセージを表示するかどうかの設定をします。

表示設定画面(2/2)



■ メッセージを表示させる場合

- ① **表示・確認する** または **表示のみする** または **自動変更** ボタンをタッチする。

：走行地域が変わると視聴エリアの変更をうながすメッセージが表示されます。

※ **表示・確認する** を選択している場合は引き続き視聴エリアの変更を行なって地方／県域を設定しなおしてください。

☞ 203、204ページ

※ **自動変更** を選択している場合は、走行地域が変わると自動で視聴エリアの変更を行ないます。



■ メッセージを表示させない場合

- ① **表示しない** ボタンをタッチする。

：走行地域が変わってもメッセージは表示されません。



5 設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。



工場出荷時は **表示のみする** に設定されています。

アドバンス

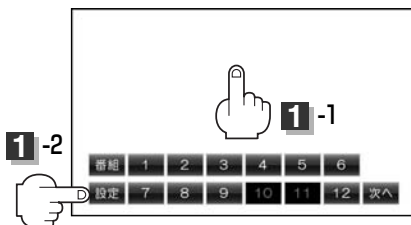
Digital TVを使う(16)

自動切替(ワンセグ・12セグ・切替なし)の設定をする

お車の受信状況によって優先的に受信するモードを自動でワンセグ・12セグと切り替えることができます。

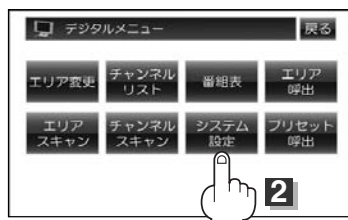
- 1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の **設定** ボタンをタッチする。
: デジタルメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)



- 2 画面の **システム設定** ボタンをタッチする。
: システム設定画面が表示されます。

デジタルメニュー画面

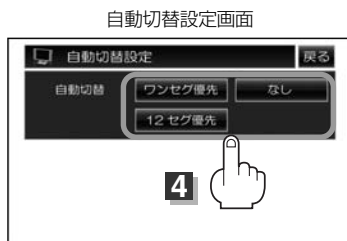


- 3 画面の **自動切替設定** ボタンをタッチする。
: 自動切替設定画面が表示されます。

システム設定画面



4 自動切替の設定をします。



■ ワンセグを優先的に受信する設定にする場合

ワンセグ優先 ボタンをタッチする。

：受信状態が悪くなった場合、早々にワンセグに切り替えます。

※放送局によってワンセグ放送をしていない場合があります。その場合はワンセグ受信モードには切り替わりません。

■ 12セグを優先的に受信する設定にする場合

12セグ優先 ボタンをタッチする。

：受信状態が悪くなくても、できるだけ12セグを優先して受信します。

■ ワンセグと12セグの切り替えを行なわない場合

なし ボタンをタッチする。

：ワンセグと12セグの自動切替を行ないません。

選択しているセグメント(12セグまたはワンセグ)のままとなります。



アドバース

- セグメントは操作ボタン2の **放送** ボタンをタッチして切り替えます。(P 199ページ)
※ワンセグ固定受信、12セグ固定受信と、状況によってワンセグと12セグを切り替える自動切替の中から選択できます。(自動切替は上記設定で **なし** ボタンを選択している場合は表示されません。)
- 障害物などの影響により放送エリア内でも(ワンセグ/12セグともに)受信できない場合があります。
- ワンセグと12セグでは、放送内容が異なる場合があります。
- デジタルメニューから設定するここでの設定は、受信モードを設定するのみで現在の受信モードを変更するわけではありません。現在の受信モードを変更したい場合は操作ボタン2(P 199ページ)の **放送** ボタンをタッチして行ってください。
- 工場出荷時は **ワンセグ優先** に設定されています。

5 設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。

Digital TVを使う(17)

アンテナ電源の設定をする

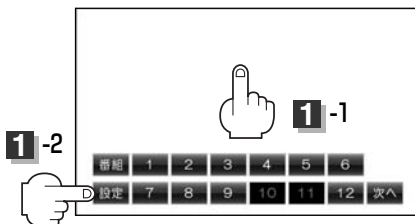
アンテナの電源設定を変更することができますが通常は**電源入**に設定してください。

電源切に設定すると正常に受信できません。

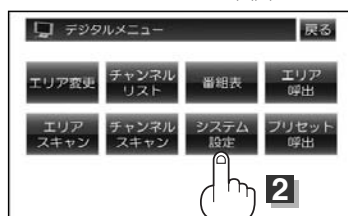
- 1 画面をタッチし**操作ボタン1**を表示させ、画面の**設定**ボタンをタッチする。

: デジタルメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)



デジタルメニュー画面



- 2 画面の**システム設定**ボタンをタッチする。

: システム設定画面が表示されます。

システム設定画面



- 3 画面の**アンテナ電源**ボタンをタッチする。

: アンテナ電源設定画面が表示されます。

アンテナ電源設定画面



- 4 画面の**電源入**ボタンをタッチする。



アドバイス

アンテナ端子やアンテナコードをショートさせた場合やアンテナの故障等で過電流を検出すると自動的に**電源切**に設定されます。

※ **電源入**に設定できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

5

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。

Digital TVを使う(18)

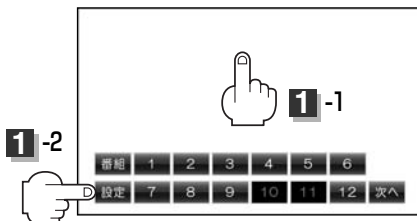
受信可能なチャンネルと受信レベルを確認し、受信する

チャンネルを入力して受信可能な放送局かどうかを確認することができます。また、受信状態を確認することもできます。

- 1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の **設定** ボタンをタッチする。

：デジタルメニュー画面が表示されます。

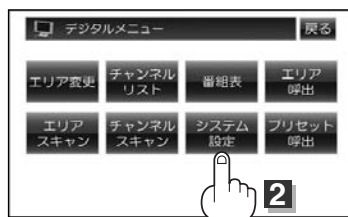
操作ボタン1表示画面(例)



- 2 画面の **システム設定** ボタンをタッチする。

：システム設定画面が表示されます。

デジタルメニュー画面



- 3 画面の **受信レベル確認** ボタンをタッチする。

：受信レベル確認画面が表示されます。

システム設定画面



- 4 **ch-** / **ch+** ボタンをタッチする。

：タッチするたびに1チャンネルずつ変わります。13~62chの中から確認したいチャンネルを選択してください。

※チャンネルを変更するとチャンネルにあった周波数が表示されます。

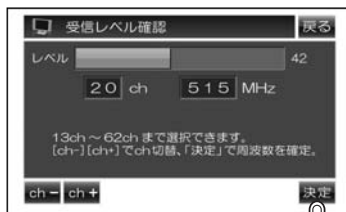
受信レベル確認画面(例)



5

画面の **決定** ボタンをタッチする。

：チャンネル(周波数)を確定し、レベルを確認することができます。また、確定したチャンネル(周波数)の放送局が存在すれば、その放送局を受信することができます。(放送局が存在しない場合は受信できなくなります。)



5

6

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。



アドバンス

受信レベル確認画面のとき本機の受信状態を(バーの長さや数値にて)確認することができます。

受信レベル確認画面(例)



MAXを100とし、100に近い程受信状態は安定しています。

Digital TVを使う(19)

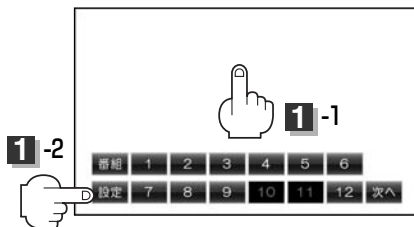
B-CASカード(ICカード)のテストをする

B-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってからB-CASカードテスト(ICカードテスト)を行なってください。

1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の **設定** ボタンをタッチする。

：デジタルメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)



2 画面の **システム設定** ボタンをタッチする。

：システム設定画面が表示されます。

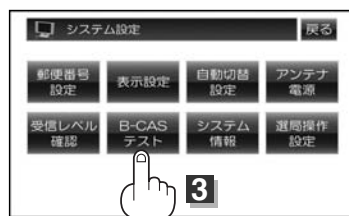
デジタルメニュー画面



3 画面の **B-CASテスト** ボタンをタッチする。

：B-CASカードテスト画面が表示されます。

システム設定画面



4

画面の **テスト実行** ボタンをタッチする。

: テストが実行され、正常に動作する状態であれば“正常です。”と表示されます。



カード情報 ボタンをタッチするとB-CASカードの情報を見ることができます。

グループ番号	カードID	グループID
MO02	0000 0004	0000 2342 2664
000 0	0000 0000	0000 0000
000 0	0000 0000	0000 0000
000 0	0000 0000	0000 0000
000 0	0000 0000	0000 0000
000 0	0000 0000	0000 0000
000 0	0000 0000	0000 0000
000 0	0000 0000	0000 0000
000 0	0000 0000	0000 0000

5

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。

Digital TVを使う(20)

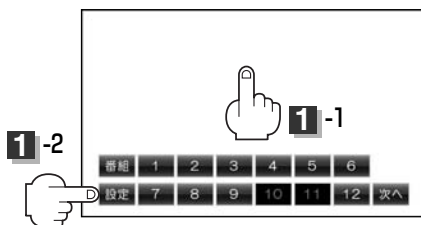
放送局からの情報を見る

放送局からのお知らせメールを見ることができます。

- 1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の**設定**ボタンをタッチする。

：デジタルメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)



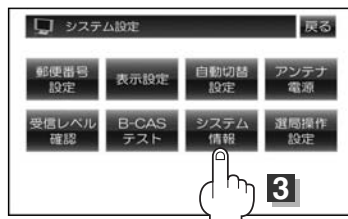
デジタルメニュー画面



- 2 画面の**システム設定**ボタンをタッチする。

：システム設定画面が表示されます。

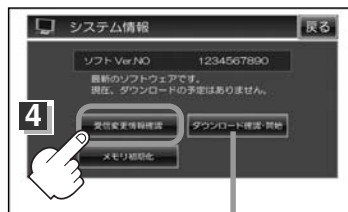
システム設定画面



- 3 画面の**システム情報**ボタンをタッチする。

：システム情報画面が表示されます。

システム情報確認画面(例)



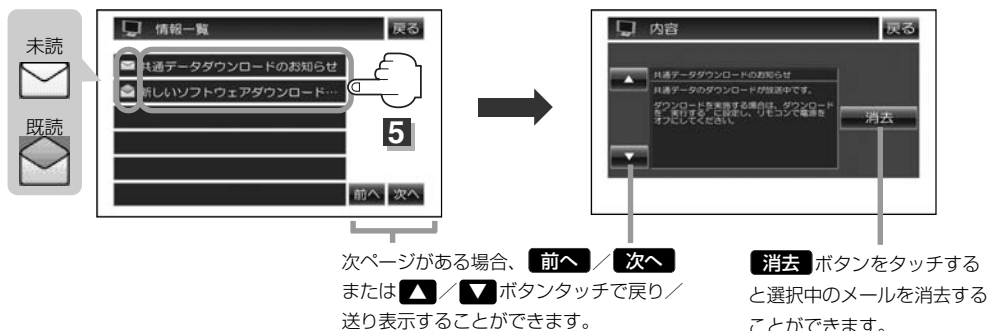
- 4 画面の**受信変更情報確認**ボタンをタッチする。

：情報一覧画面が表示されます。

ダウンロードの内容やスケジュールを確認したり、ダウンロードを実行することができます。[右記

5 画面の確認したいメールをタッチする。

：選択したメールの内容が表示されます。



6 設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。



- 本機で受信できる情報(お知らせメール)は16件までです。
- メールにはトラブルを知らせるものなどがあります。
- B-CASカードが挿入されていないと、メールを受信できない場合があります。

〔放送局情報〕

映像
デジタル
↓

■ ダウンロードを確認・開始させる場合

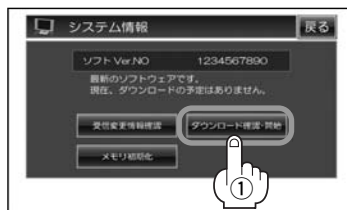
本機内のデータや機能をバージョンアップすることができます。
(プリセット一覧が最新状態になるなど…)

①左記手順 4 のとき画面の

ダウンロード確認・開始 ボタンを
タッチする。

：ダウンロード確認・開始画面が表示されます。

システム情報確認画面(例)



〔ダウンロードを確認・開始する〕

Digital TVを使う(21)

②内容とスケジュールを確認してダウンロードを行ないます。

■ ダウンロードする内容を確認する場合

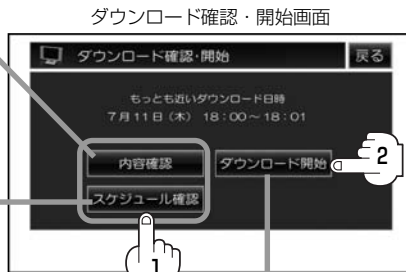
1. **内容確認** ボタンをタッチすると…
：ダウンロードする内容を確認することができます。

■ スケジュールの確認をする場合

1. **スケジュール確認** ボタンをタッチする。
：現在のダウンロードスケジュールが表示されます。



※表示されている時間帯に **ダウンロード開始** ボタンをタッチするとダウンロードを行なうことができます。



2. 内容の確認とスケジュールの確認が終わったら **ダウンロード開始** ボタンをタッチする。
：ダウンロードが開始されます。

③ダウンロードが終わったら…

：ダウンロードが完了したことを知らせるメッセージが表示されるので、車のエンジンスイッチをO(OFF)にし電源を切る。

※再び他の操作をする場合は10秒過ぎてからエンジンスイッチをII(ON)にし電源を入れてください。

⚠ 注意

ダウンロード中は他の操作(モードを切り替えたり車のエンジンスイッチをO(OFF)にしたたりI(ACC)の状態からII(ON)にしてエンジンを始動したり電源を切ったり)をしないでください。他の操作をすると故障の原因となります。また、受信状態が安定している場所でダウンロードを行なってください。

※受信状態は受信レベル確認画面より確認できます。☞P.231ページアドバース参照

設定を初期化する

デジタルメニューで変更した各種設定内容を初期化することができます。

- 1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の**設定**ボタンをタッチする。

：デジタルメニュー画面が表示されます。



- 2 画面の**システム設定**ボタンをタッチする。

：システム設定画面が表示されます。

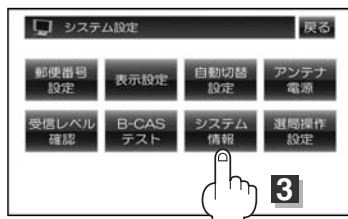
デジタルメニュー画面



- 3 画面の**システム情報**ボタンをタッチする。

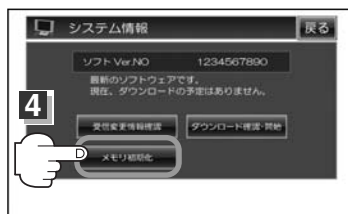
：システム情報画面が表示されます。

システム設定画面



- 4 画面の**メモリ初期化**ボタンをタッチする。

：初期化してもいいかどうかのメッセージが表示されるので**はい**ボタンをタッチすると設定内容を初期化します。



- 5 初期化が終わったら…

車のエンジンスイッチを0(OFF)にし、電源を切る。

※他の操作をする場合は10秒過ぎてからエンジンスイッチをII(ON)にし、電源を入れてください。

「ダウンロードを確認・開始する」

映像
デジタル

「設定を初期化する」



他人に譲渡または処分などされる際は、**メモリ初期化**を行ない、お客様が設定された内容や情報などを必ず消去してください。

注意

- 初期化中は車のエンジンスイッチを0(OFF)にしないでください。故障の原因となります。
- 初期化を行なうと設定やデータは消去されます。

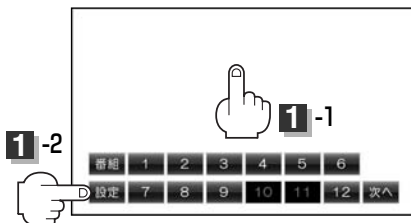
Digital TVを使う(22)

選局操作の設定をする

MFN選局に設定すると**選局**ボタン(◀▶)を押してMFNの手動/自動選局をすることができます。

- 1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の**設定**ボタンをタッチする。
：デジタルメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)



- 2 画面の**システム設定**ボタンをタッチする。
：システム設定画面が表示されます。

デジタルメニュー画面



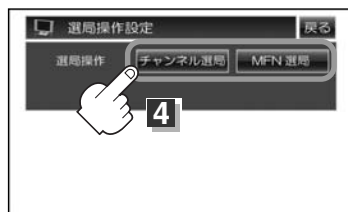
- 3 画面の**選局操作設定**ボタンをタッチする。
：選局操作設定画面が表示されます。

システム設定画面



- 4 選局操作の設定をします。

選局操作設定画面



■ チャンネル選局をする場合

① **チャンネル選局** ボタンをタッチする。

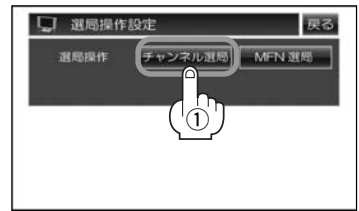
：チャンネル選局に設定されます。

※初期状態はチャンネル選局に設定されています。

※放送局が受信できなくなった場合はMFNサーチの実行をうながすメッセージが表示されます。

 「**MFNサーチを実行する**」 205ページ

システム情報確認画面(例)




■ MFN選局をする場合

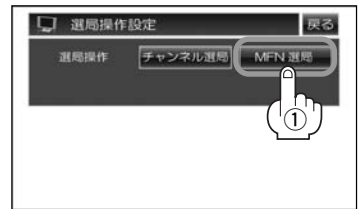
① **MFN選局** ボタンをタッチする。

：MFN選局が設定されます。

※パネルの**選局** ボタン(◀▶)を押してMFNの手動/自動選局をすることができます。

 208ページ

システム情報確認画面(例)



5 設定を終わるには…

画面の**戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。

Digital TVを使う(23)

データ放送を利用する データ放送は12セグのみ対応しています。

地上デジタルテレビ放送では、映像や音声によるテレビ放送のほかに、便利な情報をお知らせするデータ放送があります。

※データ放送を利用するにはあらかじめ郵便番号を設定しておく必要があります。

☞ 「**郵便番号設定**」 220ページ



●データ放送には**番組付加型**と**独立型**があります。

番組付加型データ放送…天気やニュースなど番組に関連しない情報や、出演者など番組に関連する情報などを提供

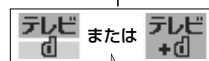
独立型データ放送………データのみを専門に放送

1 208～211ページの手順にしたがって、**番組付加型データ放送**または**独立型データ放送**の放送局を選局する。

2 データ放送を見ます。

※バナー表示に“**テレビ**”または“**テレビ**”と表示されます。

バナー表示



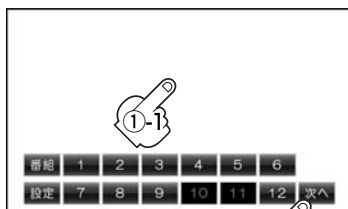
■ **番組付加型データ放送**を見る場合

データ放送の場合表示されますが、番組付加型データ放送の場合はアイコンは表示されません。
※放送局の送信データによってはアイコンが表示されない場合でもデータ放送が放送されている場合があります。

①画面をタッチし**操作ボタン1**を表示させ、**次へ** ボタンをタッチする。

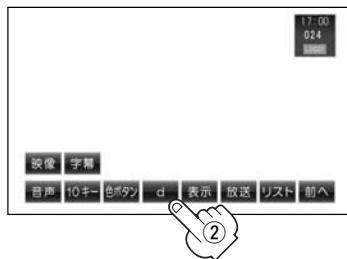
：操作ボタン2が表示されます。

操作ボタン1(例)



②画面の **d** ボタンをタッチする。

操作ボタン2



：データ放送画面が表示されます。

- ③240ページ手順①にしたがって操作し、②のとき画面の**色ボタン**をタッチする。

データ放送画面(例)



- ④画面の色ボタンを使って見たい項目を選択し、**決定** ボタンをタッチする。

データ放送画面(例)



- 番組によりカラーキー(青/赤/緑/黄)を使った画面や、数字入力画面が表示されます。画面の指示にしたがって、カラーキー(青/赤/緑/黄)/10キー(0~9) (199ページ)をタッチして項目を選択してください。「ピッ」と確認音が出ることもあります。
- 色ボタンを使用しなくてもデータ放送画面に表示される各項目を直接タッチして選択できる場合もあります。**前へ** ボタンをタッチすると1つ前の操作ボタンを表示します。
- 操作ボタンを移動させたいときは**移動** ボタンをタッチしてください。(上下に移動します。)
- 受信する放送局によっては、表示するまでに時間がかかる場合があります。その間に**d** ボタンを複数タッチすると、データ放送画面が表示されない場合があります。

- ⑤データ放送を見たら…
画面の**d** ボタンをタッチする。

データ放送画面(例)



：受信画面に戻ります。



- 表示が“**テレビd**”のときは、天気予報など番組とは直接関連しないデータ放送です。
- 表示が“**テレビ+d**”のときは、出演者や選手の情報など番組内容に関連するデータ放送です。
- 放送電波からデータを取得している間は“データ取得中”と表示されます。“dボタンを押してください”と表示される番組もあります。
- 受信時に“dボタンを押してください”と表示される番組では、**d** ボタンをタッチしたときにデータ放送のチャンネルに移り、チャンネル番号が変わる場合があります。
- データ放送画面の項目を選んだときに別のチャンネルに移り、チャンネル番号が変わる場合があります。
- d** ボタンをタッチしなくても自動でデータ放送画面が表示される場合もあります。
- 画面の操作ボタンの表示が消えた場合は、再度画面をタッチし**次へ** をタッチし操作ボタン2を使用して色ボタンの表示や**d** ボタンタッチでデータ放送の終了をしてください。

映像
デジタル

データ放送を利用

Digital TVを使う(24)

■ 独立型データ放送を見る場合

独立型データ放送では受信後のバナー表示に“データ”と表示されます。

データ放送画面(例)



①240ページ手順①にしたがって操作し、②のとき画面の**色ボタン**をタッチする。

操作ボタン2



②画面の色ボタンを使って見たい項目を選択し、**決定** ボタンをタッチする。



色ボタン



アドバイス

- 選局した後、データが取得されると画面が表示されます。
- 音声が出る番組や動画が表示される番組があります。
- 独立型データ放送の画面は、番組付加型データ放送と同じようにカラーキー（青／赤／緑／黄）を使った画面（手順は上記参照）、数字入力画面が表示されます。画面の指示にしたがって、カラーキー（青／赤／緑／黄）や10キー（0～9（[P] 199ページ））をタッチして項目を選択してください。
- データ放送の操作は番組によって異なります。操作のしかたは画面の指示にしたがってください。操作方法がわからない場合は、それぞれの放送局へお問い合わせください。

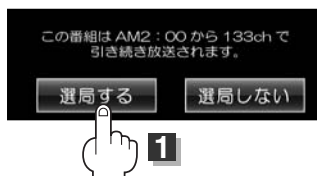
リレーサービスの番組を見る

リレーサービスとは、番組の内容が予定の終了時間になっても終わらない場合に別のチャンネルで番組の続きを放送するサービスです。

※リレーサービスがある場合に、画面にメッセージが表示されます。

1 画面の **選局する** ボタンをタッチする。

：チャンネルを選局し、受信画面が表示されます。



アドバイス

番組の続きを見ない場合は、**選局しない** ボタンをタッチしてください。

臨時サービスの番組を見る

放送中の番組に関連した臨時放送を別のチャンネルで放送する場合があります。

■臨時放送が始まると…

臨時放送が始まると、画面に“〇〇〇chで臨時サービスが放送されています。”と表示されます。

〇〇〇ch で臨時サービスが
放送されています。

パネルの **選局** ボタン(◀▶)を押して選局してください。

■臨時放送が終了すると・・・

臨時放送が終了すると、画面に“臨時サービスが終了しましたので前のチャンネルを選局しました。”と表示され、臨時放送に変える前のチャンネルに自動で戻ります。



アドバイス

臨時サービスは12セグのみのサービスです。

Digital TVを使う(25)

緊急放送を見る

災害など、緊急な出来事が発生した場合に視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。

■「現在地設定」をしてください。

緊急放送は地域別に異なることがありますので、本機の購入・設置時に現在地設定(地方／県域の設定)をしておいてください。設定しておかないと正しい緊急放送が受信できません。

 「[視聴エリアの変更\(地方／県域の設定\)をする](#)」203、204ページ

■受信中に緊急放送が始まると…

緊急放送が始まると、画面に“緊急放送が始まりました。”と表示され、自動で緊急放送に切り換わります。

緊急放送が始まりました。

■緊急放送が終了すると…

緊急放送が終了すると、画面に“緊急放送が終了しましたので前のチャンネルを選局します。”と表示され、緊急放送前のチャンネルに自動で戻ります。



アドバイス

緊急放送は、地上デジタルテレビ放送を受信中のときのみ見ることができます。Digital TVモード以外のモードを選択しているときや、車のエンジンスイッチを0(OFF)にしているときは緊急放送は受信できません。

エラーコードについて

画面にメッセージとエラーコード〔Exxx〕が表示された場合は以下の原因が考えられます。

メッセージ	エラーコード	本機の動作および処置
アンテナ接続が異常のためコンバータを切にしました。接続をもう一度確認してください。	〔E209〕	アンテナ線がショートしたとき。
信号が受信できません。	〔E202〕	アンテナ線が外れているとき。 受信状態が悪く、番組を提示できないとき。
現在放送されていません。	〔E203〕	放送休止中のとき。 (PAT/PMTが取得できず)
放送チャンネルではないため、視聴できません。	〔E200〕	非放送サービスを受信 (NIT) したとき。
データが受信できません。	〔E400〕	データ放送のBMLドキュメントが取得できないとき。
この受信機ではデータを表示できません。	〔E401〕	データ放送のBMLエンジンが、取得したBMLドキュメントのバージョンをサポートしていないとき。
データの表示に失敗しました。	〔E402〕	データ放送のコンテンツを表示中に、実行エラーがおこったとき。
このチャンネルは存在しません。	〔E204〕	10キー選局において、存在しないチャンネル番号を入力したとき。 ※受信チャンネルは現在のチャンネルのままとなります。
この受信機では、このチャンネルは受信できません。	〔E210〕	10キー選局において、未対応チャンネルのチャンネル番号を入力したとき。 ※受信チャンネルは現在のチャンネルのままとなります。

「緊急放送」

映像
デジタルTV

「エラーコードについて」



VTR

映像

V
T
R

VTR機能を使う

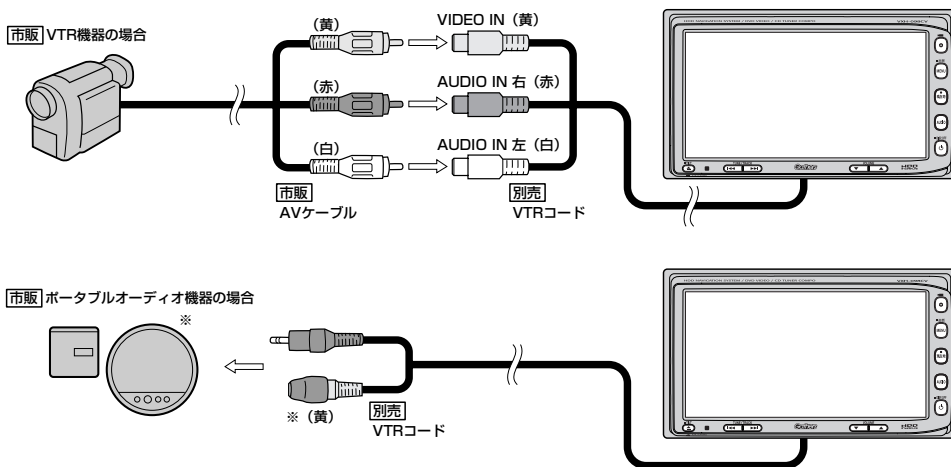
市販のVTR機器やポータブルオーディオ機器などの外部入力装置を利用した映像や音声を本機に出力することができます。出力するには、別売のVTRコードをお買い求めください。



VTR機器などの映像は安全上の配慮から、停車中のみご覧になることができます。(走行中は音声のみになります。)

1

市販の音声ケーブルやAVケーブルと別売のVTRコードなどを使用して本機に市販のポータブルオーディオ機器やVTR機器を接続する。



※DVDプレーヤー等の場合に使用します。

2

使用する機器の電源を入れる。

※他のモードになった場合は

1. パネルの **AUDIO** ボタンを押してAUDIOソース画面を表示させ、
2. 画面の **VTR** ボタンをタッチして、VTRモードに切り替えてください。

AUDIOソース画面(例)



1 **AUDIO** ボタン

3

VTR機器やポータブルオーディオ機器を操作する。

※操作のしかたはそれぞれの機器に付属の説明書をご覧ください。



注意 本機の電源をOFF(エンジンスイッチをO(OFF)に)する場合は、接続される機器の電源も一緒にOFFしてください。

■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

- 🔊 「音量を調整する」 26ページ
- 🖥️ 「映像の調整のしかた」 27～29ページ
- 🔊 「オーディオの調整をする」 32～43ページ



アドハイス

VTRから入力された音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

- 🔊 「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」 24ページ



アドハイス

- VTR端子から入力された映像や音声はVTRモードにすることにより見たり、聞くことができます。
- **ボタン消** ボタンをタッチするとボタンと情報バー表示を消します。
- **Quick** ボタンをタッチするとQuickメニュー画面が表示され、モードまたは機能選択をすることができます。(🔊 314ページ)
- 接続した機器によっては映像や音声がでない場合があります。
- 接続した機器に音量調整機能がある場合は、本機の音声とバランスをとるようにしてください。(調整してください。)
- 下記レベルを超えた機器を接続した場合、映像や音にひずみなどが生じ、正常に動作しない場合があります。

AV入力端子 (RCA×1系統)

映像入力レベル 1Vpp (入カインピーダンス75Ω)

音声最大入力レベル 2.0V (入カインピーダンス47KΩ)

映像

V
T
R

(VTR機能を使う)





SD(SDカード)

SDカードの音楽再生について	252~254
SDカードを使う	255~267
各部の名称とはたらき	255
表示部(再生画面)について	256
SDカードを聞く	257、258
SDモードを終了する	258
SDカードを取り出す	258
好きなフォルダを選ぶ	259
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する (トラックを戻す/進める)	260
早戻し/早送りをする	260
トラックリストより好きなトラックを 選び再生させる	261
選曲メニューより選択し再生させる	262、263
再生モードを選択する (リピート/ランダム/スキャン再生)	264~267

SDカードの音楽再生について(1)

パソコンからSDカードにMP3/WMA/AAC形式で編集された音楽データを本機で再生することができます。

■SDロゴは商標です。 

■SDHCロゴは商標です。 

■本機はclass2、class4、class6のSDHCカードに対応しています。

■MP3/WMA/AACは音声圧縮フォーマットです。

■AACとはAdvanced Audio Codingの略でMPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3/WMAなどより高い圧縮率で音楽ファイルを作成・保存することができます。非圧縮のCDオーディオに迫る高音質を得ることができます。

※MP3/WMAの説明につきましては130ページを参照ください。

■SDカードについて

- SDカードに記録されている音楽データを本機で編集することはできません。
- SDカードの初期化は本機で行なってください。
☞「システムの設定について」316、317ページ
- SDモードで音楽再生中にSDカードを抜かないでください。
※SDモードを終了(OFF状態に)させてから抜いてください。
- miniSDカード/microSDカードを使用する場合は必ずminiSDカードアダプター/microSDカードアダプターを使用してください。
- microSDカードをminiSDカードアダプターに装着し、更にSDカードアダプターに装着して使用しないでください。
- 本機で再生する音楽データは必ずバックアップをしてください。使用状況によってはSDカードの保存内容が失われる恐れがあります。消失したデータについては補償できませんのであらかじめご了承ください。
- 長時間使用しないときは本機から取り出してください。
- ゴミやほこり、そりなどをさけるため、必ずケースに入れて保管してください。
- 端子部には手や金属などで触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存はしないでください。
 - ・使用条件範囲以外の場所(炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど)
 - ・湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

■再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

MP3/WMAにつきましては☞134、135ページを参照ください。AACにつきましてはサンプリング周波数16~48kHz、対応ビットレート8~320kbpsとなります。

※32kHz以下のサンプリング周波数のMP3/WMA/AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

※64kbps以下のビットレートで作成されたMP3/WMA/AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

■操作可能な機能と対応可能なSDカードの組み合わせは以下のとおりとなります。

機能 SDカードの 種類		静止画像の閲覧と 本機への保存 【P.70～75ページ】	音楽データの再生 【P.252～267ページ】			Gracenoteデータベース アップデート 【P.54～61ページ】
			MP3	WMA	AAC	
class2	2GB以下	○	○	○	○	
	4GB以上 (SDHC対応)	○	○	○	○	
class4	2GB以下	○	○	○	○	
	4GB以上 (SDHC対応)	○	○	○	○	
class6	2GB以下	○	○	○	○	
	4GB以上 (SDHC対応)	○	○	○	○	

- クラス (class) とは転送速度の最低保証値を規定するものです。
(class2→2MB/sec (16Mbps)、class4→4MB/sec (32Mbps)、class6→6MB/sec (48Mbps))
- SDHCとはSDアンシエーションによって策定された2GBを超えるSDカードの新規格です。
- miniSDカード／microSDカードの場合はアダプターを使用してください。

■MP3/WMA/AACの再生について

- ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- m3u/MP3iフォーマット/MP3 PROフォーマット/ディエンファシスには対応していません。
- 極端にサイズの大きいファイル、極端にサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
- Windows Media Player以外で作成したWMAファイルを再生させた場合、再生、表示等が正常に行われない場合があります。
- WMAはWindows Media Audio Standardフォーマット以外のフォーマットには対応しておりません。
- AACファイルのADIFフォーマットには対応しておりません。
- 複数のオーディオプログラムが入っているAACファイルの再生はできません。
- 同一ファイル内にオーディオ以外の情報 (画像など) が同時に収録されているAACファイルの再生はできません。
- AACの対応プロファイルはLow Complexityのみです。
- AAC (m4a) ファイルに画像データ (iTuneのアートワークを除く)、映像データ、その他音楽データでないものが含まれる場合は再生できません。
- 2チャンネル以上のチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
- 最大フォルダ階層：8階層／1フォルダ内の最大ファイル数255 (ファイル+フォルダ)／最大フォルダ数：50となります。
- 選曲メニュー (【P.262ページ】) のフォルダやトラックリストに表示される順番はメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が予想している順とは異なった順で表示されることがあります。
※正しく表示させるにはファイルの先頭に“01～99”など番号を付け、一度にメディアに書き込むことをおすすめします。
- 著作権保護されたWMA/AACは再生できません。

SDカードの音楽再生について(2)

■ファイル名について

- MP3/WMA/AACと認識し再生するファイルはMP3の拡張子“mp3”/WMAの拡張子“wma”/AACの拡張子“m4a”が付いたものだけです。
※拡張子名は大文字でも小文字でもかまいません。
※異なった拡張子を付けるとファイルを誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。
- 表示可能文字数は全角32文字、半角64文字となります。

■ID3タグについて

MP3ファイルにはIDタグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

- ID3タグバージョン1.xの表示可能文字数は半角31文字です。
- ID3タグバージョン2.xの表示可能文字数は半角64文字です。
- ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。
- 本機は日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けすることがあります。

※本機が対応しているID3タグはトラック名/アーティスト名/アルバム名/ジャンル名です。
(トラック番号をタグに入れていないファイルはトラック番号を表示しません。)

※WMA/AACタグの表示可能文字数は半角64、全角32文字です。

SDカードを使う(1)

各部の名称とはたらき

フォルダ+ ボタン

次のフォルダに進みます。

フォルダー ボタン

前のフォルダに戻ります。

SDモード TOP画面
(詳細表示時(例))

選曲 ボタン

選曲メニューから再生したい曲を絞り込んで
検索することができます。(262ページ)

壁紙切替 ボタン (🖼️)

壁紙を表示させて音楽を聞くことができます。
(315ページ)

再生モード ボタン

リピート/ランダム/スキャン再生の
選択をすることができます。
(264~267ページ)

AUDIO ボタン

AUDIOソース画面を表示します。
※ナビゲーション/CD/DVD/MP3/
WMA/Music Rack/USB/iPod/
VTR/Digital TV/AM/FMモードから
SDモードに切り替えるときに使用します。
(257ページ)

VOLUME ボタン

音量の増減を調整します。
▼ : 音量減 ▲ : 音量増

トラック ボタン (⏮️/⏭️)

好きな曲を選びます。
また、このボタンを押し続けると
早戻し(⏮️)/早送り(⏭️)します。
(260ページ)

TILT ボタン(▲)

パネルをオープンさせて、
SDカードを入れる/取り出すときに
使用します。
(257, 258ページ)

リスト ボタン

トラックリストを表示し、
トラックの選択が可能です。
(261ページ)

電源 ボタン(🔌)

オーディオモードを開始/終了(OFF状態
に)します。
また、2秒以上長押しで画面を消します。

Quick ボタン

カスタマイズ機能を使用する
ことができます。(314ページ)



SDカードを使う(2)

表示部(再生画面)について

再生時間表示

トラック番号*1：トラック名表示*2

音場(臨場感)表示

選択中の音場を表示します。[P. 32~34ページ]
※音場を選択していない場合(OFF選択時)は何も表示されません。
※イコライザ設定中は **EQ** マークが表示されます。
[P. 35~37ページ]

再生状態表示

▶ :通常再生
▶▶ :早送り
◀◀ :早戻し

再生ファイル表示

再生中のファイルを表示します。
MP3 / WMA / AAC

リピート/ランダム/スキャン選択時に表示

表示内容につきましては264~267ページを参照ください。

フォルダ名表示

アーティスト名表示

アルバム名表示

ジャンル名表示

タイトル名

詳細表示時(例)

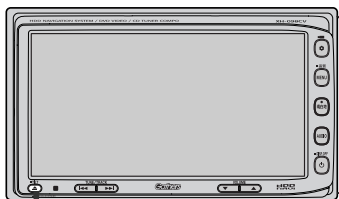
The screenshot shows a playback interface with the following elements:
- Top left: 'SD' indicator.
- Top center: Track number '01' and title 'Pure'.
- Top right: Playback time '00'30'' and buttons for 'REPEAT', 'LIVE', and 'AAC'.
- Left sidebar: '再生状態表示' (Play Status) with play, fast forward, and fast reverse buttons; '詳細' (Details) and 'リスト' (List) buttons.
- Main display: Folder name ':しやぼんだま', Artist name ': KENTO', Album name ':しやぼんだま', and Genre ': Dance'.
- Bottom: '15:07' time, 'SD' indicator, and location '東京都港区北青山'.
- Right sidebar: '再生ファイル表示' (Play File) with '選曲' (Select) and '再生モード' (Play Mode) buttons, and 'リPEAT/ランダム/スキャン選択時に表示' (Display on Repeat/Random/Scan selection) with 'MP3', 'WMA', and 'AAC' options.
- Bottom right: 'フォルダ' (Folder) and 'フォルダ+' (Folder+) buttons, and a 'Quick' button.



アドバイス

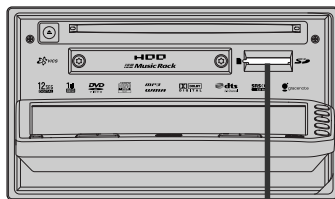
- トラック名/フォルダ名/アーティスト名/アルバム名の表示文字数は全角32(半角64)文字です。
- アルバム名/アーティスト名が記録されていない場合は、“No Title”と表示されます。
 - ※ *1印：トラック番号がない場合は表示されません。
 - ※ *2印：トラック名がない場合はファイル名を表示します。
- 詳細表示のとき、タイトル名が表示しきれない場合タイトル名(フォルダ名/アーティスト名/アルバム名)をタッチしてスクロールさせ、確認することができます。
 - ※ タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。

[ディスプレイが閉じた状態]



1/3 TILT ボタン (▲)

[ディスプレイが開いた状態]



2 SDカード挿入口

SDカードを聞く

■ SDカード未挿入の場合

- 1 パネルの **TILT** ボタン (▲) を押す。
: ディスプレイが開きます。



16、17ページおよび別冊の取扱説明書 ナビゲーション編
40、41ページ

- 2 SDカード挿入口にSDカードを差し込む。

- 3 パネルの **TILT** ボタン (▲) を押す。
: ディスプレイ部が閉じます。

■ 他のモード画面を表示している場合

- 前回SDモード画面でOFF(オーディオモードを終了)していた場合

- ① パネルの **電源** ボタン (⏻) を押す。
: 前回のつづきからSDカードの再生を始めます。

① 電源 ボタン (⏻)

- ナビゲーションまたは前回SDモード以外のオーディオモード画面の場合

- ① パネルの **AUDIO** ボタンを押す。
: AUDIOソース画面またはラストモード*画面が表示されます。

- AUDIOソース画面のときは…

②に進んでください。

- ラストモード*画面のときは…
もう一度 **AUDIO** ボタンを押す。

: AUDIOソース画面が表示されます。

*: 前回最後に選択していたモード画面 (OFF含む)

- ②画面の **SD** ボタンをタッチする。

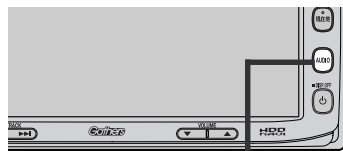
: SDカードの再生を始めます。



〔再生画面〕

SD再生

〔聞く〕



① AUDIO ボタン

AUDIOソース画面



SDカードを使う(3)

■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

- 🔊 「音量を調整する」 26ページ
- 📺 「映像の調整のしかた」 27～29ページ
- 🔊 「オーディオの調整をする」 32～43ページ



アドバンス

SDカードの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

🔊 「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」 24ページ

SDモードを終了する

1

パネルの **電源** ボタン(🔌)を押す。

：画面に“OFF”と表示されSDカードの再生を止めます。
(オーディオモード終了)



1 **電源** ボタン(🔌)



SDカードを取り出す

1

パネルの **TILT** ボタン(▲)を押す。

：ディスプレイが自動で開きます。

2

SDカードを1回押し取り出す。



アドバンス

- SDカードを取り出して、再度再生を始めると前に再生していたつづきから再生を始めます。
※SDカード認識中に取り出した場合は、最初の曲の頭から再生する場合があります。
- 音楽再生中にSDカードを取り出すとデータがこわれたり、SDカードが破損する恐れがあります。必ずSDモードを終了(OFF)にして取り出してください。

好きなフォルダを選ぶ

聞きたいフォルダを選ぶことができます。

1 画面の **フォルダー** / **フォルダ+** ボタンをタッチする。

■ 前のフォルダに戻る場合

フォルダー ボタンをタッチする。

■ 次のフォルダに進む場合

フォルダ+ ボタンをタッチする。



「終了する」 / 「取り出す」

SD再生

「フォルダ選択」

SDカードを使う(4)

操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する(トラックを戻す/進める)

1 パネルの **トラック** ボタン(◀◀/▶▶)を押す。

: 前のトラックに戻る、または次のトラックに進みます。

※聞きたい曲のトラック番号を表示させます。



■ 前のトラックに戻る場合


◀◀側を2回押す。

※1回押した場合は再生中の曲(トラック)の頭に戻ります。

■ 次のトラックに進む場合

▶▶側を押す。

 画面をタッチしてトラックリストより選択することもできます。

アドバイス  「**トラックリストより好きなトラックを選び再生させる**」右記

早戻し/早送りをする

1 パネルの **トラック** ボタン(◀◀/▶▶)を押し続ける。

: 再生中の曲の早戻し/早送りをします。

再生状態表示

▶▶ : 通常再生

▶▶▶ : 早送り

◀◀◀ : 早戻し

■ 早戻しで戻る場合

◀◀側を押し続ける。

■ 早送りで進む場合

▶▶側を押し続ける。



 それぞれのボタンから手を離れたところで再生を始めます。

アドバイス

トラックリストより好きなトラックを選び再生させる

選曲メニュー(☰ 262ページ)で選択したボタン(全曲/フォルダ)のトラックをリストより選択再生させることができます。

1 画面の **リスト** ボタンをタッチする。

: トラックリストが表示されます。

SDモード TOP画面(詳細表示(例))



 SDモードのTOP画面は選択するボタン(**詳細**/**リスト**)によって詳細表示/トラックリスト表示となります。
アドバイス

SDモード TOP画面(例)



詳細表示

リスト ボタンタッチ →

SDモード TOP画面(例)



トラックリスト表示

← **詳細** ボタンタッチ

※すでにトラックリスト表示になっている場合は上記手順 **1** を省略することができます。

2 再生したいトラックをタッチする。

: 選択したトラックが再生されます。

SDモード TOP画面(トラックリスト表示時(例))



↑/↓ ボタンタッチでページ戻し/送り表示

 TOP画面を詳細表示に戻りたい場合は **詳細** ボタンをタッチしてください。(上記アドバイス参照)
アドバイス

〔一曲ずつ選曲〕 / 〔早戻し / 早送り〕

SD再生

〔リストより選択〕

SDカードを使う(5)

選曲メニューより選択し再生させる

聞きたい曲を選曲メニューから絞り込んで検索できるので便利です。

1

画面の**選曲** ボタンをタッチする。

: 画面右側に選曲メニュー画面がポップアップ表示されます。

SDモード TOP画面(詳細表示時(例))



2

選曲メニュー(**全曲** / **フォルダ**)ボタンより選曲する方法を選択します。



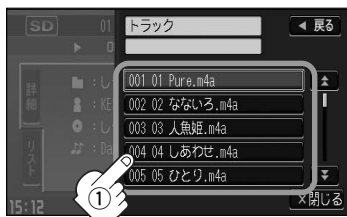
選曲メニュー

■ **全曲** ボタンをタッチした場合

: トラックリストの表示とともに、曲が再生されます。

①再生させたいトラックをタッチする。

トラックリスト画面



: 選択した曲を再生します。

■ **フォルダ** ボタンをタッチした場合

：フォルダリストが表示されます。

①再生させたいフォルダをタッチする。

：選択したフォルダに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。



②再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。



3 設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンまたは **閉じる** ボタンをタッチする。

： **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、 **閉じる** ボタンをタッチするとTOP画面に戻ります。



次ページがある場合 / ボタンタッチでページ戻し/送り表示をします。

SDカードを使う(6)

再生モードを選択する(リピート/ランダム/スキャン再生)

再生モード(リピート/ランダム/スキャン)を選択することができます。

1 画面の「再生モード」ボタンをタッチする。

: 画面右側に再生モード選択画面が表示されま
す。

手順 2 で選択した再生
モードがマーク表示され
ます。



2 再生したいモード(リピート/ランダム/スキャン)を選択します。

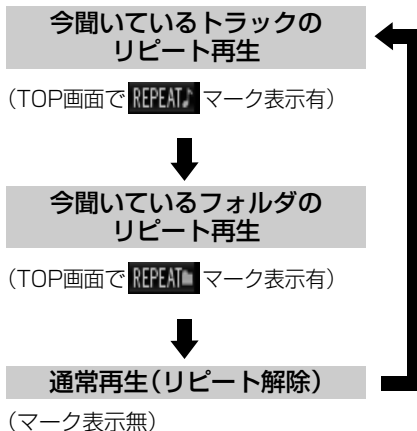
■ リピート(繰り返し)再生する場合

① リピート ボタンをタッチする。



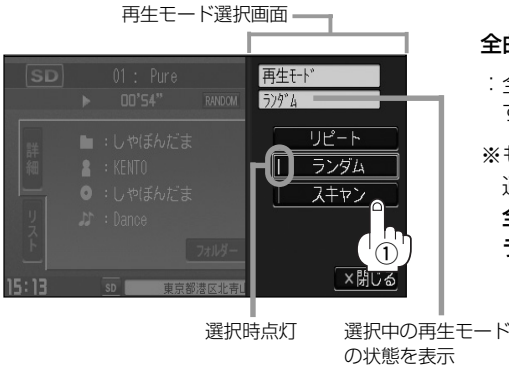
: リピート再生されます。

- **リピート** ボタンをタッチすることにより用途が変わります。



■ ランダム (順序不同) 再生する場合

① **ランダム** ボタンをタッチする。



全曲のランダム再生となります。

：全ての録音曲の中から順序不同で再生します。(TOP画面で**RANDOM**マーク表示有)

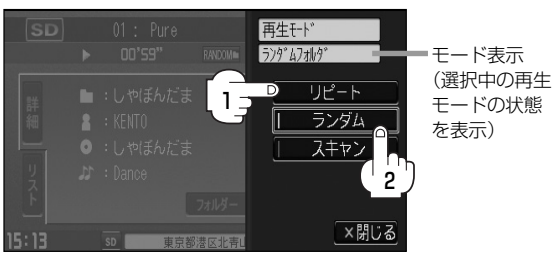
※もう一度 **ランダム** ボタンをタッチすると通常再生に戻ります。(マーク表示無)

全曲のランダム再生以外にもフォルダのランダム再生をすることができます。(下記)

□ フォルダのランダム再生をするときは…

1. **リピート** ボタンをタッチしていき、再生モードをリピートフォルダにする。

※すでにリピートフォルダ再生をしている場合は手順1を省略することができます。



2. **ランダム** ボタンをタッチする。

：リピートの再生モードによって下記のように用途が変わります。

●再生モードが“リピートフォルダ”のとき

今聞いているフォルダの中からランダム再生

(TOP画面でマーク表示は**RANDOM** となります)

※通常再生に戻る場合は **リピート** ボタンをタッチしていき、モード表示をなし(空白)にしてください。(TOP画面でマーク表示無)



ランダム再生は、次に再生する曲を任意に決めるため同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

SDカードを使う(7)

■ スキャン(イントロ)再生する場合

- ① **スキャン** ボタンをタッチする。



全曲のスキャン再生となります。

：曲の頭(イントロ)を約10秒間再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。(TOP画面で **SCAN** マーク表示有)

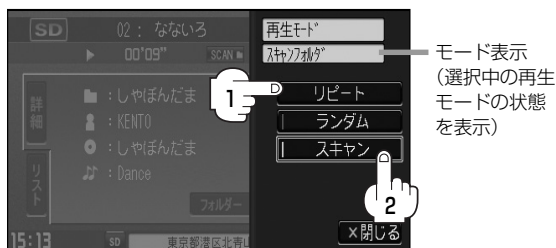
※もう一度 **スキャン** ボタンをタッチすると通常再生に戻ります。

全曲のスキャン再生以外にもフォルダのスキャン再生をすることができます。(下記)

□ フォルダのスキャン再生をするときは…

1. **リピート** ボタンをタッチしていき、再生モードをリピートフォルダにする。

※すでにリピートフォルダ再生をしている場合は手順1を省略することができます。



2. **スキャン** ボタンをタッチする。

：リピートの再生モードによって下記のように用途が変わります。

- 再生モードが“リピートフォルダ”のとき

今聞いているフォルダの中からスキャン再生

(TOP画面でマーク表示は **SCAN** ■ となります)

※通常再生に戻る場合は **リピート** ボタンをタッチしていき、モード表示をなし(空白)にしてください。(TOP画面でマーク表示無)



スキャン解除すると再生中の曲で通常再生を続けます。

3

設定を終わるには…
画面の **閉じる** ボタンをタッチする。

：TOP画面に戻ります。



3



アドバイス

マーク表示を消すまでそれぞれのモード再生を繰り返します。

〔再生モード選択(スキャン)〕

SD再生



USB

USBメモリデバイスの音楽再生について	…270～272
USBメモリデバイスを使う	…273～292
各部の名称とはたらき	…273
表示部(再生画面)について	…274、275
USBメモリデバイスを本機に接続するには	…276
USBメモリデバイスを聞く	…276、277
USBモードを終了する	…277
USBメモリデバイスの接続をやめるには	…277
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する (トラックを戻す/進める)	…278
早戻し/早送りをする	…278
トラックリストより好きなトラックを選び 再生させる	…279
選曲メニューより選択し再生させる	…280～283
USBフラッシュメモリの再生モードを選択する (リピート/ランダム/スキャン再生)	…284～287
ウォークマンの再生モードを選択する (リピート/ランダム/スキャン再生)	…288～291
好きなフォルダを選ぶ (USBフラッシュメモリの場合)	…292
好きなアルバムを選ぶ (ウォークマンの場合)	…292

USBメモリデバイスの音楽再生について(1)

別売のUSB接続コードを接続することにより、パソコンからUSBメモリデバイス(USBフラッシュメモリ)にMP3/WMA/AAC形式で編集された音楽データを本機で再生することができます。

※ソニー社製のATRAC AD対応のウォークマン(OMA形式)にも対応しています。

※USBメモリデバイスを再生させるには別売のUSB接続コードが必要となります。

■MP3/WMA/AAC/ATRAC3/ATRAC3plusは音声圧縮フォーマットです。

■AACとはAdvanced Audio Codingの略でMPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3/WMAなどより高い圧縮率で音楽ファイルを作成・保存することができます。非圧縮のCDオーディオに迫る高音質を得ることができます。

※MP3/WMAの説明につきましては130ページを参照ください。

■USBメモリデバイスについて

- USBハブ、USB延長ケーブルを介した接続には対応していません。
- マストレージクラスのUSBフラッシュメモリ(USBメモリデバイス)および、ATRAC AD対応のウォークマンに対応しています。
- パーティションが複数あるデバイスには対応していません。
- 電流が500mAを超えるデバイスには対応していません。
- パソコンに接続した際、ドライバを要求されるデバイスには対応していません。
- セキュリティ機能など特殊な機能が付いているUSBメモリデバイスには対応していません。
- USBメモリデバイスに記憶されている音楽データを本機で編集することはできません。
- USBメモリデバイスの音楽再生中にUSBメモリデバイスを外さないでください。
※USBモードを終了(OFF状態に)させてから外してください。
- FAT16/FAT32のファイルシステムに対応しています。
- すべてのUSBメモリデバイスの動作保証するものではありません。
- 本機で再生する音楽データは必ずバックアップをしてください。使用状況によってはUSBメモリデバイスの保存内容が失われる恐れがあります。消失したデータについては補償できませんのであらかじめご了承ください。

□ウォークマン(ATRAC AD対応)について

- 本機はソニー社製ATRAC AD対応のウォークマン(Eシリーズ/Aシリーズ/Sシリーズ)を接続し、再生することができます。
※2008年2月現在に発表されているものに限ります。
- ウォークマンの種類によりウォークマンの対応している音楽フォーマットが異なります。ウォークマンに転送できる音楽フォーマットはウォークマンに依存しますのでウォークマンの取扱説明書を参照してください。
- ウォークマンに転送されたATRAC Advanced Lossless/WAV(PCM)形式の曲には対応していません。

“ウォークマン”はソニー株式会社の登録商標、“ATRAC3plus”、“ATRAC Advanced Lossless”は、ソニー株式会社の商標です。

■MP3/WMA/AACの再生について

- ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- m3u/MP3iフォーマット/MP3 PROフォーマット/ディエンファシスには対応していません。
- 極端にサイズの大きいファイル、極端にサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
- Windows Media Player以外で作成したWMAファイルを再生させた場合、再生、表示等が正常に行われない場合があります。
- WMAはWindows Media Audio Standardフォーマット以外のフォーマットには対応していません。
- AACファイルのADIFフォーマットには対応していません。
- 複数のオーディオプログラムが入っているAACファイルの再生はできません。
- 同一ファイル内にオーディオ以外の情報(画像など)が同時に収録されているAACファイルの再生はできません。
- AACの対応プロファイルはLow Complexityのみです。
- AAC(m4a)ファイルに画像データ(iTuneのアートワークを除く)、映像データ、その他音楽データでないものが含まれる場合は再生できません。
- 2チャンネル以上のチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
- 最大フォルダ階層：8階層/フォルダ内の最大ファイル数：255(ファイル+フォルダ)/最大フォルダ数：50となります。
- 選曲メニューのリストに表示される順番はメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が予想されている順とは異なった順で表示されることがあります。
※正しく表示させるにはファイルの先頭に“01～99”など番号を付け、一度にメディアに書き込むことをおすすめします。

■ファイル名について

- MP3/WMA/AAC/OMAと認識し再生するファイルはMP3の拡張子“mp3”/WMAの拡張子“wma”/AACの拡張子“m4a”/OMAの拡張子“oma”が付いたものだけです。
※拡張子名は大文字でも小文字でもかまいません。
- ※異なった拡張子を付けるとファイルを誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。
- 表示可能文字数は全角32文字、半角64文字となります。

USBメモリデバイスの音楽再生について(2)

■ID3タグについて

MP3ファイルにはIDタグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

- ID3タグバージョン1.xの表示可能文字数は半角31文字です。
- ID3タグバージョン2.xの表示可能文字数は半角64文字です。
- ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。
- 本機は日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けすることがあります。

※本機が対応しているID3タグはトラック名/アーティスト名/アルバム名/ジャンル名/トラック番号*です。

*：トラック番号をタグに入れていないファイルはトラック番号を表示しません。

※WMA/AACタグの表示可能文字数は半角64、全角32文字です。

■再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

MP3/WMAにつきましては[P.134、135ページ](#)を参照ください。AACにつきましてはサンプリング周波数16~48kHz、対応ビットレート8~320kbpsとなります。

※32kHz以下のサンプリング周波数のMP3/WMA/AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

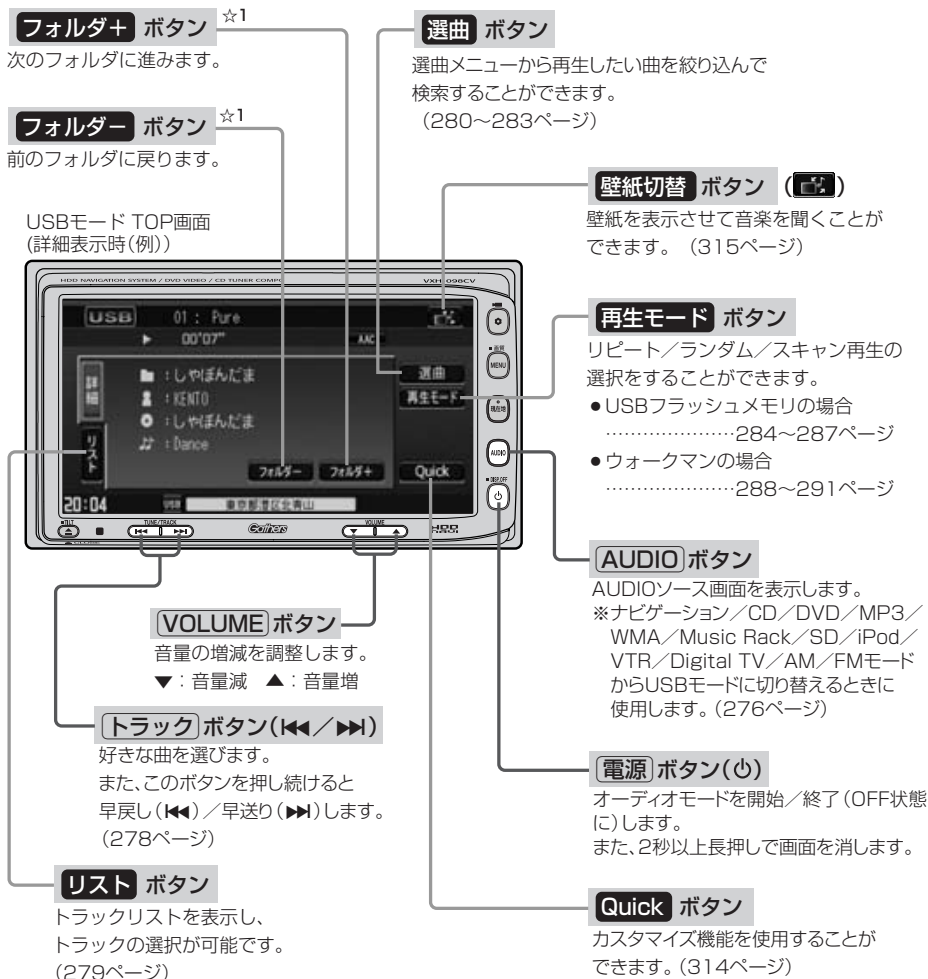
※64kbps以下のビットレートで作成されたMP3/WMA/AAC/ATRAC3/ATRAC3plusを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

USBメモリデバイスを使う(1)

各部の名称とはたらき

主な操作画面は代表としてUSBフラッシュメモリ接続時を記載しています。

※ATRAC AD対応ウォークマン接続時のみの機能の場合は、別途説明しています。



〔USBメモリデバイスの音楽再生について〕
〔各部の名称とはたらき〕

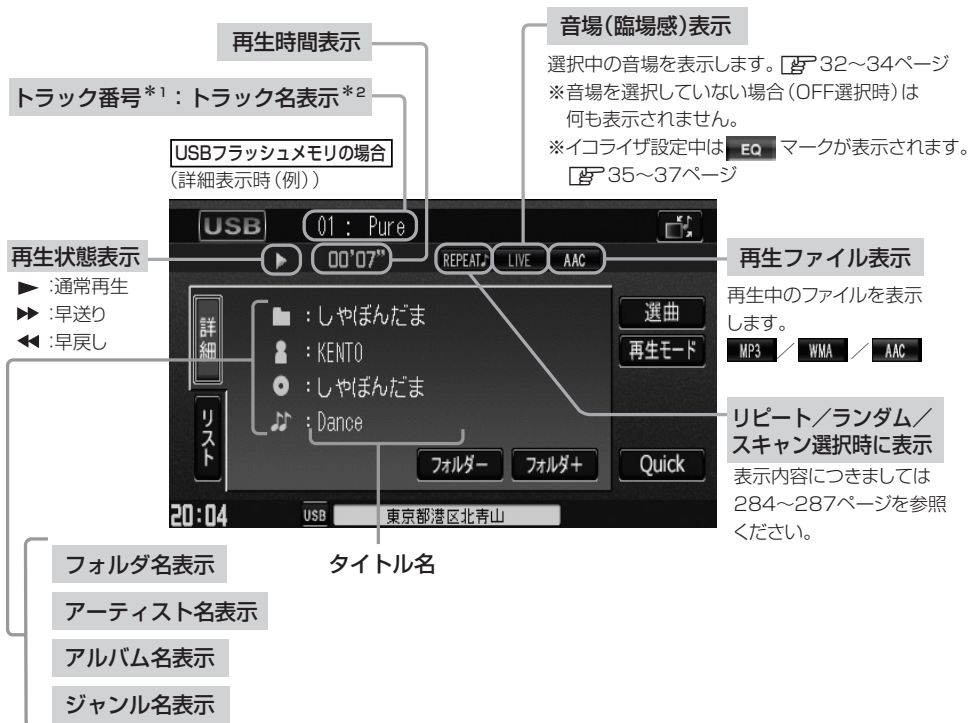
☆1印: ソニー社製ATRAC AD対応のウォークマン(Eシリーズ/Aシリーズ/Sシリーズ)を接続している場合、**フォルダー** / **フォルダ+** (☆1) ボタンが **アルバム-** / **アルバム+** ボタン表示に変わります。[P.275](#)、[P.292](#)ページ参照



アドバイス

USBメモリデバイスを使う(2)

表示部(再生画面)について



ウォークマンの場合

(詳細表示時(例))



再生ファイル表示

ウォークマンの場合に表示

リピート/ランダム/
スキャン選択時に表示表示内容につきましては
288~291ページを参照
ください。

アーティスト名表示

アルバム名表示

ジャンル名表示

タイトル名



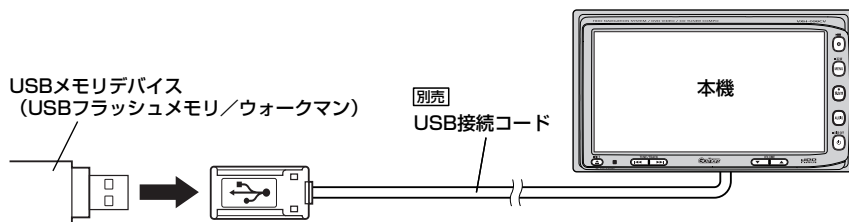
アドバイス

- トラック名/フォルダ名/アーティスト名/アルバム名の表示文字数は全角32(半角64)文字です。
- アルバム名/アーティスト名が記録されていない場合は、“No Title”と表示されます。
 ※* 1印：トラック番号がない場合は表示されません。
 ※* 2印：トラック名がない場合はファイル名を表示します。(USBフラッシュメモリの場合)
- 詳細表示のとき、タイトル名が表示しきれない場合タイトル名(フォルダ名/アーティスト名/アルバム名)をタッチしてスクロールさせ、確認することができます。
 ※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。

USBメモリデバイスを使う(3)

USBメモリデバイスを本機に接続するには

- 1** 本機より出ているUSB接続コードにUSBメモリデバイスを接続する。



USBメモリデバイスを聞く

■ 他のモード画面を表示している場合

- 前回USBモード画面でOFF(オーディオモードを終了)していた場合

- ① パネルの **電源** ボタン(⏻)を押す。
: 前回のつづきからUSBメモリデバイスの再生を始めます。



- ① **電源** ボタン(⏻)

- ナビゲーションまたは前回USBモード以外のオーディオモード画面の場合

- ① パネルの **AUDIO** ボタンを押す。
: AUDIOソース画面またはラストモード*画面が表示されます。

- AUDIOソース画面のときは…

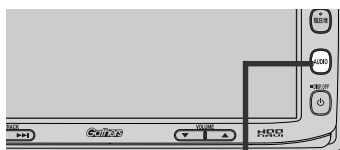
- ②に進んでください。

- ラストモード*画面のときは…
もう一度 **AUDIO** ボタンを押す。

: AUDIOソース画面が表示されます。

* : 前回最後に選択していたモード画面 (OFF含む)

- ② 画面の **USB** ボタンをタッチする。
: USBメモリデバイスの再生を始めます。



- ① **AUDIO** ボタン
AUDIOソース画面



■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

- 🔊 「音量を調整する」 26ページ
- 📺 「映像の調整のしかた」 27～29ページ
- 🔊 「オーディオの調整をする」 32～43ページ



USBメモリデバイスの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

- 🔊 「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」 24ページ

USBモードを終了する

- 1** パネルの **電源** ボタン(🔌)を押す。

：画面に“OFF”と表示されUSB機器の再生を止めます。(オーディオモード終了)



1 電源 ボタン(🔌)



USBメモリデバイスの接続をやめるには

- 1** パネルの **電源** ボタン(🔌)を押す。

：電源をOFF(オーディオモード終了)します。

- 2** USBメモリデバイスを外す。

USBメモリデバイス
(USBフラッシュメモリ/ウォークマン)



- USBメモリデバイスを外して再度再生を始めると、前に再生していたつづきから再生を始めます。
※USBメモリデバイス認識中(再生中)に外した場合は、最初の曲の頭から再生する場合があります。
- 音楽再生中にUSBメモリデバイスを外すとデータがこわれたり、USBメモリデバイスが破損する恐れがあります。必ずUSBモードを終了(OFF)にして外してください。

USBメモリデバイスを使う(4)

操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する(トラックを戻す/進める)

1 パネルの **トラック** ボタン(◀◀/▶▶)を押す。

：前のトラックに戻る、または次のトラックに進みます。

※聞きたい曲のトラック番号を表示させます。



1 **トラック** ボタン

■ 前のトラックに戻る場合


◀◀側を2回押す。

※1回押した場合は再生中の曲(トラック)の頭に戻ります。

■ 次のトラックに進む場合

▶▶側を押す。

 画面をタッチしてトラックリストより選択することもできます。

アドバイス  「**トラックリストより好きなトラックを選び再生させる**」右記

早戻し/早送りをする

1 パネルの **トラック** ボタン(◀◀/▶▶)を押し続ける。

：再生中の曲の早戻し/早送りをします。

再生状態表示


▶▶：通常再生

▶▶▶▶：早送り

◀◀◀◀：早戻し



1 **トラック** ボタン

 それぞれのボタンから手を離したところで再生を始めます。

アドバイス

トラックリストより好きなトラックを選び再生させる

選曲メニュー(☰ 280ページ)で選択したボタン(全曲/フォルダ/アルバム)のトラックをリストより選択再生させることができます。

1 画面の **リスト** ボタンをタッチする。

：トラックリストが表示されます。

USBモード TOP画面(詳細表示(例))



 **アドバイス** USBモードのTOP画面は選択するボタン(**詳細** / **リスト**)によって詳細表示/トラックリスト表示となります。

USBモード TOP画面(例)



詳細表示

リスト ボタンタッチ →

← **詳細** ボタンタッチ

USBモード TOP画面(例)



トラックリスト表示



※すでにトラックリスト表示になっている場合は上記手順 **1** を省略することができます。

2 再生したいトラックをタッチする。

：選択したトラックが再生されます。

USBモード TOP画面(トラックリスト表示時(例))



 /  ボタンタッチでページ戻し/送り表示

 **アドバイス** TOP画面を詳細表示に戻したい場合は **詳細** ボタンをタッチしてください。(上記アドバイス参照)

〔一曲ずつ選曲〕 / 〔早戻し/早送り〕

USB再生
〔リストより選択〕

USBメモリデバイスを使う(5)

選曲メニューより選択し再生させる

聞きたい曲を選曲メニューから絞り込んで検索できるので便利です。

USBモード TOP画面(詳細表示時(例))

1

画面の**選曲** ボタンをタッチする。

: 画面右側に選曲メニュー画面がポップアップ表示されます。



2

選曲メニューより選曲する方法を選択します。

■ USBフラッシュメモリの場合 (MP3/WMA/AAC)

全曲 / **フォルダ** ボタンより選択する。



選曲メニュー

■ ウォークマンの場合 (OMA)

全曲 / **アルバム** / **アーティスト** / **ジャンル** / **グループ** ボタンより選択する。



選曲メニュー

■ **全曲** ボタンをタッチした場合

: トラックリストの表示とともに、曲が再生されます。

①再生させたいトラックをタッチする。

トラックリスト画面



: 選択した曲を再生します。

■ **フォルダ** ボタンをタッチした場合 (USBフラッシュメモリ再生時)

: フォルダリストが表示されます。

①再生させたいフォルダをタッチする。

: 選択したフォルダに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。



②再生させたいトラックをタッチする。

: 選択した曲を再生します。



■ **アルバム** ボタンをタッチした場合 (ウォークマン再生時)

: アルバムリストが表示されます。

①再生させたいアルバムをタッチする。

: 選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。



②再生させたいトラックをタッチする。

: 選択した曲を再生します。



USBメモリデバイスを使う(6)

■ **アーティスト** ボタンをタッチした場合 (ウォークマン再生時)

: アーティストリストが表示されます。

- ①再生させたいアーティストをタッチする。



: 選択したアーティストのアルバムが表示されます。

- ③再生させたいトラックをタッチする。



: 選択した曲を再生します。

- ②再生させたいアルバムをタッチする。



: 選択したアルバムに収録されているトラックリストの表示とともに曲が再生されます。

■ **ジャンル** ボタンをタッチした場合 (ウォークマン再生時)

: ジャンルリストがポップアップ表示されます。

- ①再生させたいジャンルをタッチする。



: 選択したジャンルのトラックリストのポップアップ表示とともに曲が再生されます。

- ②再生させたいトラックをタッチする。



: 選択した曲を再生します。



ウォークマン再生時のジャンル(ジャンルリスト)はお客様が入れたものとなります。

■ グループ ボタンをタッチした場合 (ウォークマン再生時)

: グループリストがポップアップ表示されます。

①再生させたいグループをタッチする。

②再生させたいトラックをタッチする。



: 選択したグループのトラックリストのポップアップ表示とともに曲が再生されます。



: 選択した曲を再生します。

3

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンまたは **閉じる** ボタンをタッチする。

: **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、**閉じる** ボタンをタッチするとTOP画面に戻ります。



次ページがある場合 / ボタンタッチでページ戻し/送り表示をします。

USBメモリデバイスを使う(7)

USBフラッシュメモリの再生モードを選択する(リピート/ランダム/スキャン再生)

※ウォークマンを接続した場合の再生モードの選択につきましては288~291ページを参照ください。

再生モード(リピート/ランダム/スキャン)を選択することができます。

1 画面の再生モード ボタンをタッチする。

：画面右側に再生モード選択画面が表示されます。

手順 2 で選択した再生モードがマーク表示されます。



2 再生したいモード(リピート/ランダム/スキャン)を選択します。

■ リピート(繰り返し)再生する場合

① リピート ボタンをタッチする。

：リピート再生されます。



- **リピート** ボタンをタッチするごとに下記のように用途が変わります。

今聞いているトラックの
リピート再生

(TOP画面で REPEAT マーク表示有)

今聞いているフォルダの
リピート再生

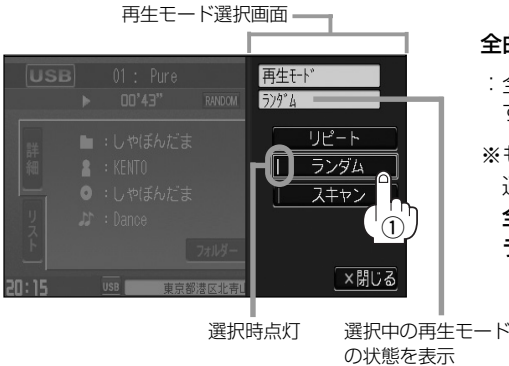
(TOP画面で REPEAT マーク表示有)

通常再生(リピート解除)

(マーク表示無)

■ ランダム（順序不同）再生する場合

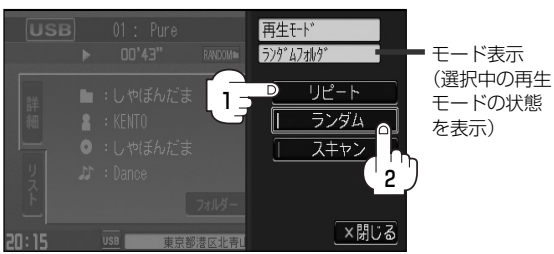
① **ランダム** ボタンをタッチする。



全曲のランダム再生となります。
 : 全ての録音曲の中から順序不同で再生します。（TOP画面で**RANDOM**マーク表示有）
 ※もう一度 **ランダム** ボタンをタッチすると通常再生に戻ります。（マーク表示無）
全曲のランダム再生以外にもフォルダのランダム再生をすることができます。（下記）

□ フォルダのランダム再生をするときは…

1. **リピート** ボタンをタッチしていき、再生モードをリピートフォルダにする。
 ※すでにリピートフォルダ再生をしている場合は手順1を省略することができます。



2. **ランダム** ボタンをタッチする。
 : リピートの再生モードによって下記のように用途が変わります。

●再生モードが“リピートフォルダ”のとき 今聞いているフォルダの中からランダム再生

(TOP画面でマーク表示は**RANDOM**) となります)
 ※通常再生に戻る場合は **リピート** ボタンをタッチしていき、モード表示をなし(空白)にしてください。(TOP画面でマーク表示無)



曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めるため同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

USBメモリデバイスを使う(8)

■ スキャン(イントロ)再生する場合

- ① **スキャン** ボタンをタッチする。



全曲のスキャン再生となります。

: 曲の頭(イントロ)を約10秒間再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。(TOP画面で **SCAN** マーク表示有)

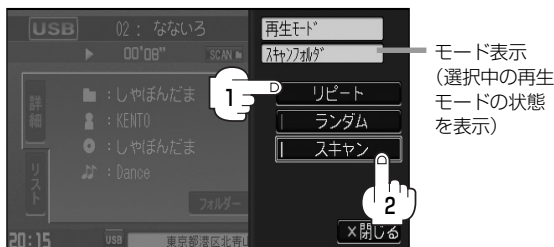
※もう一度 **スキャン** ボタンをタッチすると通常再生に戻ります。

全曲のスキャン再生以外にもフォルダのスキャン再生をすることができます。(下記)

□ フォルダのスキャン再生をするときは…

1. **リPEAT** ボタンをタッチしていき、再生モードをリピートフォルダにする。

※すでにリピートフォルダ再生をしている場合は手順1を省略することができます。



2. **スキャン** ボタンをタッチする。

: リPEATの再生モードによって下記のように用途が変わります。

●再生モードが“リピートフォルダ”のとき

今聞いているフォルダの中からスキャン再生

(TOP画面でマーク表示は **SCAN** ■ となります)

※通常再生に戻る場合は **リPEAT** ボタンをタッチしていき、モード表示をなし(空白)にしてください。(TOP画面でマーク表示無)



スキャン解除すると再生中の曲で通常再生を続けます。

3

設定を終わるには…

画面の **閉じる** ボタンをタッチする。

: TOP画面に戻ります。



3



アドバイス

マーク表示を消すまでそれぞれのモード再生を繰り返します。

USBフラッシュメモリの再生モード選択（スキャン）

USB再生

USBメモリデバイスを使う(9)

ウォークマンの再生モードを選択する(リピート/ランダム/スキャン再生)

※USBフラッシュメモリを接続した場合の再生モードの選択につきましては284~287ページを参照ください。

再生モード(リピート/ランダム/スキャン)を選択することができます。

1 画面の再生モード ボタンをタッチする。

：画面右側に再生モード選択画面が表示されます。

手順 2 で選択した再生モードがマーク表示されます。



2 再生したいモード(リピート/ランダム/スキャン)を選択します。

■ リピート(繰り返し)再生する場合

① リピート ボタンをタッチする。



選択中の再生モードの状態を表示

：リピート再生されます。

- **リピート** ボタンをタッチすることにより下記のように用途が変わります。

今聞いているトラックの
リピート再生

(TOP画面で REPEAT マーク表示有)

今聞いているアルバムの
リピート再生

(TOP画面で REPEAT マーク表示有)

今聞いているアーティストの
リピート再生

(TOP画面で REPEAT マーク表示有)

通常再生(リピート解除)

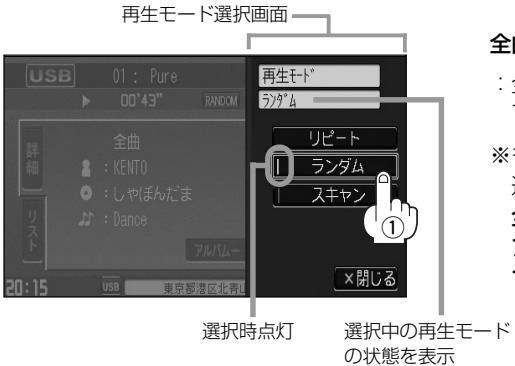
(マーク表示無)



選曲メニュー(280ページ)の中で **ジャンル** / **グループ** を選択し、再生させている場合は今聞いているトラックのリピート再生のみとなります。

■ **ランダム（順序不同）再生する場合**

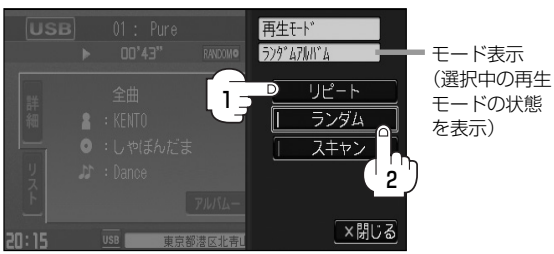
① **ランダム** ボタンをタッチする。



全曲のランダム再生となります。
 : 全ての録音曲の中から順序不同で再生します。(TOP画面で**RANDOM**マーク表示有)
 ※もう一度**ランダム** ボタンをタッチすると通常再生に戻ります。(マーク表示無)
 全曲のランダム再生以外にもアルバム／アーティストのランダム再生をすることができます。(下記)

□ **アルバムまたはアーティストのランダム再生をするときは…**

1. **リピート** ボタンをタッチしていき、再生モードをリピートアルバムまたはリピートアーティストにする。
 ※すでにリピートアルバム／リピートアーティスト再生をしている場合は手順1を省略することができます。



2. **ランダム** ボタンをタッチする。
 : リピートの再生モードによって下記のように用途が変わります。

●再生モードが“リピートアルバム”のとき
今聞いているアルバムの中からランダム再生
 (TOP画面でマーク表示は**RANDOM**となり)

●再生モードが“リピートアーティスト”のとき
今聞いているアーティストの中からランダム再生
 (TOP画面でマーク表示は**RANDOM**となり)

※通常再生に戻る場合は**リピート** ボタンをタッチしていき、モード表示をなし(空白)にしてください。(TOP画面でマーク表示無)

- ランダム再生は、次に再生する曲を任意に決めるため同じ曲が数回連続で再生されることがあります。
- 選曲メニュー(280ページ)の中で**ジャンル** / **グループ** を選択しているときはアルバムまたはアーティストのランダム再生はできません。

USBメモリデバイスを使う(10)

■ スキャン(イントロ)再生する場合

- ① **スキャン** ボタンをタッチする。



全曲のスキャン再生となります。

：曲の頭(イントロ)を約10秒間再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。(TOP画面で **SCAN** マーク表示有)

※もう一度 **スキャン** ボタンをタッチすると通常再生に戻ります。

全曲のスキャン再生以外にもアルバム／アーティストのスキャン再生をすることができます。(下記)

□ アルbumまたはアーティストのスキャン再生をするときは…

1. **リピート** ボタンをタッチしていき、再生モードをリピートアルバムまたはリピートアーティストにする。

※すでにリピートアルバム／リピートアーティスト再生をしている場合は手順1を省略することができます。



モード表示
(選択中の再生モードの状態を表示)

2. **スキャン** ボタンをタッチする。

：リピートの再生モードによって下記のように用途が変わります。

- 再生モードが“リピートアルバム”のとき

今聞いているアルバムの中からスキャン再生

(TOP画面でマーク表示は **SCAN** ◉ となります)

- 再生モードが“リピートアーティスト”のとき

今聞いているアーティストの中からスキャン再生

(TOP画面でマーク表示は **SCAN** ■ となります)

※通常再生に戻る場合は **リピート** ボタンをタッチしていき、モード表示をなし(空白)にしてください。(TOP画面でマーク表示無)



アドバンス

- スキャン解除すると再生中の曲で通常再生を続けます。

- 選曲メニュー(「**音**」280ページ)の中で **ジャンル** / **グループ** を選択しているときはアルバムまたはアーティストのスキャン再生はできません。

3

設定を終わるには…

画面の **閉じる** ボタンをタッチする。

: TOP画面に戻ります。



3



アドバイス

マーク表示を消すまでそれぞれのモード再生を繰り返します。

ウォークマンの再生モード選択（スキャン）

USB再生

USBメモリデバイスを使う(11)

好きなフォルダを選ぶ (USBフラッシュメモリの場合)

聞きたいフォルダを選ぶことができます。

1 画面の **フォルダ-** / **フォルダ+** ボタンをタッチする。

■ 前のフォルダに戻る場合

フォルダ- ボタンをタッチする。

■ 次のフォルダに進む場合

フォルダ+ ボタンをタッチする。



1

好きなアルバムを選ぶ (ウォークマンの場合)

聞きたいアルバムを選ぶことができます。

1 画面の **アルバム-** / **アルバム+** ボタンをタッチする。

■ 前のアルバムに戻る場合

アルバム- ボタンをタッチする。

■ 次のアルバムに進む場合

アルバム+ ボタンをタッチする。



1

iPod

iPodについて	294、295
iPodとは	294
対応可能なiPod	294
使用上のご注意	295
iPodを本機に接続するには	295
iPodを本機に接続すると	295
iPodを使う	296～312
各部の名称とはたらき	296
表示部(再生画面)について	297
iPodを聞く	298
iPodモードを終了する	299
再生を止める(一時停止)	299
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する (トラックを戻す/進める)	299
早戻し/早送りをする	300
トラックリストより好きなトラックを選び再生させる	301
選曲メニューより選択し再生させる	302～307
再生モードを選択する (リピート/シャッフル再生)	308、309
iPodビデオモードで映像データを再生させる	310～312

iPodについて



iPodを聞くには別売のiPod接続コードが必要です。

iPodとは

- iPodとはApple Inc.が提供するポケットサイズの大容量保管装置です。曲やポッドキャスト*、フォト、ビデオデータなどを保管し、手軽に持ち運ぶことが可能です。
- iPodは米国およびその他の国々で登録されているApple Inc.の商標です。




*印：インターネット経由で配布されるダウンロード可能なラジオ形式の番組

対応可能なiPod

iPod nano(第3世代) ……………○	ソフトウェア1.0.3以上
iPod touch ……………○	ソフトウェア1.1.1以上
iPod classic ……………○	ソフトウェア1.0.3以上
iPod with video ……………○	ソフトウェア1.2以上
iPod nano(第2世代) ……………○	ソフトウェア1.1.1以上
iPod nano……………○	ソフトウェア1.1以上
iPod photo ……………○	ソフトウェア1.0以上
iPod mini ……………○	ソフトウェア1.2以上
iPod 第4世代(クリックホイール) …○	ソフトウェア3.0.2以上



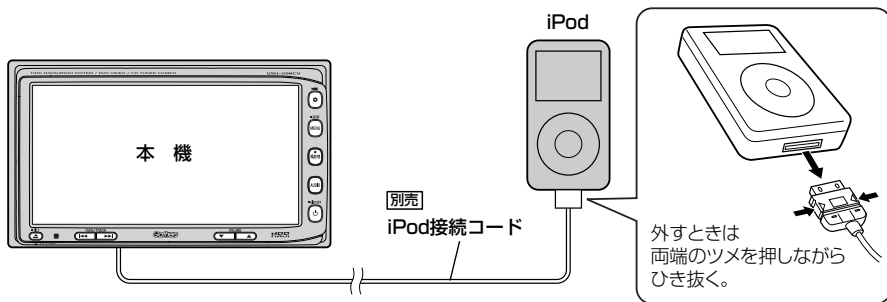
- iPodは最新のソフトウェアバージョンをアップル社のWebサイトよりインストールしてご使用ください。
※最新のソフトウェアバージョンではない場合、正しく動作できない場合があります。
- 第1、第2、第3世代のiPodには対応しておりません。
- ソフトウェアのバージョンはiPod本体の“情報”よりご確認ください。
- ビデオモード( 310ページ)に対応しているiPodは、iPod nano(第3世代)/iPod touch/iPod classic/iPod with videoとなります。
※iPod touchは映像は表示しないで音楽再生のみとなります。
- 各iPodの仕様につきましてはiPodをお取り扱いの販売店へお問い合わせください。

使用上のご注意

- iPodは精密部品が内蔵されています。落としたり、ぶつけたりして損傷を与えないようにしてください。
- iPodを車内に放置しないでください。直射日光や高温などによってiPodの故障の原因となります。
- iPodのデータが紛失しても消去したデータの保証は致しかねます。
- iPod本体の保証は致しかねます。
- iPod本体の取扱説明書もあわせてご確認ください。
- iPodは個人として楽しむなどのほかは、権利者に無断で使用できません。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPod本体の設定の“EQ”を“オフ”以外にすると、音質が悪くなる場合があります。
- 本機への接続前と取り外し後で、iPodのリピートやシャッフルなどの設定が変わってしまう場合があります。
- iPodのソフトウェアのバージョンによって操作方法／仕様が異なる場合があります。
- iPod本体に付属されているUSBケーブルを使用しての本機との接続はできません。

iPodを本機に接続するには

iPodを聞くには別売のiPod接続コードが必要です。



- 本機にiPodを接続するときはヘッドホンなどの機器は外してiPod単体としてください。
- iPodは本機の状態や車のエンジンスイッチ0 (OFF)にかかわらず接続できます。
- 本機で操作可能状態のとき、iPod側での操作はできません。
- 接続した状態でACCをOFFにすると約2分後にiPod本体の電源もOFFされます。

iPodを本機に接続すると…

- iPodに収録されたデータは専用ケーブル(iPod接続コード)を使用して本機に表示できます。使い慣れたiPodの感覚そのままにタッチパネルを使用して操作することができます。
- 本機の電源ON状態でiPod接続中は充電ができるのでバッテリー消費の心配は不要です。

iPodを使う(1)

各部の名称とはたらき

リスト ボタン

トラックリストを表示し、トラックの選択が可能です。(301ページ)

iPodモード TOP画面
(詳細表示時(例))



トラック ボタン (◀◀/▶▶)

好きな曲を選びます。(299ページ)
また、このボタンを押し続けると
早戻し(◀◀)/早送り(▶▶)します。
(300ページ)

VOLUME ボタン

音量の増減を調整します。
▼: 音量減 ▲: 音量増

モード切替 ボタン

映像(iPodビデオモード)へ切り替えることができます。
(310ページ)

再生モード ボタン

シャッフル再生やリピート再生をすることができます。
(308、309ページ)

壁紙切替 ボタン (🖼️)

壁紙を表示させて音楽を聞くことができます。(315ページ)

選曲 ボタン

iPodのミュージックリストから再生したい曲を
絞り込んで再生することができます。
(302ページ)

再生/一時停止 ボタン(▶||)

再生中にタッチすると音声が一時的に止まります。
もう一度タッチすると再び再生が始まります。

AUDIO ボタン

AUDIOソース画面を表示します。
※ナビゲーション/CD/DVD/MP3/
WMA/Music Rack/SD/USB/
VTR/Digital TV/AM/FMモード
からiPodモードに切り替えるときに
使用します。(298ページ)

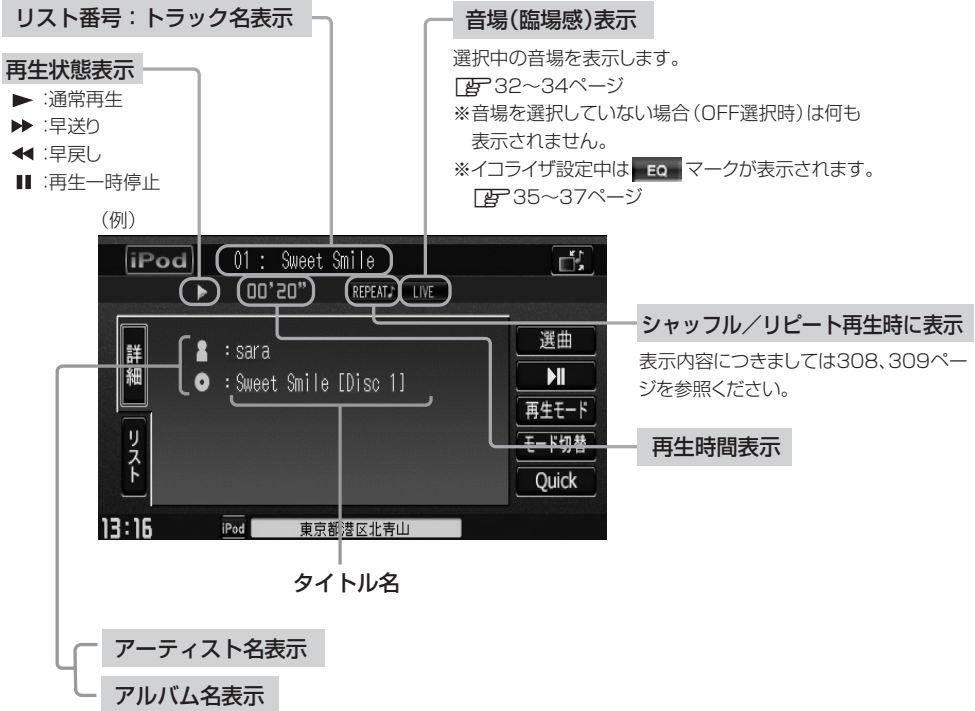
電源 ボタン(⏻)

オーディオモードを開始/終了(OFF状態)に
します。
また、2秒以上長押しで画面を消します。

Quick ボタン

カスタマイズ機能を使用することができます。
(314ページ)

表示部(再生画面)について



アドバイス

- 表示内容はiPod本体で表示されるトラック名/アーティスト名/アルバム名となります。
- 本機は日本語/英数字のみ表示可能です。
- iPod本体で表示される～(半角波形表示)は、本機では- (ハイフン表示)となります。
- 詳細表示のとき、タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名(トラック名/アーティスト名/アルバム名)をタッチしてスクロールさせ、つづきを確認することができます。
 ※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。

iPodを使う(2)

iPodを聞く

※iPodを本機に接続していない/iPodになにも収録されていない場合、iPodの曲を聞くことはできません。

■ 他のモード画面を表示している場合

- 前回iPodモード画面でOFF(オーディオモードを終了)していた場合

- ① パネルの **電源** ボタン(⏻)を押す。
：前回最後に聞いていたトラックのつづきから再生を始めます。



① 電源 ボタン(⏻)

- ナビゲーションモードまたは前回iPodモード以外のオーディオモード画面の場合

- ① パネルの **AUDIO** ボタンを押す。
：AUDIOソース画面またはラストモード*画面が表示されます。

- AUDIOソース画面のときは…

- ②に進んでください。

- ラストモード*画面のときは…

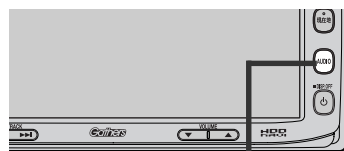
- もう一度 **AUDIO** ボタンを押す。

：AUDIOソース画面が表示されます。

*：前回最後に選択していたモード画面 (OFF含む)

- ②画面の **iPod** ボタンをタッチする。

：前回最後に聞いていたトラックのつづきから再生を始めます。



① AUDIO ボタン



■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

- 🔊 「音量を調整する」 26ページ
- 📺 「映像の調整のしかた」 27～29ページ
- 🔊 「オーディオの調整をする」 32～43ページ

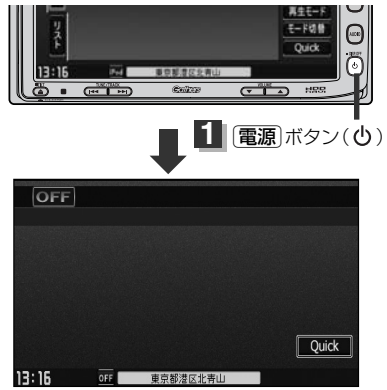


iPodの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

🔊 「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」 24ページ

iPodモードを終了する

- 1** パネルの **電源** ボタン(⏻)を押す。
 : 画面に“OFF”と表示されiPodの再生を止めます。(オーディオモード終了)



再生を止める(一時停止)

- 1** 画面の **再生/一時停止** ボタン(▶||)をタッチする。
 : 再生を止めます。



■ **再び、再生を始める場合**

- 画面の **再生/一時停止** ボタン(▶||)をタッチする。
 : 再生を止めた続きから再生を始めます。

操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する(トラックを戻す/進める)

- 1** パネルの **トラック** ボタン(◀◀/▶▶)を押す。
 : 前のトラックに戻る、または次のトラックに進みます。
 ※聞きたい曲のトラック番号を表示させます。





■ **前のトラックに戻る場合**

- ◀◀側を2回押す。
 ※1回押した場合は再生中の曲(トラック)の頭に戻ります。

■ **次のトラックに進む場合**

- ▶▶側を押す。

 画面をタッチしてトラックリストより選択することもできます。
 アドバイス  「**トラックリストより好きなトラックを選び再生させる**」301ページ

iPodを使う(3)

早戻し／早送りをする

1 パネルの **トラック** ボタン(◀◀/▶▶)を押し続ける。

：再生中の曲の早戻し／早送りをします。

■ 早戻しで戻る場合

◀◀側を押し続ける。

■ 早送りで進む場合

▶▶側を押し続ける。

再生状態表示
▶：通常再生
▶▶：早送り
◀◀：早戻し



1 **トラック** ボタン



アドバイス

それぞれのボタンから手を離したところで再生を始めます。**トラック** ボタン(◀◀/▶▶)を押し続け、曲の始めまたは終わりにくると通常再生になります。

トラックリストより好きなトラックを選び再生させる

選曲メニュー(☰ 302ページ)で選択したボタン(プレイリスト/アーティスト/アルバム/ポッドキャスト/全曲/ジャンル/作曲家)のトラックをリストより選択再生させることができます。

1 画面の **リスト** ボタンをタッチする。

：トラックリストが表示されます。

iPodモード TOP画面 (詳細表示時(例))



アドバイス

iPodモードのTOP画面は選択するボタン(**詳細** / **リスト**)によって詳細表示/トラックリスト表示となります。

iPodモード TOP画面(例)



詳細表示

→ **リスト** ボタンタッチ

iPodモード TOP画面(例)



トラックリスト表示

※すでにトラックリスト表示になっている場合は上記手順 **1** を省略することができます。

2 再生したいトラックをタッチする。

：選択したトラックが再生されます。

iPodモード TOP画面
(トラックリスト表示時(例))



↑ / ↓ ボタンタッチでページ戻し/送り表示



TOP画面を詳細表示に戻したい場合は **詳細** ボタンをタッチしてください。(上記アドバイス参照)

iPodを使う(4)

選曲メニューより選択し再生させる

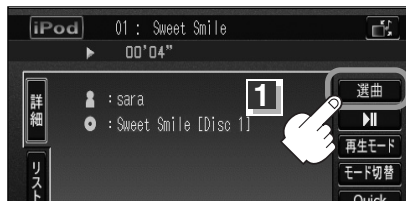
再生させたい曲を絞り込んで検索することができます。

1

画面の**選曲** ボタンをタッチする。

: 画面右側に選曲メニュー画面が表示されます。

iPodモード TOP画面
(詳細表示時(例))



2

選曲メニューより選曲する方法

(**全曲** / **アルバム** / **アーティスト** /
ポッドキャスト / **ジャンル** /
プレイリスト / **作曲者**) を選択します。

選曲メニュー画面



アドハイス

- 選曲メニューより選択した各ボタンに収録されている内容は、iPod本体に収録されている内容となります。
- iPodのデータが多くなるほど、各リストを表示させるまでに時間がかかります。
- 選曲メニューを選択する前に **閉じる** ボタンをタッチするとTOP画面に戻ります。

■ **全曲** ボタンをタッチした場合

: トラックリスト画面の表示とともに、曲が再生されます。

①再生させたいトラックをタッチする。

トラックリスト画面



: 選択した曲を再生します。

■ **アルバム** ボタンをタッチした場合 : アルバムリスト画面が表示されます。

①再生させたいアルバムをタッチする。

: 選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。



すべて ボタンをタッチするとiPod内のアルバムのトラック表示とともに曲が再生されます。

②再生させたいトラックをタッチする。

: 選択した曲を再生します。



■ **アーティスト** ボタンをタッチした場合 : アーティストリスト画面が表示されます。

①再生させたいアーティストをタッチする。

: 選択したアーティストのアルバムが表示されます。



すべて ボタンをタッチすると iPod内のアルバムが表示されます。――さらに

②再生させたいアルバムをタッチする。

: 選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。



すべて ボタンをタッチするとiPod内のトラックの表示とともに再生されます。

③再生させたいトラックをタッチする。



: 選択した曲を再生します。

iPodを使う(5)

■ ポッドキャスト ボタンをタッチした場合

: ポッドキャスト画面が表示されます。

- ①再生させたいポッドキャストをタッチする。



ポッドキャスト

: 選択したポッドキャストに収録されているポッドキャストリスト表示とともにポッドキャストが再生されます。

- ②再生させたいポッドキャストをタッチする。



: 選択したポッドキャストを再生します。

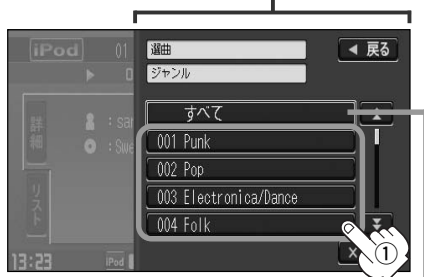
■ **ジャンル** ボタンをタッチした場合

：ジャンルリスト画面が表示されます。

- ①再生させたいジャンル(iPodに収録されているジャンル名の)ボタンをタッチする。

：選択したジャンルに該当するアーティストが表示されます。

ジャンルリスト画面

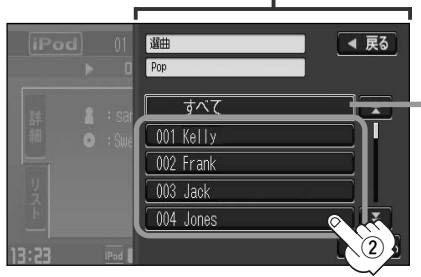


すべて ボタンをタッチするとiPod内のアーティストが表示されます。-さらに**すべて** ボタンをタッチするとiPod内のアルバムが表示されます。-さらに**すべて** ボタンをタッチするとiPod内のトラック表示とともに曲が再生されます。

- ②再生させたいアーティストをタッチする。

：選択したアーティストのアルバムが表示されます。

アーティストリスト画面



すべて ボタンをタッチすると①で選択したジャンルに該当するアルバムが表示されます。-さらに**すべて** ボタンをタッチするとiPod内のトラック表示とともに曲が再生されます。

- ③再生させたいアルバムをタッチする。

：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

アルバムリスト画面



すべて ボタンをタッチすると②で選択したアーティストのトラック表示とともに曲が再生されます。

- ④再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。

トラックリスト画面



ジャンルリスト画面に表示されるボタンの数(表示)はiPod本体に収録されている内容となります。(iPodの内容によってボタンが増えることも減ることもあります。)

iPodを使う(6)

■ **プレイリスト** ボタンをタッチした場合

: プレイリスト画面が表示されます。

- ①再生させたいプレイリストをタッチする。 ②再生させたいトラックをタッチする。



プレイリスト

: 選択したプレイリストに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。



トラック

: 選択した曲を再生します。

■ **作曲家** ボタンをタッチした場合

: 作曲家リスト画面が表示されます。

- ①再生させたい作曲者をタッチする。 ②再生させたいアルバムをタッチする。

: 選択した作曲者のアルバムが表示されます。



すべて ボタンをタッチするとiPod内の全てのアルバムが表示されます。-さらに**すべて** ボタンをタッチするとiPod内の全てのトラック表示とともに曲が再生されます。



すべて ボタンをタッチすると①で選択した作曲者に該当するiPod内のトラック表示とともに曲が再生されます。

③再生させたいトラックをタッチする。



： 選択した曲を再生します。



3 設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンまたは **閉じる** ボタンをタッチする。

： **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、**閉じる** ボタンをタッチするとTOP画面に戻ります。



アドバース

次ページがある場合  /  ボタンタッチでページ戻し/送り表示をします。

iPodを使う(7)

再生モードを選択する(リピート/シャッフル再生)

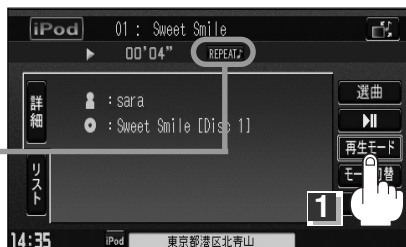
再生モード(リピート/シャッフル)を選択することができます。

1 画面の **再生モード** ボタンをタッチする。

: 画面右側に再生モード選択画面が表示されます。

手順 **2** で選択した再生モードがマーク表示されます。

iPodモード TOP画面
(詳細表示時(例))



2 再生したいモード (**リピート** / **シャッフル**) を選択します。

■ リピート(繰り返し)再生する場合

① **リピート** ボタンをタッチする。

再生モード選択画面



選択中の再生モードの状態を表示

: 表示灯点灯し、再生中の曲を繰り返し再生します。

● **リピート** ボタンをタッチすることにより下記のように用途が変わります。

今聞いているトラックのリピート再生

(表示灯点灯/ TOP画面で **REPEAT** マーク表示有)



通常再生(リピート解除)

(表示灯消灯/ TOP画面でマーク表示無)

■ シャッフル再生する場合

① シャッフル ボタンをタッチする。



選択時点灯 選択中の再生モードの状態を表示

: 表示灯点灯し、シャッフル機能がはたらきます。

- **シャッフル** ボタンをタッチすることにより下記のように用途が変わります。

トラックのシャッフル再生

(表示灯点灯/ TOP画面で **SHUFFLE** マーク表示有)



アルバムのシャッフル再生

(表示灯点灯/ TOP画面で **SHUFFLE** マーク表示有)



通常再生(シャッフル解除)

(表示灯消灯/ マーク表示無)

「リピート再生」

iPod

「シャッフル再生」

3

設定を終わるには…
画面の **閉じる** ボタンをタッチする。

: TOP画面に戻ります。



3



TOP画面にマーク表示がある限りそれぞれの再生を繰り返します。

iPodを使う(8)

iPodビデオモードで映像データを再生させる

TV出力機能を備えたiPodの場合、iPodに収録されているビデオデータを本機に表示させることができます。

1 画面の **モード切替** ボタンをタッチする。

：モード切替画面が表示されます。

iPodモード TOP画面(詳細表示時(例))



モード切替画面



2 画面の **ビデオモード** ボタンをタッチする。

：iPod ビデオモードに切り替わります。



- 走行中は音声のみになります。
- ビデオモードに対応していないiPodの場合下記画面が表示されます。




モード切替 ボタンをタッチしてミュージックモード(音楽再生のみ)に戻してください。
※操作ボタンが消えた場合は画面をタッチしてください。

※iPod touchの場合はiPodビデオモード画面(下記)が表示され、操作は可能ですが映像は表示されません。音声再生のみとなります。

iPodビデオモード画面(例)







画面に表示されている操作ボタンを消すには、**壁紙切替** ボタン()をタッチしてください。

※再び操作ボタンを表示させるには、画面をタッチしてください。



- ビデオモードを使うには…
・iPod本体でTV出力の設定を“オン”にしてください。

- リスト** ボタン …………… 動画リストより選択し、再生させることができます。  右記
- ▶▶** ボタン …………… 再生を一時停止します。もう一度タッチすると再び再生が始まります。
- 再生モード** ボタン …………… 再生中のビデオを繰り返し表示させることができます。  右記
- モード切替** ボタン …………… ミュージックモード(音声再生のみ)と、ビデオモード(映像あり)の切り替えをすることができます。  上記手順 **2** および右記
- Quick** ボタン …………… カスタマイズ機能を使用することができます。  314ページ

■ 動画リストより選択し再生させる場合

① 操作ボタン表示中に **リスト** ボタンをタッチする。



② リストより再生させたい動画をタッチする。



：選択した動画が再生されます。

※さらにリストが表示される場合は選択を繰り返してください。

■ 再生中の動画を繰り返し再生させる場合

① 操作ボタン表示中に **再生モード** ボタンをタッチする。



② **リピート** ボタンをタッチする。

リピート再生中は **REPEAT** マークが表示されます。



表示灯点灯しリピート機能が動きます。
※リピート再生をやめるにはもう一度タッチし表示灯を消灯させてください。

■ ビデオモードのときミュージックモード(音楽再生のみ)に戻す場合

① 操作ボタン表示中に **モード切替** ボタンをタッチする。



② **ミュージックモード** ボタンをタッチする。



：TOP画面(音楽再生のみ)に戻ります。

iPodを使う(9)

3

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンまたは **閉じる** ボタンをタッチする。

： **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、 **閉じる** ボタンをタッチするとTOP画面に戻ります。



アドバイス

- iPod本体から入力された映像や音声はiPodビデオモード(**ビデオモード** ボタンをタッチ)にすることにより見たり、聞くことができます。
- TV出力機能がない、映像データがないなどのとき、画面は黒表示となります。
- 走行中は安全のため映像は出力されません。iPod本体の操作はできません。
- TV出力の有無はiPod本体の取扱説明書またはiPodをお取り扱いの販売店でご確認ください。
- iPodビデオモードのとき、モードを変更したときはビデオモード画面を保持しません。もう一度手順 **1** (P.310ページ)より操作しなおしてください。
- ミュージックモードとビデオモードを切り替えたときは、リスト一番上の曲(や映像)からの再生となります。
- iPodビデオモードのとき、リストの各動画コンテンツ(情報の内容)ごとにリジューム情報(どこまで再生したか)をiPodがおぼえています。選択すると前回の続き(再生位置)から再生が始まります。
- アーティスト/アルバムなどのタイトルを登録していないビデオは選択(再生)できません。

その他

カスタマイズ(Quick)機能について	314
壁紙を表示する	315
システムの設定について	316、317
リア席モニターについて(別売)	318
初期設定一覧	319
メッセージ表示について	320、321
故障かな?と思ったら	322~335
エリア番号と放送局一覧	336、337
用語説明	338~343
個人情報の取り扱い(初期化)について	344
索引	345~347

カスタマイズ(Quick)機能について

オーディオとナビゲーションの各項目選択を1つの画面から操作することができます。

1 各モードのTOP画面で、
画面の **Quick** ボタンをタッチする。

： Quickメニュー画面が表示されます。

オーディオモード画面
(Music Rackモード画面(例))



2 切り替えたいモードボタンまたは機能(メニュー)ボタンをタッチする。

： 選択したモード画面または選択した機能画面が表示されます。

※ 地図画面(ナビゲーションモード)からカスタマイズソースを選択したときは、地図画面を表示したときに同時起動するモードの選択となります。

例) 地図画面を表示しながらCDを聞く→地図画面を表示しながらFMを聞くなどの切り替えとなります。

Quickメニュー画面(例)

カスタマイズソース
カスタマイズソースの内容(ボタン)は、お好みにあわせて設定しなおすことができます。

☞「カスタマイズソース
(Quick)を設定するには」
44、45ページ



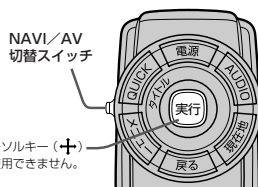
カスタマイズメニュー
ナビゲーションモードで使用
回数の多い機能を登録してお
くことができます。

☞ 別冊の取扱説明書
ナビゲーション編205、
206ページ



アドハイス

- 次ページがある場合 **次へ** ボタンタッチでつづきを表示します。
- オーディオモードとナビゲーションモードでよく使用するモードボタン/メニューボタンをカスタマイズすることにより、より使いやすくすることができます。
- Digital TVモードの場合 **Quick** ボタンは選択できません。
- Quickメニュー画面のとき、別売のリモコンのカーソルキー(+)はNAVI/AV切替スイッチがAV側にあると使用できません。これはリア席モニターの接続(☞ 318ページ)を考慮してリア席モニターに表示されるモード(DVD/VTR/Digital TV)のカーソルキー動作を優先させるための仕様となっています。



壁紙を表示する

選択中モードの情報を一部残し、広範囲を壁紙表示にすることができます。

1 各モードのTOP画面で、
画面の **壁紙切替** ボタン()をタッチする。

：画面中央の情報が消えます。

※映像を表示するモードの場合、本設定はできません。

オーディオモード画面
(Music Rackモード画面(例))



再度、画面を表示する場合


画面の **壁紙切替** ボタン()をタッチする。

：消えていた部分が表示されます。



アドバイス

●音声はそのまま全画面を消すこともできます。

 「音声はそのまま、画面を消す」25ページ

●お好みの画像を壁紙にすることができます。

 「**画像を変える**」67～69ページ／「**画像を追加する**」70～72ページ

〔カスタマイズ機能〕

／〔壁紙表示〕

その他

システムの設定について

キー操作音のON/OFFやSDカードの初期化はシステム設定より行ないます。

1 オーディオモード画面でパネルの

[MENU] ボタンを押す。

：AUDIOメニューのAUDIO設定またはシステム設定画面が表示されます。

※すでにシステム設定画面を表示している場合、手順**2**を省略することができます。

オーディオモード画面
(Music Rackモード画面(例))



1 **[MENU]** ボタン

2 画面の **システム設定** ボタンをタッチする。

：システムの各種設定画面が表示されます。

システム設定画面(例)



3 画面の **その他** ボタンをタッチする。

4 キー操作音の設定またはSDカードの初期化をします。

壁紙設定につきましては「[P.67~75](#)ページを参照ください。

※その他のシステム設定(ETC設定/メンテナンス/オプションボタン/カメラ/QQコール)につきましては別冊の取扱説明書 **ナビゲーション編**を参照ください。

- ・ETC設定 [P.228](#)、[P.229](#)ページ
- ・メンテナンス [P.233](#)~[P.236](#)ページ
- ・オプションボタン [P.246](#)、[P.247](#)ページ
- ・カメラ [P.252](#)~[P.257](#)ページ
- ・QQコール [P.258](#)、[P.259](#)ページ

■ 操作音を設定する場合

① **キー操作音** ボタンをタッチする。



：キー操作音設定画面が表示されます。

② **キー操作音1** または **キー操作音2** ボタンをタッチする。

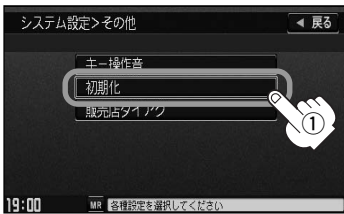


：パネルおよびタッチパネル操作時の“ピッ”という音を設定します。

※操作音を出さない設定にする場合は上記手順②のとき **キー操作音OFF** ボタンをタッチしてください。

■ SDカードの初期化をする場合

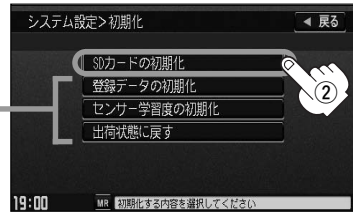
① 初期化 ボタンをタッチする。



：初期化設定画面を表示します。

その他の設定につきましては別冊の取扱説明書 ナビゲーション編 250、251ページを参照ください。

② SDカードの初期化 ボタンをタッチする。



：SDカードを初期化してもいいかどうかのメッセージが表示されるので、画面にしたがって **はい** ボタンを選択してください。

5 設定を終わるには…

パネルの **AUDIO** ボタンを押す。

：現在選択中のモードの再生画面に戻ります。



アドバンス

- 手順 **1** で **MENU** ボタンを押したときに表示される画面は、選択しているボタン (**AUDIO設定** / **システム設定**) によって異なります。[音] 「AUDIOメニュー画面について」 23ページ参照
- システム設定画面について
 - ・ **カメラ** ボタンは別売のフロントカメラ/コーナーカメラ接続時に表示されます。
 - ・ **QQコール** ボタンは販売店にて入会手続きとセットアップが完了した場合には表示されます。
- **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。手順 **2** ですでに設定を変更した場合はその設定で確定 (決定) されます。

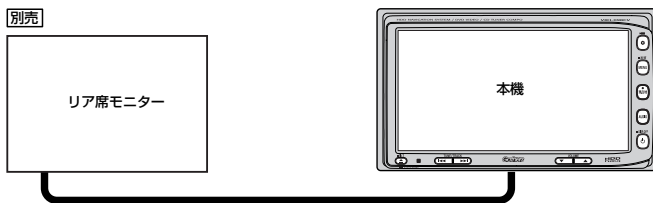
⚠ 注意

- 初期化中は他の操作 (モードを切り替えたり車のエンジンスイッチを **O (OFF)** にしたり **I (ACC)** の状態から **II (ON)** にしてエンジンを始動したり電源を切ったり) をしないでください。他の操作をすると故障の原因となります。
- 初期化で“はい”を選択すると、お客様の画像データ/音楽データは消去され、二度と復帰しません。※すでにデータが書き込まれている“SDカード”メディアを初期化すると、そのデータは消去されてしまいます。誤って大切なデータを消去することがないように、ご注意ください。(SDカード内全てのデータが消去されます。)

リア席モニターについて(別売)

別売のリア席モニターを接続することにより“前席でナビ／後席でDVD”*などの使い方ができます。

*：DVDの音声が本機から出力され、合間にルートの音声案内が聞こえます。



※コピーガードがかかっている番組やDVDは録画機器を経由してモニターで視聴すると正常に受像できません。コピーガードがかかっている番組やDVDを視聴する場合は、録画機器を経由しないで直接、本機とモニターを接続してください。

ナビゲーションモードとオーディオモードを本機で同時起動した場合のリア席モニターとの表示関係について

本機モード		本機に表示される画面	リア席モニターに表示される画面
ナビ	—	ナビ	表示されません
ナビ	DVD	ナビ	DVD
ナビ	Digital TV (iPodビデオ/VTR)	ナビ	Digital TV (iPodビデオ/VTR)
Digital TV (iPodビデオ/VTR)	—	Digital TV (iPodビデオ/VTR)	Digital TV (iPodビデオ/VTR)
DVD	—	DVD	DVD
ナビ	CD/MP3/WMA/ Music Rack/SD/ USB/iPod/AM/FM	ナビ	表示されません
CD/MP3/WMA/ Music Rack/SD/ USB/iPod/AM/FM	—	CD/MP3/WMA/ Music Rack/SD/ USB/iPod/AM/FM	表示されません

※Digital TVを受信している場合、本機からリア席モニターへ出力される信号はアナログ出力となります。放送によってはアナログ出力を禁止している場合があるためモニター出力できないときもあります。



アドバイス

- オーディオモードを終了(OFF状態)にするとリア席モニター側の表示も消えます。
- リア席モニターでは映像出力のみを行いません。モード選択や画面の操作を行なうことはできません。操作は本機で行ってください。
- リア席モニターでは走行中/停車中にかかわらず映像が表示されます。

初期設定一覧

オーディオ設定

☞ 32~53ページ

音場設定

音場設定=OFF

イコライズ設定

音質選択=OFF

スピーカー設定

フロント=LARGE

リア=LARGE

フェード・バランス設定

各項目の調整値=0

車速連動音量=MID

カスタマイズソース(Quickメニュー)

Music Rack、CD/DVD、Digital TV、AM、FM

録音設定

自動録音(等速リッピング)

高音質モード

システム設定

☞ 67~75、316ページ

壁紙設定

Brilliant Road

※プリインストールに既存の壁紙30枚あり

その他

キー操作音=キー操作音1

映像調整

☞ 27~29ページ

明るさ=31(イルミネーションON時は12)

コントラスト=16(DVDモード時は22)

色の濃さ=16

色合い=16

ディスプレイ=フル

メニューの配色

☞ 30、31ページ

メニュー配色=配色1

透過率=20%

DVD

☞ 187、188ページ

ダイナミックレンジ圧縮=OFF

モニター設定=ワイド

視聴制限レベル=制限なし

Digital TV

☞ 203~229ページ

視聴エリア=東京都

プリセット登録(**エリア**ボタン)=登録済(東京都)

字幕表示=なし(オフ)

バナー表示=何も表示しない(219ページ)

システム設定

郵便番号設定=未設定

チャンネル表示=サービスチャンネル番号を表示

文字スーパー表示=第1言語

現在地確認表示=表示のみする

自動切替設定=ワンセグ優先(ワンセグを優先的に受信)

アンテナ電源=電源入

選局操作設定=チャンネル選局

メッセージ表示について

■下記のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

メッセージ表示	原因	本機の動作および処置	参考ページ
“リージョンが違います”	リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」以外のDVDビデオを再生しようとしたとき。	本機のリージョン番号は「2」です。リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」以外のDVDビデオは、本機では再生できません。	—
“視聴制限により再生できません”	視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止しているとき。	再生しようとしているDVDビデオの視聴制限レベルに合わせて、視聴制限設定のレベルを変更すると、再生することができます。	183、188
“入力されたパスワードが間違っています”	入力したパスワードが、登録してあるパスワードと違うとき。	パスワードを入力しないと、視聴制限の設定ができません。正しいパスワードを入力してください。	183、188、189
“走行中は音声をお楽しみください”	走行中にDVDを再生またはVTR/iPodビデオ(映像がある場合)/Digital TVを見ようとしたとき。	安全のため停車中のみご覧になることができます。安全な場所に車を停車させてから操作してください。	—
<ul style="list-style-type: none"> ● “登録最大件数をオーバーしています” ● “録音可能曲数を超えました。これ以上録音できません” ● “録音可能容量を超えました。これ以上録音できません” ● “フォルダに保存できる画像は200個までです。フォルダまたは画像を再選択してください” 	HDDの容量が一杯になったため。	HDD内のデータを削除してから、再度、各操作をしておいてください。	—
“ディスクを入れてください”	ディスクが入っていないとき。	ディスクを入れてください。	—
“再生可能なディスクを入れてください”	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機で再生できないディスクを入れているとき。 ● CDが逆にセットされているとき。 ● ディスクに汚れ/異常があるとき。 ● 音楽用ディスク以外のディスクがセットされているとき。 ● VRモードディスクでファイナライズ処理していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機で再生できるディスクを入れてください。 ● ディスクを正しくセットしてください。 ● ディスクの汚れを拭きとってください。 ● 別のディスクを入れてみてください。表示が消えれば、まえのディスクに異常がある可能性があります。 ● 正しいディスクをセットしてください。 ● 書き込みをしたレコーダーでファイナライズ処理をしてください。 	—
“しばらくおまちください。”	ディスクを読込中です。	表示が消えるまでしばらくお待ちください。	—
“録音中に電源が落ちたためデータベースの修復を行なっています。時間がかかる場合がありますが、絶対に電源(エンジンスイッチ)を切らないでください。”	録音中に車のエンジンスイッチをO(OFF)やII(ON)にした可能性があります。	自動でデータベースの修復を行ないますので、メッセージ表示が消えるまでそのままお待ちください。	—
“再生管理データが読み取れません。一旦電源(エンジンスイッチ)を切ってください。復帰しない場合は音楽データの初期化を行ってください。”	オーディオファイル管理データが一時的に読み取りできません。	車のエンジンスイッチを一旦O(OFF)にしてください。30秒以上待ってからエンジンスイッチをI(ACC)またはII(ON)にしてください。	—

参考ページの見方

(例) ナビ2→別冊の取扱説明書 ナビゲーション編2ページ目参照/2→本書の2ページ目参照

メッセージ表示	原因	本機の動作および処置	参考ページ
“画像を表示できません。”	<ul style="list-style-type: none"> ●画像サイズが大きすぎるため。 ●壁紙の画像データのファイル形式が違っているため。 	<ul style="list-style-type: none"> ●横832×縦496ドット以下の画像ファイルとしてください。 ●画像データを確認してください。 ●ファイル容量を1Mバイト以下としてください。 	—
<ul style="list-style-type: none"> ●“録音に失敗しました。” ●“CDを読めませんでした。録音を中止します。” 	CDに汚れ、傷があるとき。	CDを確認してください。汚れなどを拭きとり、再度録音してください。	ナビ36
“信号が受信できません。”	放送エリア外にいるとき。	放送エリア外では受信できません。	—
	地形や周囲の構造物などの影響で受信状態が悪いとき。	受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できない場合があります。	—
	アンテナの故障が考えられるとき。	停車時に受信レベル確認画面でレベル数値が40以上あるか確認してください。レベル数値が低い場合、アンテナの故障や正しく取り付けられていないことが考えられます。お買い上げの販売店にお問い合わせください。	231
	車の走行速度が速いとき。	法定速度内でも受信できない場合があります。	—
	パソコンや携帯電話などを使用しているとき。	車内で使用している電子機器、無線利用機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。また、違法無線局などの影響を受ける場合があります。	—
	放送エリア内にいるが、受信できないとき。	社団法人 デジタル放送推進協会 (Dpa) で公表されている放送エリアのめやすは固定受信機を想定しているため、車載機では放送エリア内でも受信できない場合があります。	—
“信号を受信できないため、選択できないメニューがあります。”	放送エリア外にいて、 設定 ボタンタッチでデジタルメニュー画面を表示したとき。	放送エリア外では選択できない場合があります。	—
“このキーにはプリセットの設定がされていません。”	設定がされていない エリア ボタン/ プリセット ボタンをタッチしたとき。	チャンネルリスト画面/プリセットリスト画面でプリセットを確認してください。	210、211
“ICカードの交換が必要です。カスタマーセンターへ連絡してください。”	B-CASカード(ICカード)の故障が考えられるとき。	B-CASカスタマーセンターへお問い合わせください。	195
<ul style="list-style-type: none"> ●“SDカードのデータが読みとれません。” ●“デバイスのデータが読み取れません。” 	再生中にSDカード/USBメモリデバイスを外したとき。	オーディオモードを終了(OFF)状態にし、再接続してからSD/USBモードにしてください。	—
	SDカード/USBメモリデバイスのファイルがこわれている。	一度デバイスをフォーマットし、曲を入れなおしてください。	—
“デバイスの管理データが読み取れません。対応ソフトと接続し、再度転送してください。” (ウォークマン)	デバイスの管理データファイルがこわれている、または存在しないとき。	一度デバイスをフォーマットし、Sonic Stageなどから転送しなおしてください。	—
“このB-CASカードは使用できません。正しいB-CASカードを装着してください。”	B-CASカード(ICカード)の故障が考えられるとき。	B-CASカスタマーセンターへお問い合わせください。	195
	<ul style="list-style-type: none"> ●B-CASカードの挿入方向が間違っているとき。 ●B-CASカードではないカードを挿入している。 	B-CASカードを正しく挿入してください。	
“iPodと通信できません。iPodを再度接続しなおしてください。”	iPodと通信できない、またはiPodと認証できないとき。	iPodを本機から一度取り外し、iPodを再接続してください。	—

「メッセージ表示について」

その他

故障かな？と思ったら(1)

ちょっとした操作のミスや接続のミスで故障と間違えることがあります。
修理を依頼される前に、下記のようなチェックをしてください。それでもなお異常があるときは、
使用を中止してお買い上げの販売店にご連絡ください。

参考ページの見方

(例)

ナビ2→別冊の取扱説明書 ナビゲーション編2ページ目参照

2 →本書の2ページ目参照

共 通

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
低温時(0℃以下)に車のエンジンスイッチをⅡ(ON)にすると、しばらく画面が暗い。	液晶(内部照明装置(バックライト))の特性によるものです。	故障ではありません。 しばらくそのままお待ちください。 本体の温度が上がると元に戻ります。	—
エンジンスイッチをⅡ(ON)にした後、しばらく画面にムラがある。	液晶のバックライトの特性によるものです。	故障ではありません。 しばらくすると安定します。	—
音が出ない。	音量が小さいまたは音の大きさが“0”になっている。	VOLUME ボタン(▲/▼)で調整してください。	26
	バランス・フェードが片方に寄っている。	バランス・フェードを正しく調整してください。 ※2スピーカーの場合は“0”に合わせます。	40、41
	本機の近くに携帯電話や無線機を置いている。	妨害を受ける可能性がありますので離してご使用ください。	—
本機に登録されていた情報が消失している。	<ul style="list-style-type: none"> ●本機の使用をあやまった ●ノイズの影響を受けた ●修理を依頼した などにより本機に保存した内容が消失する場合があります。	消失したデータについては補償できません。	—
ディスプレイが閉じない。	ディスク排出処理中。	排出が終わったらディスクを取り出してください。取り出さないとディスプレイ部は閉じません。	—
	SDカードが奥まで差し込まれていない。	奥まで差し込んでください。奥まで差し込まないとディスプレイ部は閉じません。	—

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
ディスクが出ない。	ディスクに汚れ、傷、指紋がついている。	ディスクが出なくなった場合はお買い上げの販売店にご相談ください。取り出したディスクは汚れ、指紋をふきとってください。また、キズのついているディスクは使用しないでください。 ※ディスク要因で読み込みできないときなど、イジェクトしてから排出されるまでに時間がかかる場合があります。	ナビ 36
SDカードを初期化できない。	誤消去防止スイッチを「LOCK」方向にしている。	SDカードに誤消去防止スイッチが付いている場合、「LOCK」にしていると初期化できません。「LOCK」を解除してください。	—
ディスクを取り出したときディスクが熱い。	本体を長時間使用していた。ディスクを長時間使用していたり、何枚もリッピングしていた。	長時間使用すると本体内部の温度が上がり、ディスク自体が熱くなることがあります。本体のディスク読み取り性能およびディスクへの影響はございませんので気をつけて取り出してください。	—

故障かな？と思ったら(2)

CD、MP3/WMA

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
CD、MP3/WMAモードに切り替わらない。	CD、MP3/WMAのディスクが挿入されていない。	CD、MP3/WMAのディスクを挿入してください。	-
<ul style="list-style-type: none"> 再生しなかったり、大きな雑音が出たり、再生が途中で止まる。 音がとんだり音質が悪い。 	CD、MP3/WMAの不良。	他のCD、MP3/WMAを聞いてみてください。よくなればディスクの不良の可能性がります。	-
	ディスクに汚れ、キズ、指紋がある。	ディスクのクリーニング(やわらかい布などでディスクの汚れをふきとるなど)をしてみてください。 また、キズのあるディスクは使用しないでください。	ナビ 36
	ディスクにラベルが貼ってある。	ラベルがはがれているとこすれたり、ラベルがはがれ製品内部につまってしまう恐れがあります。ラベルがはがれてないか確認してください。はがれているディスクは挿入しないでください。	-
	CD-R/RWの特性は書き込みソフト/ハードの組み合わせや書き込み速度に左右されます。書き込みの深さ、幅(面積)等の規格が合わないと音切れや音とびをしたり、再生できない場合があります。	書き込み速度を遅くすると、安定して焼けますので一番遅い速度での書き込みをお試しください。	-
CD、MP3/WMAのディスクが入らない。	結露している。	ディスクを取り出して、本機をしばらく放置してから使ってください。	-
	すでにディスクが入っていて2枚目をいれようとしている。	入っているディスクを取り出してから、次のCD、MP3/WMAのディスクを入れてください。	-
CD-RやCD-RWを再生できない。	ディスクがファイナライズ処理されていない。	ディスクをファイナライズ処理をしてください。	-

CD、MP3/WMA

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
MP3/WMAファイルを再生できない。	CD-DAデータとMP3ファイルが混在しているディスクを再生しようとした。	CD-DAデータとMP3ファイルが混在している場合、MP3ファイルは再生できません。	-
	MP3ファイルに「.mp3」、WMAファイルに「.wma」の拡張子が付いていない。	MP3ファイルに拡張子「.mp3」、WMAファイルに拡張子「.wma」の付いたディスクに交換してください。	-
	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。	-
	対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレートで記録されたMP3/WMAファイルにしてください。	-
再生が始まるまでに時間がかかる。または止まる。	MP3/WMAディスクを再生する場合ディスクに記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。	ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。MP3/WMA以外のデータや必要ないフォルダは書き込まないようにしてください。	-
再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲に移ったりする。	ファイルの形式と拡張子があっていない。	ディスクを交換してください。(MP3形式でないファイルに「.mp3」、WMA形式でないファイルに「.wma」の拡張子を付けたCD-R、CD-RWを再生しないでください。)	-
聞きたいMP3/WMAファイルが見つからない。	MP3ファイルに「.mp3」、WMAファイルに「.wma」の拡張子が付いていない。	MP3ファイルに拡張子「.mp3」、WMAファイルに拡張子「.wma」の付いたディスクに交換してください。	-
フォルダ名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。	-
ファイル再生が、記録した順と異なる。	MP3/WMAファイルの再生順序は、CD-R/CD-RW書き込み時にライティングソフトがフォルダ位置、ファイル位置を並び替える可能性があります。	ライティングソフトウェアによっては、フォルダ名、ファイル名のはじめに数字(01、02など)を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。	-
CDのアーティスト名(タイトル名)などが異なって表示される。	Gracenoteデータベースは全てのタイトル名の取得、正確性を保証するものではありません。(同じ条件のCDが存在する場合、誤って表示されることがあります。)	カスタムアップデートをしてタイトル情報を更新してください。	56~ 61

故障かな？と思ったら

その世

故障かな？と思ったら(3)

Music Rack

録音(REC)/更新/初期化/コピー

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
CDを再生しても、自動で録音されない。	録音設定が“手動録音”に設定されている。	録音設定を“自動録音”に設定してください。	48
	MP3/WMAを再生している。	MP3/WMAは録音できません。	—
録音できない。	録音中に車のエンジンスイッチをO(OFF)したりII(ON)にしたりしてエンジンを始動した。	音楽データ修復 ボタンをタッチしてデータベースの修復を行なってください。	64
	ハードディスクの容量が不足している。	使用状況を確認してください。録音済の曲(アルバム)を削除すると新たに録音できます。	66、113、119、120、125～127
録音したはずの曲(アルバム)が再生されない。	再生選択画面で再生させない設定にしている。(チェックマーク(✓)を消している。)	チェックマーク(✓)を付けてください。	113、118、120、124
録音したはずの曲(アルバム)が再生されない。または止まる。	再生管理データが読み取れていません。	録音中のエンジン始動等でデータに異常が発生した可能性がありますので 音楽データ修復 ボタンをタッチしてデータベースの修復を行なってください。	64
	録音曲数が多い。	曲数が多くなるとデータのチェック時間も長くなります。しばらくおまちください。	—
現在地 ボタンを押しても現在地が表示されない。	画像コピー中。	中止 をタッチしてコピーを止めるか、コピー後に押してください。	—
	Gracenoteデータベース更新中または音楽データ初期化中。	更新後または初期化後に押してください。	—

iPod

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
正常に動作しない。	接続不良。	別売のiPod接続コードを確実に接続してください。iPodが正常に動作しない場合は接続前にiPodをリセットしてください。	—
	再生可能なデータがない。	再生可能なデータをiPod本体に転送してください。	—
	iPodに付属のUSBケーブルを使用して本機に接続している。	別売のiPod接続コードを使用して接続してください。	294、 295
ビデオ再生ができない。	iPodがビデオ再生に対応していない。	ビデオ再生機能のあるiPodをご使用ください。	—
ビデオが途中から再生する。	各動画コンテンツごとにリジューム情報をiPod本体がおぼえています。	リジューム情報をおぼえないようにするには、iPodに付属のiTunes*で“再生位置を記憶”のチェックをOFFにしてください。	—
iPodを接続しているのに画面にiPodの接続をうながすメッセージが表示される。	iPodビデオ認証中に車のエンジンスイッチをO(OFF)／I (ACC)などにした。	iPodを接続しなおしてください。	—
選択できないビデオがある。	アーティスト、アルバムなどのタイトルを登録していない。	本機でビデオを再生させるにはタイトルを登録してください。	—

*：アップル社が開発および配布している動画および音楽の再生・管理ソフト

故障かと思ったら

その他

故障かな？と思ったら(4)

SD、USB

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
SD、USBの再生画面を表示しない。	SDカード未挿入／USBメモリデバイス未接続。	SDカードを挿入またはUSBメモリデバイスを接続してください。	—
MP3／WMA／AACファイルが再生できない。	対応していないファイル形式で記録されている。	対応しているファイル形式で記録されたMP3／WMA／AACファイルにしてください。	252～ 254、 270～ 272
AACファイルが再生できない。	AACファイルに画像データ(iTuneのネットワークを除く)、映像データが混在しているSDカードまたはUSBメモリデバイスを再生しようとした。	AACファイルに画像データ(iTunesのネットワークを除く)、映像データ、その他音楽データでないものが含まれる場合、AACファイルは再生できません。	—
再生が始まるまでに時間がかかる。	SDカードまたはUSBメモリデバイスに記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。	ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。MP3／WMA／AAC／OMA以外のデータや必要ないフォルダは書き込まないようにしてください。	—
再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲に移ったりする。	ファイルの形式と拡張子があっていない。	MP3形式でないファイルに「.mp3」、WMA形式でないファイルに「.wma」AAC形式でないファイルに「.m4a」の拡張子を付けたファイルは再生しないでください。	—
ウォークマンでMP3／WMA／AACファイルが再生できない。	ウォークマンで再生できるファイル形式はOMAのみです。	MP3／WMA／AACファイルはUSBフラッシュメモリを使用して再生させてください。 Sonic Stage(ソニー社)などのアプリケーションを使用してウォークマンに転送してください。	—

SD、USB

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
USBメモリデバイスを認識していない。	対応しないUSBメモリデバイスの可能性があります。	別のUSBメモリデバイスで試してください。	270
		本機で対応しているウォークマンはソニー社製ATRAC AD対応のEシリーズ/Aシリーズ/Sシリーズとなります。	270
SDカードの再生が始まらない。	本機で再生できないSDカードを挿入している。	再生可能なSDカードを挿入してください。	253
	結露している。	SDカードを取り出して電源を切った状態でしばらく放置してから使用してください。	—
SDカードを初期化できない。	誤消去防止スイッチを「LOCK」方向にしている。	SDカードに誤消去防止スイッチが付いている場合、「LOCK」にしていると初期化できません。「LOCK」を解除してください。	—

故障かな？と思ったら(5)

ラジオ

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
自動選局ができない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。	151
“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の電波が弱い。	他のチャンネルを選局してみてください。	—
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、映りが良くなり、雑音が少なくなります。	—
ラジオの入りが悪い。	エアコンやワイパー動作に連動したノイズが発生している。	車両側の電装品が動くとノイズが入る場合があります。電装品の動作を止めると良くなる場合があります。	—
	本機の近くに携帯電話や無線機を置いている。	妨害を受ける可能性がありますので離してご使用ください。	—

モニター

症状	原因	処置	参考ページ
映像が出ない。	走行している。	走行中は映像を見ることができません。音声のみでお楽しみください。	—
	明るさ／コントラスト調整が暗い方いっぱいになっている。	明るさ／コントラストを調整してください。	27～29
	画面が消えている。	画面をタッチして、画面を表示させてください。	25
	VTRモードになっている。	外部機器の電源を入れる、または他のモードに切り替えてください。 (VTR未入力時は黒い画面になります。)	—
表示が暗く見づらい。	車両のライティングスイッチがONになっている。	画面の明るさはイルミに連動します。 (トンネル内など画面が急に暗くなります。) イルミ連動に設定した場合ライトをONにしていると画面は暗くなります。	—
画面が乱れる。	液晶画面の近くに携帯電話や無線機がある。	携帯電話等の妨害により画面が乱れる場合があります。液晶画面の近くにこれらを近づけないでください。	—
DVDやテレビなどの映像色や色合いが悪い。	調整がずれている。	明るさ、コントラスト、色の濃さ、色合いを調整してください。	27～29
映像にはん点やしま模様が出る。	ネオンサイン、高圧線、アマチュア無線、他の自動車などの影響。	妨害電波を受けない場所に移動してください。	—
ディスプレイに光る点がある。	液晶パネルは99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。	—
リア席モニターにCDやMusic Rackなど音楽関連の画面が表示されない。	音楽関連の画面は表示されません。	故障ではありません。 リア席モニターに表示されるのは映像関連(DVDやDigital TVなど)となります。	—

故障かな？と思ったら

その他

故障かな？と思ったら(6)

D V D

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
字幕がでない。	再生しているDVDビデオに字幕が収録されていない。	字幕を表示することはできません。	—
	字幕がオフになっている。	DVDメニューで設定を変えてください。	170, 171
音声が出ない。	静止画、コマ戻し／コマ送り、スロー戻し／スロー送信中。	静止画、コマ戻し／コマ送り、スロー戻し／スロー送りを止めて通常再生してください。	—
再生を始めない。	ディスクが入っていない、または、裏向きにセットされている。	印刷面を上にして、正しくセットしてください。	—
	ディスクに汚れ、キズ、指紋がある。	ディスクの汚れ、指紋をふきとってください。また、キズのついているディスクは使用しないでください。	ナビ 36
	ディスクにラベルが貼ってある。	ラベルがはがれているとこすれたり、ラベルがはがれ製品内部につまってしまう恐れがあります。ラベルがはがれてないか確認してください。はがれているディスクは挿入しないでください。	—
	結露している。	ディスクを取り出して、本機をしばらく放置してから使ってください。	—
	本機で再生できないディスクを入れている。	本機で再生できるディスクを入れてください。	12, 13
	本機で再生できないリージョン番号のDVDビデオを入れている。	本機のリージョン番号は「2」です。リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」のDVDビデオを再生してください。	19
	視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止している。	初期設定の視聴制限レベルを確認してください。	183, 188
“⊙” (禁止マーク) を表示するだけで、操作ができない。	再生しているディスクがその操作を禁止している。 ディスクの構造上対応できない操作をしている。	再生しているディスクまたは場面では、その操作をすることはできません。(ディスクに付属されている説明書もあわせてご覧ください。)	—
音声や映像が乱れる。	ディスクに汚れ、キズがある。	ディスクの汚れをふきとってください。また、キズのついているディスクは使用しないでください。	ナビ 36
	振動の生じるところで使用している。	本機に振動が加わると、音とびをしたり、映像が乱れることがあります。振動が止まると、通常の動作に戻ります。	—

D V D

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
音声言語／字幕 言語が切り替わ らない。	再生しているDVDビデオには、 1つの言語しか収録されてい ない。	複数の言語が収録されていないディス クの場合は、言語を切り替えることは できません。	—
	再生しているDVDビデオが、言 語の切り替えを禁止している。	言語を切り替えることはできません。	—
各種設定で選ん だ音声言語／字 幕言語にならない。	再生しているDVDビデオに収録 されていない言語を選んでいる。	ディスクに収録されていない言語には 切り替えられません。この場合は、デ ィスクに収録されている言語のいすれ かで再生されます。	—
字幕が消せない。	再生しているDVDビデオが、字 幕を消すことを禁止している。	字幕を消すことはできません。	—
各種設定で選ん だアスペクト比 にならない。	再生しているDVDビデオに収録 されていないアスペクト比を選 んでいる。	ディスクに収録されていないアスペク ト比には切り替えられません。この場 合は、ディスクに収録されているアス ペクト比のいずれかで再生されます。	—
アングルを切り 替えることがで きない。	再生しているDVDビデオには、 1つのアングルしか収録されてい ない、または、一部の場面にと み、複数のアングルが収録され ている。	複数のアングルが収録されていないデ ィスク／場面では、アングルを切り替 えることはできません。	—
	再生しているDVDビデオが、ア ングルの切り替えを禁止している。	アングルを切り替えることはできませ ん。	—
タイトルを選ん で決定(実行)し ても、再生が始ま らない。	視聴制限の機能が働いて、本機 がDVDビデオの再生を禁止して いる。	初期設定の視聴制限レベルを確認して ください。	183、 188
視聴制限をして いるのに、再生 が制限されない。	再生しているDVDビデオには、 視聴制限が収録されていない。	視聴制限をすることはできません。	—
視聴制限を解除 できない。	暗証番号が間違っている。	正しい暗証番号を入力してください。	—
	暗証番号を忘れてしまった。	「0000」と入力してください。	—
DVDメニューが 外国語で表示さ れる。	“メニュー言語”が、外国語に設 定されている。または外国語のみ で収録されている。	“メニュー言語”を日本語に設定すると、 ディスクに日本語が収録されていれば、 DVDメニューが日本語で表示されます。	183、 188
VRディスクを再 生できない。	ファイナライズしていない。	ディスクをファイナライズ処理してく ださい。	12.13、 159

「故障かな？」と思ったら

その世

故障かな？と思ったら(7)

Digital TV

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
映像がでない。	<ul style="list-style-type: none"> ●B-CASカードを挿入していない。 ●B-CASカードが裏返しになっていたり、挿入方向が間違っている。 	B-CASカードを正しく挿入してください。	195
文字スーパーが出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●文字スーパーのある番組を選局していない。 ●文字スーパー表示設定で“表示しない”にしている。 ●受信モードがワンセグである。 	文字スーパー表示設定で言語を選択してください。また、ワンセグの場合文字スーパーは表示されません。	223
字幕が出ない。	字幕のある番組を選局していない。	字幕のある番組を選局してください。 12セグの場合、パナー表示の「字」のアイコンが明るく表示されます。	218
受信できない。	エリアを変更していない。	視聴エリアの変更(地方/県域の設定)をしてください。	203、 204
	放送エリア内にいない。	地上デジタルテレビ放送は、現在のアナログテレビ放送との混信を避けるために、当初は受信エリアが限られていますが、順次拡大される予定です。	—
	アンテナ電源の設定が正しく設定されていない。 ※アンテナ端子やアンテナコードをショートさせた場合や、アンテナの故障等で過電流を検出すると自動的に「電源切」に設定されます。	アンテナ電源を「電源入」に設定してください。 ※設定できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	229
映像が止まったりモザイクがかかる。	セグメントを12セグ固定にしている。	放送 ボタンをタッチし、自動切替に設定しておくこと受信状態が悪くなった場合でも自動的にワンセグへ切り替わるため映像が止まりにくくなります。 ※自動切替またはワンセグに設定しても放送局によってはワンセグ放送を行っていない場合があります。 その場合12セグのみとなるため受信エリアは狭くなり映像がうつらない場合があります。	199

Digital TV

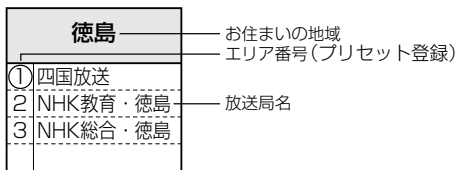
症 状	原 因	処 置	参考 ページ
データ放送や番組表が表示されるまでに時間がかかる。	データ取得中のためです。	多少時間がかかることがあります。	—
本機に設定した内容、プリセット登録などが消失している。	<ul style="list-style-type: none"> ・初期化を行なった ・本機の使用を誤った ・修理を依頼した などにより本機に設定した内容が消失する場合があります。	消失したデータについては補償できません。	—

エリア番号と放送局一覧

地上デジタルテレビ放送(Digital TV)の、放送局とプリセット登録されるチャンネルの組み合わせは、以下のようになります。

※他地域(旅行などのおでかけ先)の放送を受信されたときは、下記のようにならない場合があります。割り当てられた放送が実際に開始される時期は地域により異なります。また放送の開始時は地上アナログテレビ放送との混信を避けるために、非常に小さい出力で放送されるため受信できるエリアが限定されます。

■ 表のみかた



※放送局名は放送局側の都合により変更になる場合があります。

(2008年3月現在)

お住まいの地域	北海道(札幌)	北海道(函館)	北海道(旭川)	北海道(帯広)	北海道(釧路)	北海道(北見)
放送局名	1 HBC北海道放送 2 NHK教育・札幌 3 NHK総合・札幌 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 HBC北海道放送 2 NHK教育・函館 3 NHK総合・函館 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 HBC北海道放送 2 NHK教育・旭川 3 NHK総合・旭川 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 HBC北海道放送 2 NHK教育・帯広 3 NHK総合・帯広 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 HBC北海道放送 2 NHK教育・釧路 3 NHK総合・釧路 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 HBC北海道放送 2 NHK教育・北見 3 NHK総合・北見 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB

お住まいの地域	北海道(室蘭)	青森	岩手	宮城	秋田	山形
放送局名	1 HBC北海道放送 2 NHK教育・室蘭 3 NHK総合・室蘭 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 RAB青森放送 2 NHK教育・青森 3 NHK総合・青森 5 青森朝日放送 6 ATV青森テレビ 8 UHB	1 NHK総合・盛岡 2 TBCテレビ 2 NHK教育・盛岡 4 テレビ岩手 4 ミヤギテレビ 5 岩手朝日テレビ 5 KHB東日本放送 6 IBCテレビ 6 めんこいテレビ 8 仙台放送	1 TBCテレビ 2 NHK教育・仙台 3 NHK総合・仙台 4 ミヤギテレビ 5 KHB東日本放送 8 仙台放送	1 NHK総合・秋田 2 NHK教育・秋田 4 ABS秋田放送 5 AAB秋田朝日放送 8 AKT秋田テレビ	1 NHK総合・山形 2 NHK教育・山形 4 YBC山形放送 5 YTS山形テレビ 6 テレビユー山形 8 さくらんぼテレビ

お住まいの地域	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉
放送局名	1 NHK総合・福島 1 TBCテレビ 2 NHK教育・福島 4 福島中央テレビ 4 ミヤギテレビ 5 KFB福島放送 5 KHB東日本放送 6 テレビユー福島 8 福島テレビ 8 仙台放送	1 NHK総合・水戸 2 NHK教育・東京 3 チバテレビ 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン	1 NHK総合・東京 2 NHK教育・東京 3 とちぎテレビ 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 9 TOKYO MX 12 放送大学	1 NHK総合・東京 2 NHK教育・東京 3 群馬テレビ 3 テレビ玉 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 9 TOKYO MX 12 放送大学	1 NHK総合・東京 2 NHK教育・東京 3 テレ玉 3 群馬テレビ 3 チバテレビ 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 9 TOKYO MX 12 放送大学	1 NHK総合・東京 2 NHK教育・東京 3 チバテレビ 3 tvk 3 テレ玉 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 9 TOKYO MX 12 放送大学

お住まいの地域	東京	神奈川	山梨	新潟	富山	石川
放送局名	1 NHK総合・東京 2 NHK教育・東京 3 tvk 3 チバテレビ 3 テレ玉 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 9 TOKYO MX 12 放送大学	1 NHK総合・東京 2 NHK教育・東京 3 tvk 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 9 TOKYO MX 12 放送大学	1 NHK総合・甲府 2 NHK教育・甲府 4 YBS山梨放送 5 テレビ朝日 6 UTY 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン	1 NHK総合・新潟 2 NHK教育・新潟 4 TeNYテレビ新潟 5 新潟テレビ21 6 BSN 8 NST	1 KNB北日本放送 2 NHK教育・富山 3 NHK総合・富山 6 チューリップテレビ 6 MRO 8 BBT富山テレビ 8 石川テレビ	1 NHK総合・金沢 1 KNB北日本放送 2 NHK教育・金沢 4 テレビ金沢 5 北陸朝日放送 6 MRO 8 石川テレビ 8 BBT富山テレビ

お住まいの地域	福井	長野	岐阜	静岡	愛知	三重
放送局名	1 NHK総合・福井	1 NHK総合・長野	1 東海テレビ	1 NHK総合・静岡	1 東海テレビ	1 東海テレビ
	2 NHK教育・福井	2 NHK教育・長野	2 NHK教育・名古屋	2 NHK教育・静岡	2 NHK教育・名古屋	2 NHK教育・名古屋
	6 MRO	4 テレビ信州	3 NHK総合・岐阜	4 静岡第一テレビ	3 NHK総合・名古屋	3 NHK総合・津
	7 FBCテレビ	5 abn長野朝日放送	4 中京テレビ	5 静岡朝日テレビ	4 中京テレビ	4 中京テレビ
	8 福井テレビ	6 SBC信越放送	5 CBC	6 SBS	5 CBC	4 MBS毎日放送
		8 NBS長野放送	6 メ〜テレ	8 テレビ静岡	6 メ〜テレ	5 CBC
			7 三重テレビ		7 三重テレビ	6 メ〜テレ
			8 岐阜テレビ		8 岐阜テレビ	6 ABCテレビ
			10 テレビ愛知		10 テレビ愛知	7 三重テレビ
						8 関西テレビ
					10 読売テレビ	

お住まいの地域	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山
放送局名	1 NHK総合・大津	1 NHK総合・京都	1 NHK総合・大阪	1 NHK総合・神戸	1 NHK総合・奈良	1 NHK総合・和歌山
	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪
	3 BBCびわ湖放送	3 サンテレビ	3 サンテレビ	3 サンテレビ	3 サンテレビ	4 MBS毎日放送
	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	5 テレビ和歌山
	5 KBS京都	5 KBS京都	5 KBS京都	6 ABCテレビ	5 KBS京都	6 ABCテレビ
	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ	7 テレビ大阪	6 ABCテレビ	8 関西テレビ
	8 関西テレビ	7 テレビ大阪	7 テレビ大阪	8 関西テレビ	7 テレビ大阪	10 読売テレビ
	10 読売テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ	10 読売テレビ	8 関西テレビ	
		10 読売テレビ	10 読売テレビ		9 奈良テレビ	
					10 読売テレビ	

お住まいの地域	鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島
放送局名	1 日本海テレビ	1 日本海テレビ	1 NHK総合・岡山	1 NHK総合・広島	1 NHK総合・山口	1 四国放送
	2 NHK教育・鳥取	2 NHK教育・松江	2 NHK教育・岡山	2 NHK教育・広島	1 KBC九州朝日放送	2 NHK教育・徳島
	3 NHK総合・鳥取	3 NHK総合・松江	4 RNC西日本テレビ	3 RCCテレビ	2 NHK教育・山口	3 NHK総合・徳島
	6 BSSテレビ	6 BSSテレビ	5 KSB瀬戸内海放送	4 広島テレビ	3 tysテレビ山口	3 サンテレビ
	8 山陰中央テレビ	8 山陰中央テレビ	6 RSKテレビ	5 広島ホームテレビ	3 OBS大分放送	4 MBS毎日放送
			7 テレビせとうち	8 TSS	4 KRY山口放送	5 テレビ和歌山
			8 OHKテレビ		4 RKB毎日放送	6 ABCテレビ
					5 yab山口朝日	7 テレビ大阪
					5 FBS福岡放送	8 関西テレビ
					7 TVQ九州放送	10 読売テレビ
				8 TNCテレビ西日本		

お住まいの地域	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎
放送局名	1 NHK総合・高松	1 NHK総合・松山	1 NHK総合・高知	1 KBC九州朝日放送	1 NHK総合・佐賀	1 NHK総合・長崎
	2 NHK教育・高松	2 NHK教育・松山	2 NHK教育・高知	2 NHK教育・福岡	1 KBC九州朝日放送	1 KBC九州朝日放送
	4 RNC西日本テレビ	4 南海放送	4 高知放送	2 NHK教育・北九州	2 NHK教育・佐賀	2 NHK教育・長崎
	4 MBS毎日放送	4 RNC西日本テレビ	6 テレビ高知	3 STSサガテレビ	3 STSサガテレビ	3 NBC長崎放送
	5 KSB瀬戸内海放送	4 広島テレビ	8 さんさんテレビ	3 NHK総合・北九州	3 RKK熊本放送	3 RKK熊本放送
	6 RSKテレビ	5 愛媛朝日		3 RKK熊本放送	3 NBC長崎放送	4 NIB長崎国際テレビ
	7 テレビせとうち	5 広島ホームテレビ		3 STSサガテレビ	4 RKB毎日放送	4 RKB毎日放送
	8 OHKテレビ	6 あいテレビ		4 RKB毎日放送	5 FBS福岡放送	4 KKTくまもと県民
	10 読売テレビ	7 テレビせとうち		5 FBS福岡放送	7 TVQ九州放送	5 NCC長崎文化放送
		8 テレビ愛媛		7 TVQ九州放送	8 TNCテレビ西日本	8 KTNテレビ長崎
	8 TSS		8 TNCテレビ西日本	8 TKUテレビ熊本	8 TNCテレビ西日本	
					8 KTNテレビ熊本	

お住まいの地域	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄
放送局名	1 NHK総合・熊本	1 NHK総合・大分	1 NHK総合・宮崎	1 MBC南日本放送	1 NHK総合・那覇
	1 KBC九州朝日放送	1 KBC九州朝日放送	1 MBC南日本放送	2 NHK教育・鹿児島	2 NHK教育・那覇
	2 NHK教育・熊本	2 NHK教育・大分	2 NHK教育・宮崎	3 NHK総合・鹿児島	3 RBCテレビ
	3 RKK熊本放送	3 OBS大分放送	3 UMKテレビ宮崎	3 UMKテレビ宮崎	5 QAB琉球朝日放送
	3 STSサガテレビ	4 TOSテレビ大分	5 KKB鹿児島放送	4 KYT鹿児島読売TV	8 沖縄テレビ(OTV)
	4 KKTくまもと県民	4 南海放送	6 MRT宮崎放送	4 KKTくまもと県民	
	4 RKB毎日放送	4 RKB毎日放送	8 KTS鹿児島テレビ	5 KKB鹿児島放送	
	5 KAB熊本朝日放送	5 OAB大分朝日放送		5 KAB熊本朝日放送	
7 TVQ九州放送	5 FBS福岡放送		6 MRT宮崎放送		
8 TKUテレビ熊本	7 TVQ九州放送		8 KTS鹿児島テレビ		
8 KTNテレビ長崎	8 TNCテレビ西日本				

用語説明(1)

DTS : Digital Theater System

デジタル・シアター・システムズ社が開発した映画館用の高音質サラウンドシステム「DTSサラウンドシステム」の家庭用デジタルサラウンドフォーマットです。

DTS2.0 Channel

DTS用外部サウンドデコーダを使用せずにDTSのマルチチャンネル音声をステレオ環境で聞くことができます。

タイトル、チャプター

DVDビデオに収録されている内容は、いくつかの大きな区切り(タイトル)に分かれている場合があります。

また、1つのタイトルは、いくつかの小さな区切り(チャプター)に分かれている場合があります。各タイトルに付けられた番号をタイトル番号と呼び、各チャプターに付けられた番号をチャプター番号と呼びます。

トラック

CDに収録されている曲の区切り(1曲分)をトラックと呼びます。各トラックに付けられた番号をトラック番号と呼びます。

アスペクト比

画面の縦、横のサイズの比率のことです。アスペクト比には、4 : 3(普通のテレビ)と16 : 9(ワイドテレビ)の2種類あります。

LB(レターボックス)

16 : 9のワイド画像をアスペクト比4 : 3の普通のテレビに表示するときの方法の1つです。ワイド画像を垂直方向に圧縮することによって、4 : 3のテレビでも、正規の比率で画像を表示します。画面の上下には、黒い帯が入ります。

パン&スキャン(P&S)

16 : 9のワイド画像をアスペクト比4 : 3の普通のテレビに表示するときの方法の1つです。ワイド画像の左右をカットして、4 : 3のテレビで表示します。

視聴制限

DVDビデオの機能の1つで、プレーヤー側(本機)で設定している視聴制限レベルに応じて、DVDビデオの再生が制限されます。制限のしかたはディスクによって異なり、全く再生ができない場合や不快な場面をとばして再生する場合などがあります。

※視聴制限が収録されていないDVDビデオもあり、この場合は、再生を制限することはできません。

VTR

市販のVTR機器やポータブルオーディオ機器などの外部機器の出力を入力する機能です。

VTR端子から入力された映像や音は、VTRモードに切り替えることにより、本システムを使って見たり、聞くことができます。

エンコーダ

データを一定の規則に基づいて符号化(データの圧縮や暗号化など)をするソフトウェアです。

エンコード

データを一定の規則に基づいて符号化(データの圧縮や暗号化など)をすることです。エンコードを行なうソフトウェアをエンコーダと呼びます。

MP3

MP3はMPEG Audio Layer3の略で、MPEG Audio Layer3は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3は人間の聞き取れない音声、不可聴帯域を圧縮するので、元のファイルを約1/10のサイズにすることができます。

ID3タグ/WMAタグ

MP3ファイル、WMAファイルには、IDタグ、WMAタグと呼ばれる付属文字情報を入力する領域が確保されていて、曲のタイトルやアーティスト名などを保存できます。ID3タグ、WMAタグに対応したプレイヤーでID3タグ、WMAタグ情報の表示・編集が可能です。

ATRAC3

「Adaptive Transform Acoustic Coding3」の略で、高音質、高圧縮を両立させた圧縮技術です。元のファイルを約1/10のサイズに圧縮することができます。

ATRAC3 plus

ATRAC3との互換性を維持しながらさらに圧縮技術を進化させた音声圧縮技術です。

セッション

CD-R、CD-RWでは、書き込みをする度にデータの前後にリードイン、リードアウトという領域が追加されます。このリードイン、データ、リードアウトの固まりを、“セッション”と言います。本機は、同じディスクに音楽データとMP3データが混在する場合、最初のセッションに記録されているデータしか再生できません。(ディスクによっては再生できない場合もあります。)セッションをクローズした後に、データを追加した場合は、第2セッション以降に書き込まれるので、本機では再生できません。

サンプリング周波数

アナログ信号からデジタル信号への変換(AD変換)を1秒間に何回行なうかを表す数値のことです。

ルートフォルダ

ツリー型ディレクトリ構造の最上層にあるディレクトリのことをさします。

ビットレート

1秒当たりの情報量を表し、単位はbps(bit per second)です。この数字が大きいほど、音楽を再現するために多くの情報を持つことになるため、同じ符号化方式(ATRAC3など)での比較では、一般的に数字が大きい方が良い音になります。(MP3とATRAC3のように、異なる符号化方式の場合、単純な比較はできません。)

VBR

「Variable Bit Rate(可変ビットレート)」の略です。一般的にはCBR(固定ビットレート)が多く使われていますが、音声圧縮では圧縮状況に合わせてビットレートを可変することで、音質を優先した圧縮が可能となります。

用語説明(2)

WMA

「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player ver.7以降を使用してエンコードすることができません。Microsoft、Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

DRM (デジタル著作権管理)

デジタルデータの著作権を保護する技術。音声・映像ファイルにかけられる複製の制限技術で不正利用を防ぎます。本機はWMAのDRMに対応していないため、Windows Media Playerを使用してWMAを作成するときは“保護された音楽を録音する(Ver.によって表現が異なる場合もあります)”の項目にチェックを付けないでください。

Joliet (ジュリエット)

Microsoft社が開発したCD上でロングファイル名を扱えるようにした規格です。Jolietではスペースを含む最大64文字までのファイル名に対応したユニコード(文字コード)で記録します。

SDカード

小型、軽量のIC記録メディアです。“SDカード”対応機器で画像や音楽などのデータを記録することができ、1枚の“SDカード”に異なる種類のデータを混在して記録することができます。

SDHC(エスディーエイチシー)

アソシエーションによって規格化されたSDメモリーカードの上位規格で4GB以上の記録が可能。転送速度も高速化され「class2(2MB/s)」「class4(4MB/s)」「class6(6MB/s)」をそれぞれ最低の保証速度としています。

AAC

「Advanced Audio Coding」の略で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3/WMAよりさらに高圧縮にもかかわらず原音にかぎりなく近い高音質にて再生が可能です。

マストストレージクラス

正式名称はUSBマストストレージクラスといい、USB接続された周辺機器を外部ドライブとして認識させる仕組みのことです。デジタルカメラ関連製品でよく使われています。

ディエンファシス

録音時にあらかじめ決められた特性で高域部のレベルを上げて処理することをプリエンファシスと言います。プリエンファシスは再生時に録音時とは逆の特性で高域部のレベルを下げる処理を行いません。この再生時の処理のことをディエンファシスと呼びます。

マジックゲート

“MagicGate”(マジックゲート)は、ソニー社が開発した、著作権を保護する技術の総称です。対応機器(本機など)と“メモリスティック”の間で、お互いに「記録・再生が正しく行えるか」を確認する認証、およびデータの暗号化が行われます。データの再生時も同様に認証が行われ、認証が成功した場合のみ暗号化以前のデータに戻され(複合化)、再生されます。認証された機器以外では、著作権保護されたデータは再生できません。

OpenMG(オープンエムジー)

ソニー社によって開発されたデジタルコンテンツの著作権管理・保護・配信技術です。(本機では再生中に **OMA** マークが表示されます。)

Gracenoteデータベース

Gracenote®は、グレースノート社の登録商標です。Gracenoteロゴおよびロゴ標記および“Powered by Gracenote” ロゴはグレースノート社の商標です。

音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。

詳細は、Gracenote®社のホームページwww.gracenote.comをご覧ください。

音楽配信サイト

音楽を有料または無料でダウンロード提供するインターネット上のサービスサイト(ホームページ)です。

著作権

著作者の財産的利益を保護するための権利です。著作権の内容については、著作権法で具体的に定められています。著作権を侵害した場合は、損害賠償の責任が生じるほか、著作権法に定める刑事罰が適用されることもあります。

ATRAC AD (アトラックエーディー)

ATRAC Audio Device の略です。ソニーによって開発されたウォークマン等で採用されているメディアフォーマットです。Sonic StageやBeat Jamといったアプリケーションから著作権保護された曲などを転送することができます。

コピーコントロールCD/レーベルゲートCD

パソコンなどで音楽データを読み取り、データ化、保存ができないように処理してあるCDのことです。コピーコントロールCD、レーベルゲートCDには下記のマークが付与されています。

ご使用になる前に、必ずパッケージなどに同梱されている説明書をお読みください。



受信レベル

アンテナから入ってくる電波の質(信号と雑音の比率)です。

受信チャンネルや天候、季節、時間帯、受信している地域、車のある場所、アンテナ接続ケーブルの長さなどによって影響を受けます。

用語説明(3)

地上デジタルテレビ放送／ワンセグ

・地上デジタルテレビ放送

2003年12月に一部地域で放送が開始された、地上波によるデジタルテレビ放送です。UHFの周波数帯域を利用して送信されます。

デジタル信号で大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。くっきりはっきりした高画質のHDTV(高精細度テレビ)や、文字や画像などのデータ放送があります。

※本機はハイビジョン放送には対応していません。

・ワンセグ

地上デジタルテレビ放送による携帯受信機向け放送サービスです。

データ放送

お客様が見たい情報を選んで画面に表示させることができます。例えばお客様のお住まいの地域の天気予報を、いつでも好きなときに表示させることができます。また、テレビ放送に連動したデータ放送もあります。

B-CASカード(ICカード)

プラスチック・カードに集積回路を埋め込んだものです。

地上デジタルテレビ放送の番組の著作権保護等に利用されていて、地上デジタルテレビ放送を受信するために必要となります。

MFN方式

MFNとはMultiple Frequency Networkの略です。

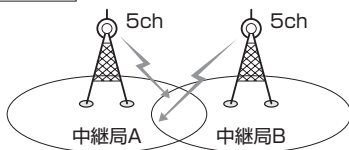
放送中継を用いない(各中継局と周波数を同じにする)SFN方式に対し、MFN方式では放送区域内で中継局の送信チャンネルを複数用いる方法です。

字幕放送

画面上に、セリフなどの字幕を表示できる放送です。

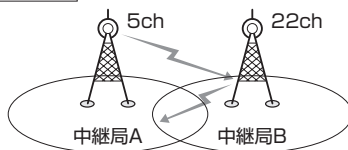
本機では、字幕をOFFにしたり、字幕の言語を切り替えたりできます。

マルチチャンネル放送



放送波中継を用いないため中継局AとBの周波数を正確にそろえる(伝える)必要があります。

MFN方式



中継局Bでは中継局Aの放送波を受信して別のチャンネルで送信します。

※今までの放送局が受信できなくなった場合でも他のチャンネルにすることにより、その放送局を受信しなおすことが可能です。

☞ 「MFNサーチを実行する」 205ページ
「選曲する」 208ページ

1チャンネルで主番組・副番組の複数映像が送られる放送です。
例えば野球放送などでは主番組は通常の野球放送、副番組はそれぞれのチームをメインにした放送が行なわれます。

1125i(1080i)

デジタルハイビジョン放送(HD)の1つで、1/60秒ごとに1125本の走査線を半分に分けて交互に流すインターレース(飛び越し走査)方式です。走査線数は現行テレビ放送の525本の倍以上の1125本もあるため、細部まできれいに表現され臨場感豊かな映像になります。

525i(480i)

デジタル標準テレビ放送(SD)の1つで、1/60秒ごとに525本の走査線を半分に分けて交互に流すインターレース(飛び越し走査)方式です。現行のテレビ放送やBS放送と同等の解像度です。

525p(480p)

デジタル標準テレビ放送(SD)の1つで、1/60秒ごとに525本の走査線を同時に流すプログレッシブ(順次走査)方式です。インターレース方式のように交互に流さないで、チラツキが少なくなります。

750p(720p)

デジタルハイビジョン放送(HD)の1つで、1/60秒ごとに750本の走査線を同時に流すプログレッシブ(順次走査)方式です。インターレース方式のように交互に流さないで、チラツキが少なくなります。

カスタマイズ

お客様の好み使い方に合わせて機能を設定しなおすことです。

Podcast(ポッドキャスト)

インターネットを使って配信されている音声データを誰でも気軽に好きなときに聞くことができるしくみで、iPodなどのオーディオプレーヤーと組み合わせると、音声・動画ファイルの最新データを自動的に蓄積することができます。

個人情報取り扱い(初期化)について

本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合はプライバシー保護および著作権保護のため、お客様の責任において本機の情報を消去してください。

■ 個人情報に関わる設定を初期化する場合

☞ 別冊の取扱説明書 ナビゲーション編「データを初期化(消去)する」250、251ページ
※ナビゲーションに関する登録データや走行状況の学習度の初期化、個人情報に関する設定を工場出荷時の状態に戻します。

■ オーディオに関する設定をそれぞれの設定ヶ所で消去する場合

- 本機にコピーした画像の削除

☞ 「**画像を変える**」67ページ手順 **3** の②で **全画像削除** を選択決定

- 本機にアップデートしたGracenote データベースのデータの削除

☞ 「**Gracenoteデータベースのデータを初期化するには**」62ページ手順 **4** で **初期化** を選択決定

- 本機に録音した音楽データの削除

☞ 「**音楽データの初期化するには**」65ページ手順 **3** で **音楽データ初期化** を選択決定

- 本機に設定した地上デジタルテレビ放送に関する情報の削除

・ 12セグ/ワンセグ

☞ 「**設定を初期化する**」237ページ手順 **4** で **メモリ初期化** を選択決定

- SDカードの初期化

☞ 「システムの設定について」316、317ページ手順 **4** で **初期化** を選択決定

索引(1)

五十音順

- え**
映像調整……………27～29
エリア番号と放送局一覧……………336、337
- お**
オーディオ／テレビ／ラジオの設定について…18
音量調整……………26
音声はそのまま画面を消す……………25
音声はそのままナビゲーション画面を
表示する……………24
- か**
各部の名称とはたらき(表示部含む)
ラジオ(AM／FM)……………146～148
CD……………78、79
Digital TV……………196～200
DVD……………160～162
iPod……………296、297
MP3／WMA……………136、137
Music Rack……………90、91
SD……………255、256
USB……………273～275
カスタマイズソース……………44、45
画像(壁紙)……………67～75、315
曲管理(アルバムリスト編集／
トラックリスト編集)……………113～125
- こ**
故障かな?と思ったら……………322～335
個人情報の取り扱いについて……………344
- さ**
再生できるディスク……………12、13
- し**
システムの設定
キー操作音のON／OFF……………316
SDカードの初期化……………317
初期化……………344
初期設定一覧……………319
- て**
テレビ
地上デジタルテレビ放送について……………192
地上デジタルテレビ放送の番組受信について…193
B-CASカードについて……………194
B-CASカードを入れる／取り出す……………195
B-CASカードに関するお問い合わせ先…195
- データ管理
ローカルアップデート／カスタム
アップデート……………54～61
(ホームページアドレス)……………47
データベースについて……………14、15
- は**
配色を変える……………30、31
はじめに……………20、21
- め**
メッセージ表示……………320、321
- よ**
用語説明……………338～343
- ら**
ラジオ(交通情報含む)……………146～156
- り**
リア席モニターについて……………318

索引(2)

アルファベット

A

AUDIO設定

- イコライズ設定……………35～37
- カスタマイズソース……………44、45、314
- 車速連動音量設定……………42、43
- スピーカー設定……………38、39

データ管理

- 音楽データの修復……………64
- 音楽データの初期化……………65
- HDD情報……………66
- フェード・バランス……………40、41
- 臨場感……………32～34
- 録音設定(手動/自動の選択)……………48

Gracenoteデータベース

- ローカルアップデート/
カスタムアップデート……………54～61
- データの初期化……………62、63
- Quickメニュー……………44、45

AUDIOソース画面のモードボタンについて……………22

AUDIOメニュー画面について……………23

B

B-CASカード……………194、195、232、233

C CD

CDプレーヤーを使う……………78～87

D

Digital TVを使う……………196～245

アンテナ電源の設定……………228、229

映像切替……………216

エラーコードについて……………245

エリアスキャン……………206

音声切替……………217

緊急放送を見る……………244

字幕切替……………218

現在地確認設定……………224、225

視聴エリアの変更

(地方/県域の設定)……………203、204

自動切替の設定……………226、227

受信可能なチャンネルと受信レベルを

確認し、受信する……………230、231

設定の初期化……………237

選局する……………208～211

選局操作の設定……………238、239

チャンネルスキャン(再スキャン)……………207

チャンネル表示の設定……………221、222

バナー表示……………196、197

バナー表示の設定……………219、220

プリセットメモリーをすする……………212、213

データ放送を利用する……………240～242

番組の詳細情報を見る……………214、215

番組表を見る……………214、215

放送局からの情報を見る(ダウンロードを
確認・開始する)……………234～236

文字スーパー切替……………223

郵便番号設定……………220

リレーサービスの番組を見る……………243

臨時サービスの番組を見る……………243

B-CASカードテスト……………232、233

DVDビデオについて……………19

DVDプレーヤーについて……………158、159

DVDプレーヤーを使う……………160～181

DVDの初期設定について……………182～189

アルファベット

H HDD

HDDの情報66

I iPod

iPodについて294、295

iPodを使う296~312

 iPodビデオモードの再生310~312

M MP3/Music Rack

MP3/WMAについて130~135

MP3/WMAを使う136~143

Music Rack

 Music Rackについて49~53

 Music Rackを使う90~127

 録音方法の手動/自動を選択する48

 録音方法/録音音質51~53

Q

Quickメニュー(カスタマイズ機能)

.....44、45、314

S

SDカード/USBメモリデバイス

について16、17

SDカードの音楽再生について252~254

SDカードを使う255~267

U USB(USBオーディオ)

USBメモリデバイスの音楽再生に

ついて270~272

USBメモリデバイスを使う273~292

V

VTR機能を使う248、249

■ 商品についてのお問い合わせは、お買い求めの販売店または株式会社ホンダアクセスお客様相談室までお願いします。

株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」

全国共通フリーダイヤル ☎0120-663521

(受付時間：9時～12時、13時～17時／但し、土日・祝祭日は除く)

販売元 株式会社ホンダアクセス 〒352-8589 埼玉県新座市野火止8丁目18番地4号

製造元 三洋電機コンシューマエレクトロニクス株式会社
〒680-8634 鳥取県鳥取市立川町7丁目101番地